

津市建設作業事務所車庫等新築その他工事

図面リスト

建築工事				電気設備工事		機械設備工事	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	新営特記仕様書1	S-01	構造特記仕様書	E-01	電気設備特記仕様書1	M-01	機械設備特記仕様書1
A-02	新営特記仕様書2	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図1	E-02	電気設備特記仕様書2	M-02	機械設備特記仕様書2
A-03	新営特記仕様書3	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図2	E-03	電気設備特記仕様書3	M-03	器具表・機器表、給排水設備
A-04	新営特記仕様書4	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図3	E-04	配置図、盤図・照明器具姿図	M-04	換気設備 車庫 平面図
A-05	新営特記仕様書5	S-05	鉄骨造標準図1	E-05	動力・コンセント設備 電灯設備 車庫 平面図	M-05	換気設備 倉庫 平面図
A-06	新営特記仕様書6	S-06	鉄骨造標準図2	E-06	動力・コンセント設備 電灯設備 倉庫 平面図	M-06	空調設備 改修前・改修後 1階平面図
A-07	新営特記仕様書7	S-07	鉄骨造標準図3、溶接基準	E-07	コンセント設備 事務所 平面図	M-07	空調設備 改修前・改修後 2階平面図
A-08	面積計算	S-08	車庫 H形鋼等 継手標準図				
A-09	配置図	S-09	車庫 基礎伏図、基礎詳細図				
A-10	仮設計画図	S-10	車庫 梁伏図、部材リスト				
A-11	仕上表	S-11	車庫 軸組図				
A-12	車庫 平面図、屋根伏図	S-12	車庫 鉄骨詳細図				
A-13	車庫 立面図、断面図	S-13	倉庫 H形鋼等 継手標準図				
A-14	車庫 平面詳細図	S-14	倉庫 基礎伏図、基礎詳細図				
A-15	車庫 矩計図	S-15	倉庫 梁伏図、部材リスト				
A-16	車庫 展開図、天井伏図	S-16	倉庫 軸組図				
A-17	車庫 建具表	S-17	倉庫 鉄骨詳細図				
A-18	倉庫 平面図、屋根伏図						
A-19	倉庫 立面図、断面図						
A-20	倉庫 平面詳細図	KA-01	改修特記仕様書1				
A-21	倉庫 矩計図	KA-02	改修特記仕様書2				
A-22	倉庫 平面図、屋根伏図	KA-03	改修特記仕様書3				
A-23	倉庫 建具表	KA-04	改修前 1階平面図				
A-24	倉庫 家具詳細図	KA-05	改修後 1階平面図				
A-25	改修前外構配置図	KA-06	改修前後 2階平面図				
A-26	改修後外構配置図	KA-07	改修前 平面詳細図、展開図				
A-27	ストックヤード 平面図、断面図	KA-08	改修後 平面詳細図、展開図				
A-28	外構詳細図1	KA-09	改修後 平面・断面詳細図				
A-29	外構詳細図2						

工事特記仕様書

I. 工事名 津市建設作業事務所車庫等新築その他工事		
II. 工事概要		
1. 工事場所	津市 片田中町 地内	
2. 敷地面積	8,866.19㎡	
3. 工事内容		
棟名称	車庫及び倉庫	事務所棟
構造	鉄骨造平屋建	鉄骨造2階建
建築面積	563.44㎡	365.08㎡
延べ面積	563.44㎡	484.08㎡
工事項目	建築工事(増築工事)、外構工事	建築工事(改修工事)

III. 建築工事仕様

1. 共通仕様
 - 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書(「建築工事編」最新版)(以下「標準仕様書」)及び公共建築改修工事標準仕様書(「建築工事編」最新版)
2. 特記仕様
 - 1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 - 2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。
 - 3)項目に記載の()内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項目	特記事項
①	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(平成28年版) 2) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(平成28年版) 3) 津市公共建築物等木材利用方針
	②施工条件	施工方法及び検査に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。 ※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 ※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 ※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 ※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、歩行者及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※ 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※ 工事着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等があれば、市監督員立会いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。 ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 ※ 隣接する敷地内で、別発注工事がある為、互いに協力し、工事の遂行に影響の無いよう進めること。 ※ 本工事期間中も、施設は運営しているため、工程について、協議の上決定すること。

③発生材の処理等 (1.3.11)

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法		
工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
その他 (アスファルト舗装)	○有・無	○手作業 ○手作業、機械作業の併用

- ・引渡を要するもの(・無)
- ・特別管理産業廃棄物(・有() 処理方法())
- ・アスベスト成形板等解体時の留意点
 1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
 2. 可能であれば湿潤状態(散水)として作業を進めること。
 3. 飛散されない様にする事。
 4. 保護具及び作業着を着用すること。
 5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
 6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。

- 再資源化を図るもの
 - ・コンクリート塊
 - アスファルトコンクリート塊
 - ・建設発生木材

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。

引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

受注者は受注時において延べ面積が500㎡以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出すること。

また、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

⑤三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。

なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。

6.電気保安技術者 (1.3.3)

適用する

7.技能士 (1.5.2)

職種別に可能なものについては積極的に活用すること

⑧建築材料等

9.化学物質の濃度測定 (1.5.9)

1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。

2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

測定対象化学物質(●で示したもとする。)

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所(・図示(図面番号:)・())

測定方法(・パッシブ法 ・アクティブ法)

報告書提出部数 2部

⑩特別な材料の工法

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑪騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑫工事写真

営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(最新版))に従い撮影する。

提出部数 1部 用紙は上質紙とする。

⑬完成図書 (1.7.2)

- 作成する ○完成図 ・保全に関する資料 ・()
 - 完成図作図範囲(設計図を訂正)
- 完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は発注者に移譲するものとする。また、製本2部により提出すること。

⑭完成写真

- デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部
- 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。
- 写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

⑮設備工事との取合い

- 施工範囲
- 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
 - 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
 - ・駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ施工図
 - ・設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

⑯設計GL

- 図示 (現状地盤はB.M mm)

⑰養生その他

工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にない補修すること。

⑱事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。

また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑲消防関係の手続き

- 1) 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成
 - 本工事 (・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事) ・別途工事
- 2) 防火対象物使用開始届出書類の作成(建築図面の作成及び建築に関する部分の記入)を行うこと。

⑳労働安全衛生法に基づく労働衛生防止措置

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

㉑不正軽油の使用の禁止

- 1) 一般事項
 - 市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
- 2) 調査の協力
 - 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
- 3) 是正措置
 - 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

22.屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。

株式会社 田中孝建築設計事務所	一級建築士事務所第1-2091号 三重県津市三重町津興433-47 TEL 059-226-7150 FAX 059-226-4960	一級建築士第123009号 田中 孝	制作年月日	備考	工事名称 津市建設作業事務所車庫等新築その他工事	図面名称・縮尺 新営特記仕様書 1	No. A01 原図 A2
-----------------	---	-----------------------	-------	----	-----------------------------	----------------------	------------------

<p>② 仮設工事</p>	<p>1. 監督員事務所 (2.3.1)</p> <p>・設置する。 監督員事務所の規模 (単位: m²)</p> <table border="1"> <tr> <td>適用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>規模</td> <td>10程度</td> <td>20程度</td> <td>35程度</td> <td>65程度</td> <td>100程度</td> </tr> </table>	適用						規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	<p>5. 試験杭及び試験掘 (4.2.2)</p> <p>・試験杭 位置、本数及び寸法 図示 (図面番号:)</p> <p>・試験掘 位置、本数及び寸法 図示 (図面番号:)</p> <p>6. 杭の支持地盤</p> <p>支持地盤の位置、種類 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()</p> <p>() mm以下</p> <p>7. 水平方向の位置ずれ</p> <p>8. 杭の載荷試験 (4.2.3)</p> <p>試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ ()</p> <p>試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。</p> <p>位置 ・ 図示 (図面番号:) 載荷荷重 () kN</p> <p>報告書 ・ 提出部数 2部</p> <p>9. 地盤の載荷試験 (4.2.4)</p> <p>試験方法 ・ 平板載荷 ・ ()</p> <p>試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。</p> <p>位置 ・ 図示 (図面番号:) 載荷荷重 () kN</p> <p>報告書 ・ 提出部数 2部</p> <p>10. 既製コンクリート杭 (4.3.2)</p> <p>・ PHC杭</p> <p>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種</p> <p>(4.3.3)</p> <p>・ SC杭</p> <p>(4.3.4)</p> <p>・ PRC杭</p> <p>(4.3.5)</p> <p>・ 上記以外の建築基準法に基づく杭 (参考表)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>杭径 (mm)</th> <th>杭長</th> <th>継手数</th> <th>セット数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 先端形状 ・ 開放型 ・ 閉そく型</p> <p>施工方法</p> <p>・ 打込み工法 設計支持力 ()</p> <p>打込み杭の推定支持力の算定方法 ()</p> <p>・ 打撃工法</p> <p>・ プレボーリング打撃併用工法 (掘削深さ 設計GL m 掘削径 mm)</p> <p>・ セメントミルク工法</p> <p>・ オーガーの支持地盤への掘削深さ</p> <p>・ () m ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>・ 杭の支持地盤への根入れ深さ</p> <p>・ () m ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>・ 特定埋込杭工法 (建築基準法に基づく埋込杭工法とする。)</p> <p>継手 ・ アーク溶接 ・ 無溶接継手 (工法:)</p> <p>杭頭の処理 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>11. 鋼杭地業 (4.4.2)</p> <p>・ 鋼管杭 ・ SKK400 ・ SKK490</p> <p>・ H形鋼杭 ・ SHK400 ・ SHK490M</p> <p>(表4.4.2)</p> <p>径 ・ 300 ・ 350 ・ 400 ・ 450 ・ ()</p> <p>(4.4.4)</p> <p>長さ () m</p> <p>(4.3.3)</p> <p>先端形状 ・ 開放形 ・ ()</p> <p>(4.3.5)</p> <p>補強方法 ・ 補強バンド ・ ()</p> <p>(4.3.6)</p> <p>継手 ・ JISA5525 (鋼管ぐい)</p> <p>(4.3.7)</p> <p>施工方法</p> <p>・ 打込み工法 設計支持力 ()</p> <p>打込み杭の推定支持力の算定方法 ()</p> <p>・ 打撃工法</p> <p>・ プレボーリング打撃併用工法 (掘削深さ 設計GL m 掘削径 mm)</p> <p>・ 特定埋込杭工法 (建築基準法に基づく埋込杭工法とする。)</p> <p>杭頭の処理 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>12. 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.3)</p> <p>・ アースドリル工法</p> <p>・ リバース工法</p> <p>(4.5.4)</p> <p>・ オールケーシング工法</p> <p>(4.5.5)</p> <p>・ 鋼管コンクリート杭工法</p> <p>掘削径 () mm</p> <p>・ 行わない ・ 行う ()</p> <p>孔壁の超音波測定 ・ 行う ・ 行わない</p>	種別	杭径 (mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																													<p>13. 地盤改良</p> <p>・ () 工法</p> <p>・ 六価クロム溶出試験</p> <p>・ 室内配合試験</p> <p>・ 一軸圧縮試験</p> <p>⑭ 砂及び砂利地業 (4.6.3)</p> <p>厚さ (mm) ・ 60 〇 図示</p> <p>・ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。</p> <p>⑮ 捨コンクリート地業 (4.6.4)</p> <p>厚さ (mm) ・ 50 〇 図示</p> <p>・ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。</p> <p>⑯ 床下防湿層 (4.6.5)</p> <p>施工範囲 〇 図示</p> <p>ポリエチレンフィルム厚さ 〇 0.15mm以上 ・ ()</p> <p>〇 防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。</p>	<p>⑥ コンクリート工事</p> <p>① コンクリートの種類及び強度 (6.2.1)</p> <p>・ 標準仕様書 [4.5.3] (a) (iii) による ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>・ 設計基準強度 () N/mm²</p> <p>・ セメントの種類 ・ 高炉セメントB種 ・ ()</p> <p>最小かぶり厚さ () mm</p> <p>構造体強度補正值 (S) ・ 3 N/mm² ・ ()</p> <p>② コンクリートの種類 (6.2.2)</p> <p>・ A種 ・ B種</p> <p>③ セメントの種類 (6.2.4)</p> <p>・ 高炉セメントB種 ・ ()</p> <p>④ 防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。</p>	<p>⑦ 鉄筋工事</p> <p>① 鉄筋の種類 (5.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>径</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇 SD295A</td> <td>〇 D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD295B</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〇 SD345</td> <td>〇 D19以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの</p> <p>② 溶接金網 (5.2.2)</p> <p>網目の形状、寸法</p> <p>鉄線の径 (mm) ・ 4 ・ 5 〇 6 ・ ()</p> <p>寸法 (mm) 〇 100×100 ・ 150×150 ・ ()</p> <p>③ 内法直径 (5.3.2)</p> <p>90° 未満の折曲げの内法直径 〇 図示 (図面番号: S-02)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>径</th> <th>部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇 重ね継手</td> <td>〇 D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〇 ガス圧接</td> <td>〇 D19以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ</p> <p>〇 標準仕様書 [5.3.4] (c) (1)</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p> <p>継手位置</p> <p>〇 各部配筋参考図による</p> <p>・ 図示 (図面番号:)</p> <p>鉄筋定着</p> <p>〇 標準仕様書 [表5.3.4] ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>5. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)</p> <p>〇 無し ・ 有り (適用箇所:)</p> <p>最小かぶり厚さ () mm</p> <p>耐久性上不利な部分 (塩害を受けるおそれのある部分等)</p> <p>〇 無し ・ 有り (適用箇所:)</p> <p>最小かぶり厚さ () mm</p> <p>⑥ 各部配筋 (5.3.7)</p> <p>〇 図示 (図面番号: S-09, S-14)</p> <p>⑦ 圧接完了後の試験 (5.4.9)</p> <p>8. 機械式継手及び溶接継手 (5.5.2)</p> <p>・ 機械式継手 種類 () 工法 ()</p> <p>品質の確認方法 ()</p> <p>不良部分の修正方法 ()</p> <p>鉄筋相互のあき () mm</p> <p>・ 溶接継手 工法 ()</p> <p>品質の確認方法 ()</p> <p>不良部分の修正方法 ()</p> <p>鉄筋相互のあき () mm</p>	種類の記号	径	備考	〇 SD295A	〇 D16以下		・ SD295B	・ ()		〇 SD345	〇 D19以上			径	部位	〇 重ね継手	〇 D16以下		〇 ガス圧接	〇 D19以上		<p>⑧ 普通コンクリートの設計基準強度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 Fc</th> <th>適用箇所</th> <th>施工時期</th> <th>スランブ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇 21 (N/mm²)</td> <td>土間</td> <td></td> <td>〇 18 (cm)</td> </tr> <tr> <td>〇 24 (N/mm²)</td> <td>基礎</td> <td></td> <td>〇 18 (cm)</td> </tr> <tr> <td>〇 18 (N/mm²)</td> <td>捨てコンクリート</td> <td></td> <td>〇 18 (cm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑨ 軽量コンクリートの設計基準強度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 Fc</th> <th>適用箇所</th> <th>種類</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>スランブ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(N/mm²)</td> <td></td> <td></td> <td>t/m³</td> <td>(cm)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 常時土又は水に直接接する部分 図示 (図面番号:)</p> <p>⑩ コンクリートの種類 (6.2.1)</p> <p>・ Ⅰ類 ・ Ⅱ類</p> <p>・ 大臣認定品 図示 (図面番号:)</p> <p>⑪ コンクリートの仕上り (6.2.5)</p> <p>合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種類</p> <p>・ A種 〇 B種 ・ C種</p> <p>⑫ セメント (6.3.1)</p> <p>種類 〇 普通ポルトランドセメント、混合セメントA種</p> <p>・ ()</p> <p>高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種</p> <p>・ 適用箇所 図示 (図面番号:)</p> <p>⑬ 骨材 (6.3.1)</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分</p> <p>〇 AL (コンクリート中のアルカリ総量を規制)</p> <p>・ A (安全と認められる骨材を使用)</p> <p>なお、ALで規制できない場合はAとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が、生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。</p> <p>・ 特殊な骨材の使用</p> <p>・ フェロニッケルスラグ細骨材</p> <p>・ 銅スラグ細骨材</p> <p>・ 電気炉酸化スラグ骨材</p> <p>・ 再生骨材H</p> <p>⑭ 混和材料 (6.3.1)</p> <p>混和材料 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>混和剤の種類、使用方法、使用量</p> <p>〇 標準仕様書 [6.3.1] (d) (i)、標準仕様書 [6.3.2] (2) (vi)</p> <p>・ ()</p> <p>混和材の種類、使用方法、使用量</p> <p>〇 標準仕様書 [6.3.1] (d) (i)、標準仕様書 [6.3.2] (2) (vi)</p> <p>・ ()</p> <p>⑮ 型枠 (6.8.2)</p> <p>材料 〇 複合合板 (厚さ (mm)) 〇 12 ・ ()</p> <p>打増し厚さ 〇 図示</p> <p>(6.8.3)</p> <p>誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法</p> <p>(表6.8.1)</p> <p>〇 図示</p> <p>・ 断熱材の兼用</p> <p>・ MCR工法用シート</p> <p>スリーブの材種、規格等</p> <p>・ 標準仕様書 [表6.8.1] ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>⑯ コンクリート強度試験 (6.9.3)</p> <p>圧縮強度試験の供試体の材齢</p> <p>〇 材齢28日 ・ 型枠脱型用</p> <p>〇 材齢28日を超え91日以内</p> <p>⑰ 寒中コンクリート (6.11.2)</p> <p>適用期間 ()</p> <p>〇 調査管理強度、調査強度を積算温度を基に定める</p> <p>⑱ 暑中コンクリート (6.12.2)</p> <p>構造体強度補正值 (S)</p> <p>〇 6 N/mm² ・ ()</p> <p>11. マスコンクリート (6.13.1)</p> <p>適用箇所 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>セメントの種類</p> <p>・ 中熱ポルトランドセメント</p> <p>・ 低熱ポルトランドセメント</p> <p>・ 高炉セメントB種</p> <p>・ フライアッシュセメントB種</p> <p>・ 普通ポルトランドセメント</p>	設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランブ	〇 21 (N/mm ²)	土間		〇 18 (cm)	〇 24 (N/mm ²)	基礎		〇 18 (cm)	〇 18 (N/mm ²)	捨てコンクリート		〇 18 (cm)	設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランブ	(N/mm ²)			t/m ³	(cm)										
	適用																																																																																																													
	規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																																																																								
	種別	杭径 (mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																																																							
種類の記号	径	備考																																																																																																												
〇 SD295A	〇 D16以下																																																																																																													
・ SD295B	・ ()																																																																																																													
〇 SD345	〇 D19以上																																																																																																													
	径	部位																																																																																																												
〇 重ね継手	〇 D16以下																																																																																																													
〇 ガス圧接	〇 D19以上																																																																																																													
設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランブ																																																																																																											
〇 21 (N/mm ²)	土間		〇 18 (cm)																																																																																																											
〇 24 (N/mm ²)	基礎		〇 18 (cm)																																																																																																											
〇 18 (N/mm ²)	捨てコンクリート		〇 18 (cm)																																																																																																											
設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランブ																																																																																																										
(N/mm ²)			t/m ³	(cm)																																																																																																										
<p>③ 仮設便所</p> <p>構内既存の施設 ・ 利用できる 〇 利用できない</p>	<p>④ 工事用水</p> <p>構内既存の施設</p> <p>・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) 〇 利用できない</p>	<p>⑤ 工事用電力</p> <p>構内既存の施設</p> <p>・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) 〇 利用できない</p> <p>本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。</p>	<p>⑥ 足場</p> <p>設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p>	<p>⑦ 交通誘導警備員</p> <p>配置 〇 図示</p>																																																																																																										
<p>③ 土工事</p> <p>① 埋戻し及び盛土 (3.2.3)</p> <p>(表3.2.1)</p> <p>② 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>種別 ・ A種 〇 B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>〇 自由処分</p> <p>・ 処分地指定 処分地 ()</p> <p>・ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km</p>	<p>3. 山留めの撤去 (3.3.3)</p> <p>・ 撤去 ・ 存置</p>																																																																																																													
<p>④ 地業工事</p> <p>1. 杭の施工管理</p> <p>杭工事特記仕様書による。</p> <p>2. 適用基準</p> <p>本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。</p> <p>国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」 (平成28年3月4日)</p> <p>3. 施工記録</p> <p>受注者は、杭の施工期間中は、1 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。</p> <p>なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。</p> <p>4. 根拠資料</p> <p>共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料 (施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等) は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第3 1条第4 項又は第5 項 (第3 8条においてこれらの規定を準用する場合を含む。) の規定による引渡しを受けた日から1 0年とする。</p> <p>また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。</p>	<p>1. 杭の施工管理</p> <p>杭工事特記仕様書による。</p> <p>2. 適用基準</p> <p>本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。</p> <p>国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」 (平成28年3月4日)</p> <p>3. 施工記録</p> <p>受注者は、杭の施工期間中は、1 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。</p> <p>なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。</p> <p>4. 根拠資料</p> <p>共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料 (施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等) は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第3 1条第4 項又は第5 項 (第3 8条においてこれらの規定を準用する場合を含む。) の規定による引渡しを受けた日から1 0年とする。</p> <p>また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。</p>																																																																																																													
<p>株式会社 田中孝建築設計事務所</p> <p>一級建築士事務所第1-2091号 三重県津市三重町津興433-47 TEL 059-226-7150 FAX 059-226-4960</p>	<p>一級建築士第123009号 田中 孝</p>	<p>制作年月日</p> <p>備考</p>	<p>工事名称</p> <p>津市建設作業事務所車庫等新築その他工事</p>	<p>図面名称・縮尺</p> <p>新 営 特 記 仕 様 書 2</p>	<p>No. A02</p> <p>原 図 A2</p>																																																																																																									

<p>12. 無筋コンクリート (6.14.1)</p> <p>13. 流動化コンクリート (6.15.1)</p>	<p>スランブ ・ 15cm ・ ()</p> <p>混和剤 ・ 標準仕様書[6.13.2](b)(1)</p> <p>()</p> <p>適用箇所 標準仕様書[6.14.1]</p> <p>・ 上記以外の適用箇所 ()</p> <p>設計基準強度 ・ 18(N/mm²) ・ () (N/mm²)</p> <p>スランブ ・ 15cm ・ 18cm</p> <p>適用箇所</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p>	<p>10. フィットメント (7.2.7)(7.7.8)</p> <p>① 柱底均しモルタル (7.2.9)</p> <p>(7.10.3)</p> <p>(表7.10.2)</p> <p>12. 材料試験等 (7.2.10)</p> <p>⑬ 仮組 (7.3.10)</p> <p>⑭ 溶接作業における技能資格者 (7.6.3)</p> <p>⑮ 溶接部の開先 (7.6.4)</p> <p>⑯ 溶接施工 (7.6.7)</p> <p>⑰ 溶接部の試験 (7.6.11)</p> <p>⑱ 錆止め塗装 (7.8.3)</p> <p>19. 耐火被覆 (7.9.2)</p> <p>20. 軽量形鋼構造 (7.11.2)</p>	<p>材質、形状及び寸法 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>溶接方法 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>柱底均しモルタルの工法、厚み</p> <p>・ A種 ()mm ① B種(図示)</p> <p>無収縮モルタルの材料及び割合</p> <p>・ 標準仕様書[7.2.9](b) ・ ()</p> <p>板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験</p> <p>・ JIS G 0901により行う</p> <p>① 行わない ・ 行う</p> <p>仮組を行う範囲</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>溶接作業の技量付加試験</p> <p>① 行わない ・ 行う</p> <p>開先の形状</p> <p>① 図示</p> <p>エンドタブの切除</p> <p>・ 適用箇所 図示(図面番号:)</p> <p>板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部</p> <p>・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示(図面番号:)</p> <p>スカラップの形状 ① 図示</p> <p>試験の種類</p> <p>・ 超音波探傷試験 ・ ()</p> <table border="1" data-bbox="964 829 1439 966"> <thead> <tr> <th>溶接区分</th> <th>AOQL(%)</th> <th>検査水準</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場溶接</td> <td>・ 2.5 ・ 4.0</td> <td></td> <td>・ 計数連続生産型抜取検査</td> </tr> <tr> <td>工場溶接</td> <td>・ 2.5 ① 4.0</td> <td>① 6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリ-フの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)</p> <p>① 標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1] ()種</p> <p>耐火被覆材の接着する面への塗装</p> <p>① 行わない ・ 行う</p> <p>適用箇所 図示(図面番号:)</p> <p>種類</p> <p>・ 標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1] ()種</p> <p>・ 標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.2] ()種</p> <table border="1" data-bbox="964 1207 1439 1281"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>種別</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>接合部(ボルト接合の場合)</p> <p>・ 普通ボルト接合 ・ ()</p>	溶接区分	AOQL(%)	検査水準	備考	現場溶接	・ 2.5 ・ 4.0		・ 計数連続生産型抜取検査	工場溶接	・ 2.5 ① 4.0	① 6		部位	種別	仕様							<p>3. ALCパネル (8.4.2)</p> <p>(8.4.3)</p> <p>(8.4.4)</p> <p>(表8.4.2)</p> <p>(8.4.5)</p> <p>(表8.4.3)</p> <table border="1" data-bbox="1647 105 2166 367"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">単位荷重(N/mm²)</th> <th colspan="2">呼び寸法</th> <th rowspan="2">構法</th> <th rowspan="2">耐火性能</th> </tr> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 外壁パネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ 100</td> <td>・ ()</td> <td>・ A種・B種</td> <td>・ ()時間 ・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切壁パネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ 100</td> <td>・ ()</td> <td>・ C種・D種・E種</td> <td>・ ()時間 ・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根パネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ 100</td> <td>・ ()</td> <td>・ F種</td> <td>・ ()時間 ・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 床パネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ 100 ・ 120 ・ 150</td> <td>・ ()</td> <td>・ F種</td> <td>・ ()時間 ・ 無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル幅を300mm以下とする部分 ・ 適用あり</p> <p>外壁、屋根及び床パネル構法</p> <p>風圧力に対応した工法 ・ 適用あり</p> <p>出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅(mm) ・ ()</p> <p>伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する(材料:)</p> <p>4. 押出成形セメント板 (8.5.2)</p> <p>(8.5.3)</p> <p>(8.5.4)</p> <p>(表8.5.1)</p> <p>(8.5.5)</p> <p>(表8.5.2)</p> <table border="1" data-bbox="1647 546 2166 745"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>表面形状及び原料区分</th> <th>板厚(mm)</th> <th>働き幅(mm)</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 外壁パネル</td> <td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切壁パネル</td> <td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ B種 ・ C種</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル相互の目地幅(mm)</p> <p>・ 長辺 8以上、短辺 15以上 ・ ()</p> <p>出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅(mm) ・ 15 ・ ()</p> <p>目地及び隙間の処理 ・ ()</p> <p>外壁パネル構法</p> <p>風圧力に対応した工法 ・ 適用あり</p> <p>間仕切壁パネル構法</p> <p>パネルに欠き込みを行う場合</p> <p>・ パネル開口の限度 ・ 図示(図面番号:)</p>	種類	単位荷重(N/mm ²)	呼び寸法		構法	耐火性能	厚さ(mm)	幅(mm)	・ 外壁パネル	・ ()	・ 100	・ ()	・ A種・B種	・ ()時間 ・ 無し	・ 間仕切壁パネル	・ ()	・ 100	・ ()	・ C種・D種・E種	・ ()時間 ・ 無し	・ 屋根パネル	・ ()	・ 100	・ ()	・ F種	・ ()時間 ・ 無し	・ 床パネル	・ ()	・ 100 ・ 120 ・ 150	・ ()	・ F種	・ ()時間 ・ 無し	種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法	・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・ ()	・ ()	・ B種 ・ C種	<p>(9.2.4)</p> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法</p> <p>ルーフトレンドリ回り及び立ち上がり周辺断熱材の張りじまい位置</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>(9.2.5)</p> <p>保護コンクリートの厚さ</p> <p>こて仕上げ ・ 水下 80mm以上 ・ ()</p> <p>床タイル張り ・ 水下 60mm以上 ・ ()</p> <p>屋上排水溝</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <table border="1" data-bbox="2344 336 2864 441"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)</p> <p>(9.3.3)</p> <p>(表9.3.1)</p> <p>～(表9.3.3)</p> <p>改質アスファルトシート</p> <p>種類 ・ 標準仕様書[表9.3.1] ～[表9.3.3] ・ 図示()</p> <p>厚さ ・ 標準仕様書[表9.3.1] ～[表9.3.3] ・ 図示()</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート</p> <p>種類 ・ 標準仕様書[表9.3.1] ～[表9.3.3] ・ 図示()</p> <p>厚さ ・ 標準仕様書[表9.3.1] ～[表9.3.3] ・ 図示()</p> <p>(9.3.3)</p> <p>仕上塗料</p> <p>・ 図示(図面番号:) 種類() 使用量()</p> <p>脱気装置</p> <p>・ 設置数量 図示(図面番号:) 種類()</p> <p>断熱材</p> <p>・ 屋根露出防水絶縁断熱工法</p> <p>種類() 厚さ() mm</p> <table border="1" data-bbox="2344 808 2864 913"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2)</p> <p>(9.4.3)</p> <p>(表9.4.1)</p> <p>(表9.4.2)</p> <p>(表9.4.3)</p> <p>(9.4.2)</p> <p>絶縁用シート</p> <p>・ 発砲ポリエチレンシート ・ ()</p> <p>固定金具 材質、寸法形状()</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>断熱材 材質、厚さ()</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>(9.4.3)</p> <p>仕上塗料</p> <p>・ 図示(図面番号:) 種類() 使用量()</p> <p>S-M2又はSI-M2で立上りを接着工法</p> <p>立ち上がり面のシート厚さ ・ 15mm ・ () mm</p> <p>屋内保護密着工法</p> <p>モルタル塗り厚さ ・ () mm</p> <p>(9.4.4)</p> <p>床塗りの工法 ・ 標準仕様書[15.2.5](b)(2)(3) ・ ()</p> <p>保護コンクリートの厚さ ・ () mm</p> <p>立上り部の保護モルタル塗り厚さ ・ 7mm以下 ・ () mm</p> <p>(9.4.4)</p> <p>目地処理(S-F1、S-F2、SI-F1、SI-F2、S-C1)</p> <p>PC下地、ALC下地でS-C1の場合 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>増張り(S-F1、SI-F1、S-C1)</p> <p>PC入隅部、ALC下地でS-C1の場合 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>機械的固定工法</p> <p>風圧力に対応した工法 ・ 図示(図面番号:)</p> <table border="1" data-bbox="2344 1554 2864 1680"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>X-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>X-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Y-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Y-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 塗膜防水 (9.5.3)</p> <p>(表9.5.1)</p> <p>(表9.5.2)</p> <p>脱気装置(X-1)</p> <p>・ 設置数量 図示(図面番号:) 種類()</p> <p>保護層(Y-2) ・ 図示(図面番号:)</p> <p>仕上塗料</p> <p>・ 図示(図面番号:) 種類() 使用量()</p> <p>適用部位 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>5. ケイ酸質系塗布防水(9.6.1)</p> <p>(9.6.3)(9.6.4)</p> <p>防水層の種類及び工程 ・ C-UI ・ C-UP</p> <p>下地処理(b)(1)から(3)以外の場合) ・ 図示(図面番号:)</p>	種別	施工箇所							種別	施工箇所							施工箇所	種別		X-1		X-2		Y-1		Y-2	<p>⑦ 鉄骨工事</p>	<p>① 施工管理技術者 (7.1.4)</p> <p>② 製作工場 (7.1.3)</p> <p>(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場</p> <p>・ J ① R ・ M ・ H ・ S</p> <p>③ 鋼材 (7.2.1)</p> <p>④ 高力ボルト (7.2.2)</p> <p>(7.2.2)</p> <p>(7.3.2)</p> <p>(7.4.2)</p> <p>(7.4.7)</p> <p>高力ボルトの径</p> <p>① 図示</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>① 図示</p> <p>すべり係数試験</p> <p>① 行わない ・ 行う 試験方法等 ・ ()</p> <p>JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合</p> <p>・ 回転量()。</p> <p>⑤ 普通ボルト (7.2.3)</p> <p>(7.3.2)</p> <p>(7.4.2)</p> <p>ボルト及びナットの材料等、ボルトの径</p> <p>① 図示</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>① 図示</p> <p>6. 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.3.2)</p> <p>(7.4.2)</p> <p>(7.12.4)</p> <p>摩擦面の処理</p> <p>・ プラスト処理(表面粗度50μmRz以上)</p> <p>・ りん酸塩処理</p> <p>すべり耐力等の確認方法</p> <p>・ すべり耐力試験 試験方法等 ・ ()</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>⑦ アンカーボルト (7.2.4)</p> <p>(7.3.2)</p> <p>(7.10.3)</p> <p>(表7.10.1)</p> <p>(表7.2.3)</p> <p>適用箇所及び種類</p> <p>構造用 ① 図示(図面番号: S-12、S-17) ② ABR400 ・ ()</p> <p>建方用 ① 図示(図面番号: S-12、S-17) ③ SS400 ・ ()</p> <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み</p> <p>・ A種 ① B種 ・ C種</p> <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度</p> <p>① 標準仕様書[表7.2.3]</p> <p>・ 図示</p> <p>構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法</p> <p>① 図示</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>① 図示</p> <p>⑧ 溶接材料 (7.2.5)</p> <p>材料</p> <p>① 標準仕様書[7.2.5](a)(b)以外の溶接材料()</p> <p>⑨ タンバックル (7.2.6)</p> <p>種類及びねじの呼び等</p> <p>① 図示</p> <p>建築用タンバックル鋼 ① 割枠式 ・ ()</p> <p>建築用タンバックルボルト ① 羽子板ボルト ・ ()</p>	<p>8 ・ 押出成形セメントパネル</p> <p>1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)</p> <p>(8.2.4)</p> <p>(8.2.5)</p> <p>(8.3.3)</p> <p>種類</p> <p>・ 空洞ブロック16</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>圧縮強さ、正味厚さ、モジュール呼び寸法</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>各部の配筋</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>コンクリートの調合</p> <p>・ 標準仕様書[表8.2.2]以外のとき</p> <p>・ 21N/mm² ・ ()</p> <p>2. コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2)</p> <p>(8.3.3)</p> <p>ブロックの種類</p> <p>・ 標準仕様書[表8.3.1]</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>圧縮強さ、正味厚さ、モジュール呼び寸法、ブロックの厚さ</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>各部の配筋</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>化粧</p> <p>・ 有り ・ 無し</p>	<p>⑨ 防水工事</p> <p>1. アスファルト防水 (表9.2.3)</p> <p>～(表9.2.8)</p> <p>(9.2.2)</p> <p>(9.2.3)</p> <p>改質アスファルトシート</p> <p>種類 ・ 標準仕様書[表9.2.3] ～[表9.2.8] ・ 図示()</p> <p>厚さ ・ 標準仕様書[表9.2.3] ～[表9.2.8] ・ 図示()</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート</p> <p>種類 ・ 標準仕様書[表9.2.5] ～[表9.2.8] ・ 図示()</p> <p>厚さ ・ 標準仕様書[表9.2.5] ～[表9.2.8] ・ 図示()</p> <p>絶縁用シート</p> <p>・ ポリエチレンフィルム(厚さ 0.15mm以上)</p> <p>・ フラットヤーシクロス(70g/m²)</p> <p>押え金物</p> <p>・ アルミ製 L30×15×2.0 ・ 図示()</p> <p>断熱材</p> <p>・ 屋根保護防水断熱工法</p> <p>種類() 厚さ() mm</p> <p>・ 屋根露出防水断熱工法</p> <p>種類() 厚さ() mm</p> <p>屋根保護防水</p> <p>立ち上がり部の保護コンクリート ・ 図示(図面番号:)</p> <p>乾式保護材 ・ 使用する</p> <p>立ち上がり部保護れんが ・ JIS R 1250 ・ ()</p> <p>(表9.2.7)</p> <p>脱気装置</p> <p>・ 設置数量 図示(図面番号:) 種類()</p> <p>(表9.2.7)</p> <p>屋根露出防水における仕上塗料</p> <p>(表9.2.8)</p> <p>(表9.2.9)</p> <p>屋内防水密着工法における保護層</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>(9.2.4)</p> <p>防水層の下地モルタル塗り</p> <p>・ 図示(図面番号:)</p> <p>立ち上がりのコンクリート打放し仕上げの種別</p> <p>種類 ・ B種 ・ ()</p>	<p>図面名称・縮尺</p> <p>No. A03</p> <p>原図 A2</p>
溶接区分	AOQL(%)	検査水準	備考																																																																																																					
現場溶接	・ 2.5 ・ 4.0		・ 計数連続生産型抜取検査																																																																																																					
工場溶接	・ 2.5 ① 4.0	① 6																																																																																																						
部位	種別	仕様																																																																																																						
種類	単位荷重(N/mm ²)	呼び寸法		構法	耐火性能																																																																																																			
		厚さ(mm)	幅(mm)																																																																																																					
・ 外壁パネル	・ ()	・ 100	・ ()	・ A種・B種	・ ()時間 ・ 無し																																																																																																			
・ 間仕切壁パネル	・ ()	・ 100	・ ()	・ C種・D種・E種	・ ()時間 ・ 無し																																																																																																			
・ 屋根パネル	・ ()	・ 100	・ ()	・ F種	・ ()時間 ・ 無し																																																																																																			
・ 床パネル	・ ()	・ 100 ・ 120 ・ 150	・ ()	・ F種	・ ()時間 ・ 無し																																																																																																			
種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法																																																																																																				
・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種																																																																																																				
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・ ()	・ ()	・ B種 ・ C種																																																																																																				
種別	施工箇所																																																																																																							
種別	施工箇所																																																																																																							
施工箇所	種別																																																																																																							
	X-1																																																																																																							
	X-2																																																																																																							
	Y-1																																																																																																							
	Y-2																																																																																																							
<p>株式会社 田中孝建築設計事務所</p>	<p>一級建築士事務所第1-2091号 一級建築士第123009号</p> <p>三重県津市三重町津興433-47 田中孝</p> <p>TEL 059-226-7150 FAX 059-226-4960</p>	<p>制作年月日</p> <p>備考</p>	<p>工事名称</p> <p>津市建設作業事務所車庫等新築その他工事</p>	<p>図面名称・縮尺</p> <p>No. A03</p> <p>原図 A2</p>																																																																																																				

カーテンウォール工事

17. 種類 (17.1.1) (17.1.3) 2. 性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2) 3. メタルカーテンウォール (17.2.3) (17.2.5) (17.2.6) 4. PCカーテンウォール (17.3.3) (17.3.4) (17.3.5) (17.3.6) (17.3.9)

内装工事

19. 1. ビニル床シート張り (19.2.2) 2. ビニル床タイル張り (19.2.2) 3. 特殊機能床材 (19.2.2) 4. ビニル幅木 (19.2.2) 5. 施工 (19.2.3) 6. カーペット敷き (19.3.3) (19.3.4) (表19.3.1) (表19.3.2)

8. フローリング張り (19.5.2) (19.5.4) (19.5.5) (19.5.6) (19.5.7) 9. 畳敷き (19.6.2) (表19.6.1) 10. セッコウボード、その他のボード及び合板張り (19.7.2) (19.7.3) (19.7.4) (表19.7.4) (表19.7.5)

吸音材張り

11. 吸音材張り (19.7.2) 12. 壁紙張り (19.8.2) 13. 断熱材 (19.9.2)

ユニット及びその他工事

1. フリーアクセスフロア (20.2.2) 2. 可動間仕切 (20.2.3) 3. 移動間仕切 (20.2.4) 4. トイレブース (20.2.5)

塗装工事

18. 1. 材料 (18.2.2) (18.14.2) 2. 施工一般 (18.7.2) (18.7.1) (18.7.4) 3. 耐候性塗料塗り (DP) (18.7.2) (表18.7.1) (18.7.4)

合成樹脂塗床

7. 合成樹脂塗床 (19.4.2) (表19.4.4) (表19.4.5) (表19.4.8)

制作年月日 備考

株式会社 田中孝建築設計事務所

一級建築士事務所第1-2091号 三重県津市三重町津興433-47 TEL 059-226-7150 FAX 059-226-4960

一級建築士第123009号 田中孝

工事名称 津市建設作業事務所車庫等新築その他工事

図面名称・縮尺 No. A06 原図 A2 新営特記仕様書 6

20 ユニット及びその他工事

5. 階段滑り止め (20. 2. 6) ・ ステンレスSUS304製 ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き) ・ () 寸法 ・ 約35mm ・ 図示(図面番号:) 工法 ・ 接着工法 ・ 埋込み工法

6. 黒板及びホワイトボード (20. 2. 8) 黒板の種類 ・ 焼付け ・ () 黒板の色 ・ 緑 ・ ()

7. 鏡 (20. 2. 14) 厚さ ・ 5mm ・ (mm)

8. 表示 (20. 2. 10)

区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法
・ 室名札	・ アクリル	・ 5mm	・ ()	・ シルクスクリーン印刷	・ ()
・ 案内板	・ アクリル	・ 5mm	・ ()	・ シルクスクリーン印刷	・ ()

・ 衝突防止表示 図示(図面番号:)
・ 非常用進入口表示 図示(図面番号:)

9. 煙突ライニング (20. 2. 11) 煙突用成形ライニング材 ・ ゴノライト系けい酸加減材
適用安全使用温度 ・ (°C)

10. ブラインド (20. 2. 12)

形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの種類
・ 横形ブラインド	・ アルミニウム合金	・ ギヤ式	・ 25	・ 鋼製
・ 縦形ブラインド	・ アルミニウム合金	・ ギヤ式	・ 80	・ ()

11. ロールスクリーン (20. 2. 13) 操作方法 ・ スプリング式 ・ コード式 ・ 電動式
寸法及び材種 ・ 図示(図面番号:)

12. カーテン及びカーテンレール (20. 2. 14)

カーテンの形式等

きれ地	ひだの種類	形式	開閉操作
・ ドレープ	・ フランスひだ	・ 片引き	・ 手引き
・ レース	・ 箱ひだ	・ つまひだ	・ ひも引き
・ 図示()	・ プレーンひだ	・ 片ひだ	・ 電動

・ 暗幕(遮光()級) ・ () ・ () ・ ()

カーテンレール ・ アルミ製 ・ ステンレス製
強さ区分 ・ 10-90 ・ ()
形状 ・ シングル ・ ダブル
断面形状 ・ 角形 ・ C形 ・ D形

13. プレキャストコンクリート工事 (20. 3. 2) 補強鉄線の径 ・ 3.2mm ・ ()
設計基準強度Fc ・ 図示(図面番号:)
配筋 ・ 図示(図面番号:)
取付方法 ・ 図示(図面番号:)

14. 間知石 (20. 4. 2) 種類及び質量区分 ・ 図示(図面番号:)
積み方 ・ 布積み
目塗り ・ ()
伸縮調整目地 ・ 材種() ・ 厚さ(mm)

21 排水工事

1. 排水管 (21. 2. 1) (表21. 2. 1)

材種	管の種類	呼び径	備考
・ 硬質ポリ塩化ビニル管	VP		

2. 排水樹等 (21. 2. 1) ・ 排水樹の種類及び寸法 ・ 図示(図面番号:)
・ 適用荷重()
・ 排水溝の種類及び寸法 ・ 図示(図面番号:)
・ ふた/グレーチングの種類

材質	用途	適用荷重	メインパーピッチ	備考

3. 地業の材料 (21. 2. 1) ・ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利又は切込砕石
・ 砂の粒度試験

4. 埋め戻し土 (21. 2. 1) ・ B種 ・ A種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土

5. 施工 (21. 2. 2) 遠心力鉄筋コンクリート管 厚さ、種類 ・ 図示(図面番号:)
硬質ポリ塩化ビニル管 基床の厚さ、種類 ・ 図示(図面番号:)
継手 ・ 接着剤 ・ ゴム輪

6. 街きよ (21. 3. 1) 緑石、側溝 形状、寸法 ・ 図示(図面番号:)
地業 材料 ・ 標準仕様書[4.6.2] ・ 図示(図面番号:)
厚さ ・ 100mm ・ 図示(図面番号:)

22 舗装工事

1. 路床 (22. 2. 2) 路床の材料(厚さは図示(図面番号:))
・ 遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂
(22. 2. 3) ・ 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ ()
(表22. 2. 2) ・ フィルター層 ・ 砂
(22. 2. 4) 路床安定処理 ・ 行う
(22. 2. 5) 添加材料による安定処理
種類 ・ 普通ポルトランドセメント
・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰()号
・ 消石灰()号
添加量()kg/m²(目標CBR ・ 5以上 ・ ())

ジオテキスタイル ・ 適応する
盛土に用いる材料
・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土
C種の場合: 建設発生土受入量()m³
片道の運搬距離()km
試験 ・ 路床土の支持力比(CBR)試験
・ 路床締固め度の試験
・ 現場CBR試験

2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (表22. 3. 3) (表22. 3. 2) (表22. 3. 5)

舗装の種類	舗装の厚さ(mm)	路盤材料
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシュラン
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシュラン
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ
・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシュラン
・ ()	・ () ・ ()	・ ()

23 植栽工事

3. アスファルト舗装 (22. 4. 2)~ (22. 4. 6) (表22. 4. 1)~ (表22. 4. 6) 舗装厚 ・ A-5-15 ・ ()
・ A-3-10 ・ ()
表層及び基層の種類
・ 加熱アスファルト混合物 ・ 再生加熱アスファルト混合物
路盤材料
・ クラッシュラン ・ 再生材クラッシュラン ・ ()
シールコートの施工 ・ 行う(適用範囲 図示(図面番号:))
試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験

4. コンクリート舗装 (22. 5. 2)~ (22. 5. 6) 早強セメント ・ 使用しない ・ 使用する
注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ
目地 ・ 種類() ・ 間隔()
構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ ()

5. カラー舗装 (22. 6. 2) (22. 6. 3) 種類
・ 加熱系 構成及び厚さ()
混合物 ・ アスファルト ・ 石油樹脂系
添加材 ・ 着色骨材 ・ 自然石
・ 常温系
着色部下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装

6. 透水性アスファルト舗装 (22. 7. 2) (表22. 7. 1) 舗装材料及び厚さ
ストレートアスファルト 厚さ(mm) ・ () ・ 図示(図面番号:)

7. ブロック舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)

舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
・ コンクリート平板舗装	・ 普通平板	・ 300角	・ 60	目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し
・ インターロッキングブロック舗装	・ 普通ブロック		・ 80	表面加工 ・ 標準品 ・ ()
	・ 透水性ブロック		・ ()	歩道部 ・ 60 ・ ()
	・ 植生用ブロック		・ 80・100	
・ 舗石舗装	・ 小舗石		・ 80~100	施工方法 ・ ろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

8. 砂利敷き (22. 9. 2) ・ 通路部 ・ A種 ・ B種 ・ ()
・ 建物周囲 ・ B種 ・ A種 ・ ()

23 植栽工事

1. 植栽地の確認 (23. 1. 3) ・ 土壌の水素イオン濃度(pH)試験 ・ 行う
・ 電気伝導度類(EC)の試験 ・ 行う
()の試験 ・ 行う

2. 植栽基盤 (23. 2. 2) (23. 2. 3) (表23. 2. 2) 植栽基盤整備工法
・ 樹木 (・ A種 ・ ())
・ 芝及び地被類 (・ B種 ・ ())
有効土層 面積 ・ 図示(図面番号:)
厚さ ・ 図示(図面番号:)
排水設備 ・ 設ける
(・ 暗きよ ・ 開きよ ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ・ ())
埋込み用土 ・ 現場発生の良質土 ・ 客土
土壌改良材 ・ ()
樹木の種類
・ 図示
寸法
・ 図示
株立数 ・ 図示(図面番号:)
刈込み ・ あり ・ なし
支柱材
・ 丸太(防腐処理方法 ・ 加圧式防腐処理方法 ・ ())
・ ()
支柱形式
・ 鳥居形 ・ ハツ掛け系 ・ ()
幹巻き用材料 ・ 幹巻き用テープ ・ わら ・ もこ

24 外構工事

4. 新植樹木の枯補償 (23. 3. 4) 引渡しの日から 1年 ・ ()

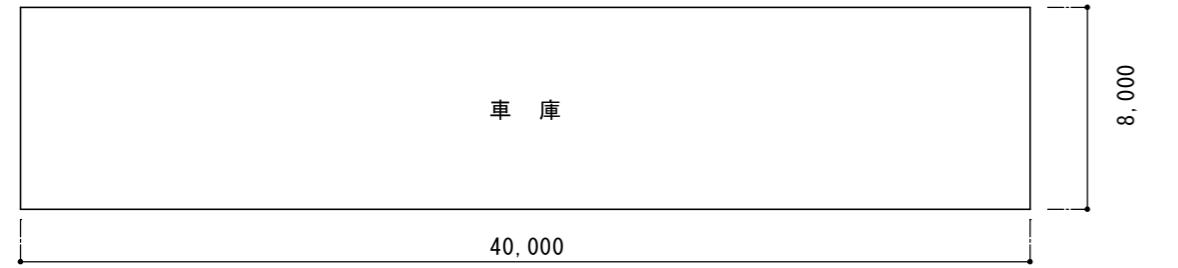
5. 移植樹木の枯損処理 (23. 3. 6) 引渡しの日から ・ 1年 ・ ()

6. 芝 (23. 4. 2) (23. 4. 3) 種類 ・ コウライシバ ・ ノシバ ・ ()

7. 屋上緑化 (23. 5. 3) (23. 5. 4) 植栽基盤及び材料
・ 屋上緑化システム
土壌層の厚さ ・ 図示(図面番号:)
排水量 ・ 軽量骨材(層の厚さ:) ・ 板状成形品
植込み用土 ・ 改良土 ・ 人工軽量土
樹木の材種 図示(図面番号:)
寸法 図示(図面番号:)
株立数 図示(図面番号:)
・ 屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等
・ 図示(図面番号:)
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等
・ 図示(図面番号:)
支柱 ・ 図示(図面番号:)
かん水装置 ・ 図示(図面番号:)

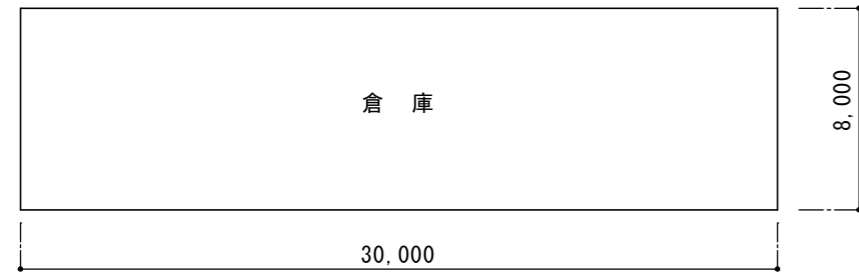
1. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ ()
形式 テーパー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式
脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式
高さ(m) ・ 5 ・ 6 ・ 7

2. フェンス ・ ネットフェンス ・ 網材種(・ ビニル被覆鉄線 ・ ())
・ メッシュフェンス
網材種(・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ())
・ 格子フェンス
網材種(・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ())
・ 目隠フェンス



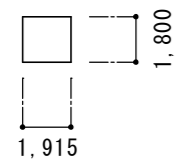
車庫図 1 : 300

建築面積 40.000 × 8.000 = 320.000 320.00㎡
床面積 40.000 × 8.000 = 320.000 320.00㎡



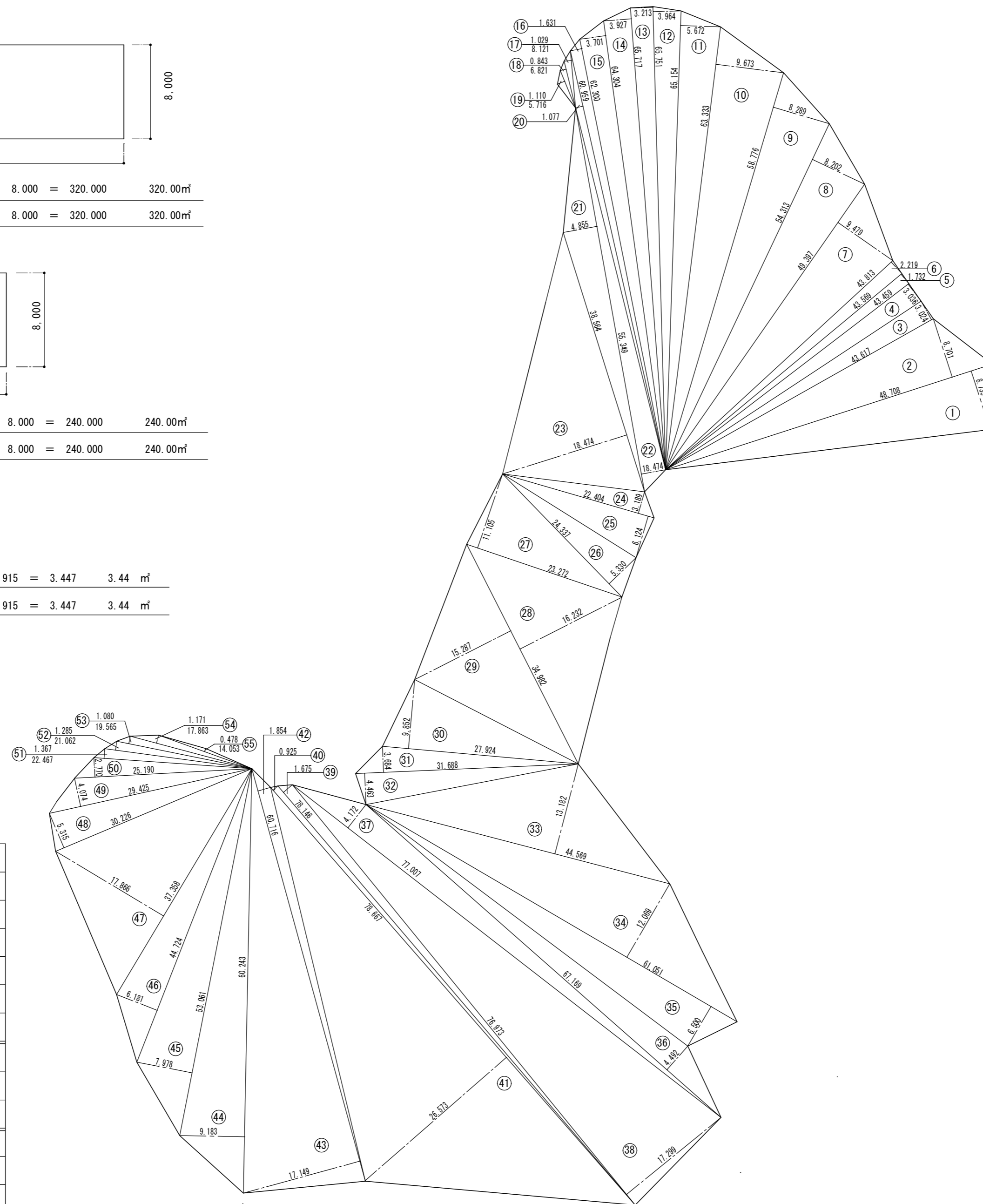
倉庫図 1 : 300

建築面積 30.000 × 8.000 = 240.000 240.00㎡
床面積 30.000 × 8.000 = 240.000 240.00㎡



保管庫図 1 : 300

建築面積 1.800 × 1.915 = 3.447 3.44 ㎡
床面積 1.800 × 1.915 = 3.447 3.44 ㎡



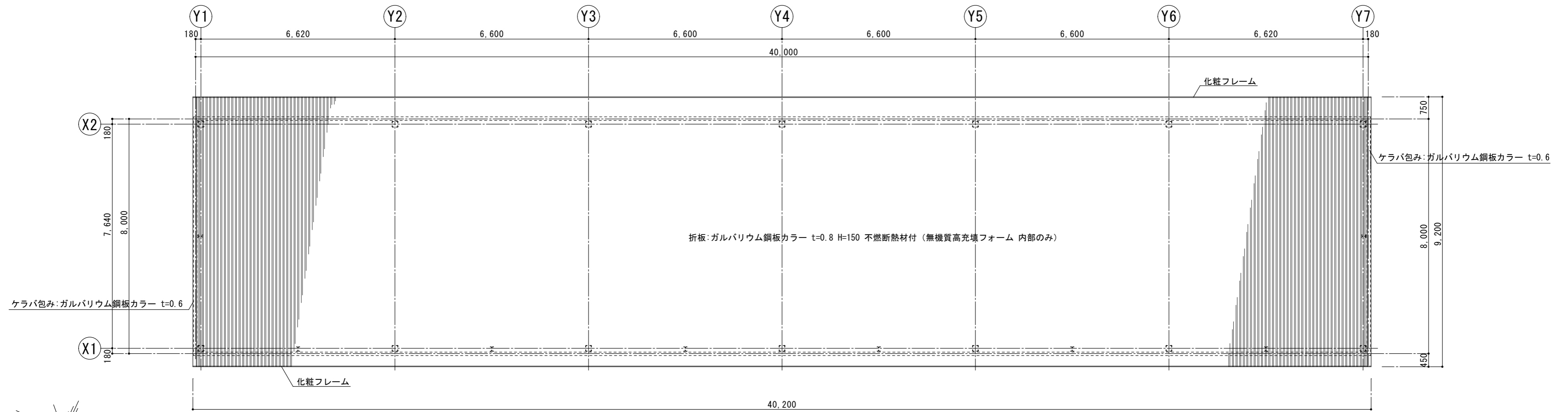
敷地図 1 : 500

番号	底 辺	高 さ	積
1	48.708	8.733	425.367
2	48.708	8.701	423.808
3	43.617	3.024	131.898
4	43.459	3.036	131.942
5	43.569	1.732	75.462
6	43.813	2.219	97.221
7	49.397	9.479	468.234
8	54.313	8.202	445.475
9	58.776	8.289	487.194
10	63.333	9.673	612.620
11	65.154	5.672	369.553
12	65.751	3.964	260.637
13	65.751	3.213	211.258
14	65.717	3.927	258.071
15	64.304	3.701	237.989
16	62.300	1.631	101.611
17	8.121	1.029	8.357
18	6.821	0.843	5.750
19	5.716	1.110	6.345
20	60.959	1.077	65.653
21	55.349	4.855	268.719
22	55.349	3.492	193.279
23	38.564	18.474	712.431
24	22.404	3.189	71.446
25	22.404	6.124	137.202
26	24.337	5.330	129.716
27	23.272	11.105	258.436
28	34.982	16.232	567.828
29	34.982	15.287	534.770
30	27.924	9.852	275.107
31	31.688	3.684	116.739
32	31.688	4.463	141.424
33	44.569	13.182	587.509
34	61.051	12.069	736.825
35	61.051	6.500	396.832
36	67.169	4.492	301.723
37	77.007	4.172	321.273
38	76.973	17.299	1,331.556
39	78.146	1.675	130.895
40	78.667	0.925	72.767
41	78.667	26.573	2,090.418
42	60.716	1.854	112.567
43	60.716	17.149	1,041.219
44	60.243	9.183	553.211
45	53.061	7.978	423.321
46	44.724	6.181	276.439
47	37.358	17.866	667.438
48	30.226	5.315	160.651
49	29.425	4.074	119.877
50	25.190	2.770	69.776
51	22.467	1.367	30.712
52	21.062	1.285	27.065
53	19.565	1.080	21.130
54	17.863	1.171	20.918
55	14.053	0.478	6.717
合計			17,732.381
1/2			8,866.1905
面積			8,866.190
敷地面積			8,866.190

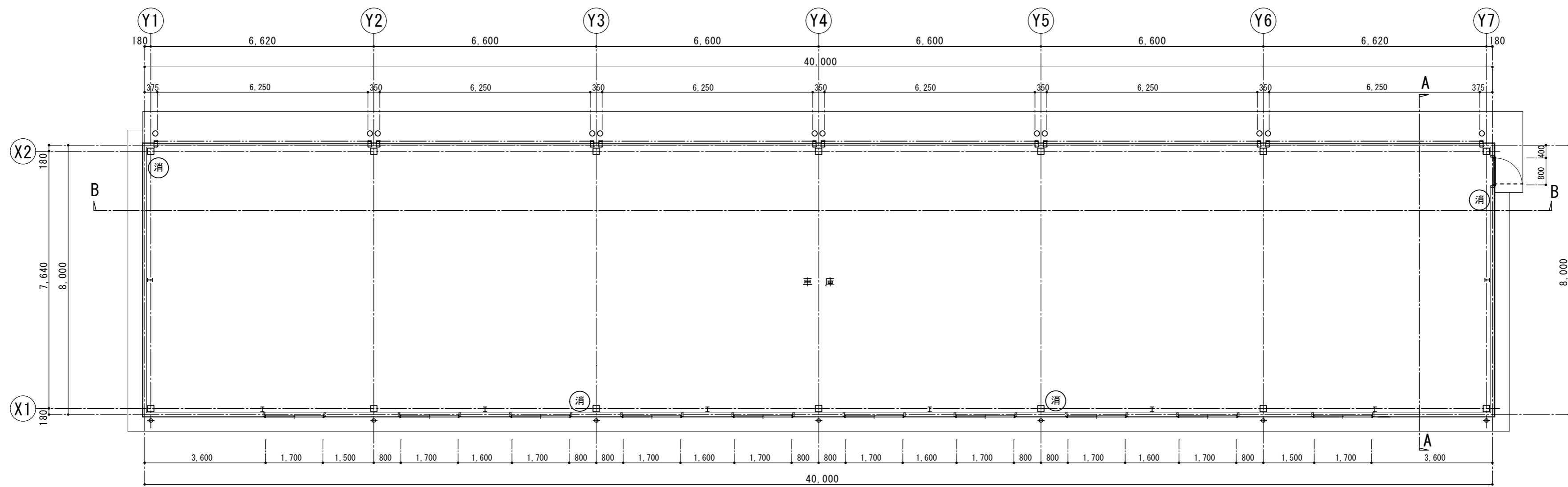
敷地面積		8,866.19	
		建築面積	床面積
新築	車庫	320.00	320.00
	倉庫	240.00	240.00
	保管庫	3.44	3.44
	計	563.44	563.44
既設	事務所棟	365.08	1階 351.50 2階 132.58
	計	365.08	484.08
合計	928.52	1,047.52	
容積率	1,047.52 / 8,866.19 = 0.118		11.8%
建ぺい率	928.52 / 8,866.19 = 0.104		10.4%

外部仕上表			
屋根	折板 ガルバリウム鋼板カラー t=0.8 H=150 不燃断熱材付（無機質高充填フォーム 内部のみ）	軒樋	硬質塩化ビニル 前高W180（カラー） 受け金物：ステンレス
ケラバ包み	ガルバリウム鋼板カラー t=0.6	縦樋	硬質塩化ビニル VP100（カラー） つかみ金物：ステンレス
庇	鋼製 W1010×D600程度 既製品（LIXIL：ユニットひさし キャピアク型 HDAKAA-K07406-Z 同等品）	土間コンクリート	コンクリート金ゴテ直均し仕上げ 浸透性表面硬化剤 成形伸縮目地
軒天	現し	犬走り	コンクリート金ゴテ直均し仕上げ
外壁	ガルバリウム鋼板角波カラー t=0.4	ネットフェンス	詳細図参照
基礎立上り	コンクリート打放し（補修）	ガードポール	詳細図参照
水切り	ガルバリウム鋼板カラー t=0.4		
鉄部	DP塗り		
建具	アルミサッシ、電動スチールシャッター DP 塗り		

内部仕上表						
室名		床	幅木	壁	天井	備考
車庫	仕上	コンクリート金ゴテ直均し仕上げ 浸透性表面硬化剤	コンクリート打放し（補修）	ガルバリウム鋼板角波カラー t=0.4	折板のまま	5.030 ? 4.760 成形伸縮目地 25×150 アンカータイプ 鉄部 SOP塗り
	下地	RC	RC	S		
倉庫	仕上	コンクリート金ゴテ直均し仕上げ 浸透性表面硬化剤	コンクリート打放し（補修）	ガルバリウム鋼板角波カラー t=0.4	折板のまま	3.710 ? 3.360 成形伸縮目地 25×150 アンカータイプ 鉄部 SOP塗り
	下地	RC	RC	S		

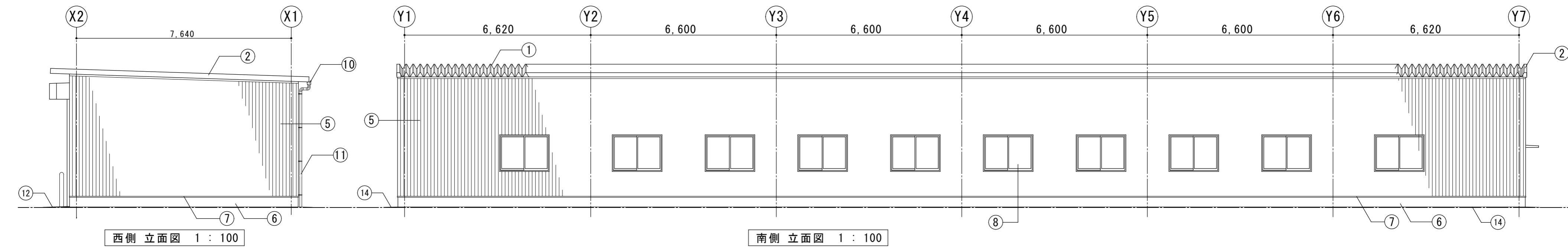
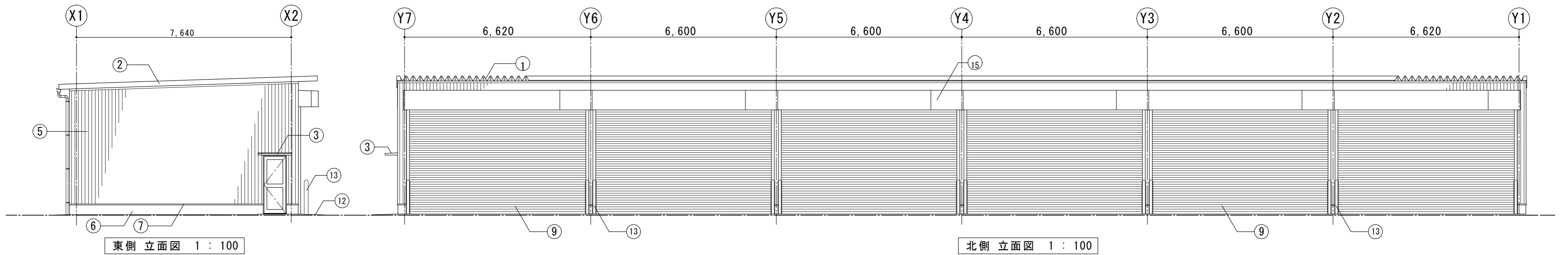


屋根伏図 1 : 100

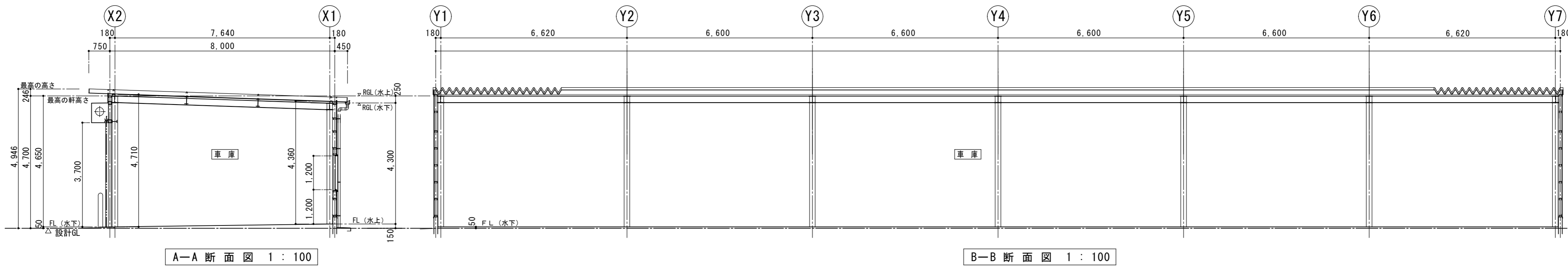


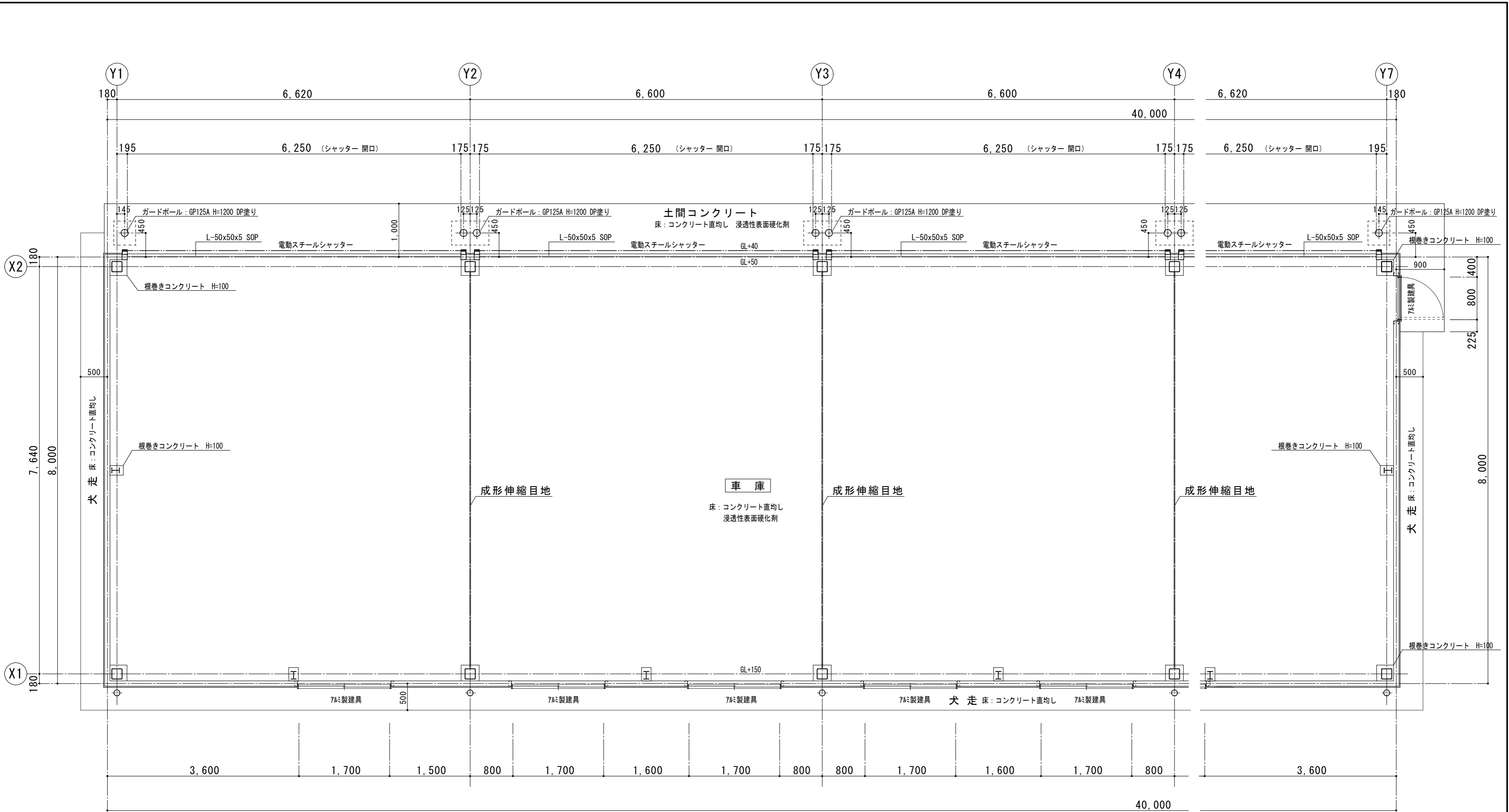
平面図 1 : 100

○ 消 粉末消火器ABC10型
 ※車庫内には少量危険物、指定可燃物の収容なし。

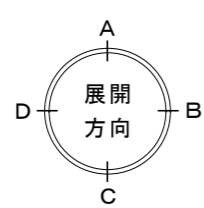
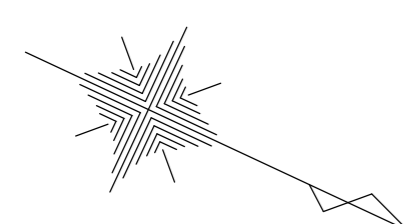


記号	名称	外部仕上表	記号	名称	外部仕上表
1	屋根	折板 ガルバリウム鋼板カラー t=0.8 H=150 不燃断熱材付 化粧フレーム付	9	建具	電動スチールシャッター DP塗り
2	ケラバ包み	ガルバリウム鋼板カラー t=0.6	10	軒 樋	硬質塩化ビニル 前高W180 (カラー) つかみ金物: ステンレス
3	鋼製庇	鋼製 W1,010×D600 程度 既製品	11	縦 樋	硬質塩化ビニル VP100 (カラー) つかみ金物: ステンレス
4	軒 天	現し	12	ポーチ	コンクリート金ゴテ直仕上げ 浸透性表面硬化剤
5	外 壁	ガルバリウム鋼板角波カラー t=0.4	13	ガードポール	GP 125A H=1200 DP塗り
6	基礎立上り	コンクリート打放し (補修)	14	犬走り	コンクリート金ゴテ直仕上げ
7	水切り	ガルバリウム鋼板カラー t=0.4	15	鉄 部	DP塗り
8	建 具	アルミサッシ (無着色陽極酸化被膜)			

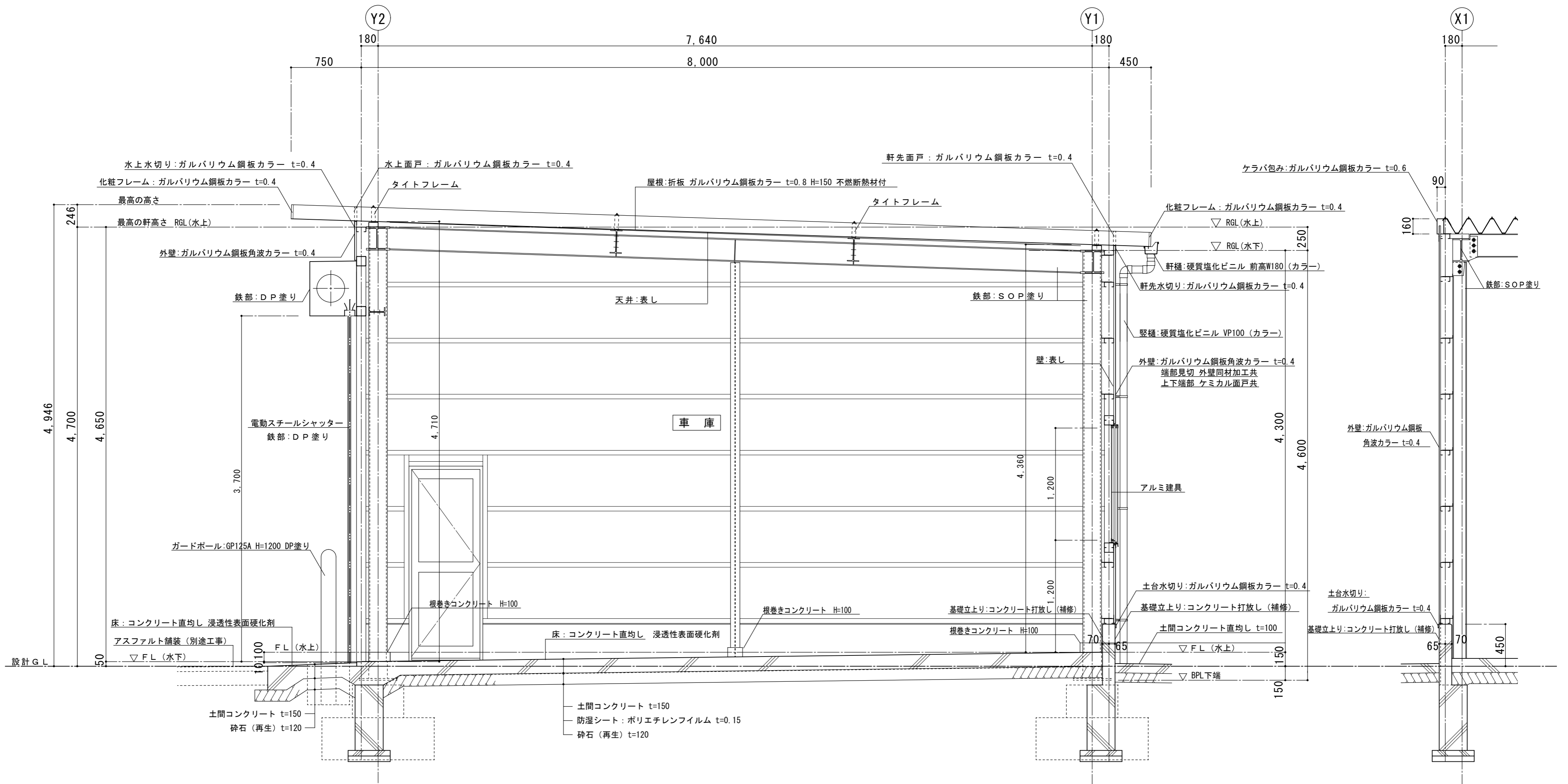




平面詳細図 1 : 50

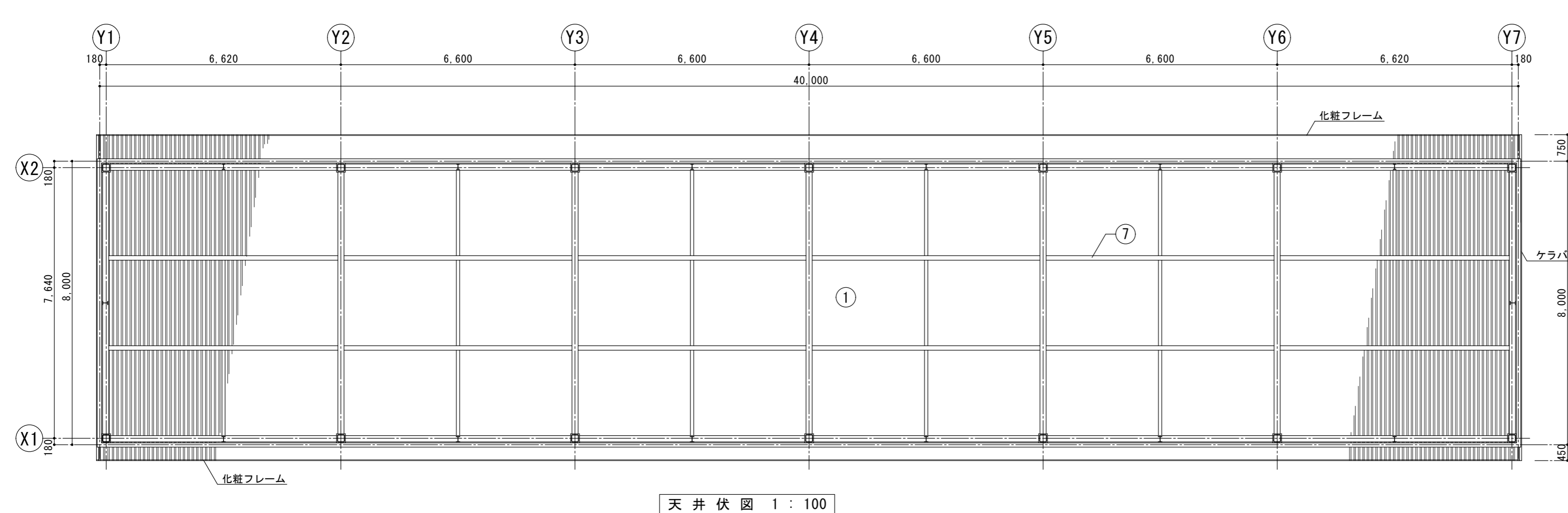
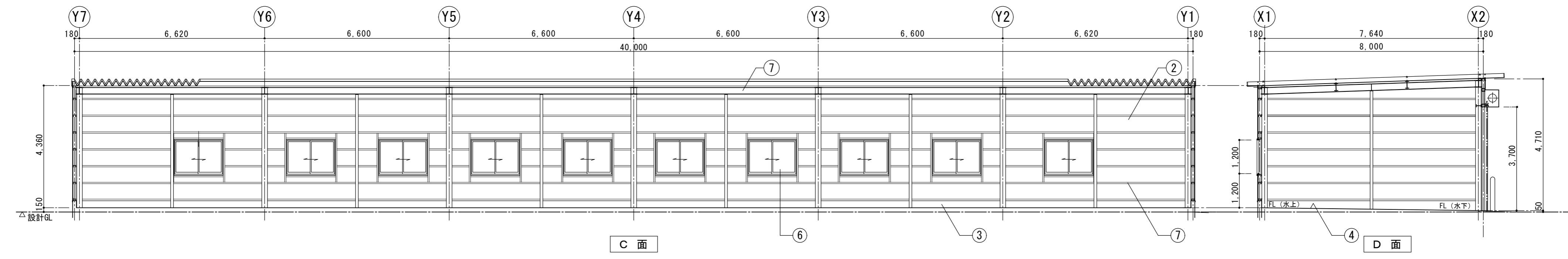
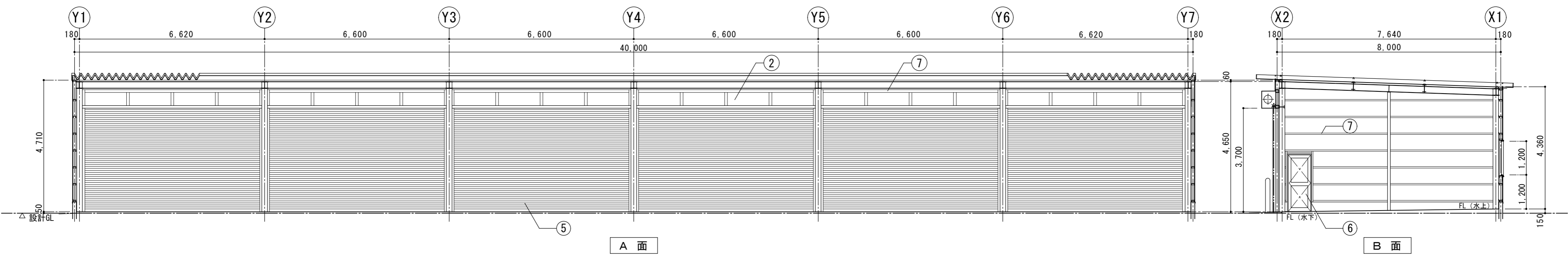


株式会社 田中孝建築設計事務所 一級建築士事務所第1-2091号 三重県津市三重町津興433-47 TEL 059-226-7150 FAX 059-226-4960	一級建築士第123009号 田中 孝	制作年月日 備考	工事名称 津市建設作業事務所車庫等新築その他工事	図面名称・縮尺 車庫 平面詳細図 1 : 50	No. A14 原図 A2
--	-----------------------	-------------	-----------------------------	----------------------------	------------------



矩計図 1 : 30

<p>株式会社 田中孝建築設計事務所</p>	<p>一級建築士事務所第1-2091号 一級建築士第123009号 三重県津市三重町津興433-47 田中 孝 TEL 059-226-7150 FAX 059-226-4960</p>	<p>制作年月日</p>	<p>備考</p>	<p>工事名称 津市建設作業事務所車庫等新築その他工事</p>	<p>図面名称・縮尺 車庫 矩計図 1 : 30</p>	<p>No. A15 原図 A2</p>
------------------------	---	--------------	-----------	-------------------------------------	----------------------------------	--------------------------

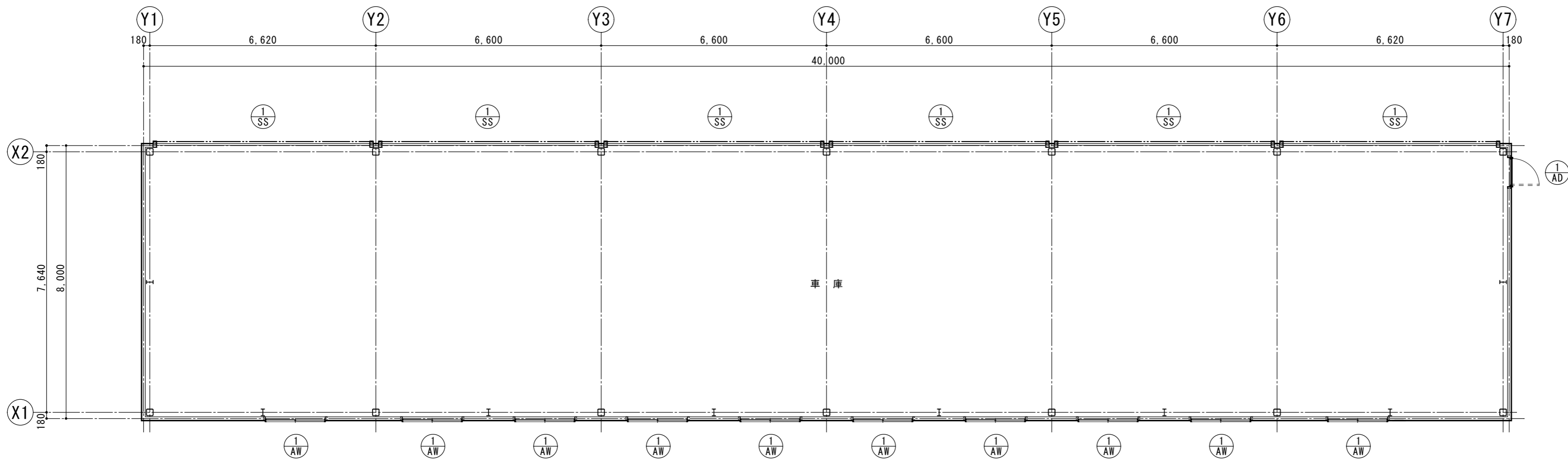


記号	名称	外部仕上表
1	天井	表し
2	壁	表し
3	基礎立上り	コンクリート打放し(補修)
4	床	コンクリート金ゴテ直均し 浸透性表面硬化剤
5	建具	電動スチールシャッター DP塗り
6	建具	アルミサッシ(無着色陽極酸化被膜)
7	鉄部	SOP塗り
8		

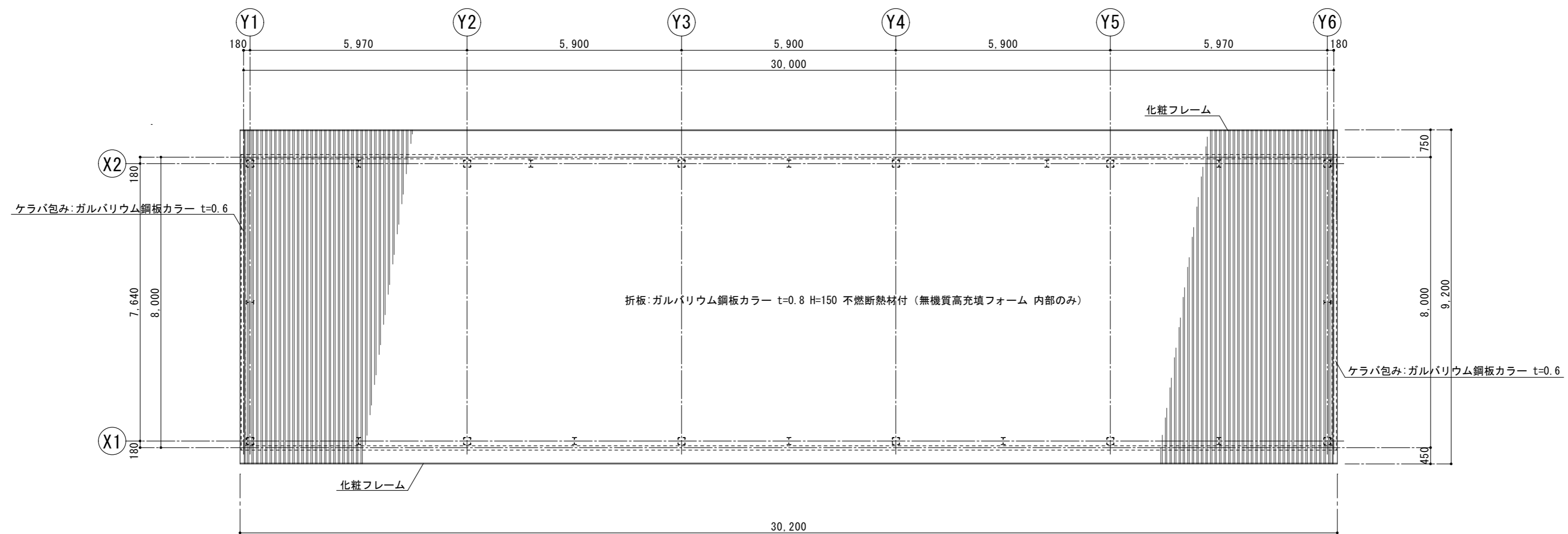
天井伏図 1 : 100

記号	数量	AD-1 片開き扉ドア (半外付け)	1	AW-1 引違い窓 (半外付け)	10	SS-1 電動スチールシャッター (外巻)	6
形状							
	車庫		車庫		車庫		S = 1 : 100
仕上・材料	アルミ B-1 (陽極酸化塗装複合被膜)		—		溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6 DP塗り 座板 : SUS		
金物	丁番 DC シリンダー本締錠 (内サムターン)		クレセント 他メーカー仕様による		メーカー仕様による		
見込厚	70		—		—		
硝子	FW 6.8		—		—		
備考	下枠 : SUS		—		耐風型 外付角ケース DP塗り スイッチ (二次側配線含む)		

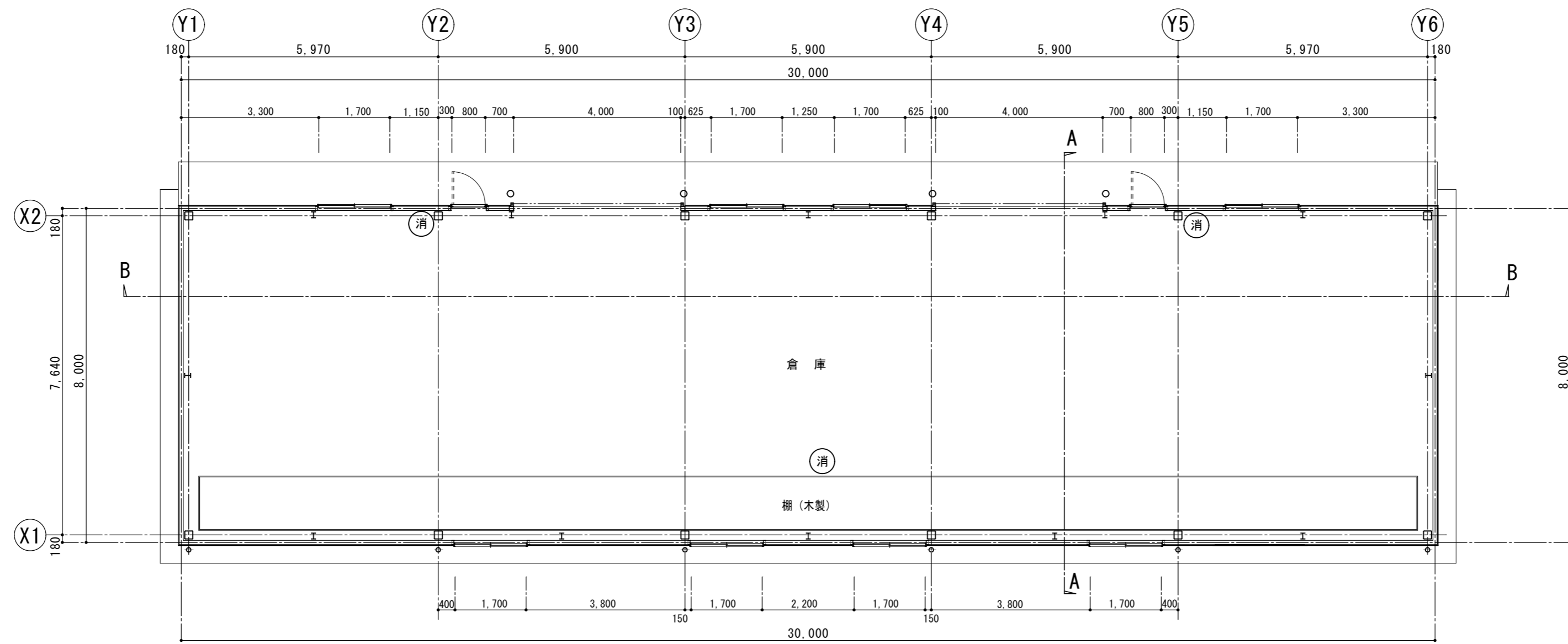
- 建具特記事項
- 1 . 建具寸法は特記なき限り、枠内法寸法とする。
 - 2 . アルミ製建具の水切板は既製押出型材を原則とする。
止むを得ない場合は曲げ材 (t = 2.0以上) を使用しても良い。
 - 3 . 把手は特記なき限りレバーハンドル型、ステンレスヘアライン 仕上げとする。
 - 4 . クレセントは亜鉛ダイキャストハンドル式、ダブルロック付とする。
 - 5 . 錠は特記なき限りシリンダー錠とする。
 - 6 . 沓摺の材質は全て SUS304 とする。



平面図 1 : 100

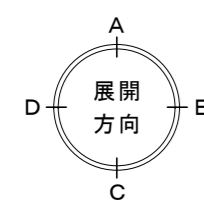
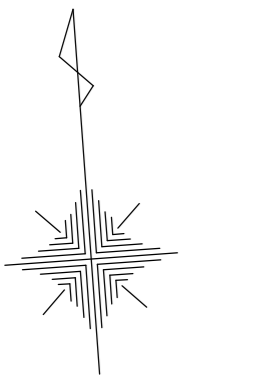


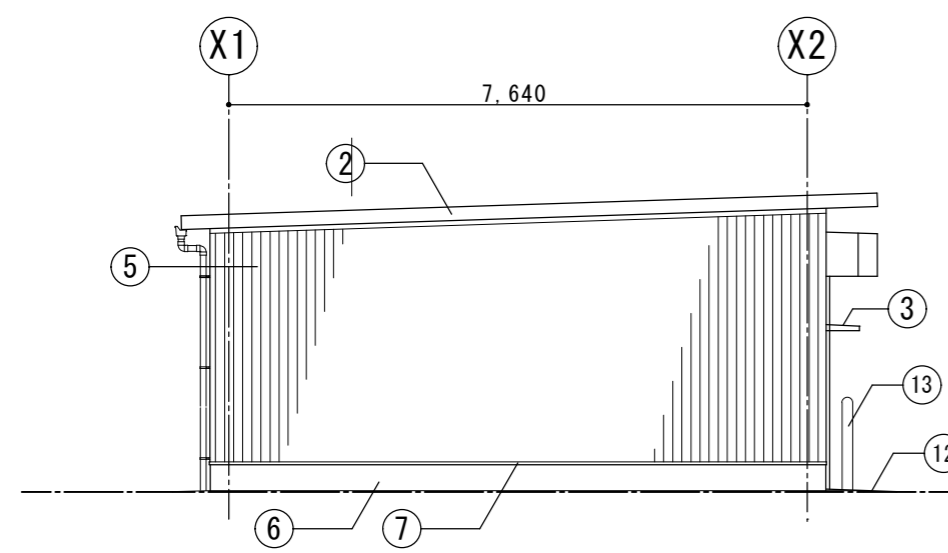
屋根伏図 1 : 100



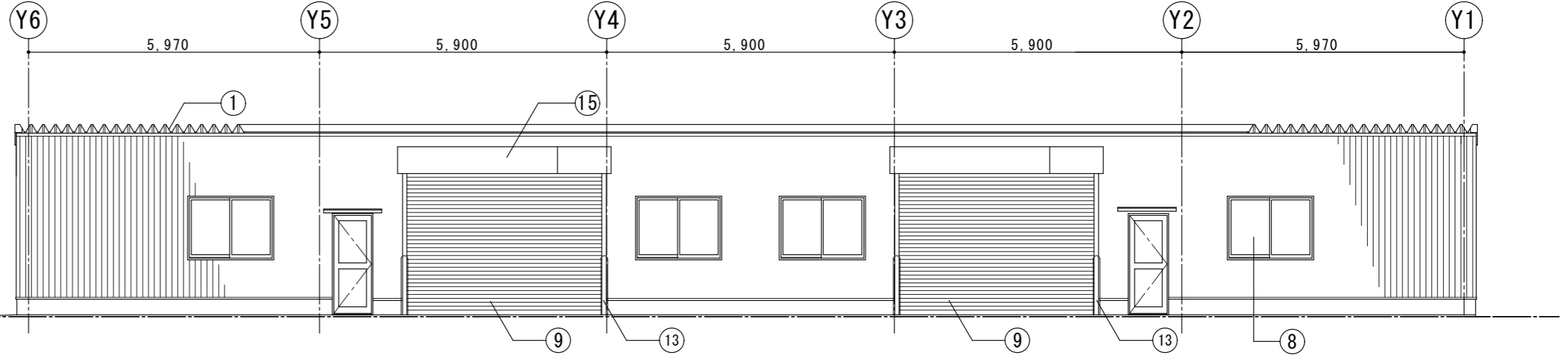
平面図 1 : 100

○ 粉末消火器ABC10型 (床置台共)
 ※倉庫内には少量危険物、指定可燃物の収容なし。

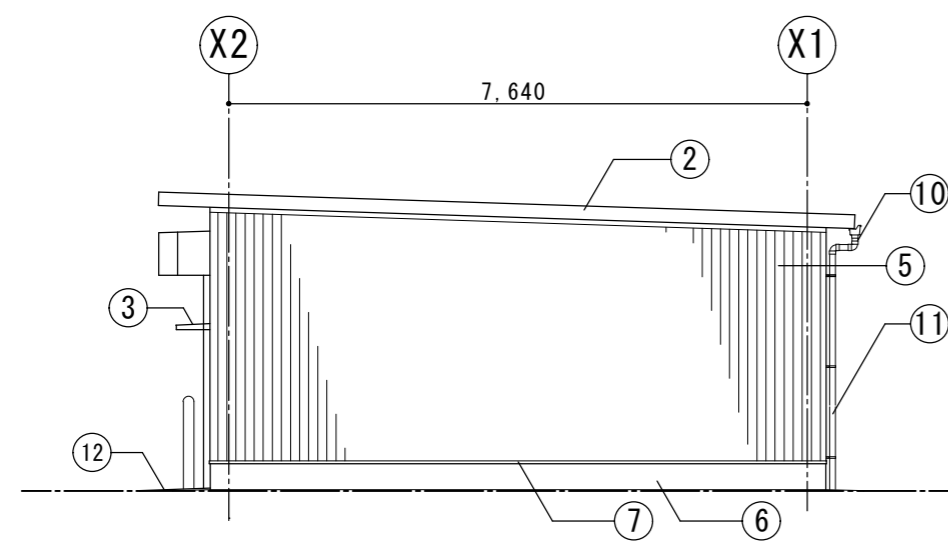




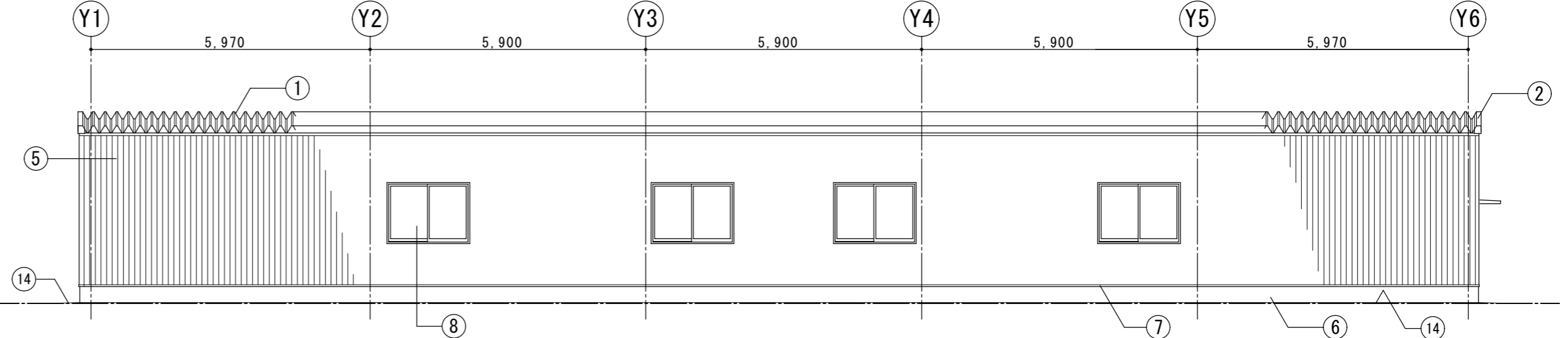
東側立面図 1 : 100



北側立面図 1 : 100

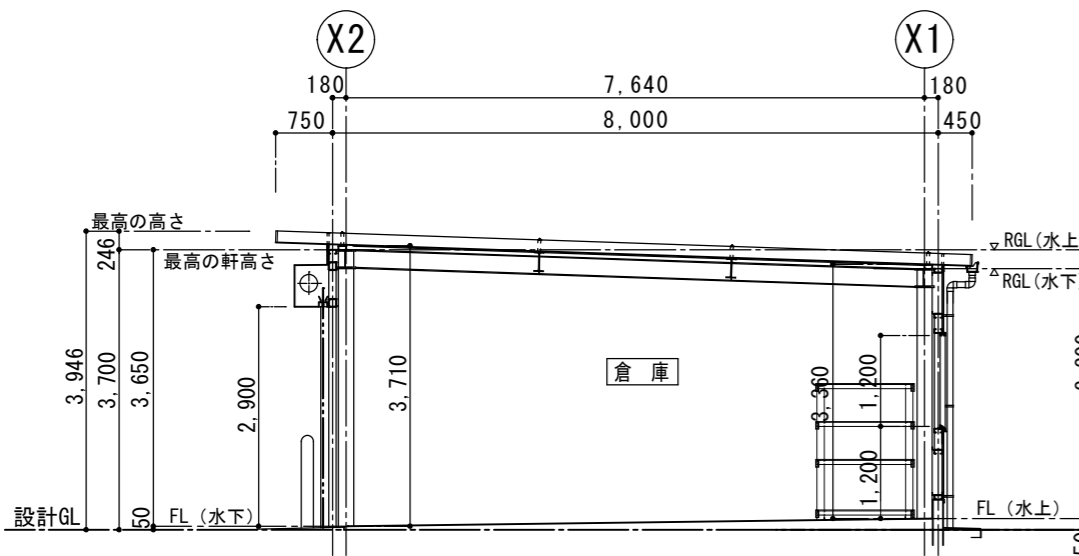


西側立面図 1 : 100

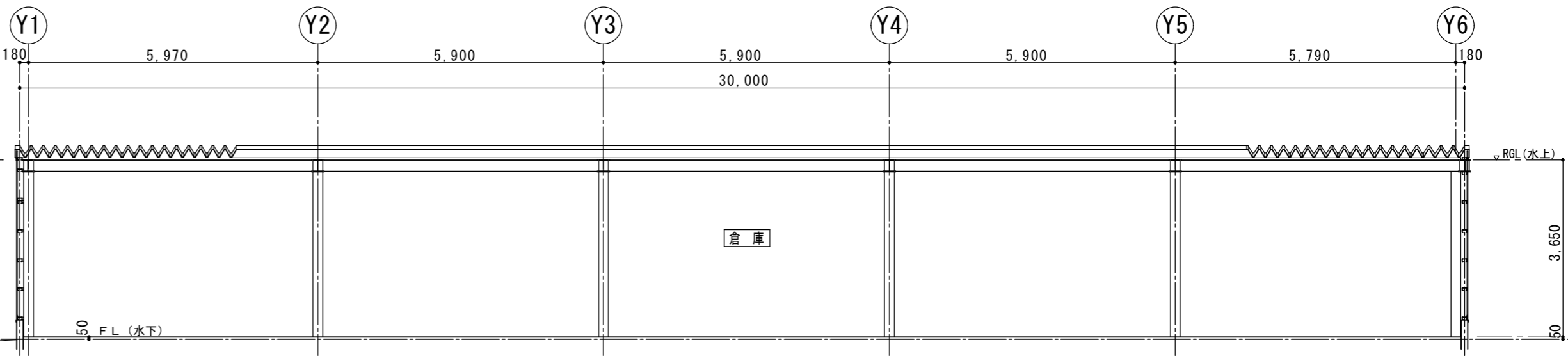


南側立面図 1 : 100

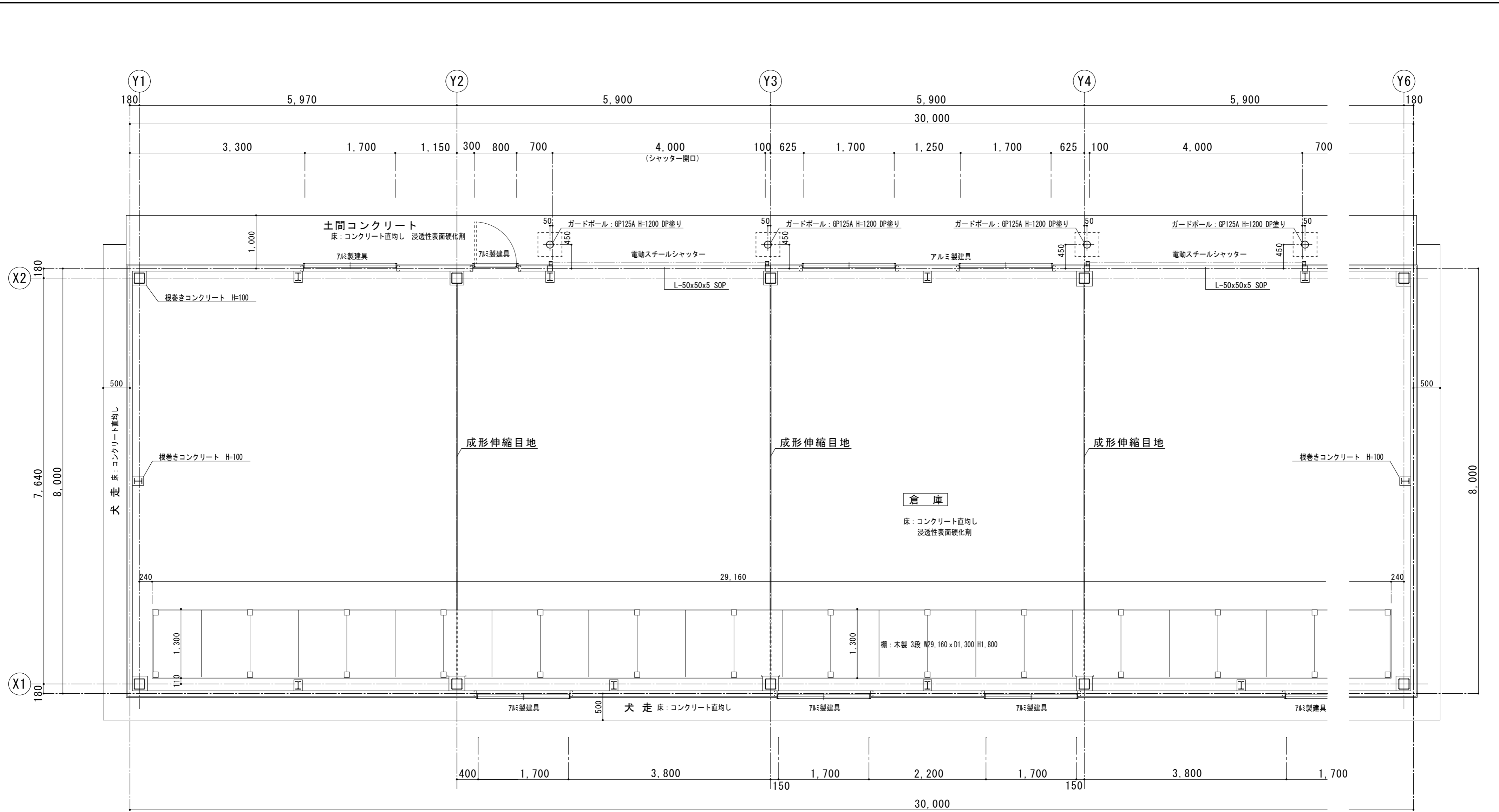
記号	名称	外部仕上表	記号	名称	外部仕上表
1	屋根	折板 ガルバリウム鋼板カラー t=0.8 H=150 不燃断熱材付 化粧プレーム付	9	建具	電動スチールシャッター DP塗り
2	ケラバ包み	ガルバリウム鋼板カラー t=0.6	10	軒樋	硬質塩化ビニル 前高W180 (カラー) つかみ金物: ステンレス
3	鋼製庇	鋼製 W1,010×D600 程度 既製品	11	縦樋	硬質塩化ビニル VP100 (カラー) つかみ金物: ステンレス
4	軒天	表し	12	ポーチ	コンクリート金ゴテ直均し仕上げ 浸透性表面硬化剤
5	外壁	ガルバリウム鋼板角波カラー t=0.4	13	ガードポール	GP 125A H=1200 DP塗り
6	基礎立上り	コンクリート打放し (補修)	14	犬走り	コンクリート金ゴテ直均し仕上げ
7	水切り	ガルバリウム鋼板カラー t=0.4	15	鉄部	DP塗り
8	建具	アルミサッシ (無着色陽極酸化被膜)			



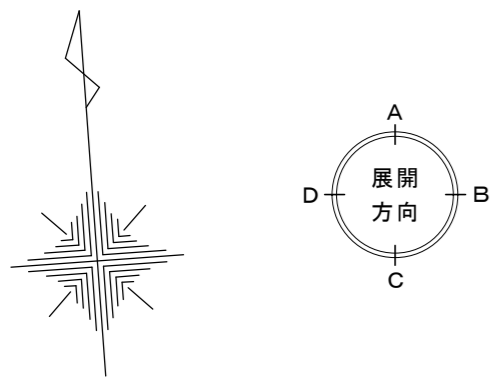
A-A断面図 1 : 100

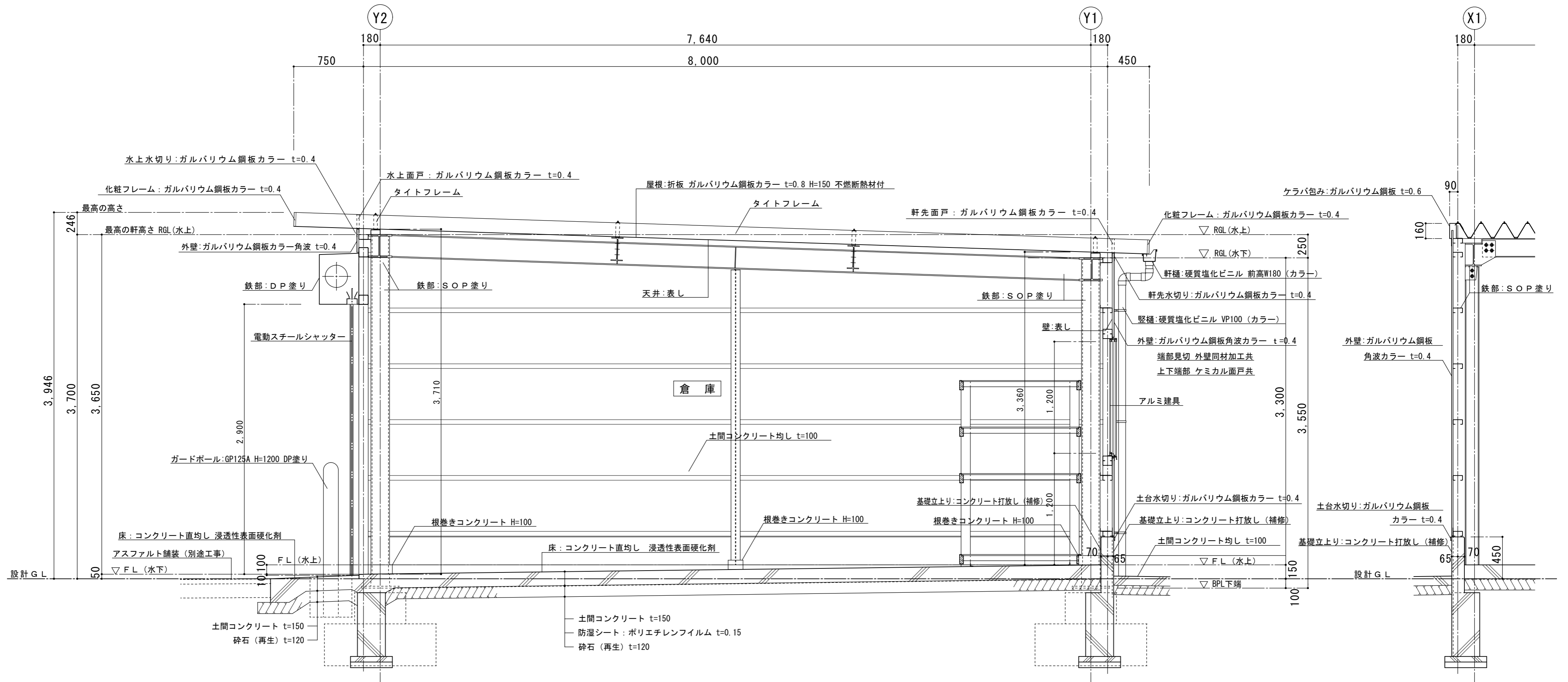


B-B断面図 1 : 100

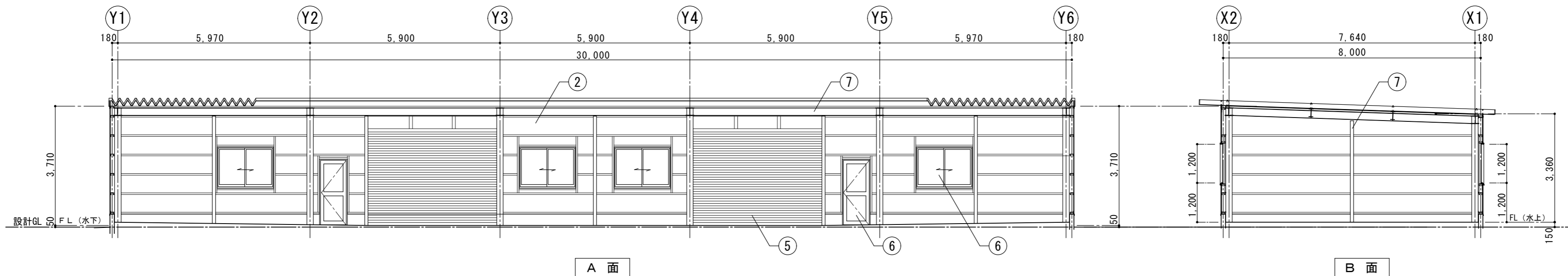


平面詳細図 1 : 50



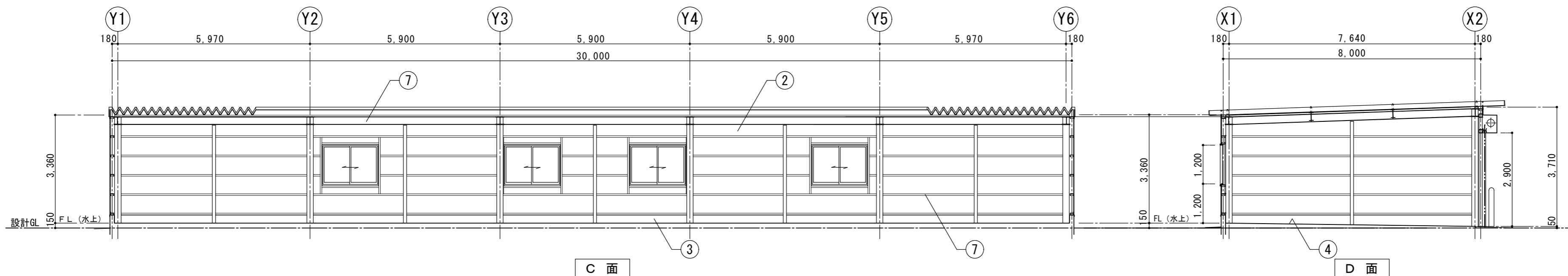


矩計図 1 : 30



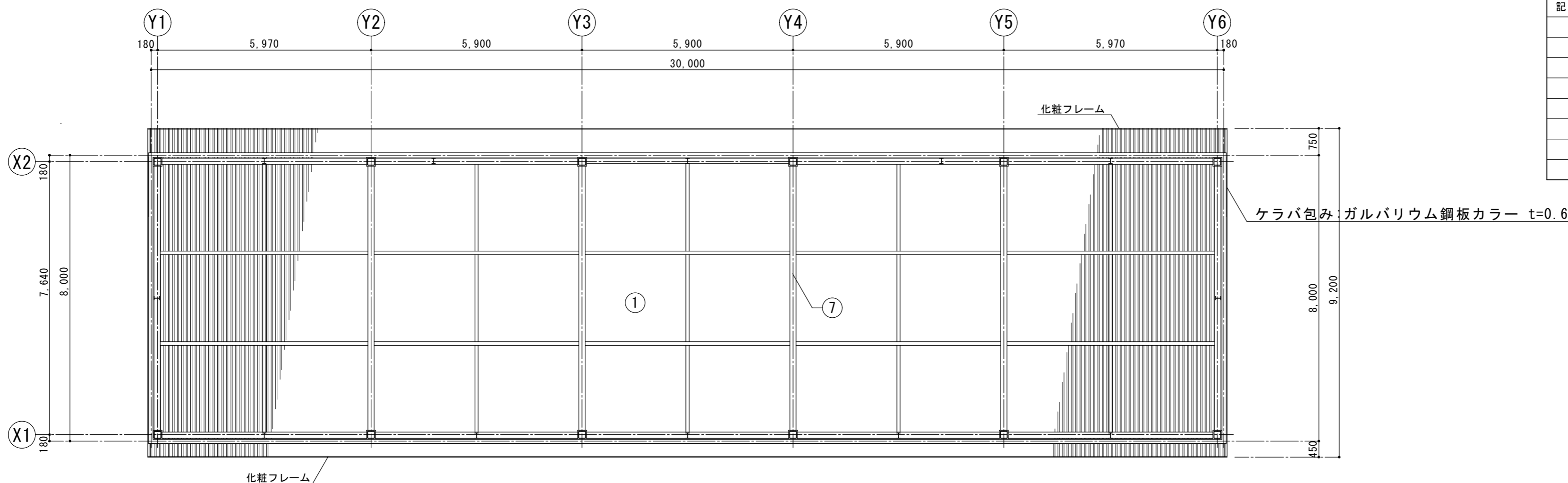
A 面

B 面



C 面

D 面

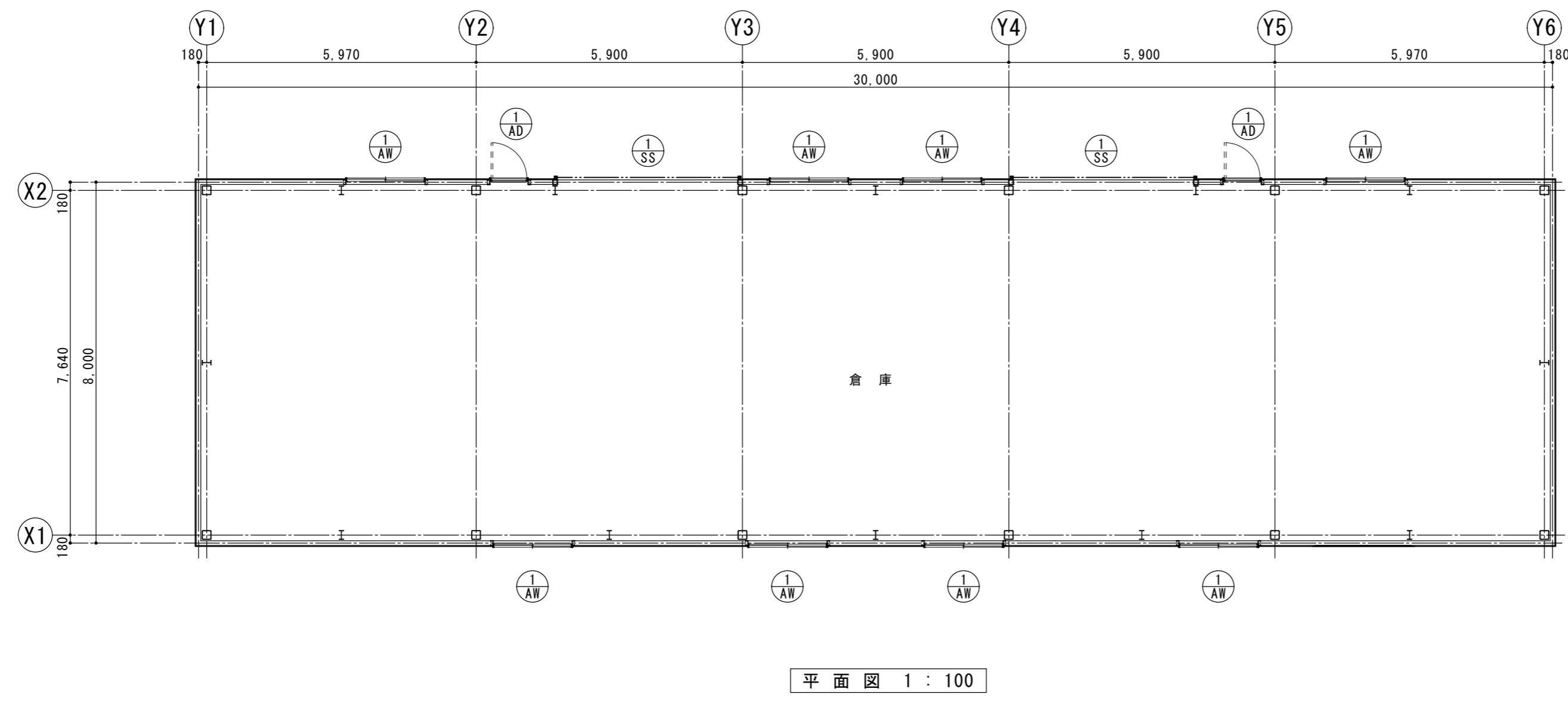


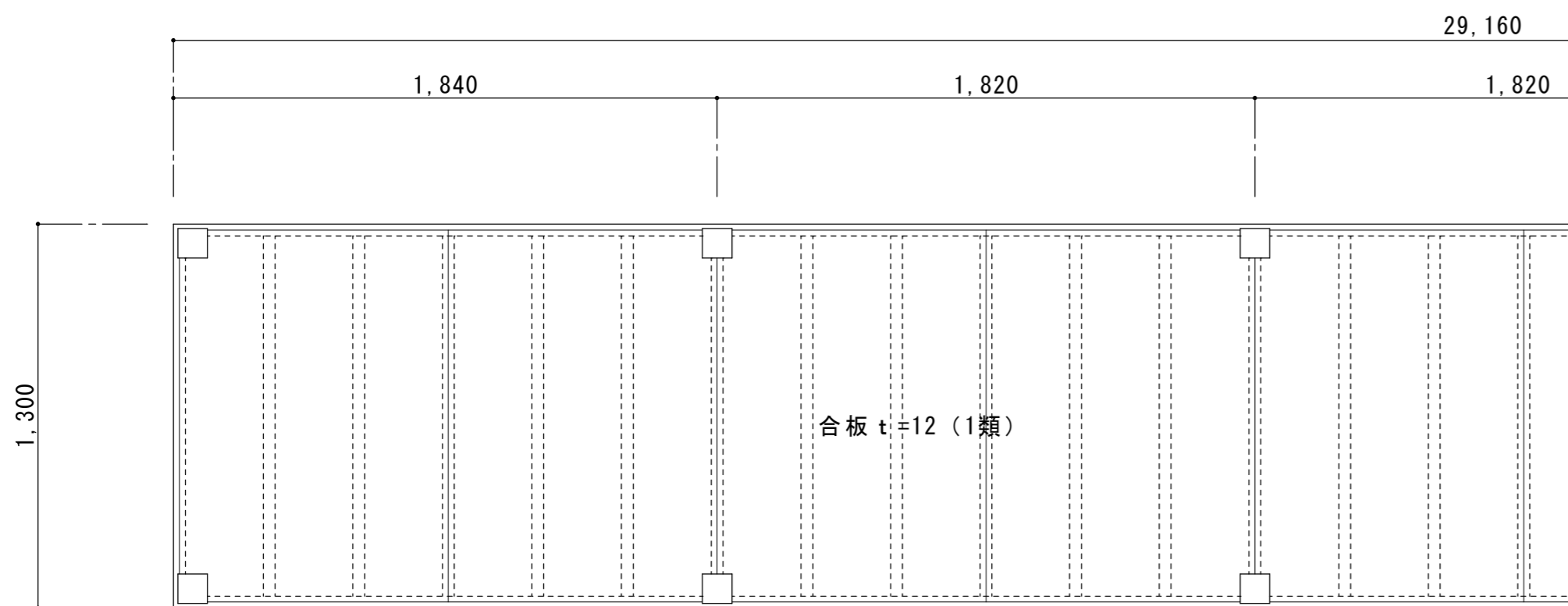
天井伏図 1:100

記号	名称	外部仕上表
1	天井	表し
2	壁	表し
3	基礎立上り	コンクリート打放し(補修)
4	床	コンクリート金ゴテ直均し仕上げ 浸透性表面硬化剤
5	建具	電動スチールシャッター DP塗り
6	建具	アルミサッシ(無着色陽極酸化被膜)
7	鉄部	SOP塗り
8		

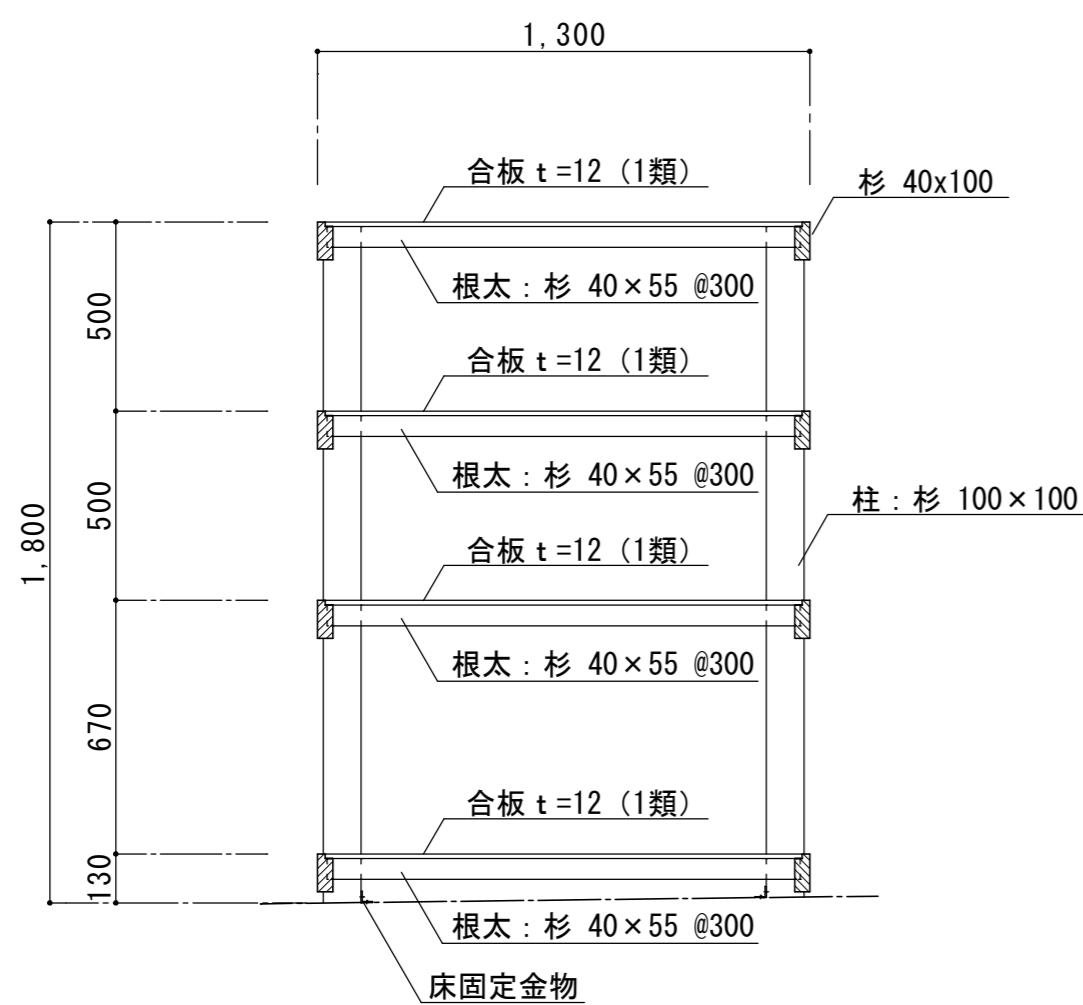
記号	数量	AD-1 片開き扉ドア (半外付け)	2	AW-1 引違い窓 (半外付け)	8	SS-1 電動スチールシャッター (外巻)	2
形状							
	仕上・材料	アルミ B-1 (陽極酸化塗装複合被膜)				溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6 DP塗り 座板: SUS	
金物	丁番 DC シリンダー本締錠 (内サムターン)		クレセント 他メーカー仕様による		メーカー仕様による		
見込厚	70						
硝子	FW 6.8						
備考	下枠: SUS				耐風型 外付角ケース DP塗り スイッチ (二次側配線含む)		

建具特記事項	
1	建具寸法は特記なき限り、枠内法寸法とする。
2	アルミ製建具の水切板は既製押出型材を原則とする。 止むを得ない場合は曲げ材 (t=2.0以上) を使用しても良い。
3	把手は特記なき限りレバーハンドル型、ステンレスヘアライン 仕上げとする。
4	クレセントは亜鉛ダイキャストハンドル式、ダブルロック付とする。
5	錠は特記なき限りシリンダー錠とする。
6	番指の材質は全て SUS304 とする。





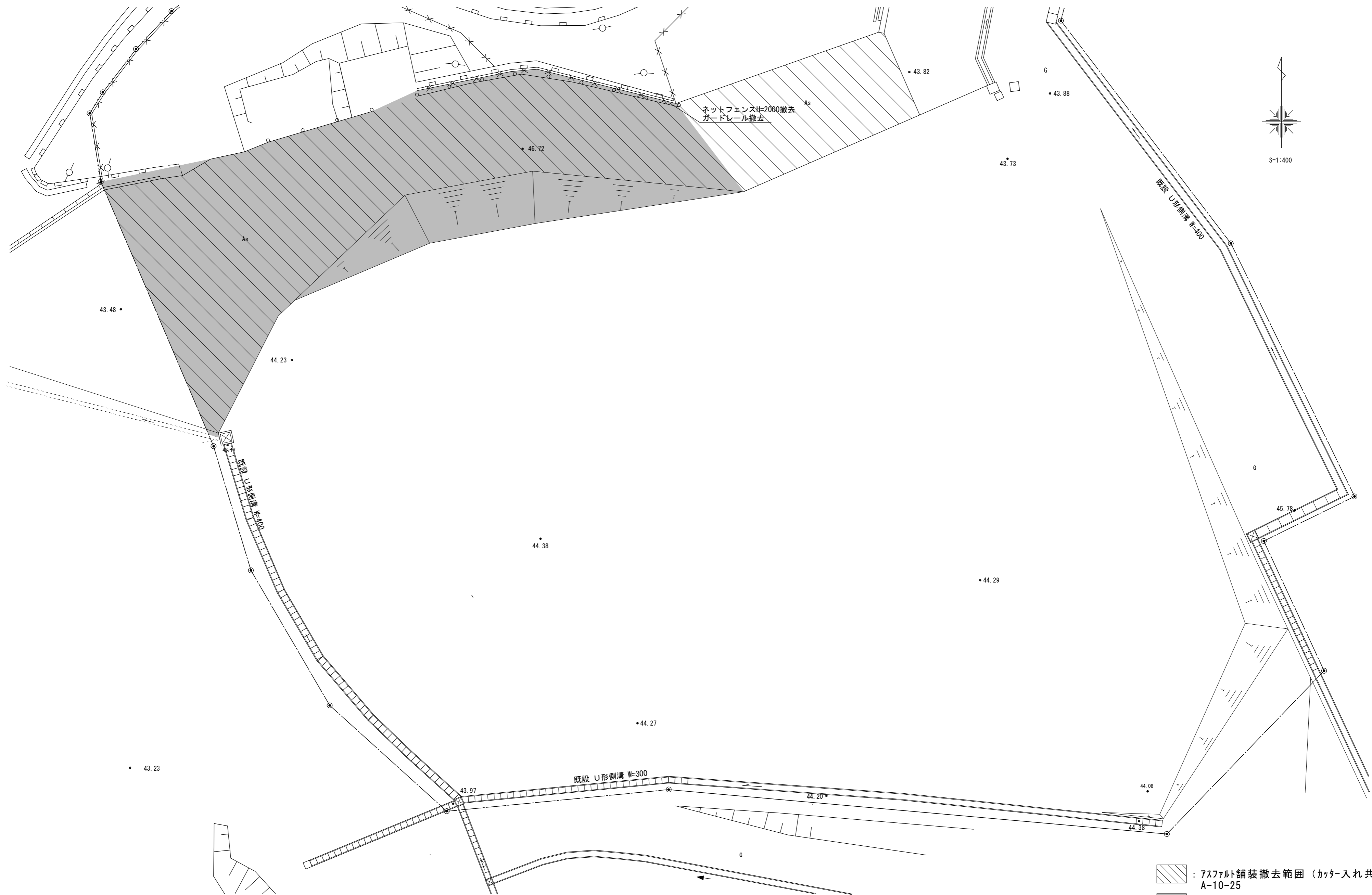
平面図 1 : 20



断面図 1 : 20

特記

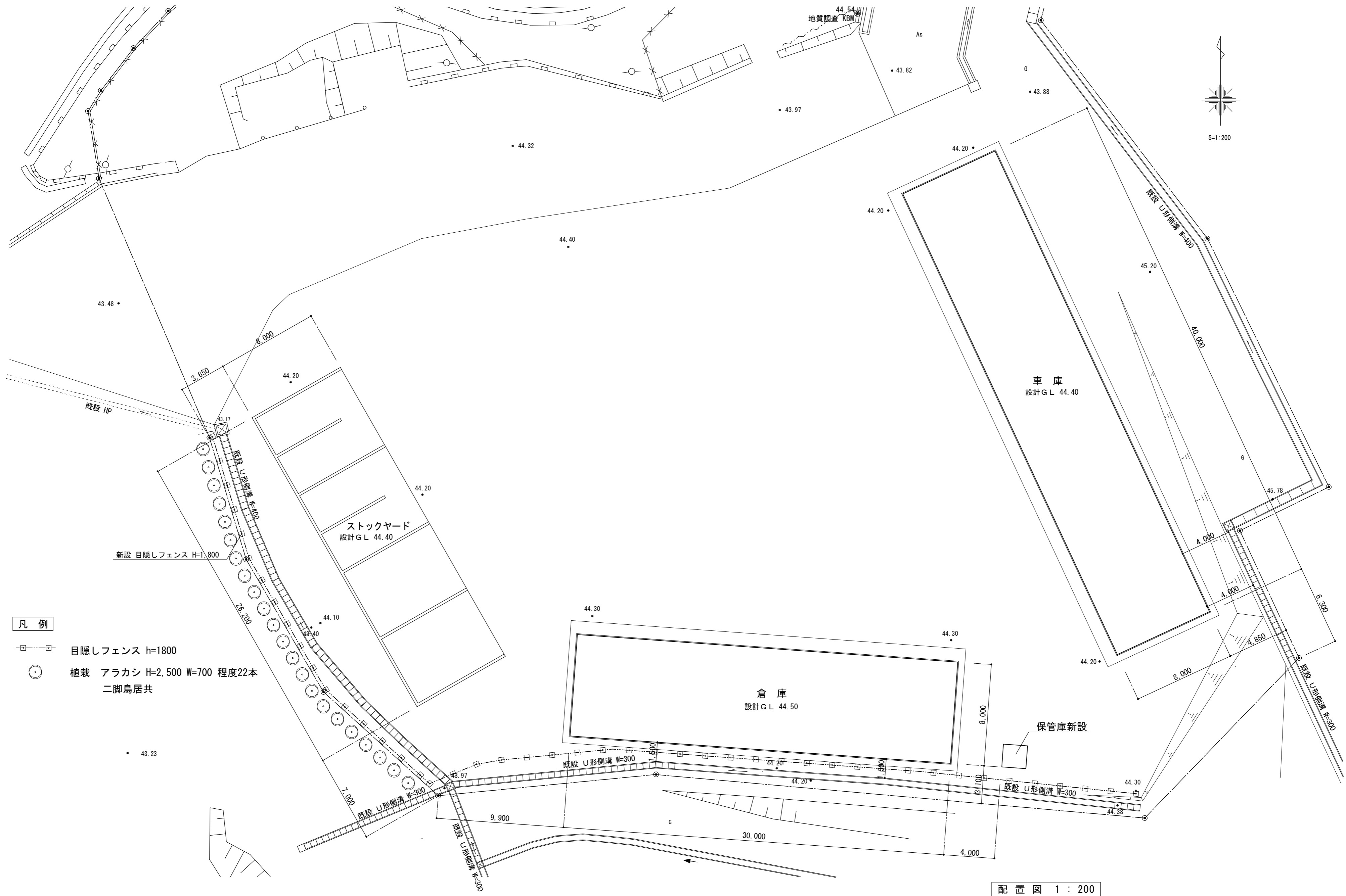
- ・県内産の木材を使用するよう努めること。
- ・代用樹種を使用可能
- ・一部柱根巻きに合わせて加工すること。



配置図 1 : 200

- : アスファルト舗装撤去範囲 (カッター入れ共) A-10-25
- : 切土範囲

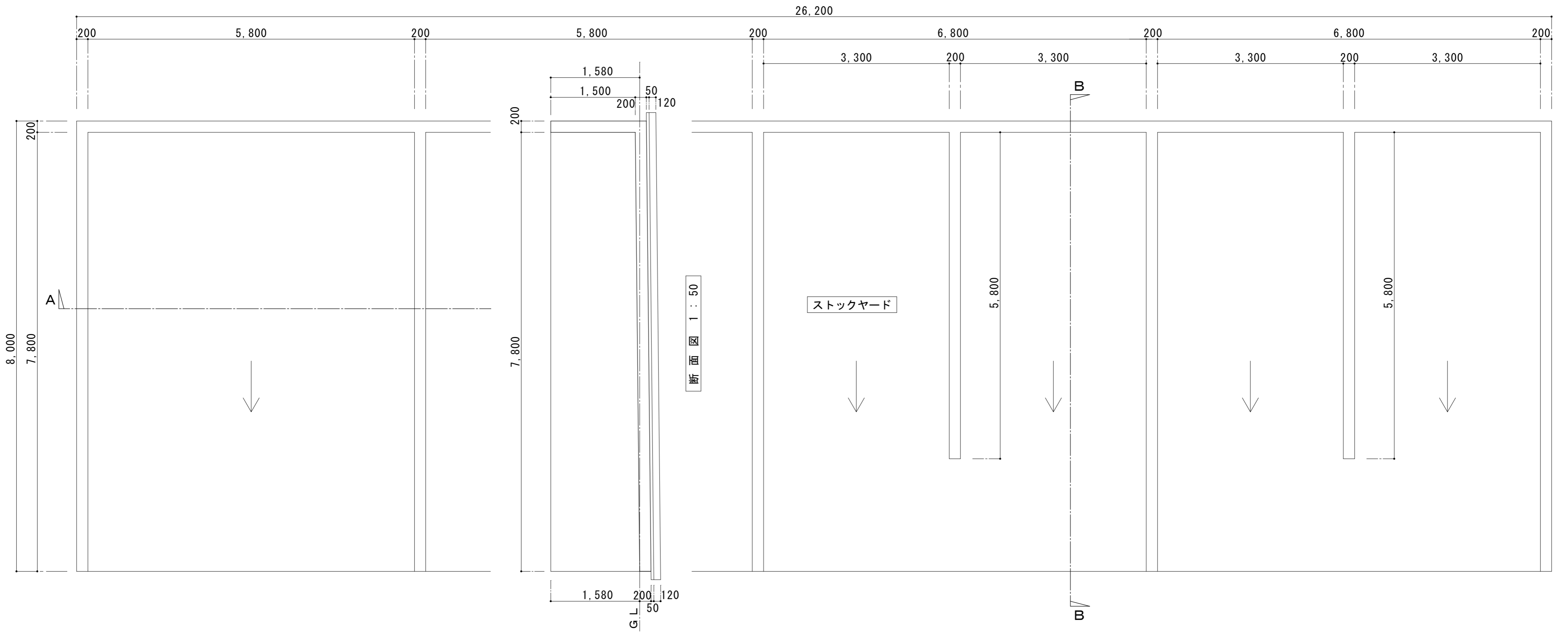
株式会社 田中孝建築設計事務所	一級建築士事務所第1-2091号 三重県津市三重町津興433-47 TEL 059-226-7150 FAX 059-226-4960	一級建築士第123009号 田中 孝	制作年月日	備考	工事名称 津市建設作業事務所車庫等新築その他工事	図面名称・縮尺 改修前外構配置図 1 : 200	No. A25 原図 A2
-----------------	---	-----------------------	-------	----	-----------------------------	-----------------------------	------------------



凡例

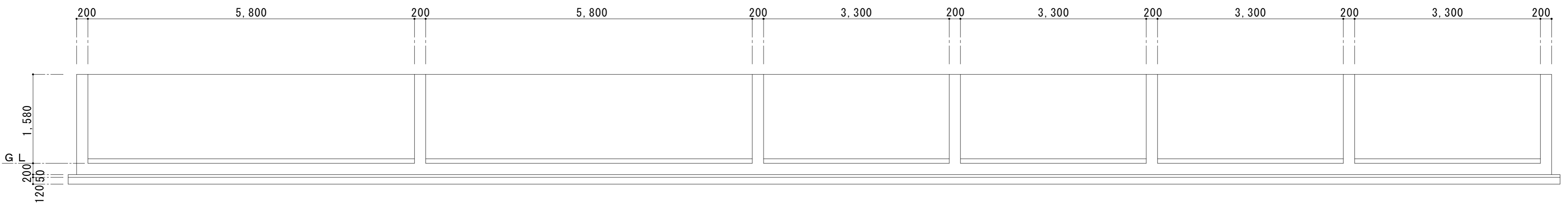
- 目隠しフェンス h=1800
- 植栽 アラカシ H=2,500 W=700 程度22本
二脚鳥居共

配置図 1:200



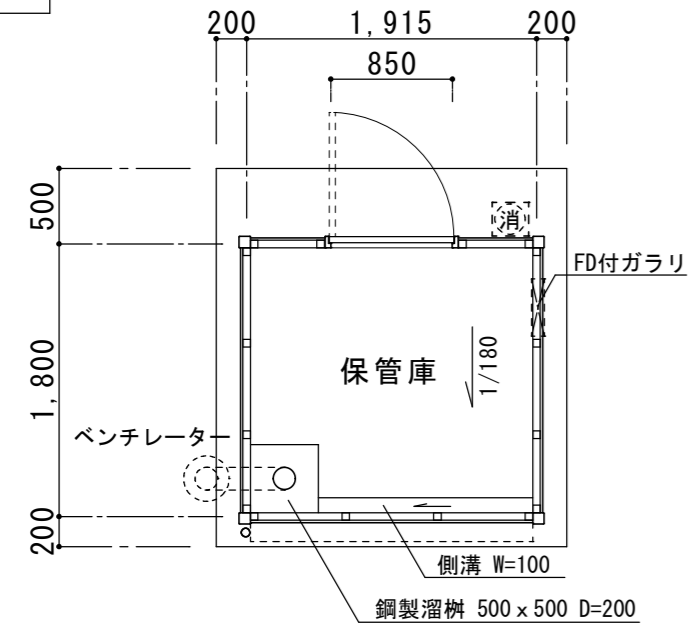
断面図 1 : 50

平面図 1 : 50



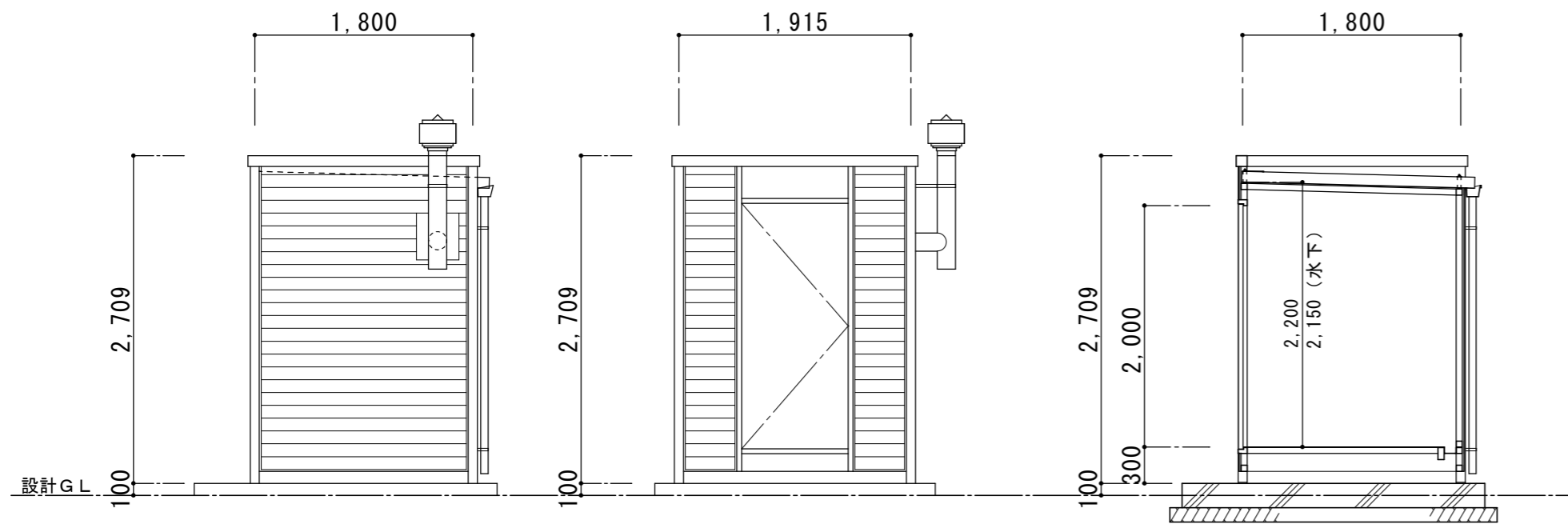
断面図 1 : 50

参考図面



平面図 1 : 50

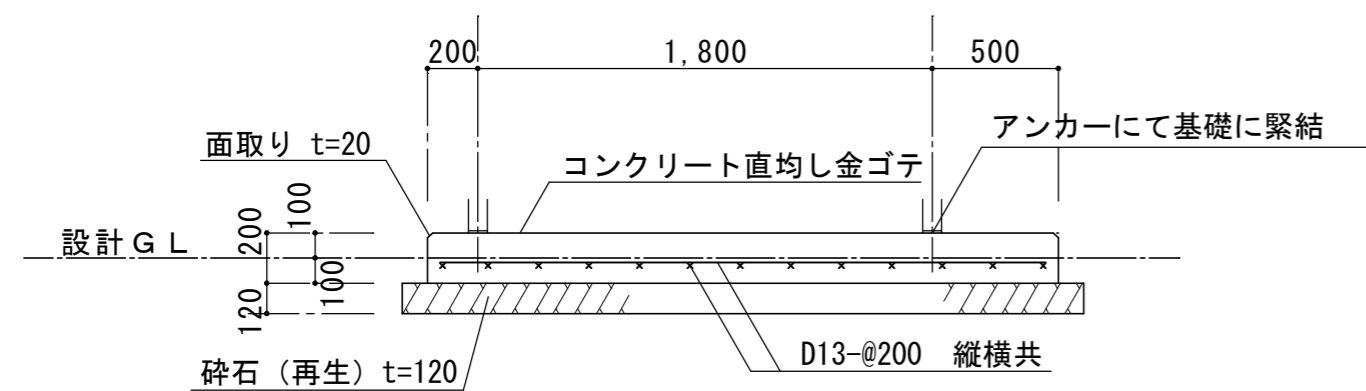
仕様書		ナガワ 少量危険物保管庫SK-1(1坪タイプ)同等品
構造	軽量鉄骨	
屋根	折板 ガルバリウムカラー鋼板 t=0.5 H=88	
外壁	ガルバリウムカラー鋼板 t=0.5	
床	編鋼板 T=3.2 SOP 鋼製溜槽 (500×500 D200) 側溝 W=100	
内壁	ガルバリウムカラー鋼板 t=0.5	
天井	折板 ガルバリウムカラー鋼板 t=0.5 H=88	
建具	SD 片開き DC (850x2000h) 特定防火設備 表示板 (少量危険物貯蔵取扱所等)	
樋	鋼製	
ベンチレーター	回転式 150φスパイラルダクト (SUS40#網)	
換気ガラリ	F D付アルミガラリ	
備考	消火器: 粉末ABC10型 SUS* ッガス共 (床固定)	



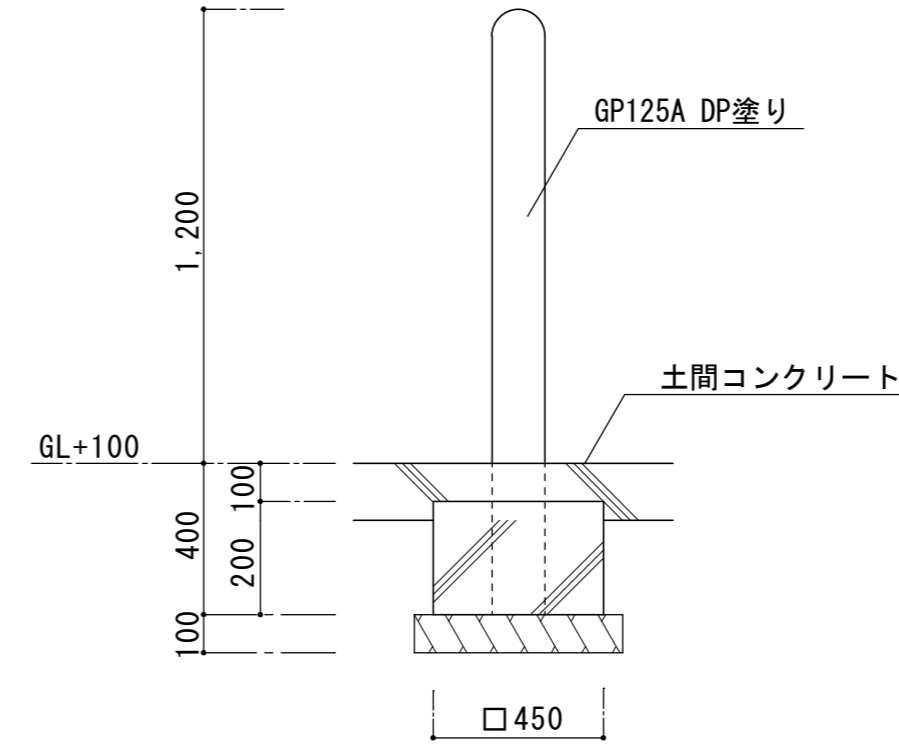
西側立面図 1 : 50

北側立面図 1 : 50

断面図 1 : 50



基礎詳細図 1 : 30



断面詳細図 1 : 20

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

§ 1 一般事項

- 1-1 基本事項
1. 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
 2. 設計図書に記載無き場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記無き場合は構造特記仕様書1-2-4に指定した共通仕様書及び日本建築学会「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。
 3. 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
 4. 本標準図に示す単位は特記無き限りすべてmmとする。
- 1-2 その他

§ 2 共通事項

2-1 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	●	×	○	●	○	◎	⊕	⊙	⊚	⊛	
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径 D	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

フックのない場合
フックのある場合
本数に差がある場合
機械式継手表示
溶接継手表示
(ガス圧接、突き合せ溶接)

2-2 鉄筋の折り曲げ

柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折り曲げ形状・寸法

折り曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法直径(D)	
180°		余長 4d以上	柱・梁主筋 基礎主筋	SD295 SD345	D16以下 D19~D38	最小3d以上 標準5d以上
135°		余長 6d以上	あばら筋 スパイラル筋	SD390	D41	最小4d以上 標準6d以上
90°		余長 10d以上	壁筋	SD390	D41以下	最小5d以上 標準7d以上

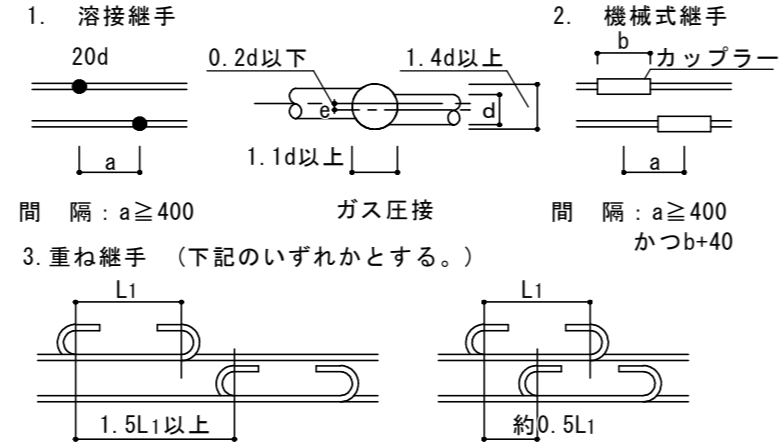
2-3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (N/mm ²)	重ね継手の長さ (L1)	定着の長さ	
			一般 (L2)	下端筋 (L3)
SD295 SD345	18	45d直線または35dフック付き	40d直線または30dフック付き	小梁 床 屋根スラブ
	21~27	40d直線または30dフック付き	35d直線または25dフック付き	
	30~45	35d直線または25dフック付き	30d直線または20dフック付き	
	48~60	30d直線または20dフック付き	25d直線または15dフック付き	
SD390	21~27	45d直線または35dフック付き	40d直線または30dフック付き	10dかつ 150以上
	30~45	40d直線または30dフック付き	35d直線または25dフック付き	
	48~60	35d直線または25dフック付き	30d直線または20dフック付き	
	一般定着の直線またはフック付きのL2の図			

直線定着 90° フック付き定着 135° フック付き定着 180° フック付き定着

2-4 継手 一般

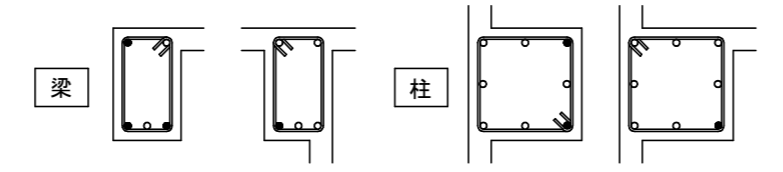
1. 重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、また、フック付きのL2は仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。
2. 軽量コンクリートを使用する場合は、上表の数値に5dを加算する。
3. 柱梁接合部内に折曲げ定着する梁主筋を柱せいの3/4倍以上のみ込ませてフック付き定着長さ(L2)が確保できない場合は、柱せいの3/4倍のみ込みを保ちながら、上表のL2(フック付き)の2/3倍を下回らない範囲内で定着長さを短くし(Δ1, Δ2)、短くした長さ(Δ1, Δ2)を余長に加えてよい。



2-5 鉄筋のフック

4. D35以上の鉄筋は重ね継手としてはならない。(溶接、機械式継手等による)
5. 溶接継手を行う場合は原則として同一鋼種とし、鉄筋径の差はガス圧接の場合は2サイズ、突き合せ溶接の場合は1サイズまでとする。
6. 溶接継手及び機械式継手の場合はメーカー仕様による。

- ・下記の1.~7.に示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。
1. あばら筋及び帯筋
 2. 煙突の鉄筋
 3. 柱及び梁(基礎梁を除く)の出隅部分の鉄筋(下図参照)



4. 単純梁の下端筋、片持ちスラブの上端筋の先端
5. 最上級及びこれに準ずる箇所の柱頭の四隅の鉄筋
6. 杭基礎の基礎筋(偏心基礎及び杭2本打以上の場合)
7. 鉄骨柱の脚部の基礎柱、又は根巻きコンクリートの四隅の鉄筋

2-6 主筋のあき

鉄筋のあきは原則として下記による。

呼び名の数値dの1.5倍以上 かつ25以上 ※D/a/D

粗骨材の最大寸法の1.25倍以上

鉄筋径が異なる場合は大きい方による。

2-7 かぶり厚さ

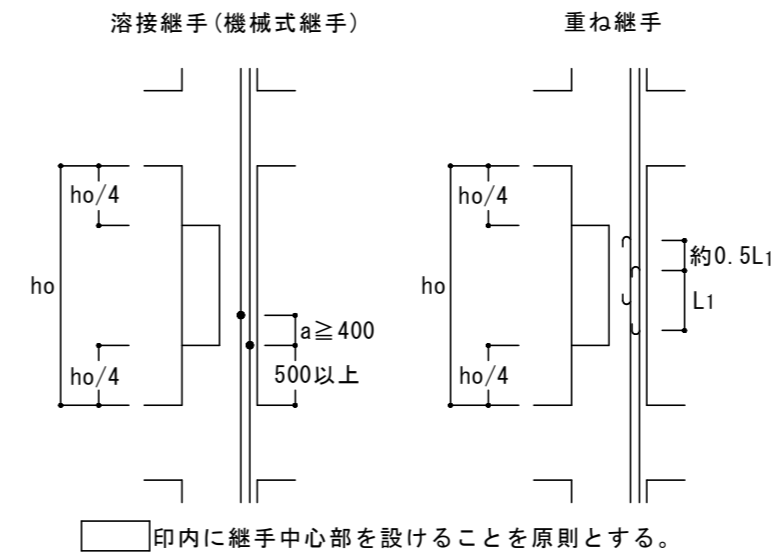
鉄筋に対するコンクリートの設計かぶり厚さと最小かぶり厚さ

部 位	かぶり厚さ	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ	30 (20)
	床スラブ	30 (20)
	非耐力壁	40 (30)
	耐力壁	40 (30)
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・壁 布基礎の立上り	50 (40)
	基礎・擁壁	70 (60)

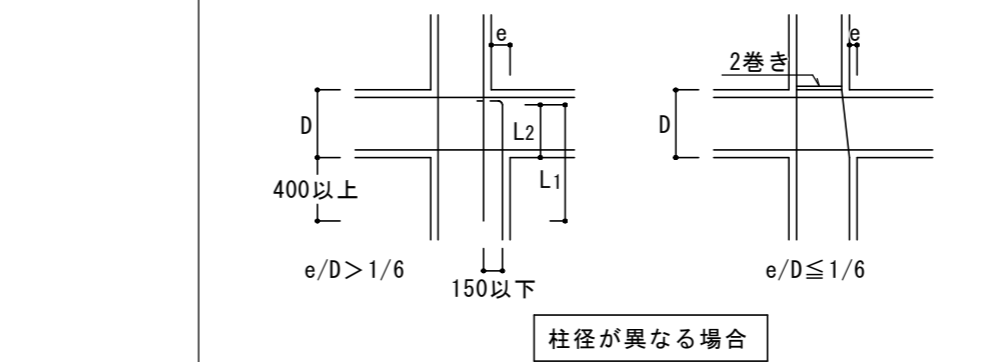
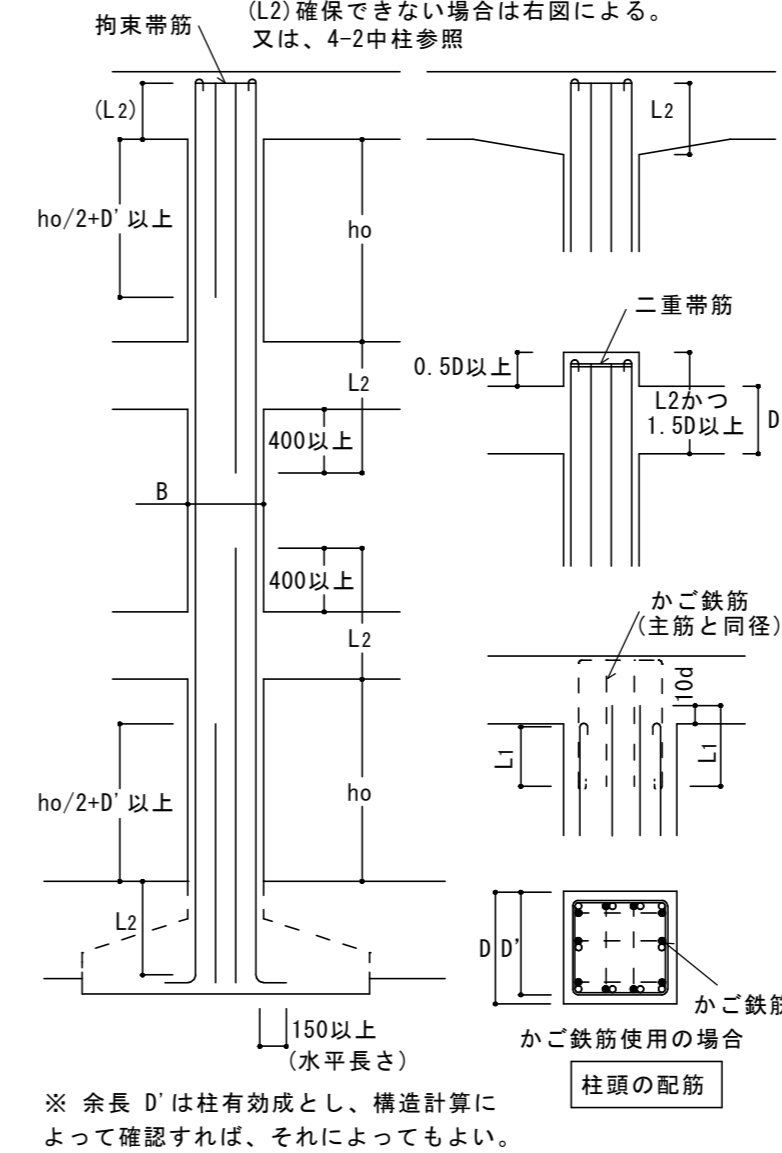
1. ()内の数値は最小かぶり厚さを示す。
2. 仕上げありとは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
3. ※1 品質・施工法に応じ、工事管理者の承認で10減の値とすることが出来る。
4. ※2 軽量コンクリートの場合は、これに10加算する。
5. 柱・梁の主筋のかぶり厚さは主筋径の1.5倍以上とする。

§ 3 柱

3-1 主筋の継手

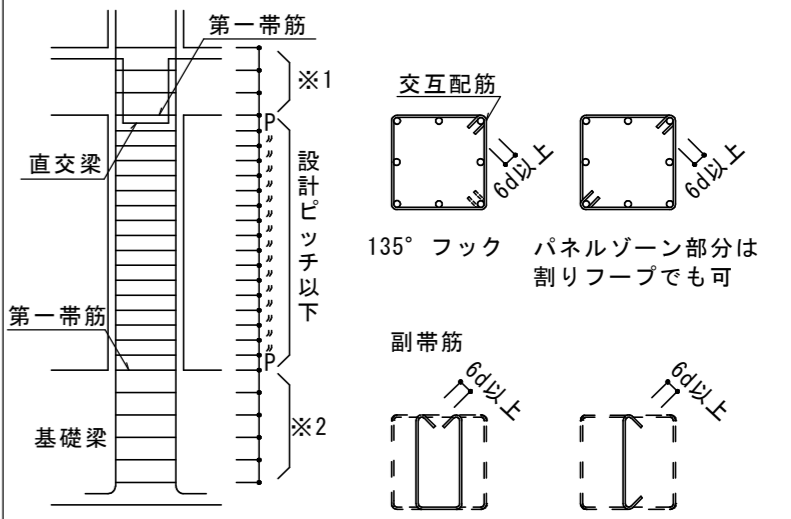


3-2 主筋の定着



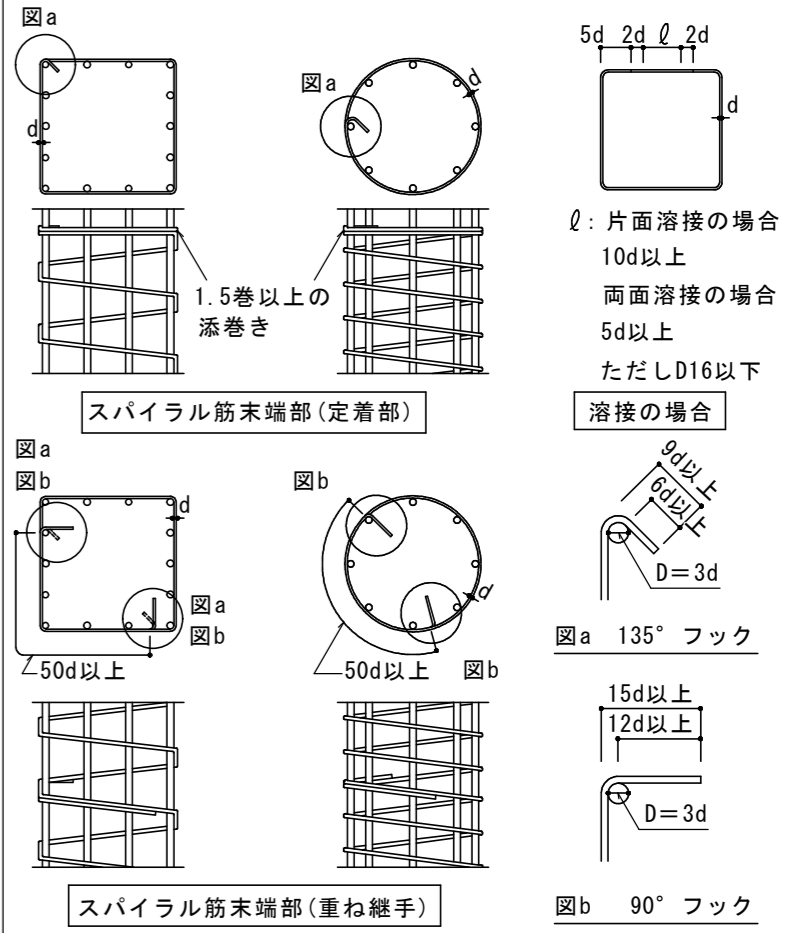
3-3 帯筋 副帯筋

- ・第一帯筋(D13以上使用の事)は梁面に入れ、その間を設計ピッチ以下に割り付ける。
- ・帯筋の加工は下図による。

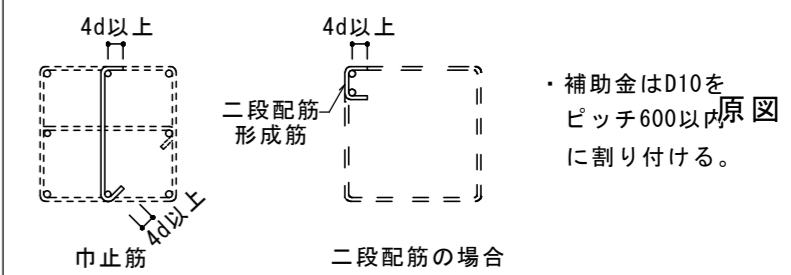


- パネルゾーンの帯筋は設計図によるが、明記無き場合は下記になる。ただし、帯筋量(pw)は0.2%以上とする。
- ※1. 設計ピッチの1.5倍以下とする。 □形以上の場合は同型同材質で □形@100以下とする。
- ※2. 基礎梁部分は、同径で □形@150以下とする。

- スパイラル筋の末端処理及び継手は下記の通りとする。
1. 末端は1.5巻以上の添巻きをし、図aのフックを付ける。
 2. 重ね継手は重ね長さ50d以上とし、図a又は図bのフックを付ける。

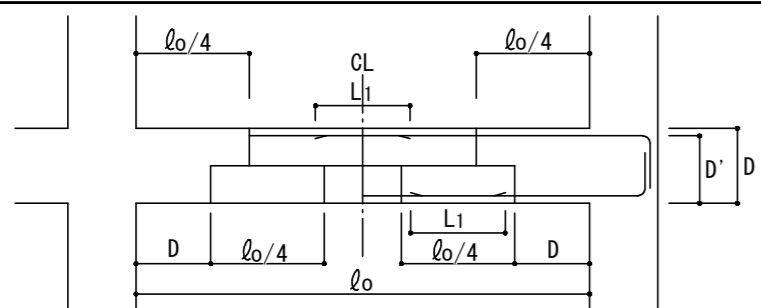


3-4 補助筋



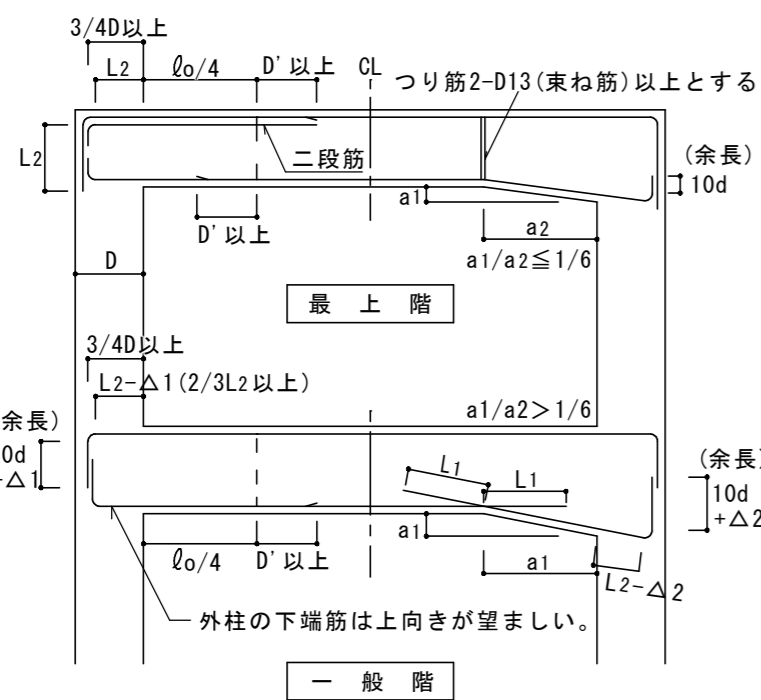
§ 4 梁

4-1 主筋の継手



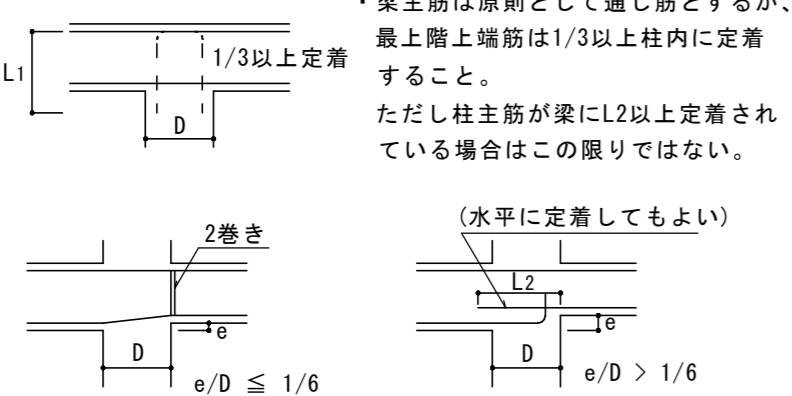
印内に継手中心部を設けることを原則とする。ただし溶接継手の場合は、柱面より500以上離すこと。

4-2 主筋の定着及び余長



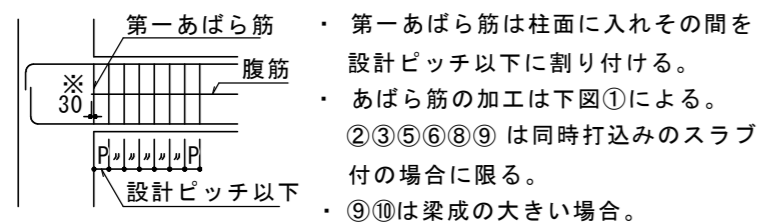
※ 余長 D' は梁有効成とし、構造計算によって確認すれば、それによってもよい。

中柱

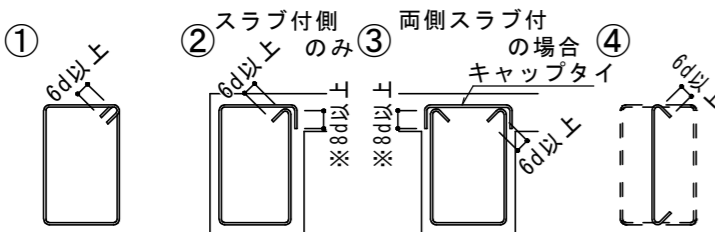


梁成が異なる場合

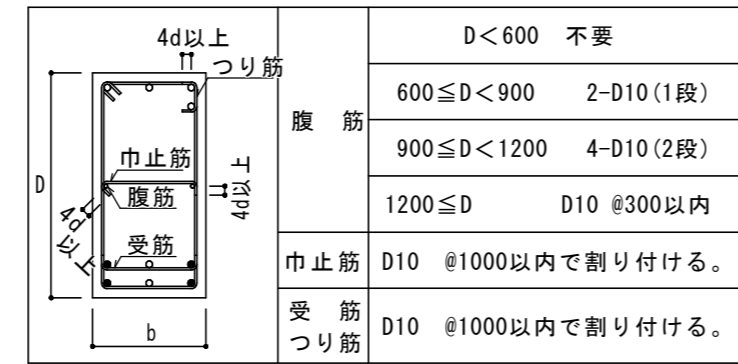
4-3 あばら筋副あばら筋



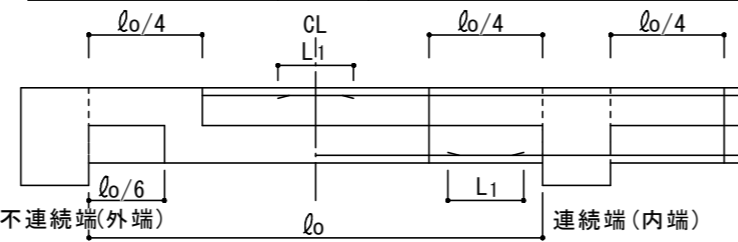
※ ねじれ応力を受ける腹筋 ⑧ はピッチ2pで交互配置とする。は定着長さL2とする。



4-4 補助筋



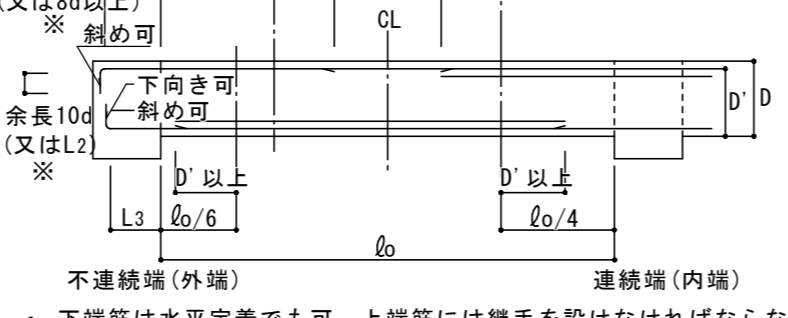
4-5 小梁及び片持梁



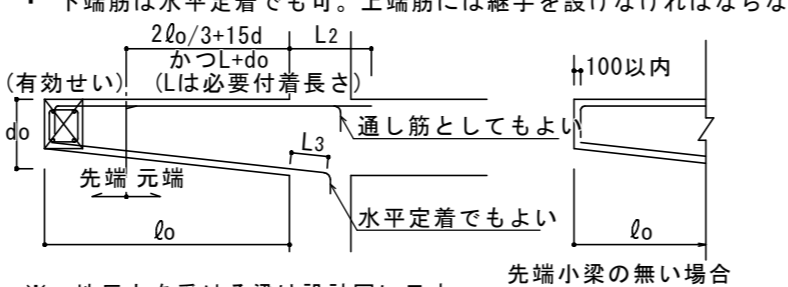
a) 小継

印内に継手中心部を設けること。ただし溶接継手の場合は梁面より500以上離すこと。

定着

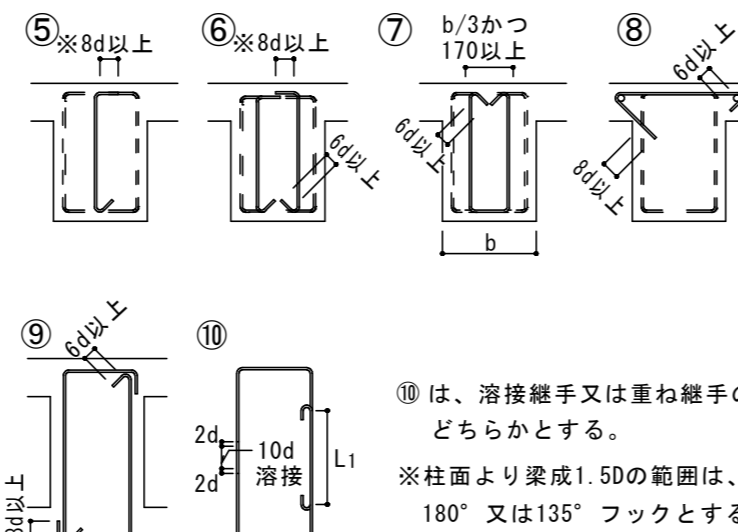
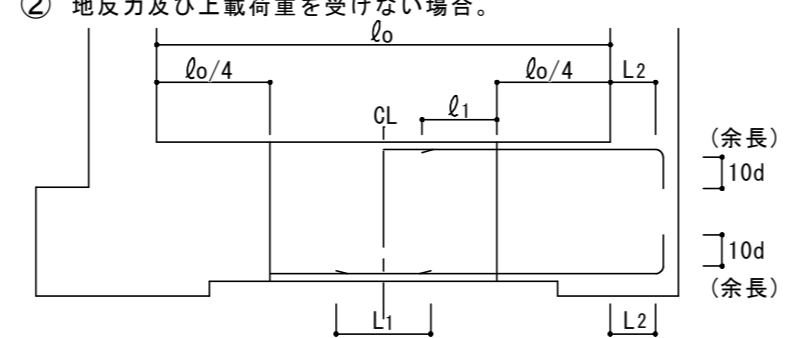


b) 片持梁定着



4-6 基礎梁及び基礎小梁

a) 基礎梁の継手及び定着

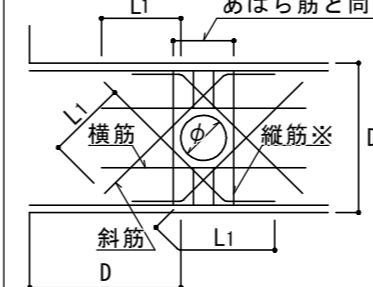


⑩ は、溶接継手又は重ね継手のどちらかとする。 ※ 柱面より梁成1.5Dの範囲は、180°又は135°フックとする。

b) 基礎小梁の継手及び定着

梁の貫通補強

4-7

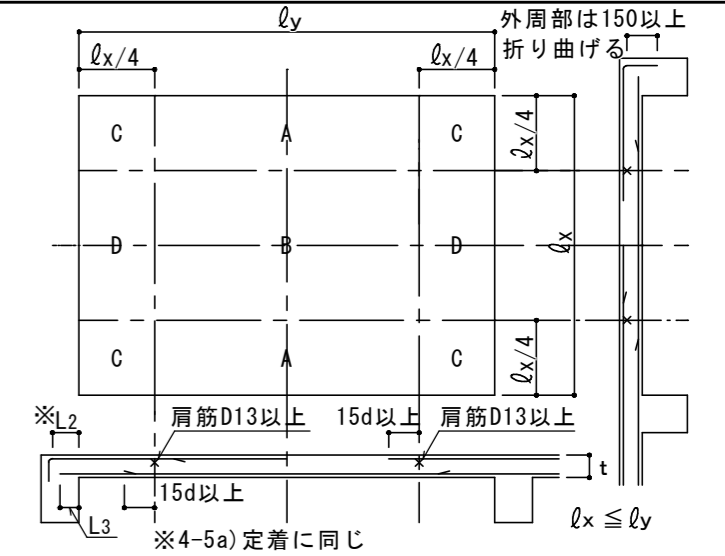


・ 梁貫通孔は梁成の1/3以下とする。 ・ 孔が複数の場合は中心間隔を径(φ)の3倍以上とする。 また位置は原則として柱面から梁成D以上離し、梁成の中央D/2の範囲内とする。

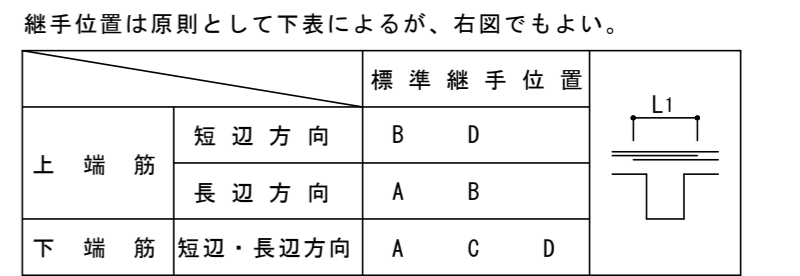
・ φが100かつD/8未満のとき補強を必要としないが、あばら筋を切断してはならない。 ・ ※ 縦筋はあばら筋加工とする。

§ 5 スラブ

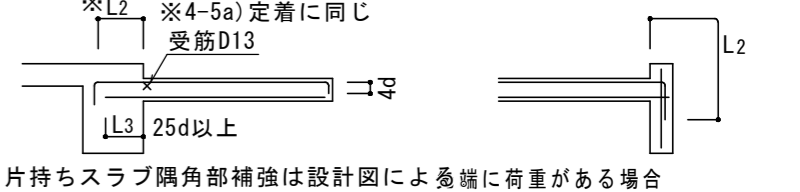
5-1 鉄筋の折り曲げ及び定着



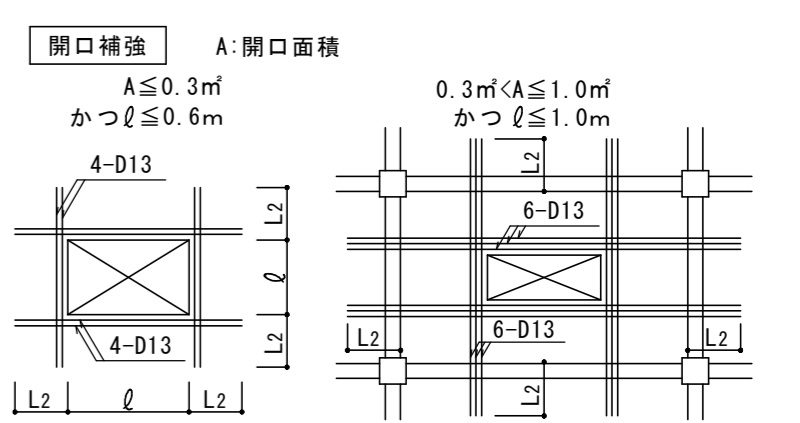
5-2 継手



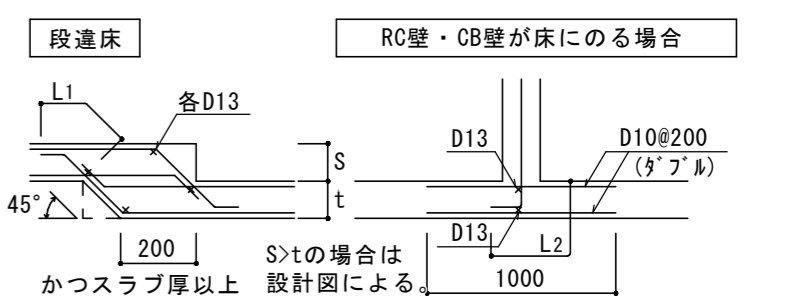
5-3 片持ちスラブ



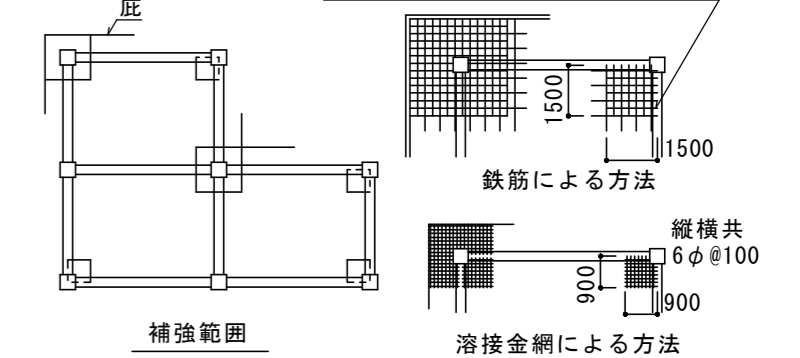
5-4 補強筋



注) スラブ筋を切断しない場合は補強を要しない。



屋上スラブ隅角補強 スラブ筋と同径で1/2ピッチ以下(≧@100)程度となる様に上端に補強筋を入れる



§ 6 壁	§ 7 基礎	§ 8 その他	
<p>6-1 定着及び手</p> <p>・定着長さはL2、及び継手長さはL1とする。*ただし耐震壁で帯筋、あばら筋の外側にくる場合は、$l_e=150$程度45°~90°折り曲げ、定着長さはL2かつD/2以上とする。(通し配筋の場合は不要)</p> <p>・土圧を受ける壁の外側鉄筋の定着は③図による。</p> <p>・継手位置はどの部分でもよいが、土圧を受ける壁は5-2項の土圧面側を上端筋側に読み替える。</p> <p>壁の配筋は設計図書による。</p> <p>・ダブル配筋では中止筋を縦横共D10@1000以内を標準とする。</p>	<p>7-1 独立基礎</p> <p>7-2 杭基礎</p> <p>・1本杭で偏心していない場合は、立ち上がり筋不要</p> <p>・杭頭補強筋は設計図による。</p> <p>・杭頭を切断した場合の補強は、設計者の指示による。</p> <p>7-3 べた基礎継手及び定着</p> <p>継手位置は5-2項の上端筋を下端筋に読み替える。 ※4-5a) 上端筋定着に同じ</p> <p>7-4 基礎と基礎梁</p> <p>・補強部の厚さは梁巾とする。</p>	<p>8-1 階段</p> <p>8-2 土間コンクリート</p> <p>RC壁・CB壁の補強</p> <p>補強筋 (定着は20d以上)</p> <p>$t \leq 50$ 補強なし $50 < t \leq 100$ D13@300</p> <p>$100 < t \leq 200$ D16@300 $200 < t \leq 300$ D16@200</p> <p>$t > 300$ 設計図による。</p> <p>8-3 打増し補強</p> <p>補強筋 (定着は20d以上)</p> <p>8-4 増築予定</p> <p>増築時の継手は、原則として柱・梁の主筋は溶接継手とする。(増築側の鉄筋は水平定着でもよい。)</p>	
<p>6-2 壁配筋</p> <p>6-3 補強筋</p> <p>開口部 斜筋の代わりに溶接金網φ100とする。</p> <p>鉄筋による方法</p> <p>溶接金網による方法</p> <p>・※斜筋を縦・横補強筋で置き換える場合には設計者の指示による。</p> <p>・斜筋は内側に配置する。壁筋を切断しない場合は補強を要しない。</p> <p>交差部</p> <p>端部 耐震壁の場合はフックを付ける</p> <p>200(耐震壁の場合) 200(耐震壁の場合) 200(耐震壁の場合)</p> <p>・開口補強筋はリストによる</p> <p>スリット 完全スリットの場合</p> <p>スリット幅$W_1 \geq 15$かつスリットの長さ$1/100$ $W_2 \geq 15$</p>			
<p>株式会社 田中孝建築設計事務所</p> <p>一級建築士事務所第1-2091号 三重県津市三重町津興433-47 TEL 059-226-7150 FAX 059-226-4960</p>	<p>一級建築士第123009号 田中孝</p> <p>制作年月日</p> <p>備考</p>	<p>工事名称 津市建設作業事務所車庫等新築その他工事</p>	<p>図面名称・縮尺 鉄筋コンクリート構造配筋標準図-3</p> <p>No. S04 原図 A2</p>

構造細目共通図 鉄骨構造標準図 (1)

1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
 (a) 構造設計仕様による。
 (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適応し、かつ鋼材の厚さが4.0mm以下のものとする。
 (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する。
- (2) 作業一般
 (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事管理者の承認を得る。
 (b) 鋼管部材の分岐部手前の相貫切断は鋼管自動切断機による。
 (c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする。
- (3) 高力ボルト接合
 (a) 本図に使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。
- (4) 溶接接合
 (a) 溶接技能者
 溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z3041(手溶接)又はJIS Z3841(半自動溶接)の溶接の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする。
 (b) 溶接機器
 (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 (ロ) アークエアージェンガ (直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 (ハ) サーマリアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接棒乾燥機
 (c) 溶接方法
 アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
 セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアージェンガ (AAG)
 (d) 溶接姿勢
 縦立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
 (イ) 仮付位置 (仮付溶接は、原則として本工事に従事する者が行う)
 仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所を避ける。
 (ロ) 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する。
 (e) 溶接施工
 (イ) エンドタブ
 I) 突合せ溶接、部分とけ溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける。
 II) エンドタブの材質は、母材と同質とする。
 III) エンドタブの長さは、MC: 35mm以上 NGC、GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする。
 IV) プレス鋼板タブ、固定タブ仕様について、資料を提出して設計者又は工事管理者の承認を得る。
 (ロ) 裏あて金
 材質は母材材とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする。
 (ハ) スカラップ(改良型スカラップ)
 半径は30~35mmと、10mmのダブルアルとする。
 (ニ) 裏はつり
 標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の承認を履行し、部材に確認マークを付ける。
 (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。
 又、開先面をいためない様に、養生を行う。
 (5) 塗装
 コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

2. 溶接標準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

(1) スミ肉溶接

t	7以下	8~10	11~13	14~16
S	6	7	10	12

●組立、片面溶接の場合はS=tとする。
 ●tは1.1、1.2の小さな方とする。
 ●余盛は(1±0.1S)mm以下とする。
 ●軸力が加わる場合は母材と同厚とすることが望ましい。

(2) 部分溶込み溶接 (使用箇所)に注意

D1 ≥ 1/3 t / 4 ≤ 10mm
 t ≤ 1.1
 溶接姿勢 F・V
 ●両側に補強すみ肉溶接を付加する

(3) 完全溶込み溶接 (平継手、T形継手)

f = t/4
 t 6 < t < 19mm
 溶接姿勢 F・V
 ●両側に補強すみ肉溶接を付加する。 AAG

(4) 溶接姿勢

t mm	MC NGC				GC			
	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6 < t < 12	4.5°	6	6	5	4.5°	6	6	5
12 ≤ t < 16	3.5°	9	9	8	4.5°	6	9	8
16 ≤ t	3.5°	9	9	8	3.5°	9	9	8

溶接姿勢 F・V

(5) T形突合せ継手余盛

のど厚 t mm	余盛の高さ mm	
t ≤ 4	1	1
4 < t ≤ 12	2	2
12 < t ≤ 19	3	3
t > 19	4	4

溶接姿勢 F・V

(6) 裏はつり

f ≥ 0.5mm (但し、t ≥ 1.5mmのとき4mmとする)
 θ = 45°
 G = 0~2 (裏はつり後裏溶接)
 ●AAG (I) 内はGCでF、Hの場合
 ●25F両側に補強すみ肉溶接を付加する

(7) 裏あて金

f = t/4
 t 6 < t < 19mm
 溶接姿勢 F・V

t mm	MC NGC				GC			
	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6 < t < 12	4.5°	6	6	5	4.5°	6	6	5
12 ≤ t < 19	3.5°	9	9	5	4.5°	6	9	5
t > 19	3.5°	9	9	8	3.5°	9	9	8

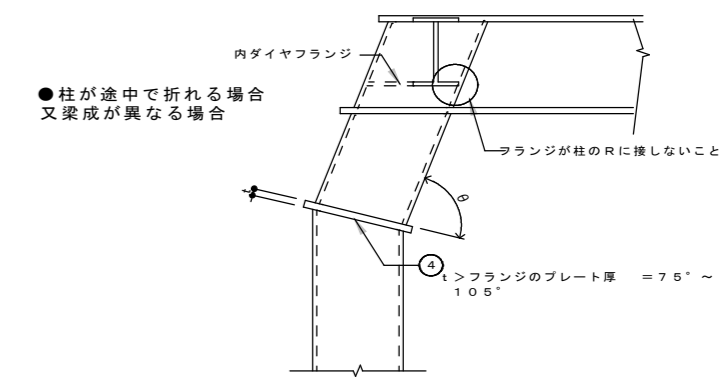
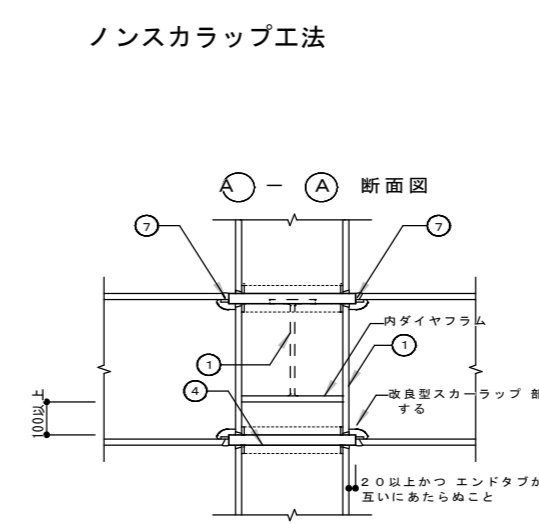
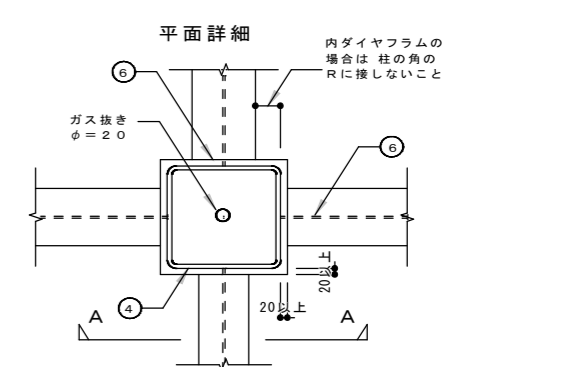
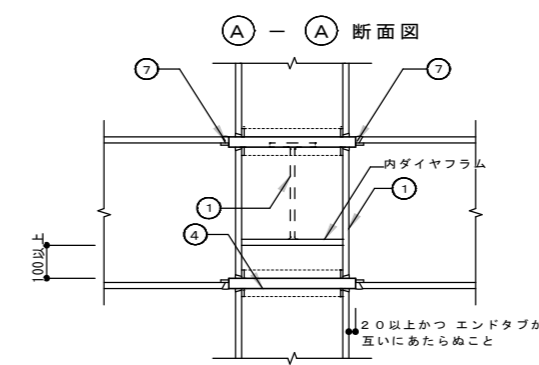
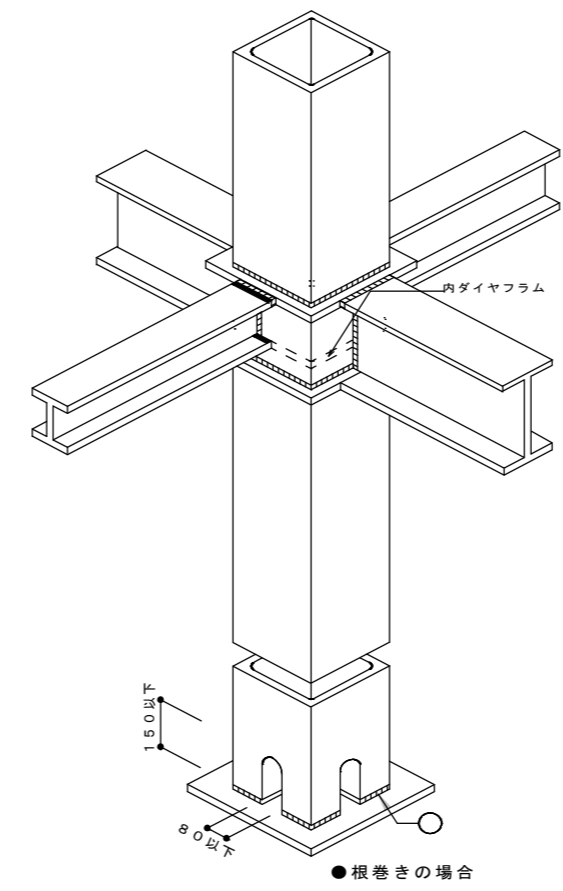
溶接姿勢 F・V

(8) フレア溶接

寸法 (mm)			
φ	B	S	t
9	7	4	-
13	8	4.5	-
16	9	5	-
19	10	6	-
22	11	7	-
25	12	8	-

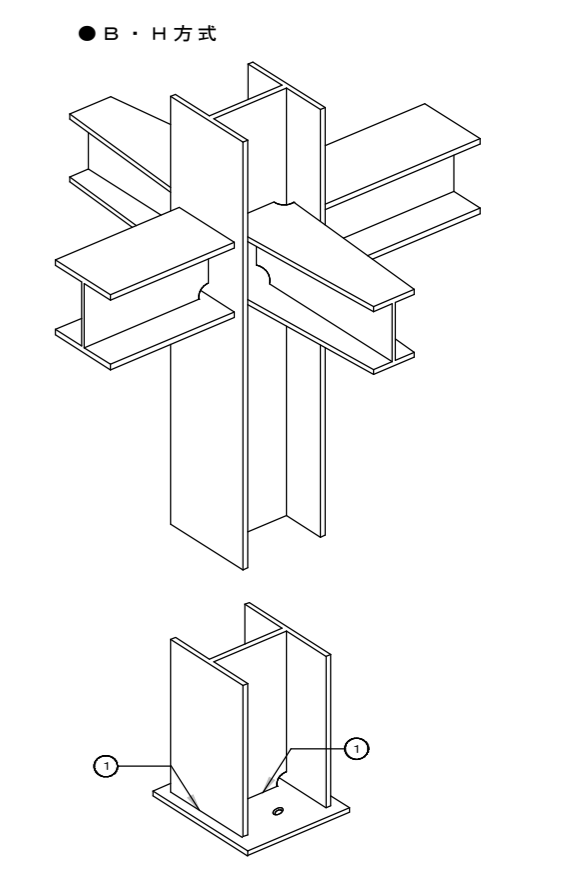
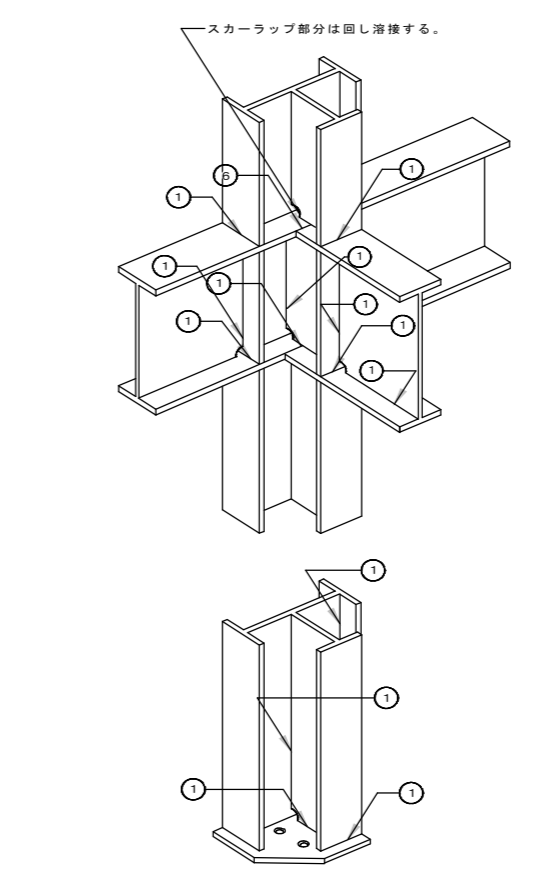
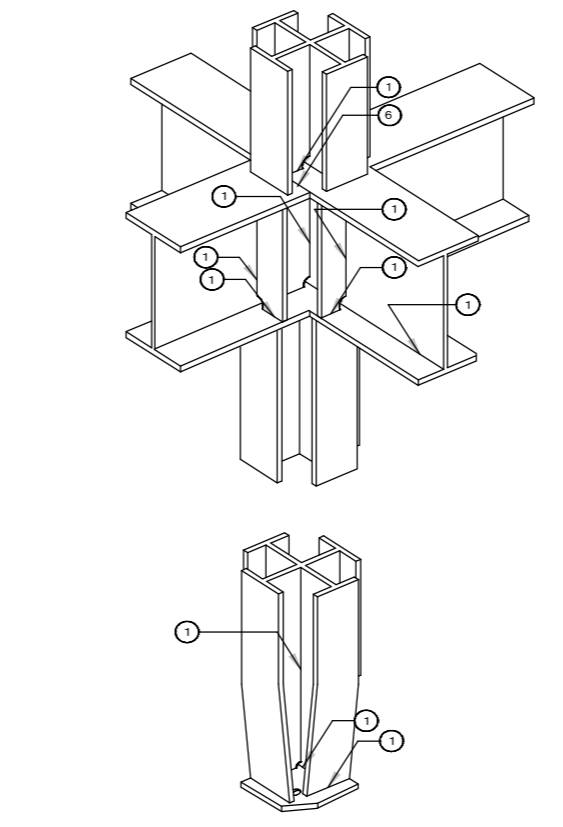
●フレア溶接長は、鋼板に接する全長とする
 ●9mm~16mmは1パス以上、19mm以上は2パス以上とする。溶接角度θ30°~40°とする

◎溶接記号番号を○の中に記入のこと
 ●B・O・X型 (通しダイヤフラムの場合)



改良型スカラップ工法 [承認を受けた場合]

●B・H方式



※1. 全周すみ肉溶接又は突き合わせ (裏あて金付)

構造細目共通図 鉄骨構造標準図(2)

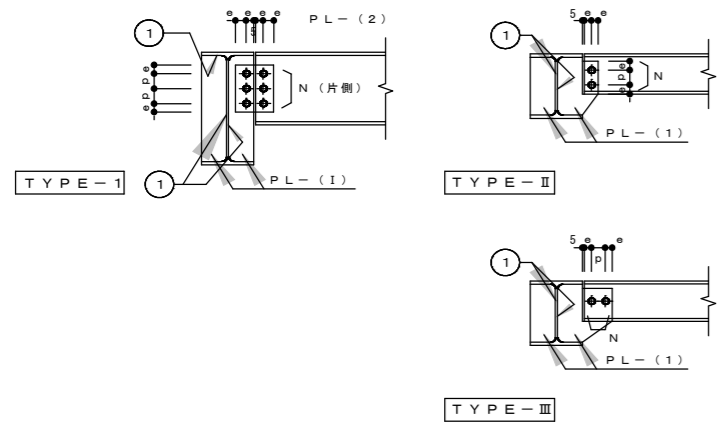
3. 継手標準図, その他

(1) ボルトピッチ (P) ボルト穴径・最小継手距離

呼び	ボルト穴径	最小継手距離 (e)				ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	最小	標準
M16	17.0	4.0	2.8	2.2	4.0	4.0	6.0
M20	21.5	5.0	3.4	2.6	4.0	5.0	6.0
M22	23.5	5.5	3.8	2.8	4.0	5.5	6.0
M24	25.5	6.0	4.4	3.0	4.5	6.0	7.0

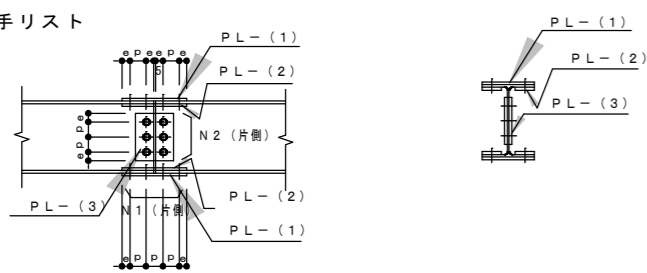
〔注〕 (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の継手距離
 (2) せん断線・手動ガス切断線の場合の継手距離
 (3) 圧延線・自動ガス切断線・のこ引き線・機械仕上線の場合の継手距離

(2) ビン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部材	フランジ		ウェブ
			PL-(1)	PL-(2)	
/					

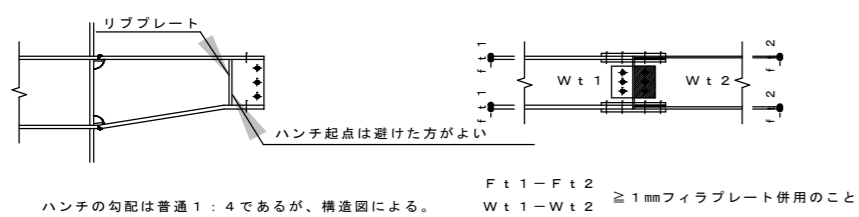
(3) 剛接合継手リスト



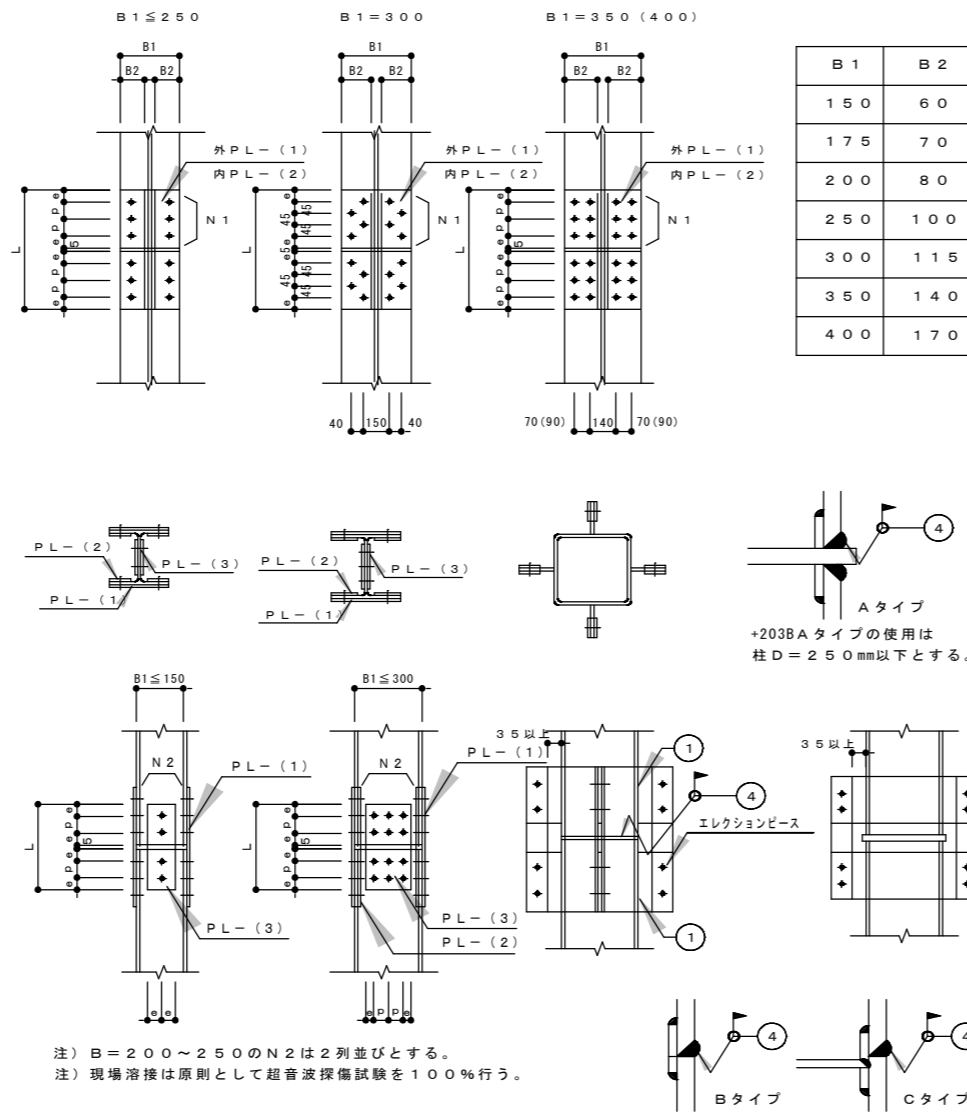
〔注〕 端部をBHとする場合の部材は設計図による。

符号	部材	フランジ		ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	PL-(3)	N2-径
/					

(4) ハンチ部の継手



(5) 柱継手リスト



注) B=200~250のN2は2列並びとする。
 注) 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%行う。

符号	部材	フランジ			ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
/						

(6) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする: JISA5540~5542 (1982))

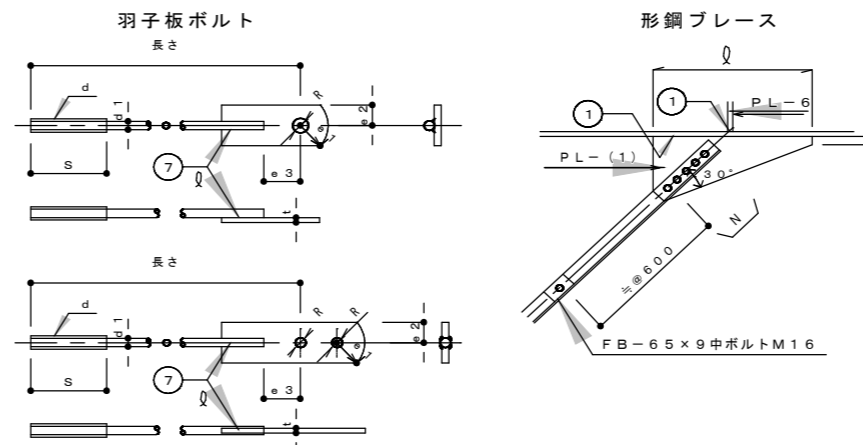
(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び (d)	規格	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
		最大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33
最小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77	
調整ねじの長さ	S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径許容差 +0-0.5mm	R	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき (最小) (2)	e1	35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき (最小) (1)	e2	22	28	28	34	34	38
	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9
平鋼製	へりあき (最小) (1)	e2	19	25	25	32.5	37.5	37.5
	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴芯のあき (最小)	e3	47	52	59	66	66	73	70
	溶接長さ (最小)	40	50	55	60	75	85	85

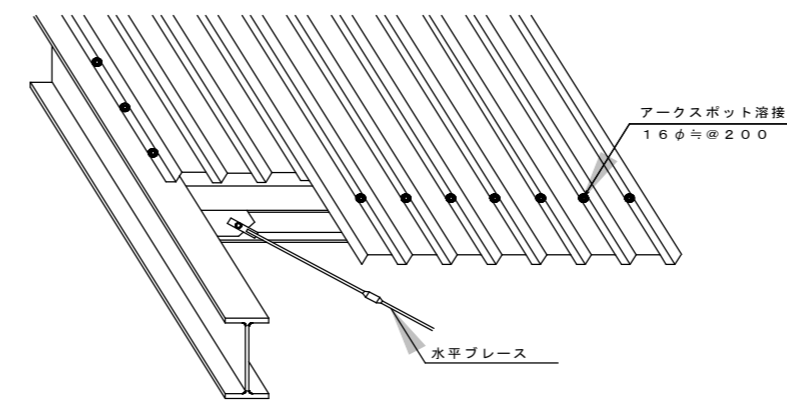
注 1) e1, e2が確保されていれば形状は自由でよい。
 2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断 (支圧) 接合とする。

(b) 形鋼ブレース

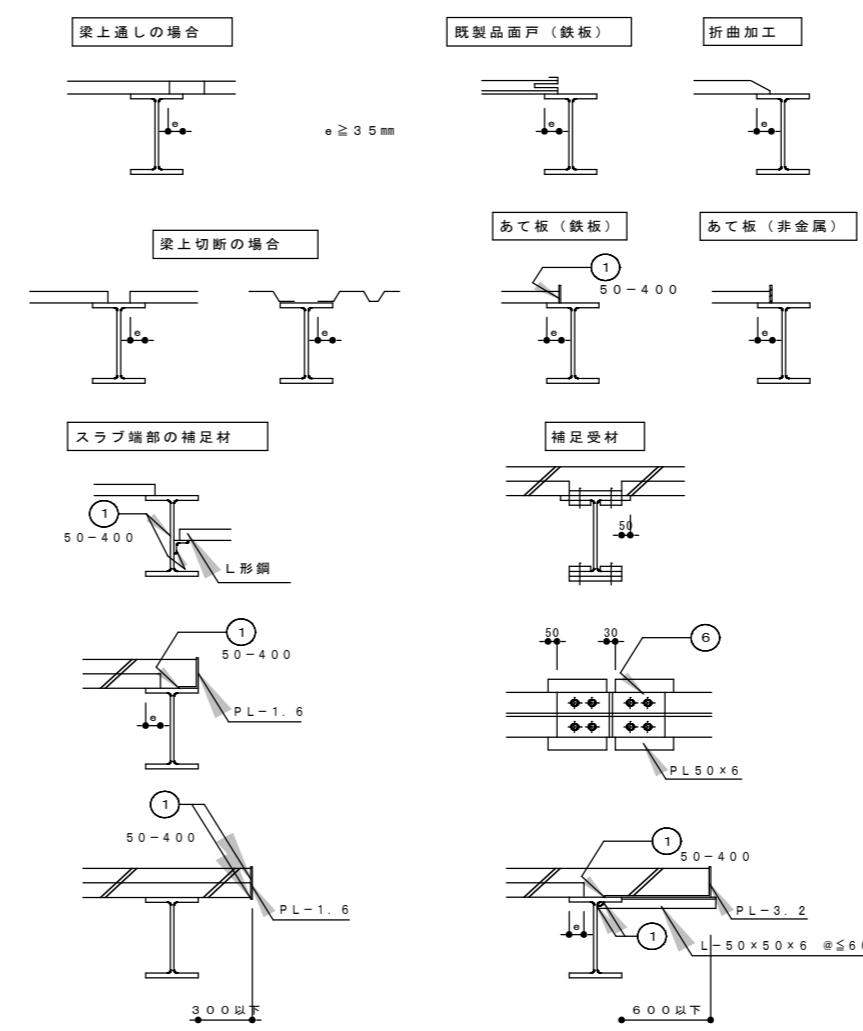
符号	部材	PL-(1)	N1-径	Q
V1	1-M16 (JIS既製品)		1-M16	
/				



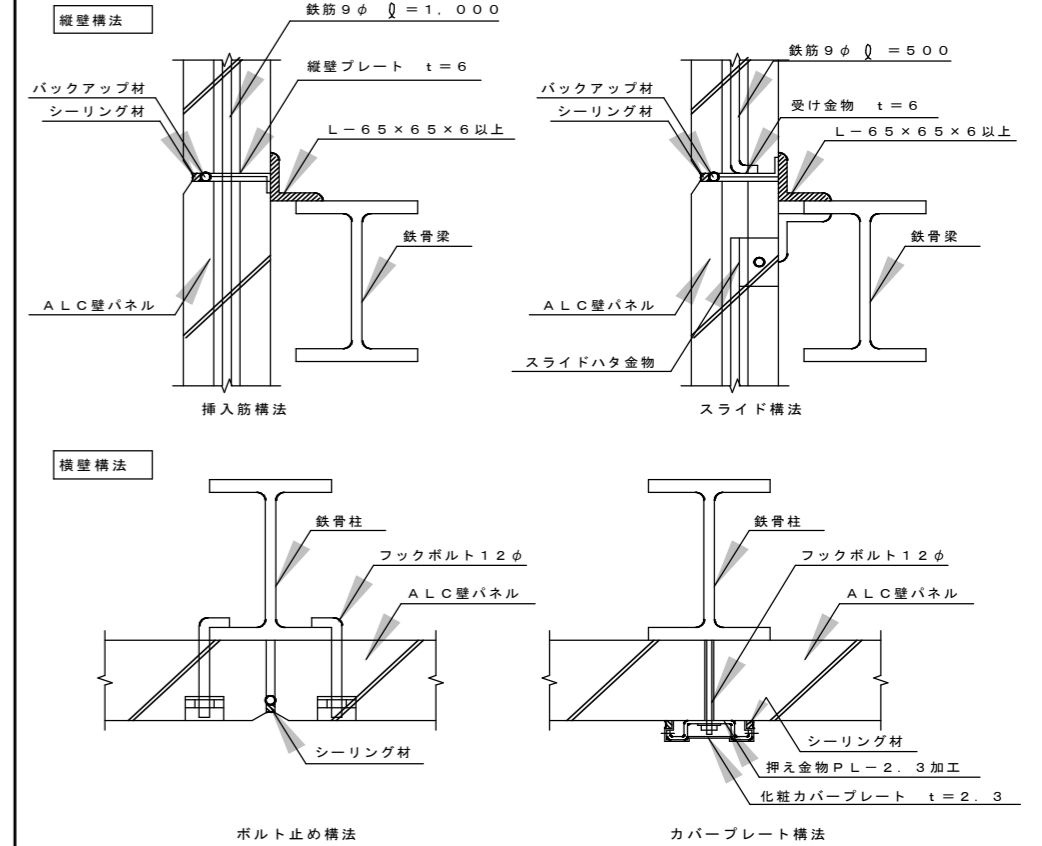
(7) デッキプレート 梁との (床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照) 溶接及びコネクター



受梁へのかかり寸法及び端部処理



(8) ALC板取付要領

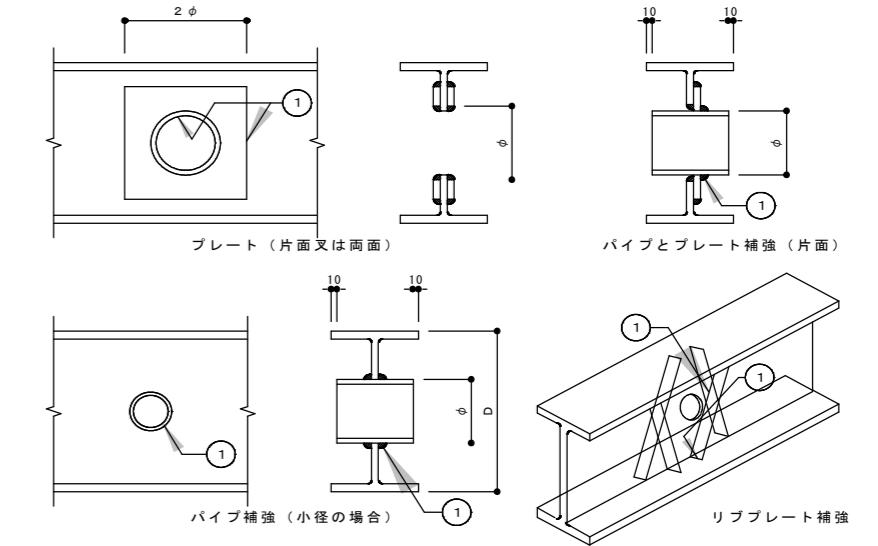


(9) 頭付きスタッド (JIS1198)

形状	スタッド材			
	呼び名	軸径 d (mm)	頭径 D (mm)	頭高さ T (mm)
φ13mm	2.2.0	13.0	22.0	10.0
	2.5.4	12.7	25.4	7.9
	2.9.0	16.0	29.0	10.0
φ16mm	3.1.7	15.8	31.7	7.9
	3.7.9	19.0	37.9	10.0
φ19mm	4.2.0	19.0	42.0	10.0
	4.9.5	19.0	49.5	9.5
φ22mm	5.0.0	22.0	50.0	10.0
	5.9.5	22.0	59.5	9.5

(10) 梁貫通補強

●計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらずに良い。
 ●梁端部 (スパンの 1/10 以内かつ 2D 以内) は避ける。
 ●φ ≤ 0.4D



(11) その他

溶接基準図

一般事項

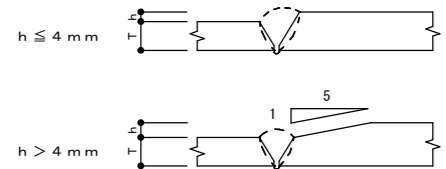
1. 適用範囲 (特記なき限り各項目による)
 (1) この基準図は日本建築学会「溶接工作基準図解説 アーク手溶接、サブマージアーク自動溶接、ガスシールドアーク半自動溶接」及び「鉄骨工事技術指針・同解説」に準拠し鉄骨溶接工事に適用する。
 (2) この標準図と異なる開先形状、寸法を採用する場合は予め設計者または管理技師の承認を得ること、又特殊溶接法を用いる場合も同様とする。

2. 特記事項

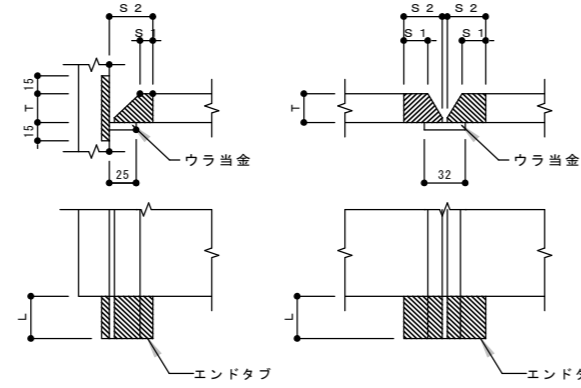
- (1) 記号 G: ルート開隔、又は部材間の開隔
 D: 開先深さ
 R: ルート面
 α : 開先角度
 S: 隅肉溶接のサイズ
 T: 母材の板厚
- (2) 手溶接、半自動溶接は下向及び横向、又自動溶接は下向を原則とする。
 (3) 手溶接の少なくとも第一層目の棒径は4mm以下とする。但し隅肉溶接はこの限りではない。
 (4) 半自動溶接は1.4mm径のソリッドワイヤを原則とする。
 (5) スカラップの大きさは原則として半径35mmとする。但し板厚により適宜に増減を行なう。
 (6) 適用板厚は下表を原則とする。

鋼種	板厚 (T)
SS400	6 ≤ T ≤ 22
SM400A	
SM400B	6 ≤ T ≤ 50
SM400C	
SM490A	
SM490B	6 ≤ T ≤ 50
SM490C	
SM490YA	6 ≤ T ≤ 50
SM490YB	

(7) 合わせ溶接において母材の板厚が異なる場合は下記による。



(8) ウラ当金及びエンドタブの厚さ、形状は下記を原則とする。



ウラ当金の厚さ

母材の板厚 T	手溶接	半自動溶接	自動溶接
T ≤ 6	4.5	4.5	12
6 < T ≤ 16	6	6	12
16 < T ≤ 32	9	9	12
32 < T	12	12	12

エンドタブのサイズ・長さ

板厚	手溶接	半自動溶接	自動溶接
S1 又は S2	30	30	50
L	35 かつ 2T	50 以上	150 以上

注) S1: 手及び半自動溶接の場合を示す。
 S2: 自動溶接の場合を示す。

(9) 開先加工の寸法許容度
 (イ) 開先角度については、 $-5' \leq \Delta\alpha$ とする。

(ロ) ルート面については下記による。

手溶接・半自動溶接・自動溶接	ウラ当金あり	$-2 < \Delta R \leq +1$
手溶接	ウラ当金なし	$-2 < \Delta R \leq +2$

(ハ) ルート開隔については下記による。

ウラ当金なし	手溶接	半自動溶接	自動溶接	許容度
手溶接	$-2 \leq \Delta G \leq +4$	$0 \leq \Delta G \leq +3$	$0 \leq \Delta G \leq +1$	+1
手溶接	$-2 \leq \Delta G$	$-2 \leq \Delta G$	$-2 \leq \Delta G$	+2
手溶接	$-2 \leq \Delta G$	$-2 \leq \Delta G$	$-2 \leq \Delta G$	+2

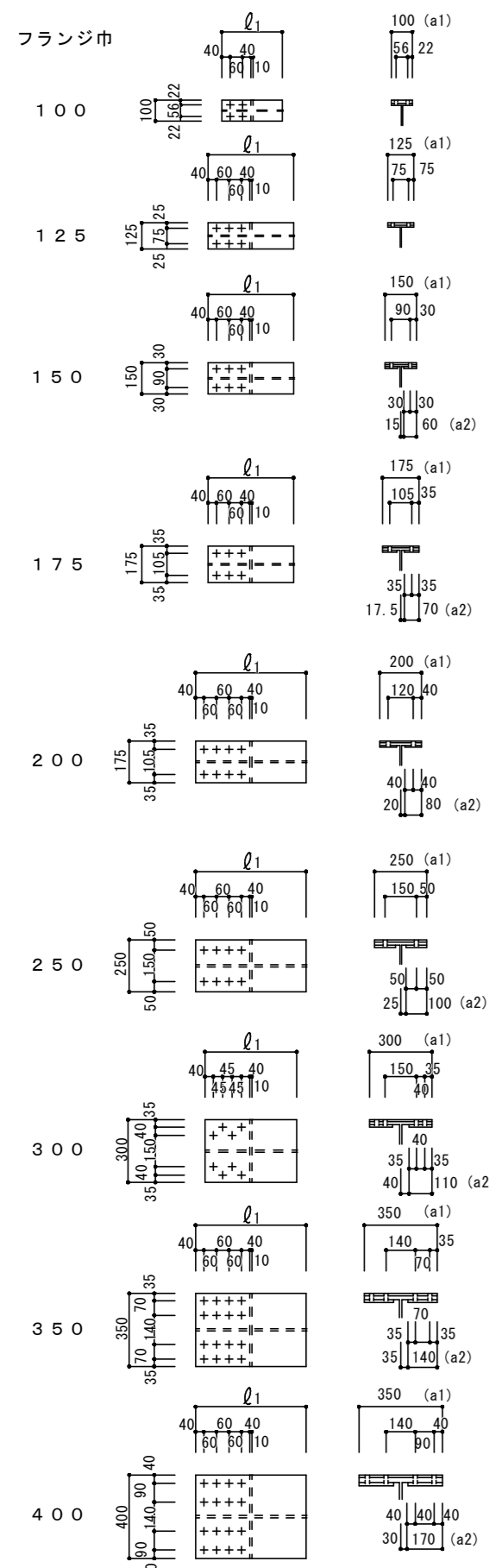
*1: 但し $G \leq T/2$ の場合は $0 < \Delta G \leq T/2$
 *2: 但し $G \leq T/3$ の場合は $0 < \Delta G \leq T/3$

溶接開先標準図

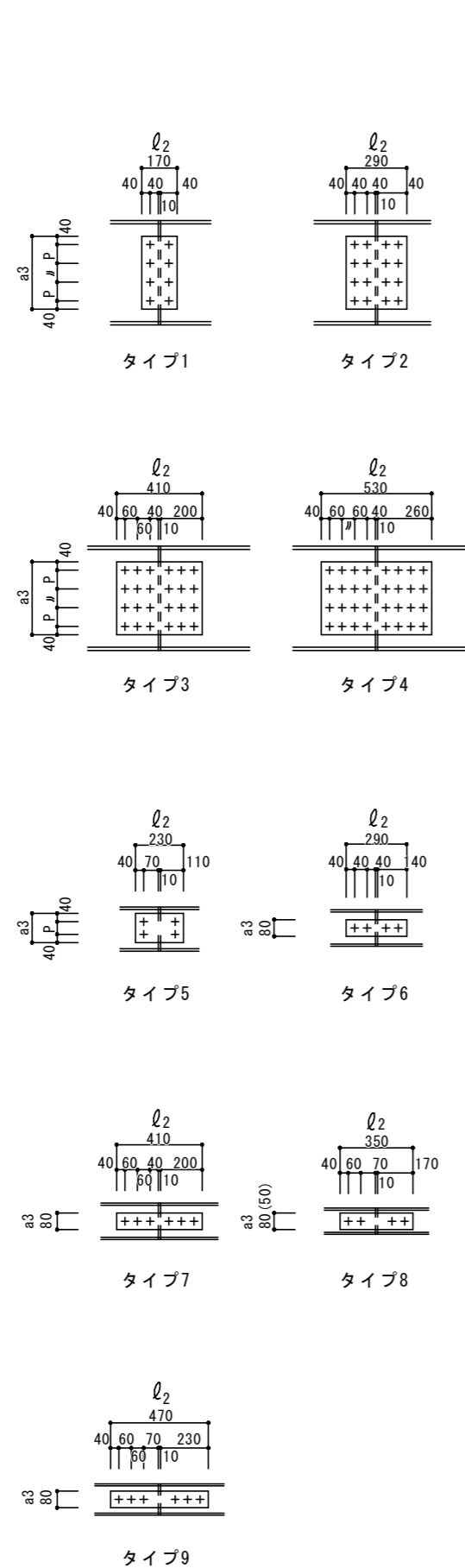
継手形状	寸法 (mm) ・ 角度 (度)			備考	
	手溶接	半自動溶接	自動溶接		
ウラハツリ	T	$T \leq 6$	$T \leq 6$	$T \leq 9$	G
	G	$T/3 \leq 2$	$T/3 \leq 2$	0	
	R	T	T	T	
ウラハツリ	T	$6 < T \leq 16$	$6 < T \leq 16$	$9 < T \leq 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$6 < T \leq 16$	$6 < T \leq 16$	$12 < T \leq 26$	G
	G	6	6	10	
	R	0	0	2	
ウラハツリ	T	$9 < T \leq 19$	$9 < T \leq 19$	$12 < T \leq 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 25$	G
	G	9	9	10	
	R	2	0	2	
ウラハツリ	T	$T > 19$	$T > 19$	$T > 19$	G
	G	35°	35°	30°	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$	$T > 16$	$T > 19$	G
	G	2	0	0	
	R	2	2	6	
ウラハツリ	T	$T > 16$			

H 形 鋼 等 継 手 標 準 図 (SCSS-H97に準拠)

フランジ ボルト配置



ウェブ ボルト配置



梁400N級鋼

剛 接 合

採用 符号	主 材 H-A x B x t 1x t 2	高力 ボルト 径	フ ラ ン ジ		ウ ェ ブ		P	タ イ プ	
			ボルト 総本数	外側添板 2PL- t21 x a 1 x l1	内側添板 4PL- t22 x a 2 x l1	ボルト 総本数			添 板 2PL- t11 x a 3 x l2
	H-200 x 100 x 5.5 x 8	16	16	16 x 100 x 290	—	4	6 x 140 x 170	60	1
	H-248 x 124 x 5 x 8	16	24	12 x 124 x 410	—	8	6 x 170 x 290	90	2
	H-250 x 125 x 6 x 9	16	24	12 x 125 x 410	—	8	6 x 170 x 290	90	2
	H-298 x 149 x 5.5 x 8	20	16	9 x 149 x 290	9 x 60 x 290	4	6 x 200 x 170	120	1
	H-300 x 150 x 6.5 x 9	20	16	9 x 150 x 290	9 x 60 x 290	4	6 x 200 x 170	120	1
	H-350 x 175 x 7 x 11	20	16	9 x 175 x 290	9 x 70 x 290	6	6 x 260 x 170	90	1
	H-400 x 200 x 8 x 13	20	24	9 x 200 x 410	9 x 80 x 410	8	9 x 260 x 170	60	1
	H-450 x 200 x 9 x 14	20	24	12 x 200 x 410	12 x 80 x 410	10	9 x 320 x 170	60	1
	H-500 x 200 x 10 x 16	22	24	12 x 200 x 410	12 x 80 x 410	8	9 x 350 x 170	90	1
	H-600 x 200 x 11 x 17	22	24	12 x 200 x 410	12 x 80 x 410	14	9 x 440 x 170	60	1
	H-148 x 100 x 6 x 9	16	16	16 x 100 x 290	—	4	6 x 80 x 290	—	6
	H-194 x 150 x 6 x 9	16	16	9 x 150 x 290	9 x 150 x 290	4	6 x 140 x 230	60	5
◎	G1.2 H-244 x 175 x 7 x 11	20	16	9 x 175 x 290	9 x 70 x 290	4	9 x 140 x 170	60	1
	H-294 x 200 x 8 x 12	20	24	9 x 200 x 410	9 x 80 x 410	6	9 x 200 x 170	60	1
	H-340 x 250 x 9 x 14	20	24	12 x 250 x 410	12 x 100 x 410	6	9 x 200 x 170	60	1
	H-390 x 300 x 10 x 16	20	32	12 x 300 x 440	12 x 110 x 440	8	9 x 260 x 170	60	1
	H-440 x 300 x 11 x 18	22	32	12 x 300 x 440	12 x 110 x 440	10	9 x 320 x 170	60	1
	H-488 x 300 x 11 x 18	22	32	12 x 300 x 440	12 x 110 x 440	10	12 x 320 x 170	60	1
	H-582 x 300 x 12 x 17	22	32	16 x 300 x 470	16 x 110 x 470	14	9 x 440 x 170	60	1
	H-588 x 300 x 12 x 20	22	32	12 x 300 x 440	16 x 110 x 440	14	9 x 440 x 170	60	1
	H-700 x 300 x 13 x 24	22	40	19 x 300 x 530	19 x 110 x 530	18	9 x 560 x 170	60	1
	H-800 x 300 x 14 x 26	22	40	19 x 300 x 530	19 x 110 x 530	20	12 x 620 x 170	60	1
	H-890 x 299 x 15 x 23	22	40	16 x 300 x 530	19 x 110 x 530	24	12 x 740 x 170	60	1
	H-900 x 300 x 16 x 28	22	48	19 x 300 x 620	22 x 110 x 620	24	12 x 740 x 170	60	1
	H-912 x 302 x 18 x 34	22	56	25 x 300 x 710	25 x 110 x 710	40	16 x 520 x 290	60	1
	H-918 x 303 x 19 x 37	22	56	25 x 300 x 710	28 x 110 x 710	40	16 x 620 x 290	60	2
	H-100 x 100 x 6 x 8	16	16	16 x 100 x 290	—	4	9 x 50 x 350	—	8
	H-125 x 125 x 6.5 x 9	16	24	12 x 125 x 410	—	4	6 x 80 x 350	—	8
	H-150 x 150 x 7 x 10	16	16	9 x 150 x 290	9 x 60 x 290	4	9 x 80 x 350	—	8
	H-175 x 175 x 7.5 x 11	20	16	9 x 175 x 290	9 x 60 x 290	4	9 x 80 x 290	—	6
	H-200 x 200 x 8 x 12	20	16	9 x 200 x 290	9 x 80 x 290	4	6 x 140 x 170	60	1
	H-250 x 250 x 9 x 14	20	32	12 x 250 x 530	12 x 100 x 530	4	9 x 140 x 170	60	1

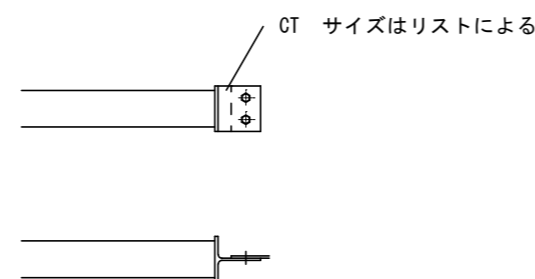
ピン 接 合

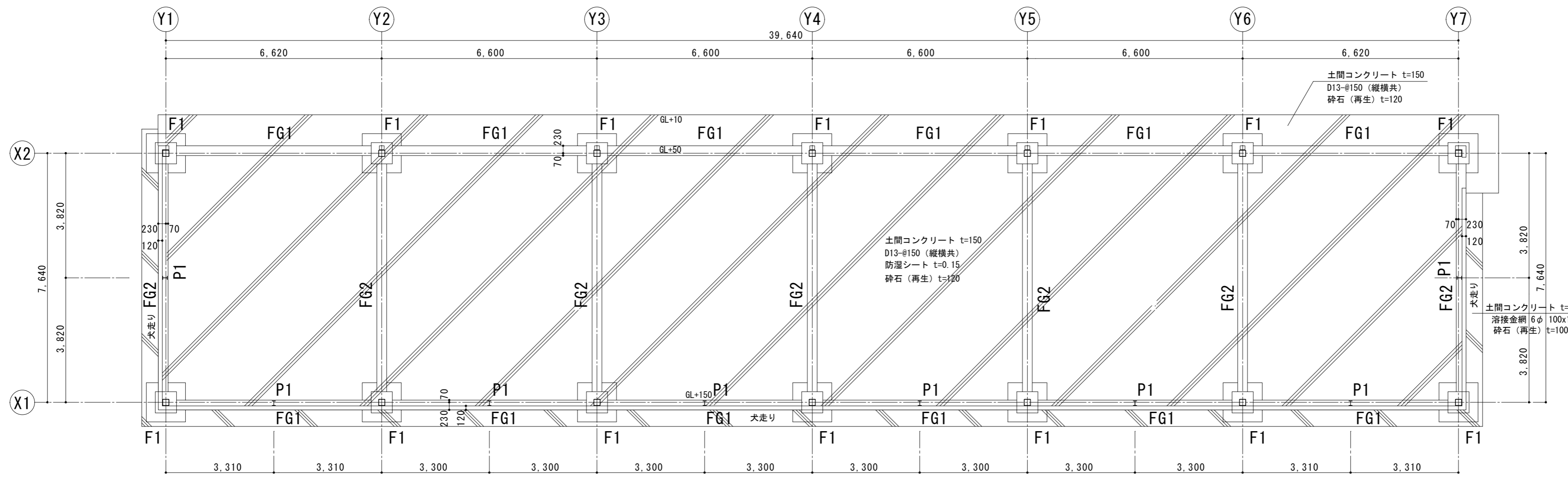
採用 符号	主 材 H-A x B x t 1x t	高力 ボルト 径	フ ラ ン ジ		ウ ェ ブ		P	タ イ プ	
			ボルト 総本数	外側添板 2PL- t21 x a 1 x l1	内側添板 4PL- t22 x a 2 x l1	ボルト 総本数			添 板 2PL- t11 x a 3 x l2
	H-100 x 50 x 5 x 7	16							
	H-125 x 60 x 6 x 8	16							
◎	P2 H-150 x 75 x 5 x 7	16				2	PL-6	60	II
◎	B2,V H-175 x 90 x 5 x 8	16				2	PL-6	60	II
	H-194 x 150 x 6 x 9 (横)	16				2	PL-6	60	II
	H-200 x 100 x 5.5 x 8	16				2	PL-6	60	II
◎	B1 H-248 x 124 x 5 x 8	16				3	PL-6	60	II
	H-250 x 125 x 6 x 9	16							
	H-300 x 150 x 6.5 x 9	20							
	H-350 x 175 x 7 x 11	20							
	H-400 x 200 x 8 x 13	20							
	H-450 x 200 x 9 x 14	22							
◎	P1 H-148 x 100 x 6 x 9	16				2	PL-6	60	II
	H-194 x 150 x 6 x 9	16							
	H-244 x 175 x 7 x 11	16							
	H-294 x 200 x 8 x 12	20							
	H-340 x 250 x 9 x 14	20							
	H-390 x 300 x 10 x 16	20							
	H-440 x 300 x 11 x 18	22							
	H-488 x 300 x 11 x 18	22							
	H-582 x 300 x 12 x 17	22							
	H-588 x 300 x 12 x 20	22							
	H-700 x 300 x 13 x 24	22							
	H-800 x 300 x 14 x 26	22							
	H-890 x 299 x 15 x 23	22							
	H-900 x 300 x 16 x 28	22							
	H-912 x 302 x 18 x 34	22							
	H-918 x 303 x 19 x 37	22							
	H-100 x 100 x 6 x 8	16							
	H-125 x 125 x 6.5 x 9	16							
	H-150 x 150 x 7 x 10	16							
	H-175 x 175 x 7.5 x 11	16							
	H-200 x 200 x 8 x 12	20							
	H-250 x 250 x 9 x 14	20							

ピン 接 合

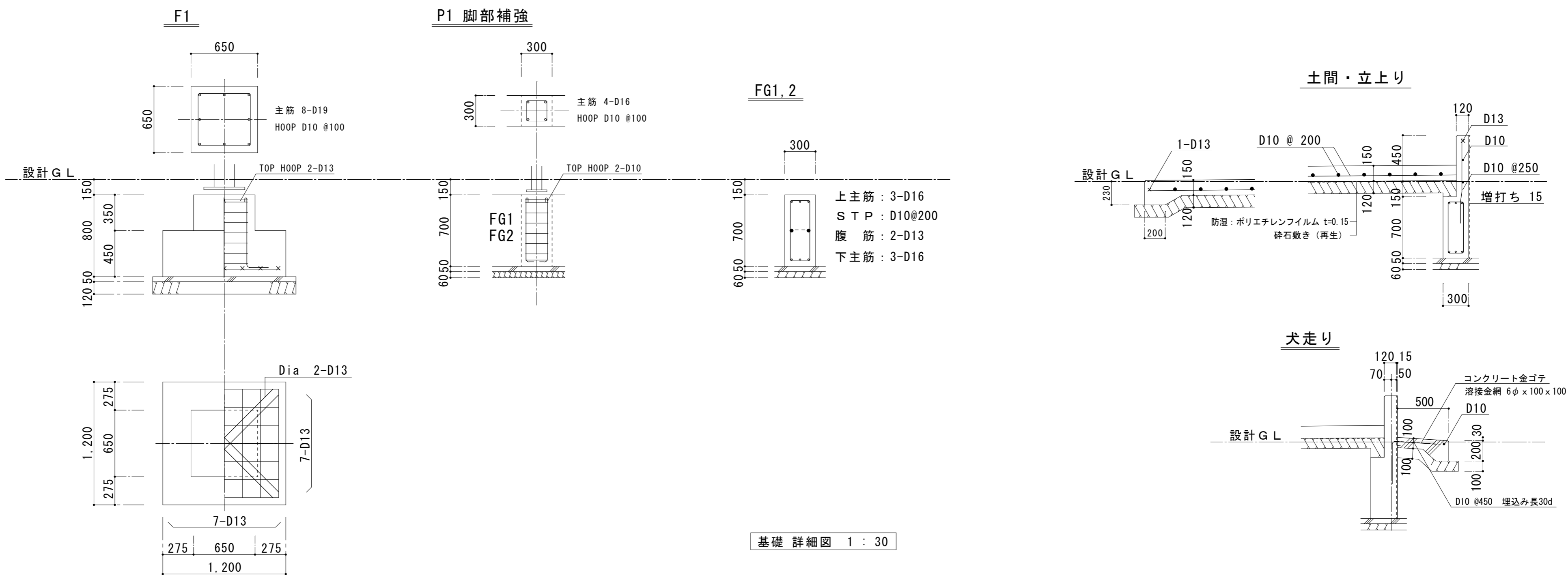
採用 符号	主 材 H-A x B x t 1x t	高力 ボルト 径	フ ラ ン ジ		ウ ェ ブ		P	タ イ プ
			ボルト 総本数	外側添板 2PL- t21 x a 1 x l1	内側添板 4PL- t22 x a 2 x l1	ボルト 総本数		
	[- 75 x 40 x 5 x 7	16						
	[- 100 x 50 x 5 x 7.5	16						
	[- 125 x 65 x 6 x 8	16						
	[- 150 x 75 x 6.5 x 10	16						
	[- 150 x 75 x 9 x 12.5	16						
	[- 180 x 75 x 7 x 10.5	16						
	[- 200 x 80 x 7.5 x 11	16						
	[- 200 x 90 x 8 x 13.5	16						
	[- 250 x 90 x 9 x 13	16						
	[- 250 x 90 x 11 x 14.5	16						
	[- 300 x 90 x 9 x 13	16						
	[- 300 x 90 x 10 x 15.5	16						

角形鋼管 ピン接合

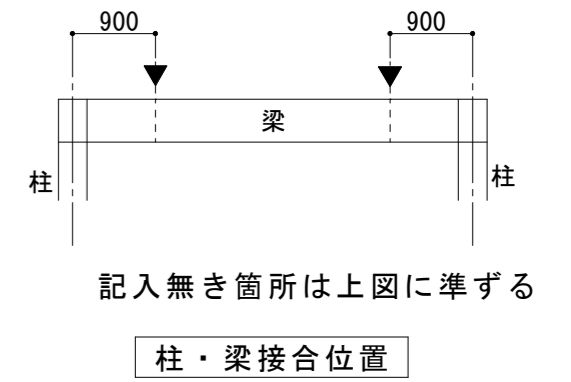
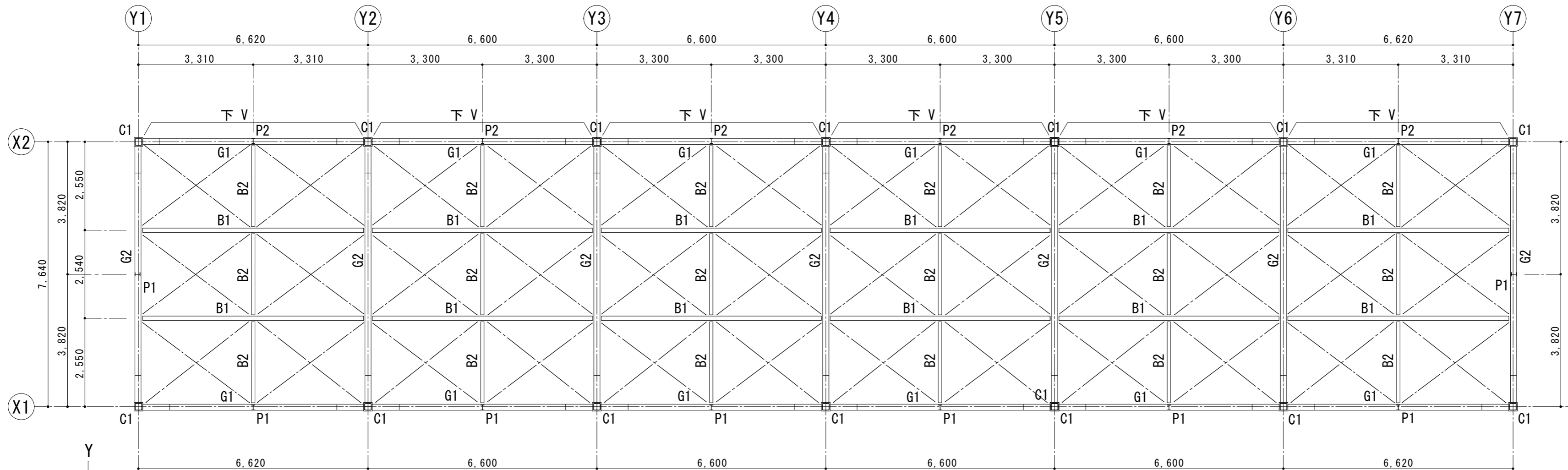




基礎伏図 1 : 100



基礎詳細図 1 : 30

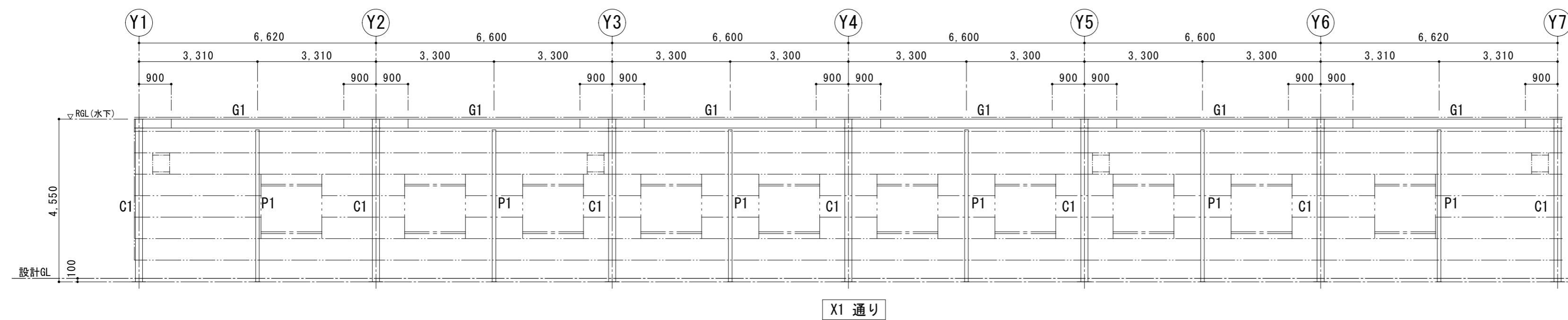
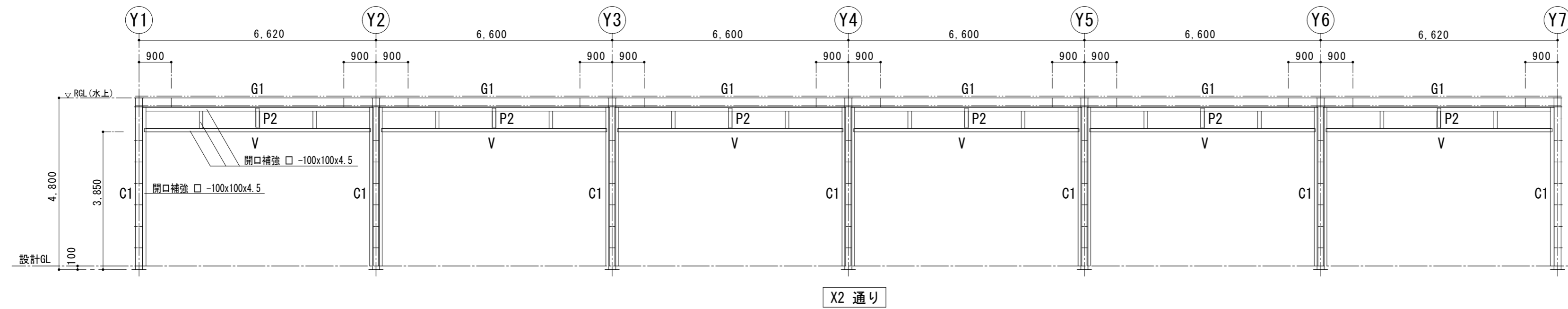
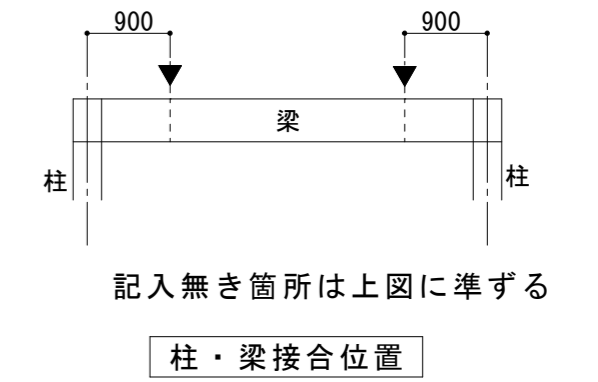
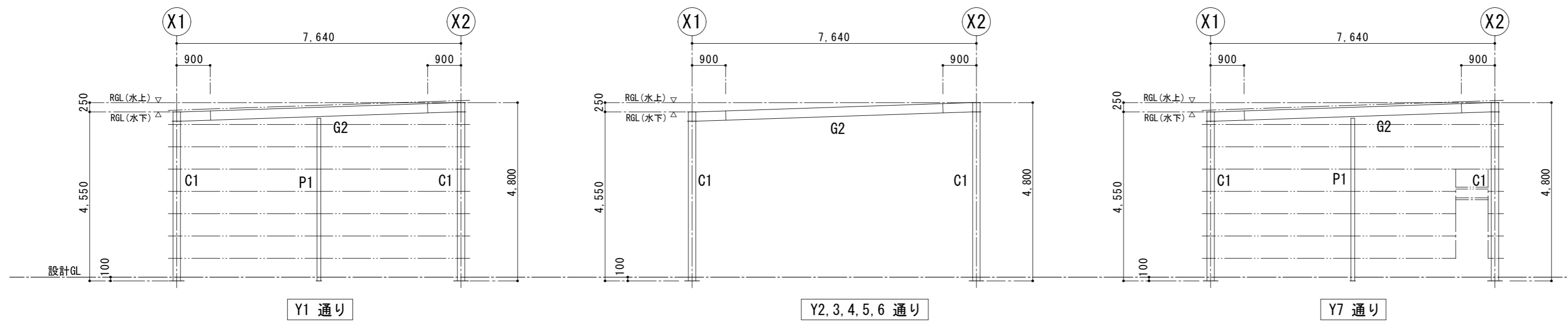


梁伏図 1 : 100

Y
X
構造計算解析方向

部 材 リ ス ト

項目	記号	鋼材	柱脚・フランジ	柱頭・ウエーブ	備考
柱	C1	□-200x200x9 BCR295	BPL - 25x400x400 (SN490C)、定着PL-16x75x75 (SS400)、 AB 4 - M24 ABR400 L=720 Wナット	DFPL 19x250x250 (SN490C)	BPLに座金全周溶接
	P1	H-148x100x6x9	BPL - 16x200x190、AB 2 - M16 L=450 Wナット	GPL - 6 HTB 2 - M16	SS400
	P2	H-150x75x5x7	GPL - 6 HTB 2 - M16	GPL - 6 HTB 2 - M16	同上
大梁	G1	H-244x175x7x11	2PL - 9 HTB 16 - M20	2PL - 9 HTB 4 - M20	SS400
	G2	同上	同上	同上	同上
小梁	B1	H-248x124x5x8		GPL - 6 HTB 3 - M16 50上り	SS400
	B2	H-175x90x5x8		GPL - 6 HTB 2 - M16	同上
	V	H-175x90x5x8		GPL - 6 HTB 2 - M16	同上
小屋ブレース	M16 GPL-6 HTB 1-M16	ターンバックル締め			JIS規格品
胴縁	C-100x50x20x2.3 @ 600、□-100x100x4.5 (開口部)	中ボルト 2 - M12			SSC400



軸組図 1 : 100

H 形 鋼 等 継 手 標 準 図 (SCSS-H97に準拠)

梁400N級鋼

剛 接 合

採用 符号	主 材 H-A x B x t 1x t 2	高力 ボルト 径	フ ラ ン ジ		ウ ェ ブ		P	タ イ プ	
			ボルト 総本数	外 側 添 板 2PL- t21 x a 1 x l1	内 側 添 板 4PL- t22 x a 2 x l1	ボルト 総本数			添 板 2PL- t11 x a 3 x l2
	H-200 x 100 x 5.5 x 8	16	16	16 x 100 x 290	—	4	6 x 140 x 170	60	1
	H-248 x 124 x 5 x 8	16	24	12 x 124 x 410	—	8	6 x 170 x 290	90	2
	H-250 x 125 x 6 x 9	16	24	12 x 125 x 410	—	8	6 x 170 x 290	90	2
	H-298 x 149 x 5.5 x 8	20	16	9 x 149 x 290	9 x 60 x 290	4	6 x 200 x 170	120	1
	H-300 x 150 x 6.5 x 9	20	16	9 x 150 x 290	9 x 60 x 290	4	6 x 200 x 170	120	1
	H-350 x 175 x 7 x 11	20	16	9 x 175 x 290	9 x 70 x 290	6	6 x 260 x 170	90	1
	H-400 x 200 x 8 x 13	20	24	9 x 200 x 410	9 x 80 x 410	8	9 x 260 x 170	60	1
	H-450 x 200 x 9 x 14	20	24	12 x 200 x 410	12 x 80 x 410	10	9 x 320 x 170	60	1
	H-500 x 200 x 10 x 16	22	24	12 x 200 x 410	12 x 80 x 410	8	9 x 350 x 170	90	1
	H-600 x 200 x 11 x 17	22	24	12 x 200 x 410	12 x 80 x 410	14	9 x 440 x 170	60	1
	H-148 x 100 x 6 x 9	16	16	16 x 100 x 290	—	4	6 x 80 x 290	—	6
	H-194 x 150 x 6 x 9	16	16	9 x 150 x 290	9 x 150 x 290	4	6 x 140 x 230	60	5
◎ G1.2	H-244 x 175 x 7 x 11	20	16	9 x 175 x 290	9 x 70 x 290	4	9 x 140 x 170	60	1
	H-294 x 200 x 8 x 12	20	24	9 x 200 x 410	9 x 80 x 410	6	9 x 200 x 170	60	1
	H-340 x 250 x 9 x 14	20	24	12 x 250 x 410	12 x 100 x 410	6	9 x 200 x 170	60	1
	H-390 x 300 x 10 x 16	20	32	12 x 300 x 440	12 x 110 x 440	8	9 x 260 x 170	60	1
	H-440 x 300 x 11 x 18	22	32	12 x 300 x 440	12 x 110 x 440	10	9 x 320 x 170	60	1
	H-488 x 300 x 11 x 18	22	32	12 x 300 x 440	12 x 110 x 440	10	12 x 320 x 170	60	1
	H-582 x 300 x 12 x 17	22	32	16 x 300 x 470	16 x 110 x 470	14	9 x 440 x 170	60	1
	H-588 x 300 x 12 x 20	22	32	12 x 300 x 440	16 x 110 x 440	14	9 x 440 x 170	60	1
	H-700 x 300 x 13 x 24	22	40	19 x 300 x 530	19 x 110 x 530	18	9 x 560 x 170	60	1
	H-800 x 300 x 14 x 26	22	40	19 x 300 x 530	19 x 110 x 530	20	12 x 620 x 170	60	1
	H-890 x 299 x 15 x 23	22	40	16 x 300 x 530	19 x 110 x 530	24	12 x 740 x 170	60	1
	H-900 x 300 x 16 x 28	22	48	19 x 300 x 620	22 x 110 x 620	24	12 x 740 x 170	60	1
	H-912 x 302 x 18 x 34	22	56	25 x 300 x 710	25 x 110 x 710	40	16 x 520 x 290	60	1
	H-918 x 303 x 19 x 37	22	56	25 x 300 x 710	28 x 110 x 710	40	16 x 620 x 290	60	2
	H-100 x 100 x 6 x 8	16	16	16 x 100 x 290	—	4	9 x 50 x 350	—	8
	H-125 x 125 x 6.5 x 9	16	24	12 x 125 x 410	—	4	6 x 80 x 350	—	8
	H-150 x 150 x 7 x 10	16	16	9 x 150 x 290	9 x 60 x 290	4	9 x 80 x 350	—	8
	H-175 x 175 x 7.5 x 11	20	16	9 x 175 x 290	9 x 60 x 290	4	9 x 80 x 290	—	6
	H-200 x 200 x 8 x 12	20	16	9 x 200 x 290	9 x 80 x 290	4	6 x 140 x 170	60	1
	H-250 x 250 x 9 x 14	20	32	12 x 250 x 530	12 x 100 x 530	4	9 x 140 x 170	60	1

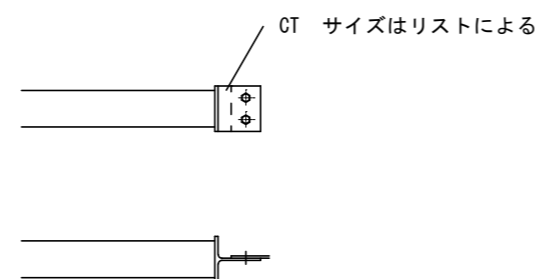
ピン 接 合

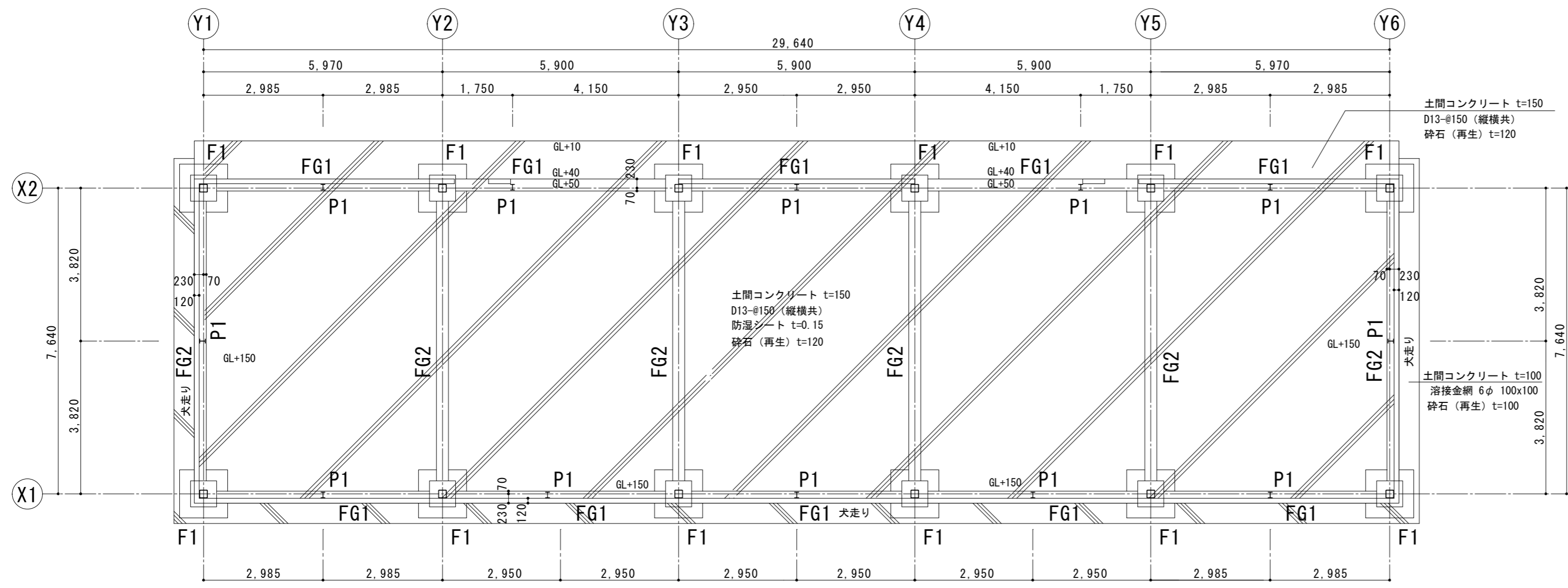
採用 符号	主 材 H-A x B x t 1x t	高力 ボルト 径	フ ラ ン ジ		ウ ェ ブ		P	タ イ プ	
			ボルト 総本数	外 側 添 板 2PL- t21 x a 1 x l1	内 側 添 板 4PL- t22 x a 2 x l1	ボルト 総本数			添 板 2PL- t11 x a 3 x l2
	H-100 x 50 x 5 x 7	16							
	H-125 x 60 x 6 x 8	16							
	H-150 x 75 x 5 x 7	16							
◎ B2	H-175 x 90 x 5 x 8	16				2	PL-6	60	II
	H-194 x 150 x 6 x 9 (横)	16							
◎ B1	H-200 x 100 x 5.5 x 8	16				2(4)	PL-6	60	II
	H-250 x 125 x 6 x 9	16							
	H-300 x 150 x 6.5 x 9	20							
	H-350 x 175 x 7 x 11	20							
	H-400 x 200 x 8 x 13	20							
	H-450 x 200 x 9 x 14	22							
	H-500 x 200 x 10 x 16	22							
◎ P1	H-148 x 100 x 6 x 9	16				2	PL-6	60	II
	H-194 x 150 x 6 x 9	16							
	H-244 x 175 x 7 x 11	16							
	H-294 x 200 x 8 x 12	20							
	H-340 x 250 x 9 x 14	20							
	H-390 x 300 x 10 x 16	20							
	H-440 x 300 x 11 x 18	22							
	H-488 x 300 x 11 x 18	22							
	H-582 x 300 x 12 x 17	22							
	H-588 x 300 x 12 x 20	22							
	H-100 x 100 x 6 x 8	16							
	H-125 x 125 x 6.5 x 9	16							
	H-150 x 150 x 7 x 10	16							
	H-175 x 175 x 7.5 x 11	16							
	H-200 x 200 x 8 x 12	20							
	H-250 x 250 x 9 x 14	20							

ピン 接 合

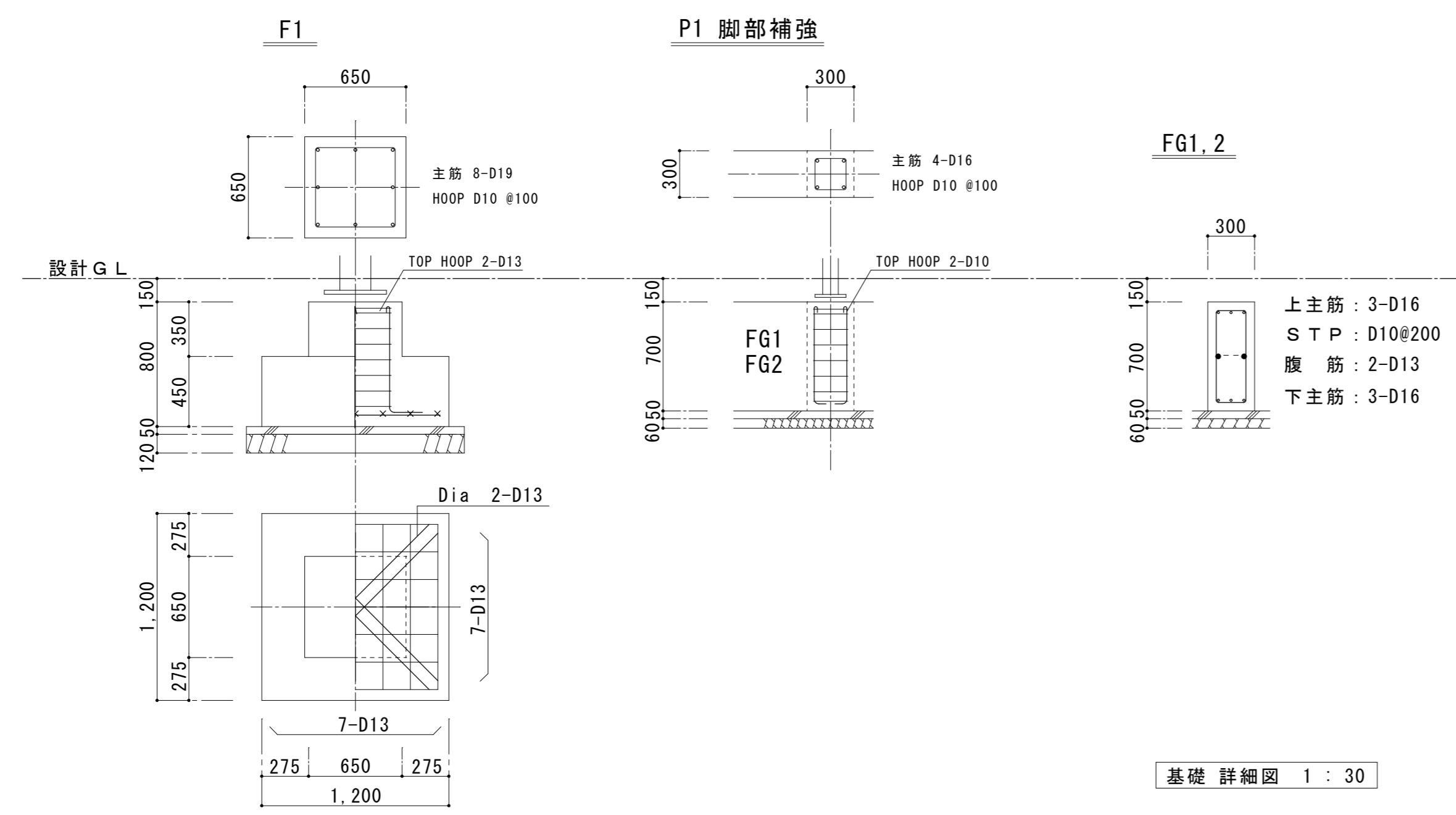
採用 符号	主 材 H-A x B x t 1x t	高力 ボルト 径	フ ラ ン ジ		ウ ェ ブ		P	タ イ プ
			ボルト 総本数	外 側 添 板 2PL- t21 x a 1 x l1	内 側 添 板 4PL- t22 x a 2 x l1	ボルト 総本数		
	[- 75 x 40 x 5 x 7	16						
	[- 100 x 50 x 5 x 7.5	16						
	[- 125 x 65 x 6 x 8	16						
	[- 150 x 75 x 6.5 x 10	16						
	[- 150 x 75 x 9 x 12.5	16						
	[- 180 x 75 x 7 x 10.5	16						
	[- 200 x 80 x 7.5 x 11	16						
	[- 200 x 90 x 8 x 13.5	16						
	[- 250 x 90 x 9 x 13	16						
	[- 250 x 90 x 11 x 14.5	16						
	[- 300 x 90 x 9 x 13							
	[- 300 x 90 x 10 x 15.5							

角形鋼管 ピン接合

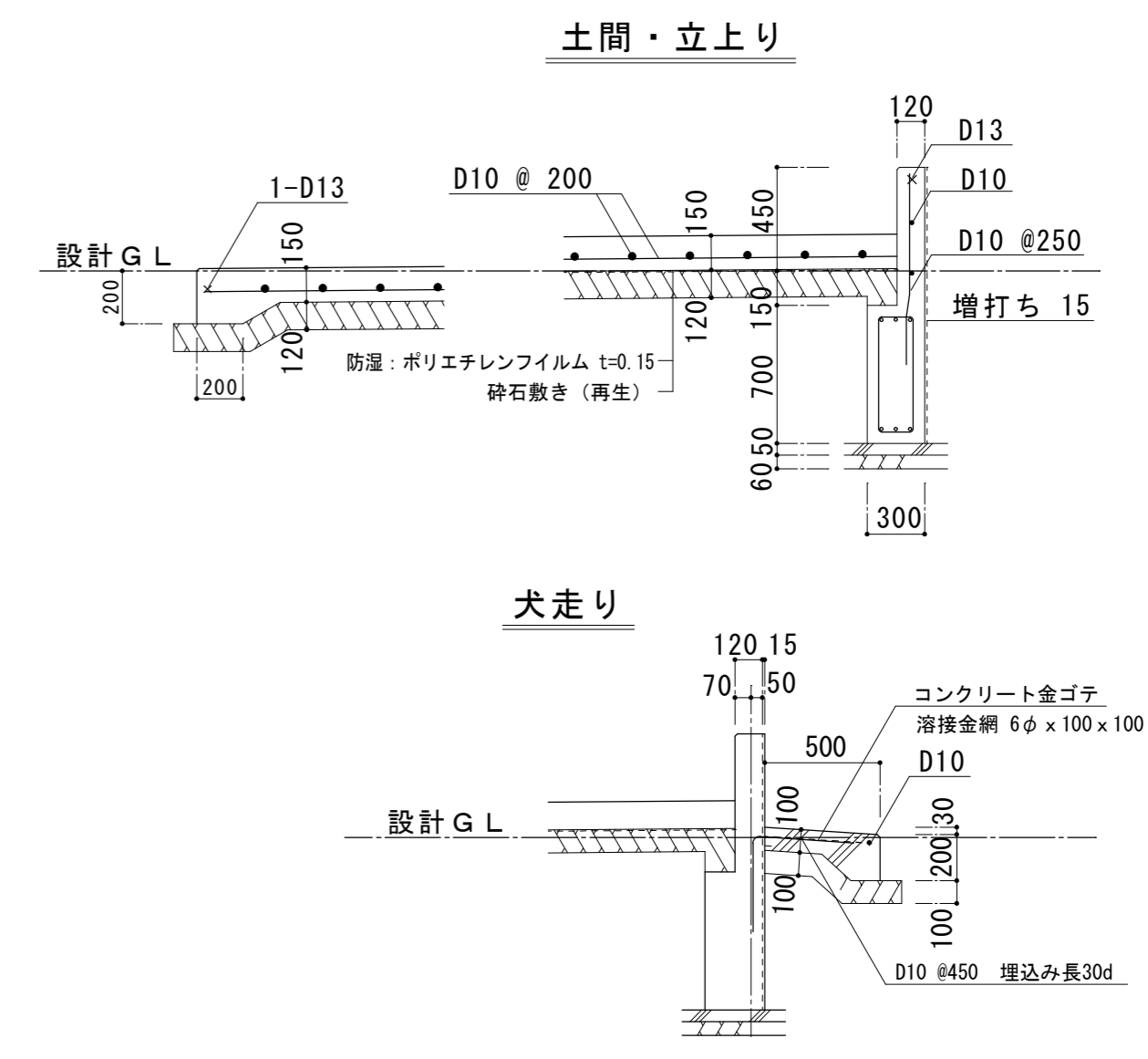


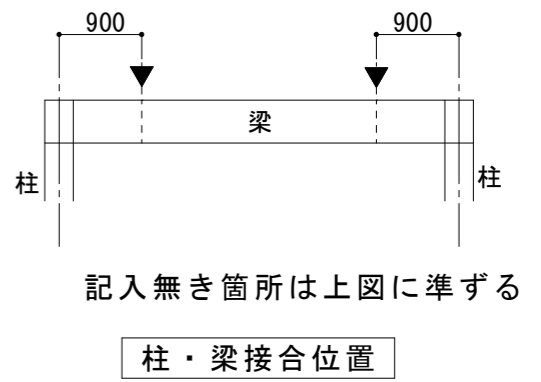
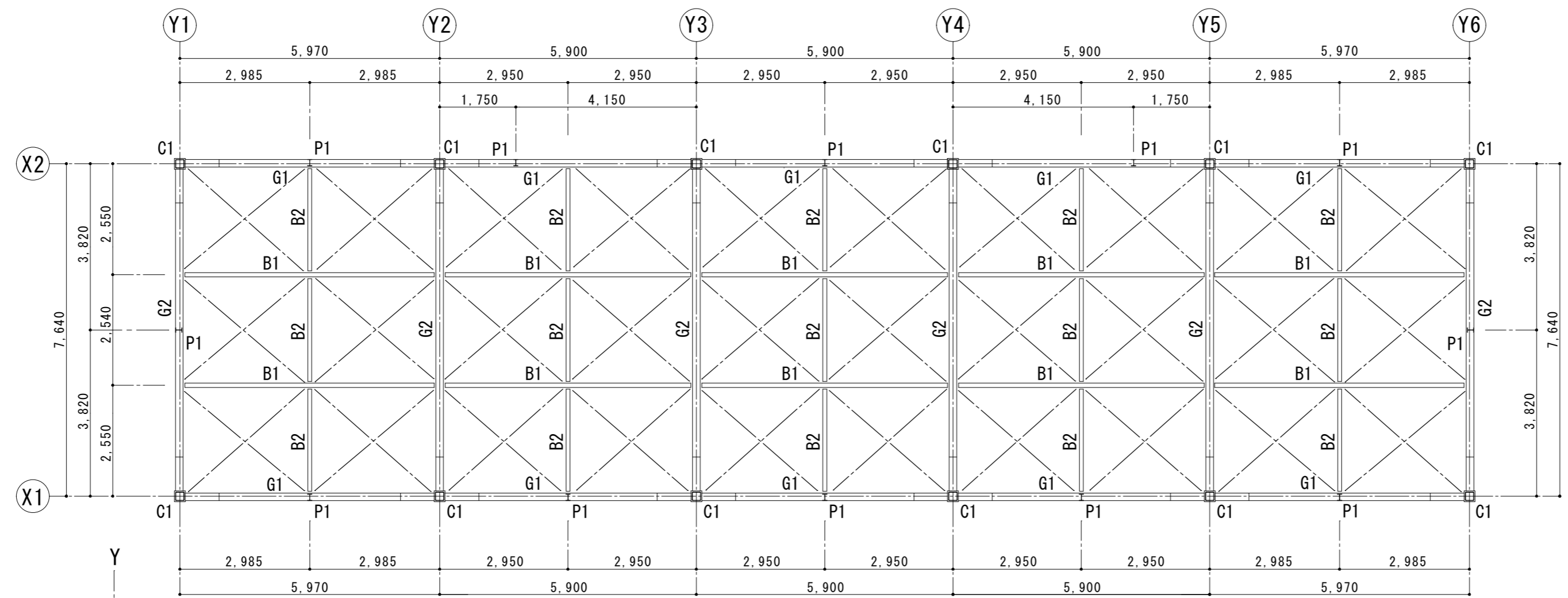


基礎伏図 1 : 100



基礎詳細図 1 : 30



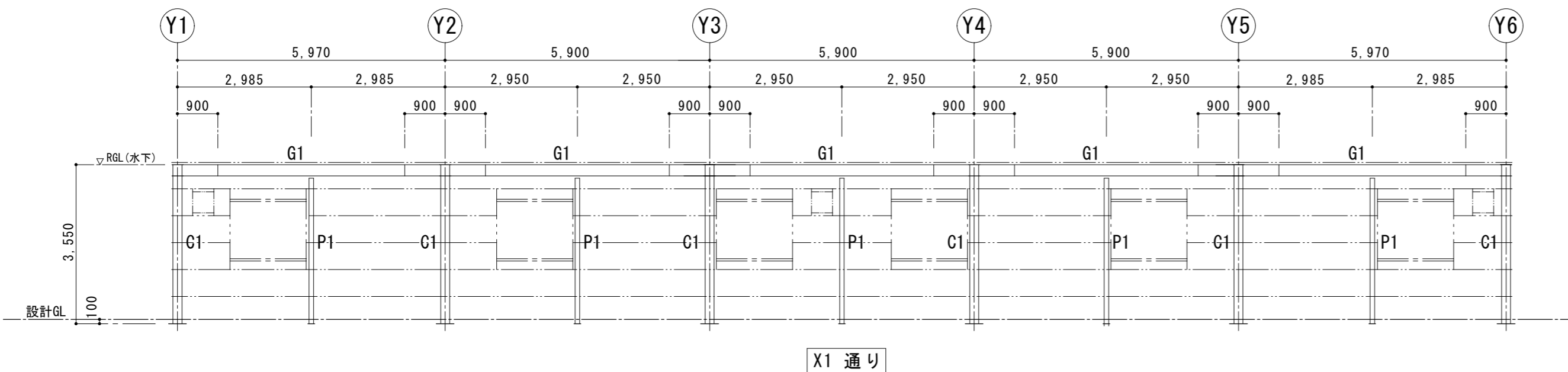
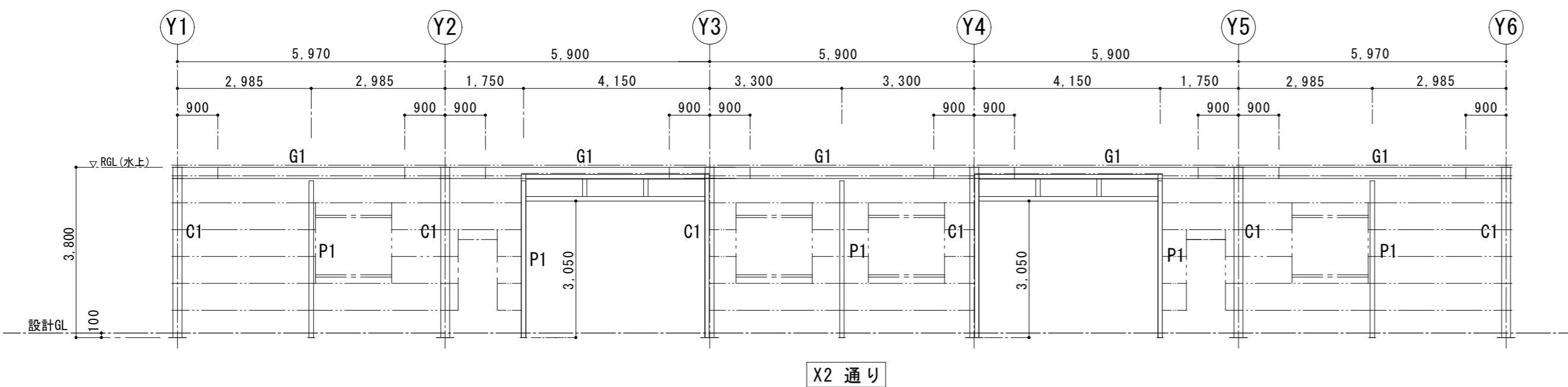
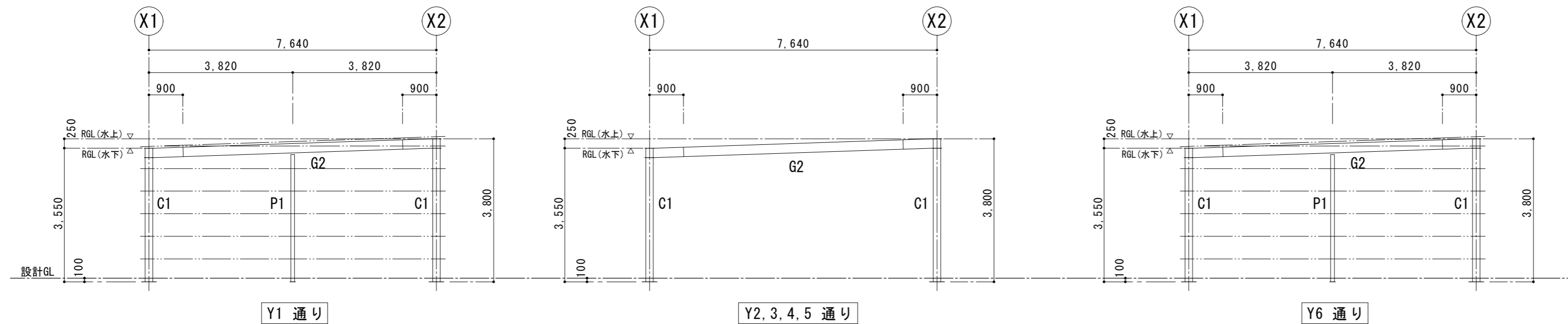


梁伏図 1 : 100

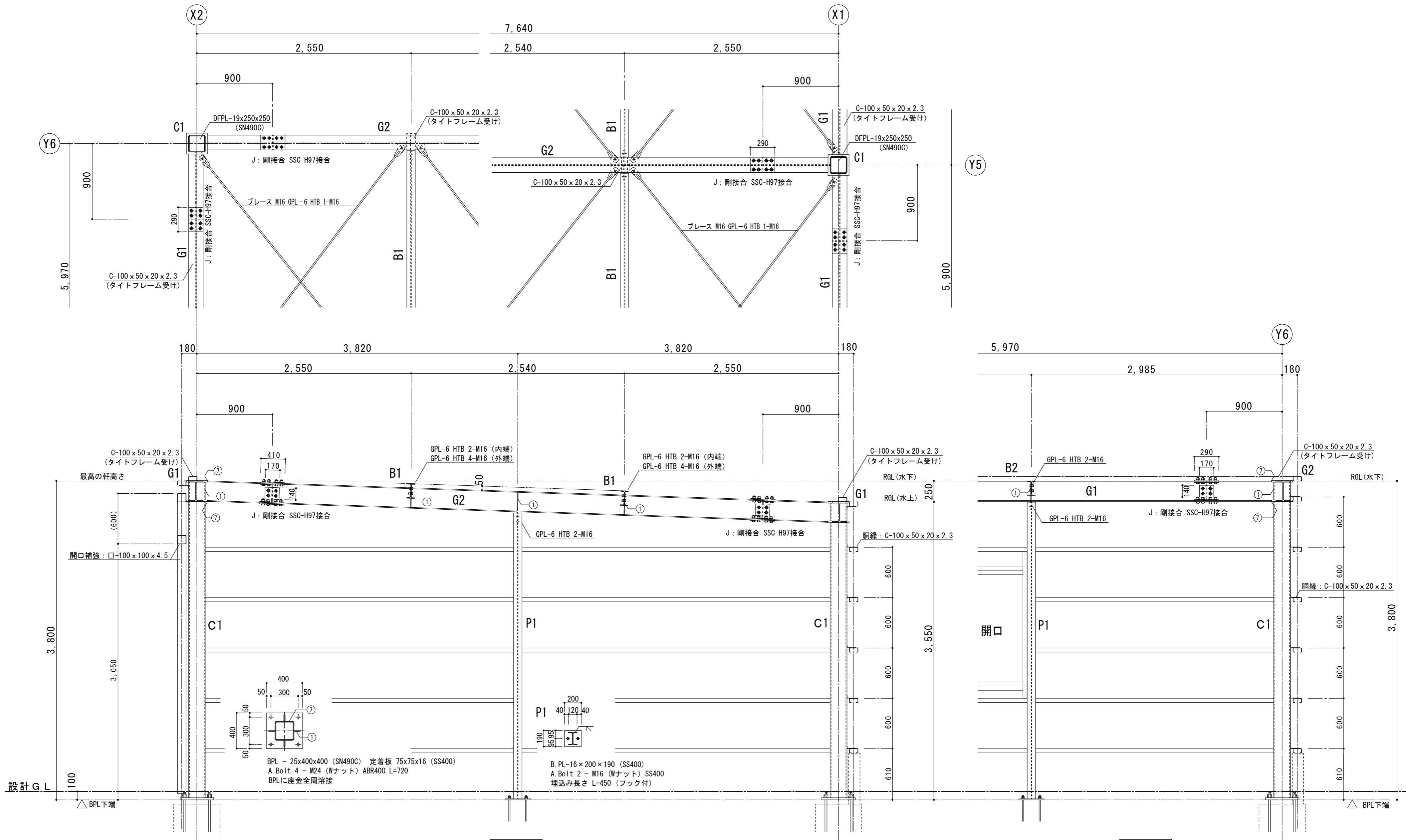
構造計算解析方向

部 材 リ ス ト

項目	記号	鋼材	柱脚・フランジ	柱頭・ウエーブ	備考
柱	C1	□-200x200x9 BCR295	BPL - 25x400x400 (SN490C)、定着PL-16x75x75 (SS400) AB 4 - M24 ABR400 L=720 Wナット	DFPL 19x250x250 (SN490C)	BPLに座金全周溶接
	P1	H-148x100x6x9	BPL - 16x200x290、AB 2 - M16 L=450 Wナット	GPL - 6 HTB 2 - M16	SS400
大梁	G1	H-244x175x7x11	2PL - 9 HTB 16 - M20	2PL - 9 HTB 4 - M20	SS400
	G2	同上	同上	同上	同上
小梁	B1	H-200x100x5.5x8		GPL - 6 HTB 2 (外端 4) - M16 50上り	SS400
	B2	H-175x90x5x8		GPL - 6 HTB 2 - M16	同上
小屋ブレース		M16 GPL-6 HTB 1-M16	ターンバックル締め		JIS規格品
胴縁		C -100x50x20x2.3 @ 600、□ -100x100x4.5 (開口部)中ボルト 2 - M12			SSC400



軸組図 1 : 100



鉄骨詳細図 1 : 30

株式会社 田中孝建築設計事務所	一級建築士事務所第1-2091号 三重県津市三重町津興433-47 TEL 059-226-7150 FAX 059-226-4960	一級建築士第123009号 田中 孝	制作年月日	備考	工事名称 津市建設作業事務所車庫等新築その他工事	図面名称・縮尺 倉庫 鉄骨詳細図 1 : 30	No. S17 原図 A2
-----------------	---	-----------------------	-------	----	-----------------------------	----------------------------	------------------

3 防水改修工事

① 全般

防水工事の保証書の提出及び保障年限
(3.7.2)
(表3.7.1)
○ 保障年限 10年 ・ その他
保証書（請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証）は各2通提出する。

2 アスファルト防水
(3.1.4)
(3.3.3)
(表3.3.3)～
(表3.3.10)

Table with 3 columns: 工法, 種別, 施工箇所. Rows include PIB, P1E, P2E and B-1, B-2, B-3, E-1, E-2.

改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()

(3.3.2)

断熱工法の断熱材 (P1B1, P2A1, T1B1, POD1, M3D1, M4D1)
材質 ・ ()
・ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b (スキンあり)
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号
厚さ ・ ()
ルーフトレンドリ回り及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示 (図面番号:)

(3.3.3) (b) (2)

脱気装置 (M3D, POD, POD1, M3D1, M4D1)
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ())
・ 設けない
・ 仕上塗料 種類 () 使用量 ()

(3.3.5)

保護コンクリートの厚さ こと仕上げ ・ 水下80mm以上 ・ ()
床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・ ()
保護層 ・ 設ける ・ 設けない
屋上排水溝の適用 ・ 適用する
立上り保護 ・ 乾式保護材 ()
・ れんが (材種 ・ JIS R1250)

3 改質アスファルトシート防水
(3.4.2)

改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, POAS1)
材質、厚さ ()
図示 ()

(3.4.3)
(表3.4.1)～
(表3.4.3)

Table with 4 columns: 工法, 種別, 施工箇所, 仕上塗料. Rows include M4AS and AS-T1, AS-T2, AS-J2.

脱気装置
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ())
・ 設けない

④ 合成高分子系ルーフィングシート防水
(3.5.2)

ルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ ()
絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート
固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示 ()
断熱工法の断熱材 (POS1, S4S1, S3S1, M4S1)
材質、厚さ ()
・ 図示 ()

(3.5.3)
(表3.5.1)～
(表3.5.3)

Table with 4 columns: 工法, 種別, 施工箇所, 仕上塗料. Rows include S3S, S3S1, S4S and S-F1, S-F2, S-M2.

(3.5.3)

脱気装置
○ 設ける
・ 設けない

(3.5.4)

既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合
目地処理 ・ 図示 (図面番号:)
増張り ・ 図示 (図面番号:)
保護層の施工 ・ 図示 (図面番号:)

⑤ 塗膜防水
(3.6.3)
(表3.6.1)
(3.6.3) (a)

Table with 4 columns: 工法, 種別, 施工箇所, 仕上塗料. Rows include POX, L4X and X-1, X-2.

脱気装置
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ())
・ 設けない

(3.6.3) (b)

Table with 3 columns: 工法, 種別, 施工箇所. Rows include P1Y, P2Y and Y-2.

保護層 ・ 図示 (図面番号:)
(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1) ・ 行う ・ 行わない
(L4X) ・ 行う ・ 行わない

6 既存防水層表面の仕上塗装の除去
(3.2.6) (c) (2)
(3.2.6) (c) (6)

⑦ シーリング

(3.7.2)
(表3.7.1)

Table with 3 columns: 種類, 材種, 施工箇所. Rows include SR-1, SR-2, MS-2, PS-2, PU-2.

(3.7.4)～(7)

工法
・ シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法
・ ブリッジ工法
(ポンドブレイカー幅 mm, エッジング材幅 mm)

(3.7.8)

シーリング材の試験
・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない

8 とい

(3.8.2)
(表3.8.1)

材種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ 配管用鋼管 (白管)
・ ()
工法 ・ 図示 (図面番号:)

9 アルミニウム製笠木

(3.9.2) (c)
(表3.9.1)

部材の種類
・ 押し出し250形
・ 押し出し300形
・ 押し出し350形
・ 板材折曲げ形 (本体幅 () mm, 板厚 ・ 2.0mm ・ ())

(3.9.3) (b)

固定金具の間隔 (mm)
固定方法 ・ ()

(3.9.2) (d)

表面処理 ・ ()
工法 既存笠木等の撤去 ・ 図示 (図面番号:)
下地補修の工法 ・ 図示 (図面番号:)
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示 (図面番号:)
笠木固定金具の工法 ・ 図示 (図面番号:)

(3.9.3)

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

4 外壁改修工事

1 施工数量調査

・ 行う ・ 行わない
調査範囲 ・ 全面 ・ ()
調査項目 ・ ひび割れ部 (幅0.2mm ・ 0.2mm～1.0mm ・ 1.0mm以上)
・ はがれ及びはく落部分
・ 浮き部
調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (足場 ・ ゴンドラ)
報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

2 改修工法の種類

(4.1.4)
(4.1.5)

Table with 3 columns: 外壁, 種類, 改修工法. Rows include コンクリート打直し, モルタル塗り, タイル張り, タイル張り仕上げ, 塗り仕上げ.

3 改修工法等

(4.2.2) (a)
(4.3.4)
(4.4.5)
(4.5.5)

樹脂注入工法
種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
・ 注入量 () 注入間隔 ()
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法
・ 注入量 () 注入間隔 ()
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法
・ 注入量 () 注入間隔 ()
材料 エポキシ樹脂JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂)
・ 低粘度形 ・ 中粘度形
コア抜取検査 ・ 行う ・ 行わない
・ 抜取り個数 ()
・ 抜取り部分補修方法 ()

(4.2.2) (b)

Uカットシール材充填工法
材料 ・ シーリング用材充填
(・ PU-1 ・ PU-2 ・ ())
・ 可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・ 行う ・ 行わない

(4.2.2) (c)

シール工法
材料 ・ バテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2) (d)

充填工法
材料 ・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2) (g)

モルタル塗替え工法
材料 ・ 既製目地材の適用及び形状 ()
仕上げ厚 ()

(4.2.2) (e)

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()

(4.2.2) (e)

アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()

(4.2.2) (e)

アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()

(4.2.2) (f)

注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()
呼び径 ・ 6mm ・ ()

(4.2.2) (f)

注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()
呼び径 ・ 6mm ・ ()

(4.2.2) (f)

注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ポリマーセメントスラリー ()
・ 注入口付アンカーピン (・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ())
呼び径 ・ 6mm ・ ()

(4.2.2) (h)

タイル部分張替え工法
材料 ・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2) (h)

変成シリコーン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂

Table with 10 columns: 施工箇所, 形状寸法, 工法, 用途による区分, 区分 (I類, II類, III類), 役物, 標準, 耐凍害, 耐浸透性.

・ 役物 (・ 一体成形 ・ 接着加工)
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない

(4.2.2) (h)

Table with 4 columns: タイルの種類, タイルの大きさ, 工法, 塗厚 (mm). Rows include 外装 タイル and ユニットタイル.

(4.5.15)

注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数 (本)

(4.2.2) (h)

目地ひび割れ部改修工法
伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地 (位置 寸法 ×)
検査 シーリング接着性試験
・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

4 塗り仕上げ (4.2.2)(j) (表4.2.4(その1) (その2))	種類	呼び名	仕上げ形状	工法	7 網戸 (5.2.3)(e)	・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ	17 オーバーヘッドド ド (5.12.2)	型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧強度 (Pa以上) 開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 (5.12.3) ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板									
	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 着色骨材砂壁状	吹付け こて ローラー 吹付け こて		性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種		18 板ガラス (5.13.2)(a) (5.13.4)	・ 図示 (図面番号:)								
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材 C	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	吹付け こて	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ () JIS G 3317 ・ Y08 ・ ()	9 鋼製建具 (5.4.2)	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ () JIS G 3317 ・ Y08 ・ ()	19 ガラス留め材 (5.13.2)(b)	・ シーリング ・ ガスケット ()									
									・ 外装厚塗材 Si ・ 外装厚塗材 E	吹付け こて ローラー	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ H2400又はW960の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:)	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ H2400又はW960の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:)	20 ガラス溝の寸法、形状等 (5.13.3)	・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書 (表5.13.1) による			
可とう形改修用仕上塗材	・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 RE ・ 可とう形改修塗材 CE	・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状	ローラー 吹付け	鋼製軽量建具の性能等級 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2)(b) (5.5.3) (5.5.4) (5.7.3)(a) (5.2.3)(a)	10 鋼製軽量建具 (5.5.2)	鋼製軽量建具の性能等級 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2)(b) (5.5.3) (5.5.4) (5.7.3)(a) (5.2.3)(a)	21 ガラスブロック積み (5.13.5)	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:) 金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:) 化粧カバー ・ 図示 (図面番号:) 工法 ・ 図示 (図面番号:) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。									
									・ 外装厚塗材 Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量 (kg/m ²) (4.7.2) (表4.7.1) (表4.2.5) 複層仕上塗材の上塗材の種類 樹脂種類 溶媒種類 外 観 ・ アクリル系 ・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 艶無 ・ 水系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ シリカ系 ・ 水系 ・ 艶無 ・ ポリウレタン系 ・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 水系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ アクリルシリコン系 ・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 水系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ ふっ素系 ・ 溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 弱溶剤系 ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 水系 ・ 艶有 ・ 艶無 (注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。 (4.6.3) 既存塗膜等の除去及び下地処理 工法 処理範囲 ・ サンダー工法 ・ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗い工法 ・ ゼッキブラシ ・ 高圧ポンプ (4.6.4) 下地調整 ・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()	11 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2) (5.6.3) (5.6.4) (5.6.5)	ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) 材料 ・ SUS304 ・ () 表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ () 曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ	12 建具用金物 (5.7.2)	金物の見え掛り部等の材質等 ・ 改修標準仕様書(表5.7.1)による ・ 図示 (図面番号:)	13 自動ドア開閉装置 (5.8.2)	開閉装置の性能値 ・ 図示 (図面番号:)	14 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)	自閉式上吊り引戸装置の性能値 ・ 改修標準仕様書(表5.9.1)による ・ ()
5 建具改修工事	1 改修工法 (5.1.3)	・ かぶせ工法 ・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法 ・ 撤去工法 ・ はつり工法 ・ 引抜き工法	2 防火戸 (5.1.4)	・ 例示仕様 ・ 個別認定 (認定番号:) ・ 自動閉鎖機構 ・ 図示 (図面番号:)	3 見本の製作 (5.1.5)	・ 製作する ・ 製作しない	4 防犯建物部品 (5.1.7)	・ 図示 (図面番号:)	5 ブラインドボックス等 (5.1.6)(c)	・ 再使用する ・ 再使用しない	6 アルミニウム製建具 (5.2.2) (5.2.4) (表5.2.1) (表5.2.2)	性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 ・ 外部に面する建具 ・ B-1 ・ B-2 ・ () ・ 内部に面する建具 ・ C-1 ・ C-2 ・ ()	7 網戸 (5.2.3)(e)	・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ	17 オーバーヘッドド ド (5.12.2)	型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧強度 (Pa以上) 開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 (5.12.3) ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板	

(6.5.2)(c)(ii) 「集材材の日本農林規格」以外の製材
樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号:)
含水率 ・ 15%以下 ・ ()

(6.5.2)(d)(i) 造作用単板積層材
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

部位	厚さ	表面の品質	防虫処理
造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()

(6.5.2)(d)(ii) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
厚さ、表面の品質、防虫処理 ・ 図示 (図面番号:)
含水率 ・ 14%以下 ・ ()

(6.5.2)(e) ・ 床張り用合板等

部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ

(6.5.5)(a) ・ 防腐、防蟻処理
適用部位 図示 (図面番号:)
保存処理性能区分 ()
薬剤の塗布等の処理方法 ()
ボート原料接着剤への防腐・防蟻処理 ()

(6.5.5)(b) ・ 防虫処理
・ 図示 (図面番号:)

5 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)

形式及び寸法

・ 屋外	・ 図示 (図面番号:)	
・ 耐震天井	・ 図示 (図面番号:)	
・ ふところ≧1.5m	・ 改修標準仕様書(6.6.4)(h)	・ 図示 (図面番号:)
・ ふところ>3m	・ 図示 (図面番号:)	

(6.6.4) 既存埋込みインサート
・ 使用する ・ 使用しない
既存埋込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験
・ 行う (図面番号:) ・ 行わない
耐震天井
・ 図示 (図面番号:)

6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)

スタッド、ランナー等の種類
・ 図示 (図面番号:)

7 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2) (6.8.2)(a) (6.8.2)(b) (6.8.2)(c)(1) (6.8.2)(c)(2) (6.8.2)(c)(3) (6.8.2)(c)(4) (6.8.2)(e) (6.8.3)(a) (6.8.3)(b)

材料
・ ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】

種類の記号	色柄	厚さ	備考
F S	無地	2.0mm	

・ ビニル床タイル【JIS A 5705 (ビニル系床材)】

種類の記号	厚さ	備考
半硬質ビニル床タイル	2.0mm	

・ 帯電防止床シート又は床タイル

種類	性能	厚さ	備考

・ 視覚障害者用床タイル

種類	形状	備考
ビニル床タイル	300×300×7.0mm	

・ 耐動荷重性床シート

種類	性能	厚さ	備考

・ 防滑性床シート又は床タイル

種類	性能	厚さ	備考

・ ゴム床タイル

種類	厚さ	備考

工法
下地 ・ モルタル下地 ・ 木下地 ・ その他 ()

ビニル床シート張り
熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない

8 カーベツト敷き (6.9.3)(a) (表6.9.1)

種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度
・ A種	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ()
・ B種	・ ループパイル	・ ()	
・ C種	・ カット、ループ併用	・ ()	

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)

(6.9.3)(b) (表6.9.2)

種類	パイルの形状	帯電性	工法	品質の程度
・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ()
・ ループパイル		・ ()	・ グリッパー工法	
・ カット、ループ併用		・ ()		

(6.9.3)(c)

厚さ(mm)	帯電性	備考
	・ 人体帯電圧 3KV以下	

(6.9.3)(d) (表6.9.2)

種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
	・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()
	・ ループパイル	・ ()	・ ()	

(6.9.3)(e) 下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ()

(6.9.3)(f) 見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、種類及び形状 ・ 図示(図面番号:))

(6.9.4)(e)

敷き方			
平場	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()
階段部分	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()

弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程
・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ

エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類
・ 薄膜流し展べ仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流し展べ仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑)
・ 樹脂モルタル仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ(・ 平滑)

9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(b)(1) (表6.10.4) (6.10.3)(b)(2) (6.10.3)(c) (表6.10.5)~ (表6.10.8)

10 フローリング張り (6.11.4) (表6.11.2)

・ 釘留め工法

材料	種類	樹種
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ()

防湿処理 ・ 図示 (図面番号:)

(6.11.5) (表6.11.3) (表6.11.5)

材料種	樹種	厚さ	大きさ
・ フローリングボード (直張用)			
・ フローリングブロック (直張用)			
・ 複合1種フローリング (直張用)	・ A種	・ なら	
・ 複合2種フローリング (直張用)	・ B種	・ ()	
・ 複合3種フローリング (直張用)	・ C種		
・ モザイクカーベツト (直張用)	・ ()	・ ()	・ ()

緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号:)

(6.11.6)(2)

塗装
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形、B種)
・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・ 生地そのままワックス塗り
・ ()

種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ○ D種

11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)

12 せつこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)

材種	種類	厚さ(mm)
・ せつこうボード	壁	・ 9.5(準不燃)
		・ 12.5(不燃)
・ 化粧せつこうボード	天井	・ 9.5(準不燃)
		・ 12.5(不燃)
・ 化粧せつこうボード	・ トラバーチン模様	・ 9.5(準不燃)
	・ 木目模様	・ 9.5(準不燃)
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9
	・ 立体模様	
・ けい酸カルシウム板	・ タイプII 0.8FK	

(6.13.2)(h) 遮音シール材
・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド

(6.13.3)(e)(3) 合板類の張付け
・ A種 ・ B種

(6.13.3)(g)(1) (表6.13.5)

施工箇所	品質	防火性能
せつこうボードの目地工法		・ 不燃 ・ 準不燃
・ 継目処理 ・ 突付け ・ 目透し		・ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃

13 壁紙張り (6.14.2)

14 モルタル塗り (6.15.3)

既製目地材 ・ 使用する(形状:)
床の目地 ・ 図示(図面番号:)

15 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)

伸縮調整目地
位置 ・ 図示(図面番号:)

タイルの種類

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
					I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)			

(6.16.3)(b)(1)

試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

16 セルフベリタ材塗り (6.17.2) (6.17.3)

・ せつこう系 ・ セメント系
塗厚 () mm

17 断熱材 (9.5.2)

断熱材打込み工法
種類 ・ A種 ・ B種

種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム			
・ 押出法ポリスチレンフォーム			
・ A種硬質ウレタンフォーム			
・ フェノールフォーム			

(9.5.3)

断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム)

種類	厚さ[mm]	施工箇所
・ A種1		
・ A種2	・ ()	・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・ A種3		・ ()

7 塗装改修工事

1 材料 (7.1.3)(b)

2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7)

既存塗膜の除去範囲(塗り替えてR B種の場合)
・ 図示(図面番号:)

種別

下地	種別	ひび割れ部の補修
・ 木部	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
・ 鉄鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
・ 垂鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
・ モルタル、プaster面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
・ せつこうボード、その他ボード面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	

3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~ (表7.3.4)

錆止め塗料種別
・ 垂鉛めっき鋼面
・ A種 ・ B種 ・ C種

錆止め塗料塗り種別
鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
垂鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種

4 合成樹脂調合ベイト塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~ (表7.4.3)

塗料種別 ・ 1種 ・ ()

種別

下地	種別
・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種
・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種
・ 垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種

5 クリヤッカー塗り(DL) (7.5.2) (表7.5.1)

種別
木部 ・ A種 ○ B種

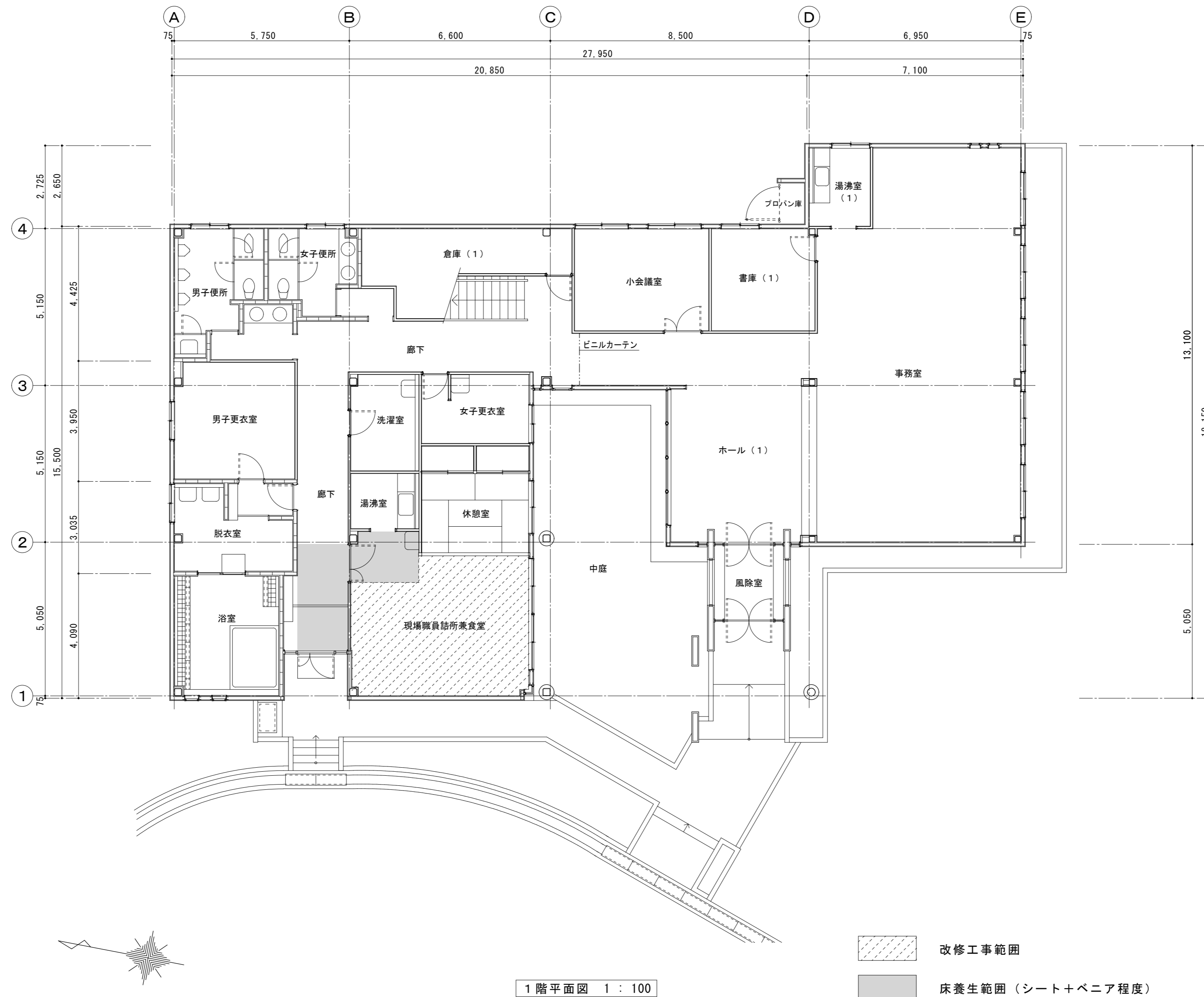
6 アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1)

種別
・ A種 ・ B種

7 耐候性塗料塗り(DP) (7.8.2)~ (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3)

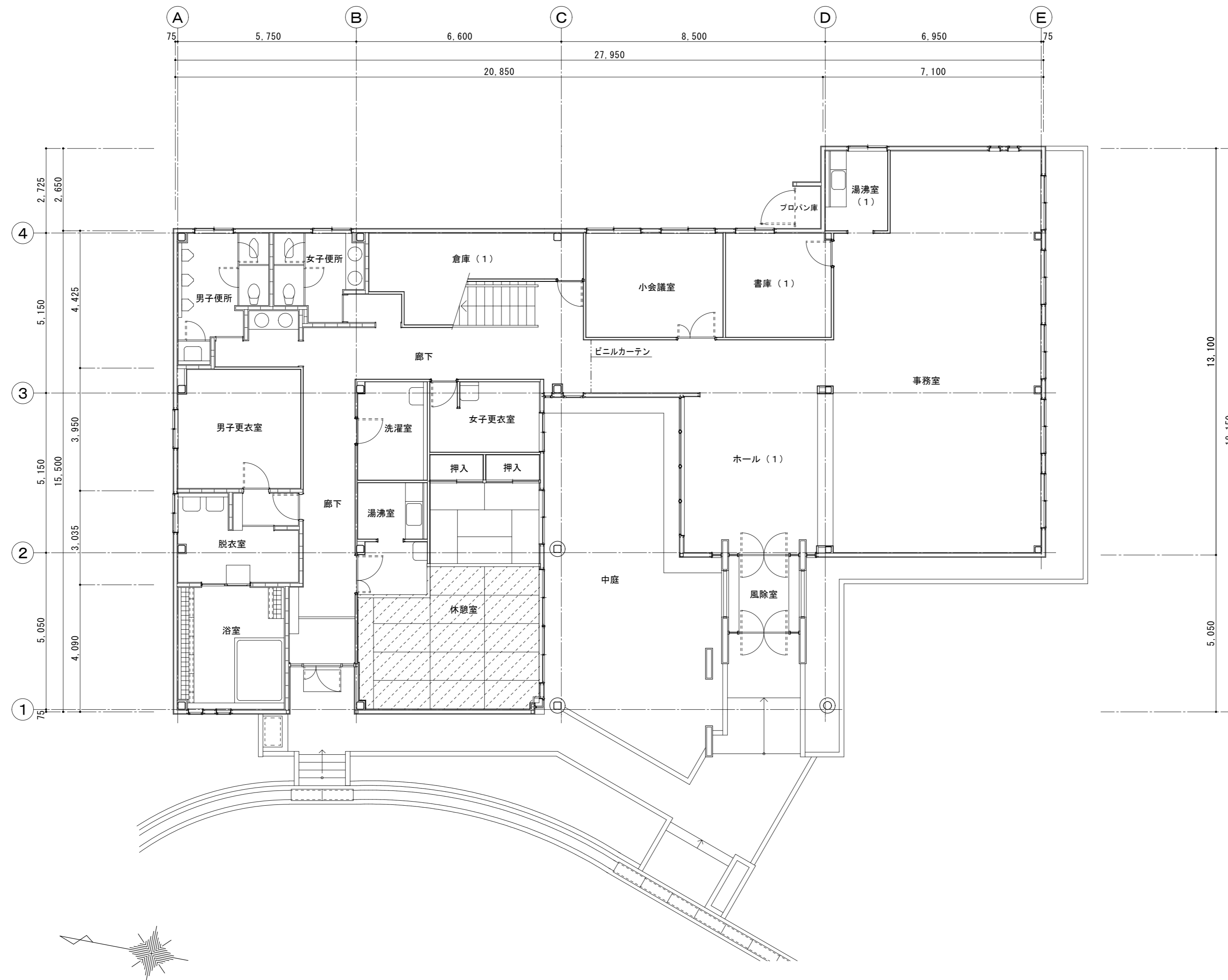
上塗り等級
・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系)

下地	種別
鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種
垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種
コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種

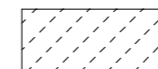


1階平面図 1 : 100

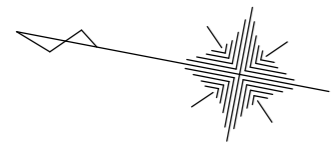
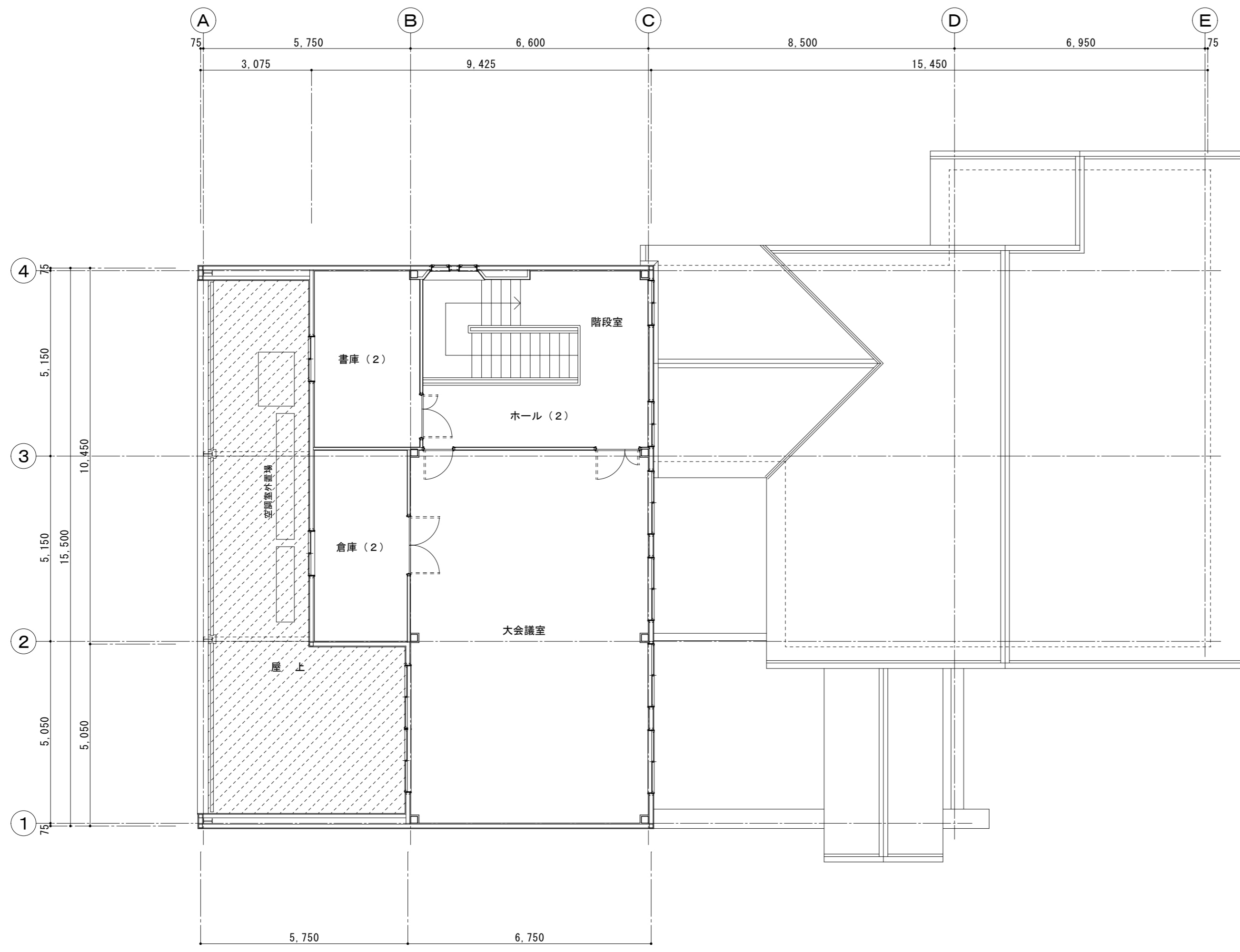
- 改修工事範囲
- 床養生範囲 (シート+ベニヤ程度)



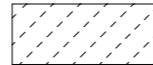
1階平面図 1 : 100



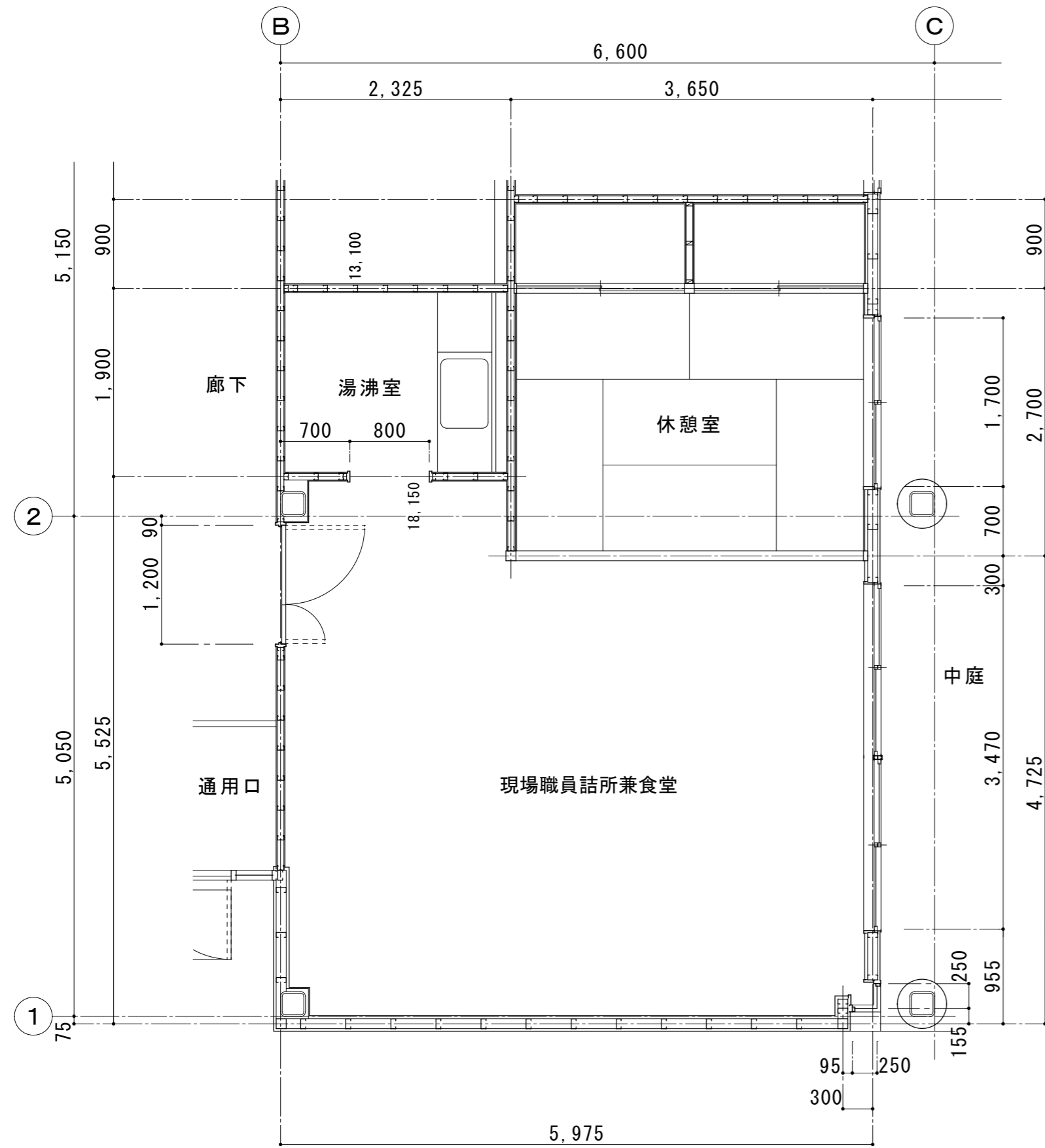
改修工事範囲



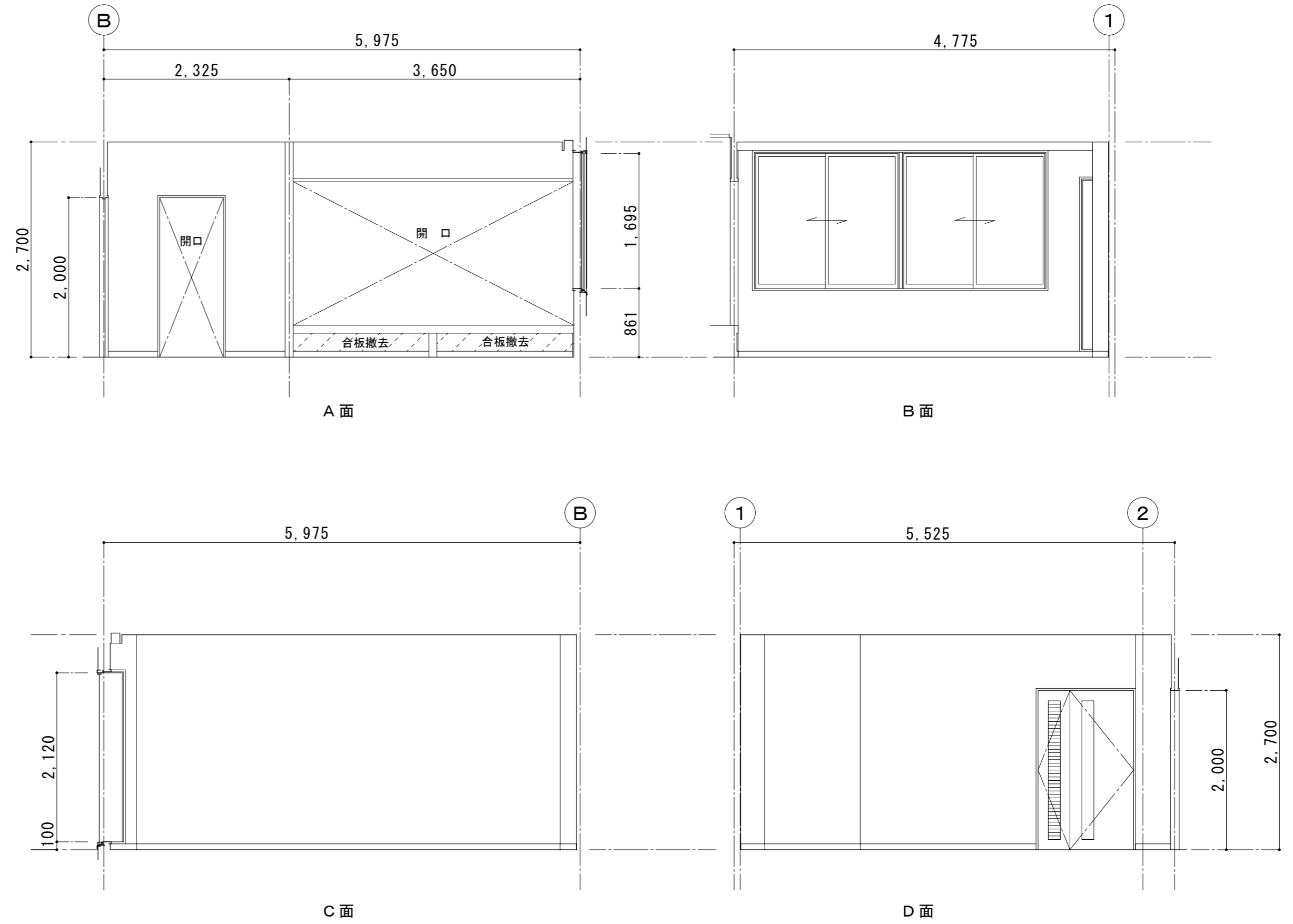
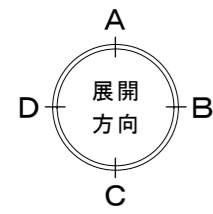
2階平面図 1 : 100

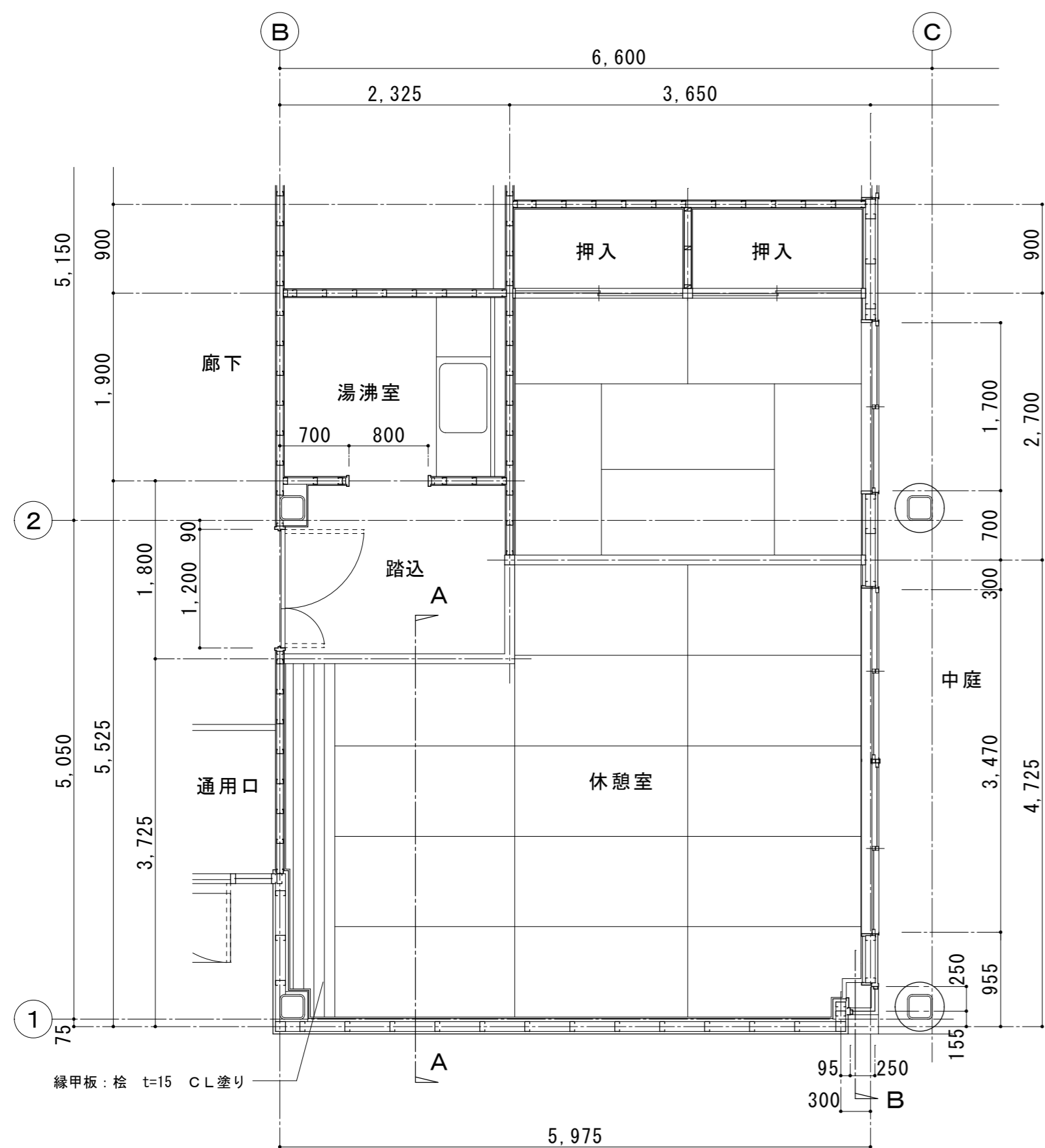
 改修工事範囲

現場職員詰所兼食堂

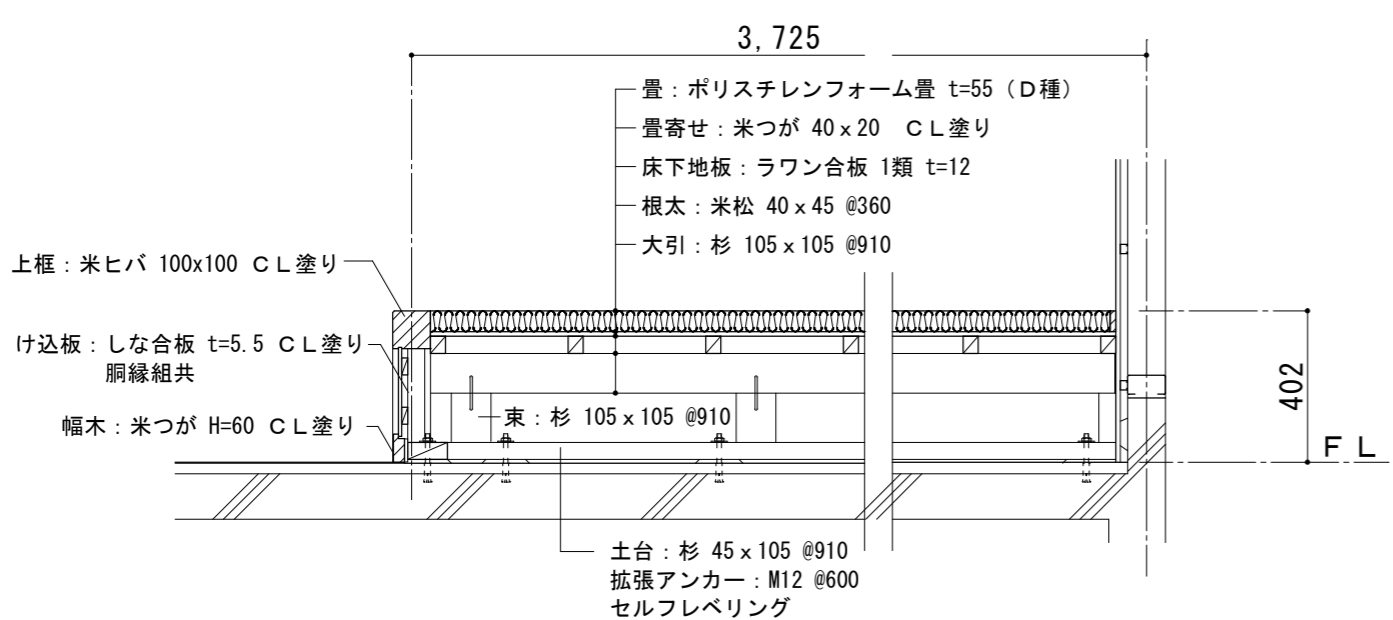
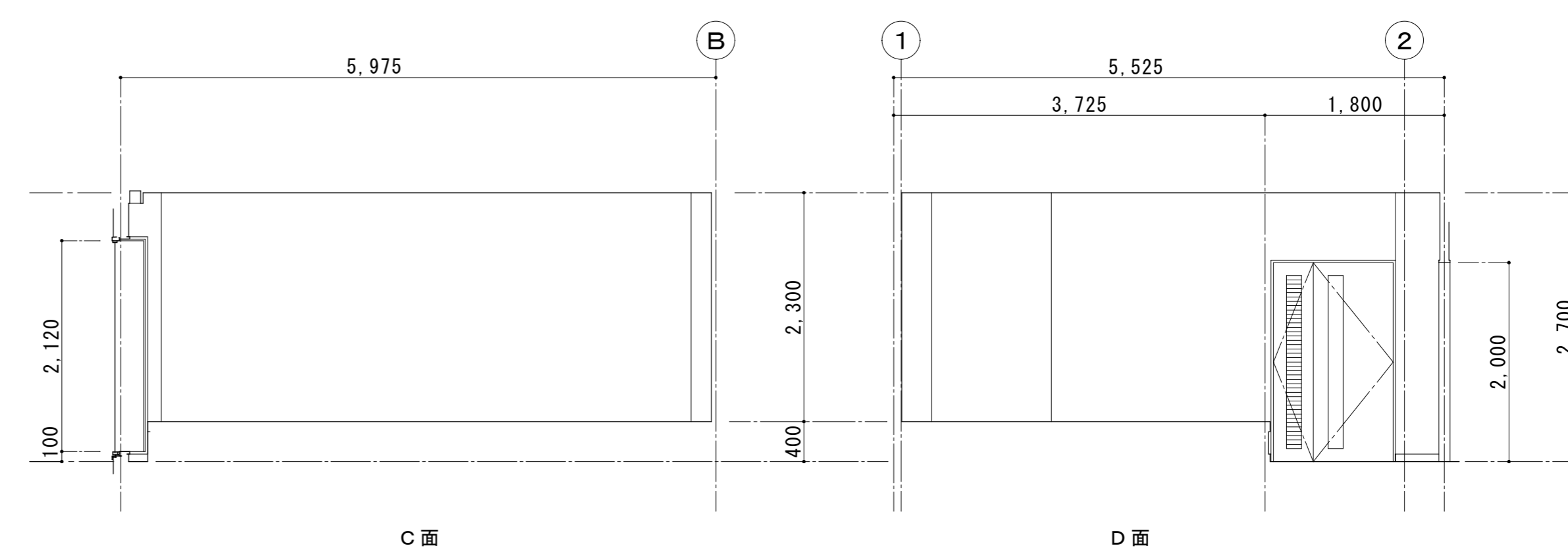
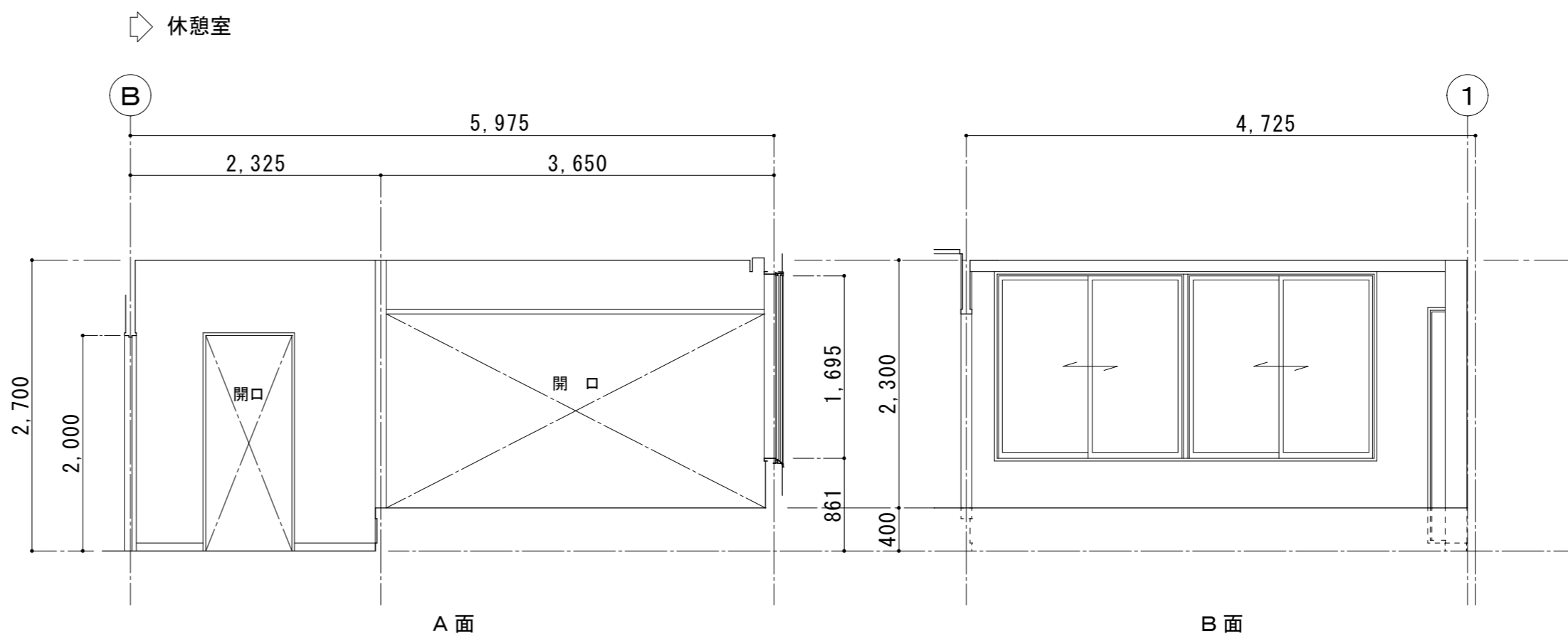
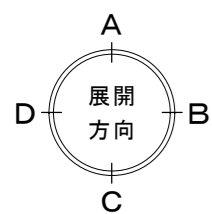


改修前 平面詳細図 1 : 50

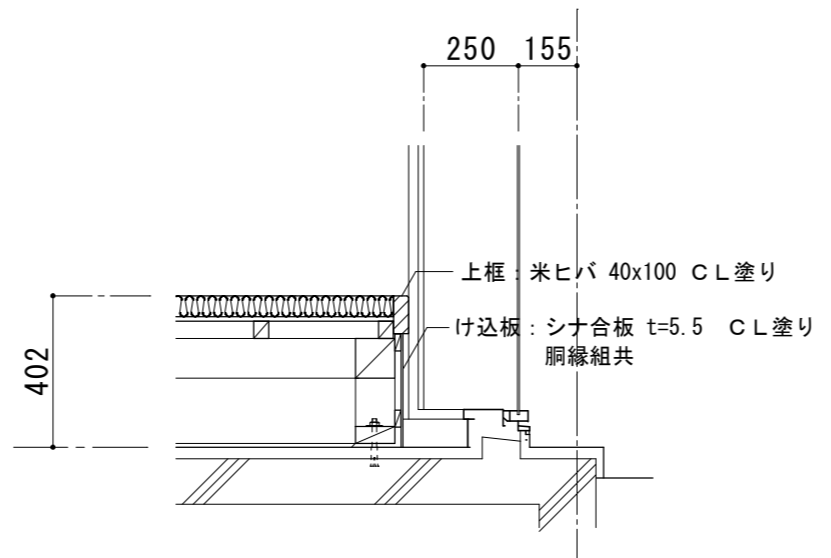




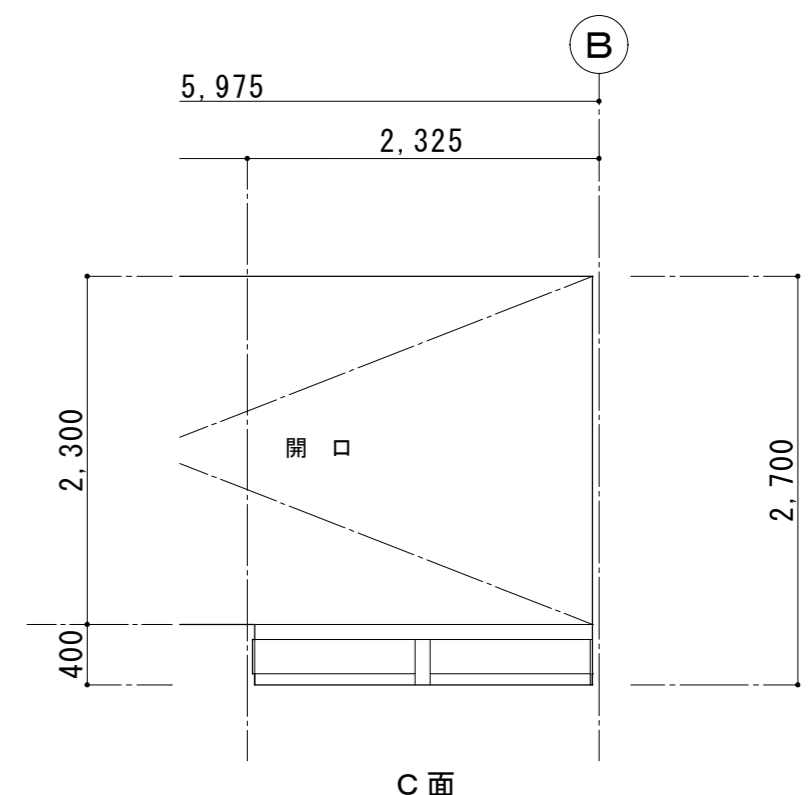
改修後 平面詳細図 1 : 50



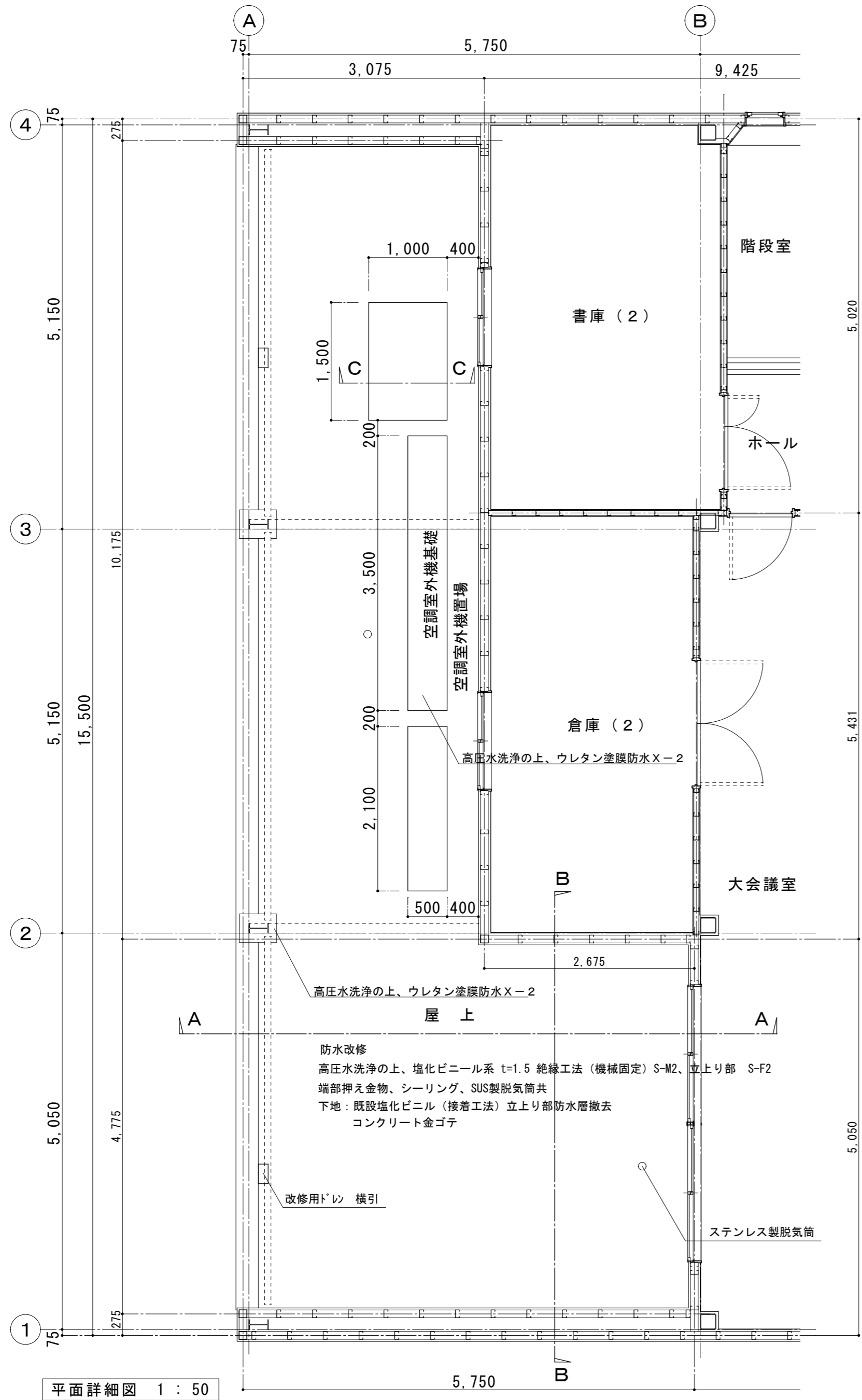
A-A 断面詳細図 1 : 20



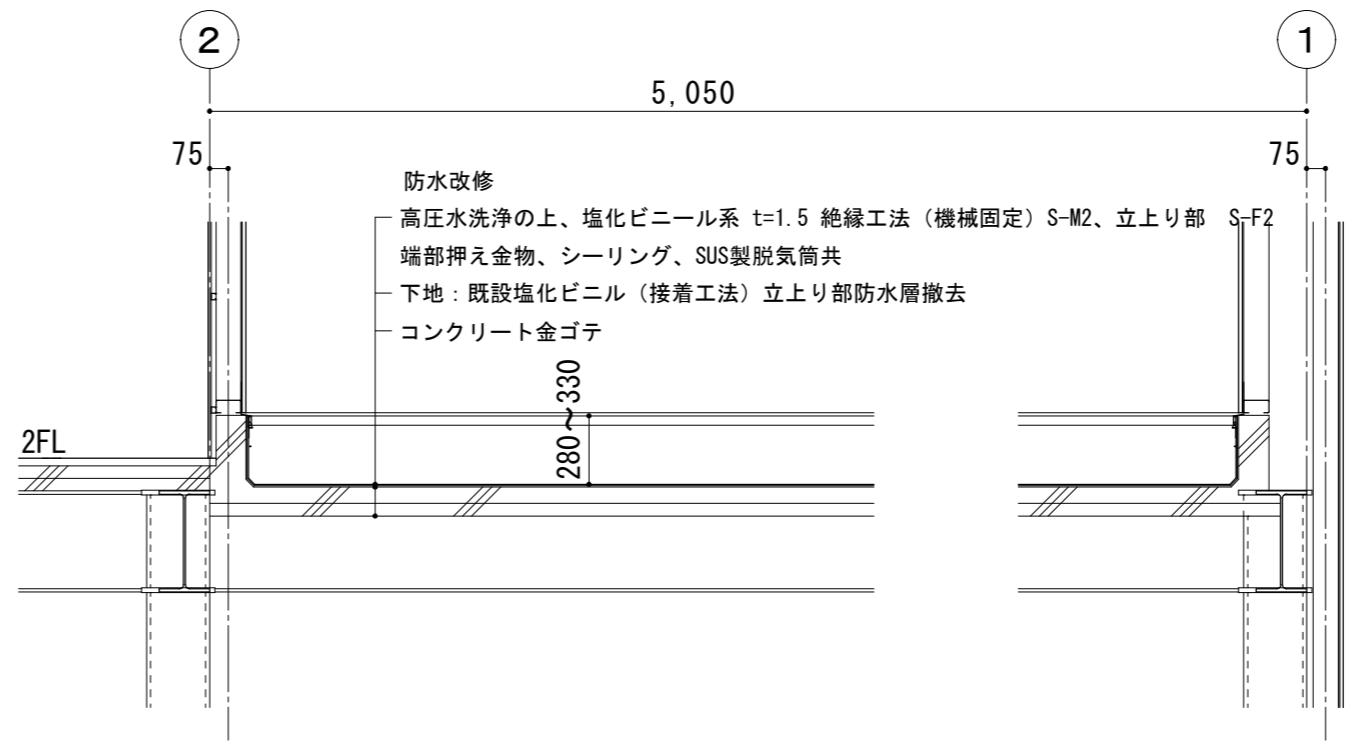
B-B 断面詳細図 1 : 20



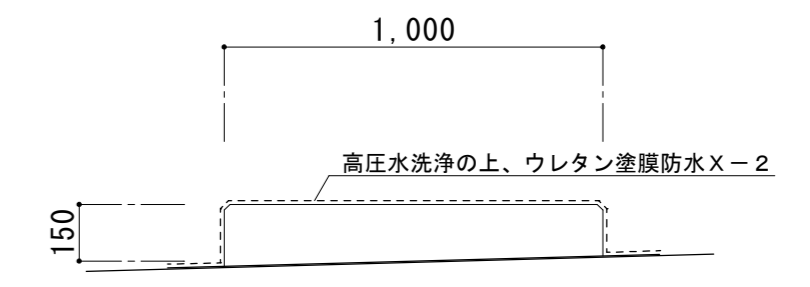
C面



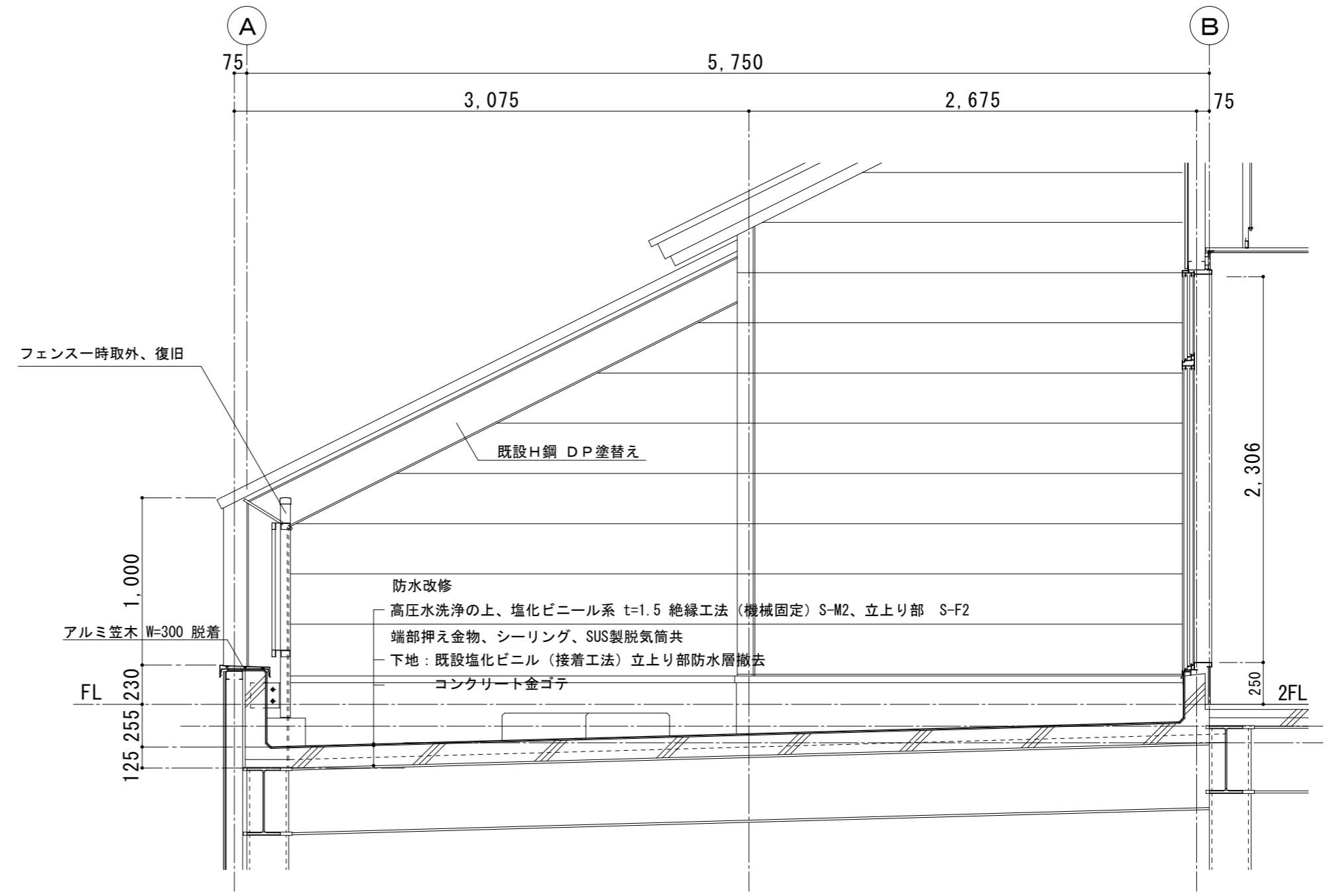
平面詳細図 1 : 50



B-B 断面詳細図 1 : 30



C-C 断面詳細図 1 : 20



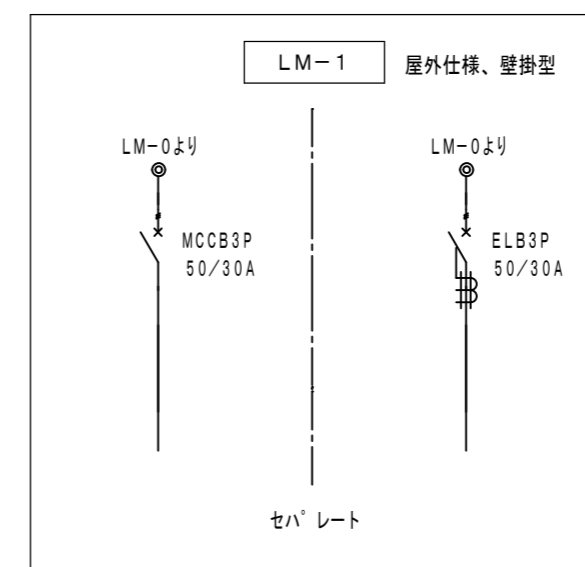
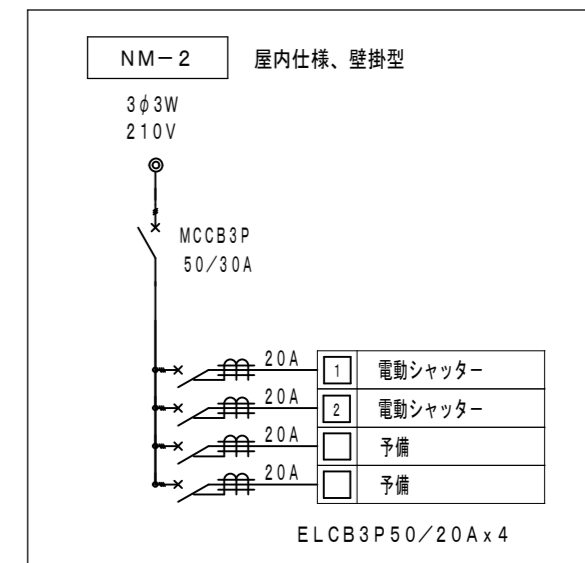
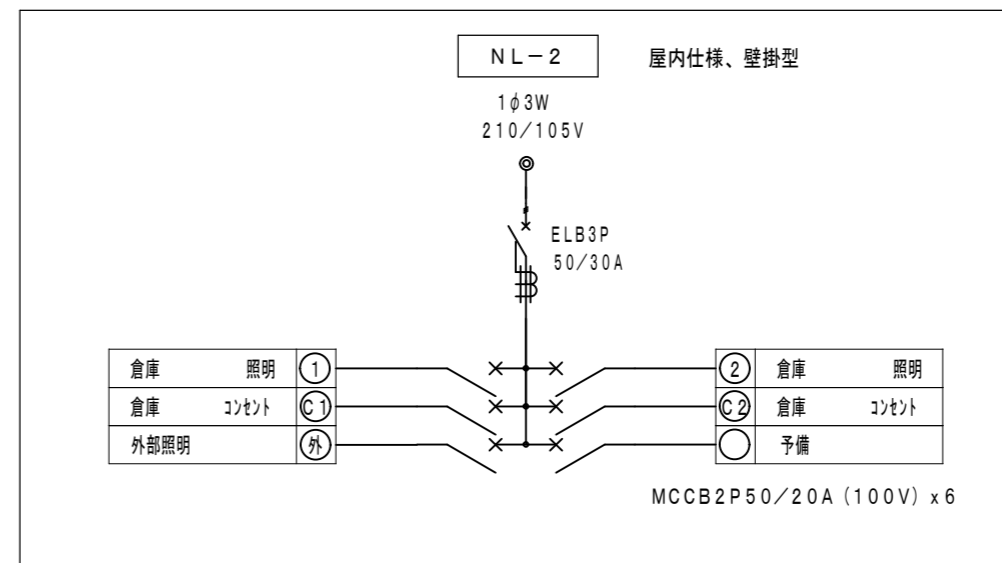
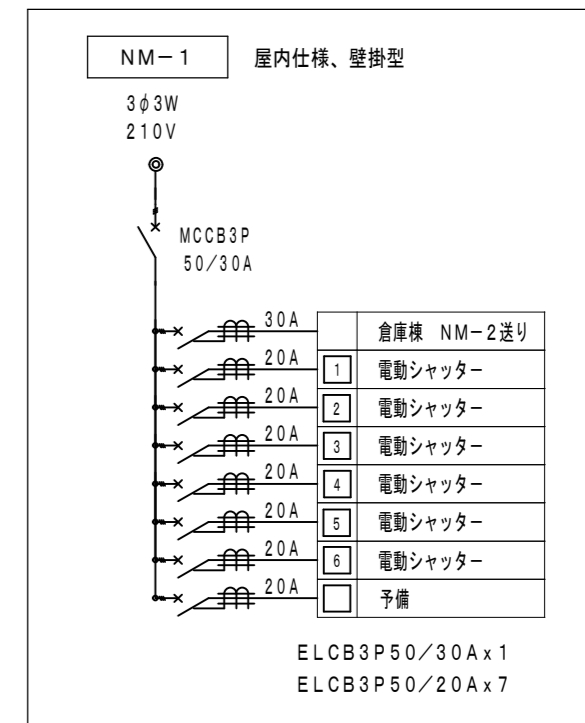
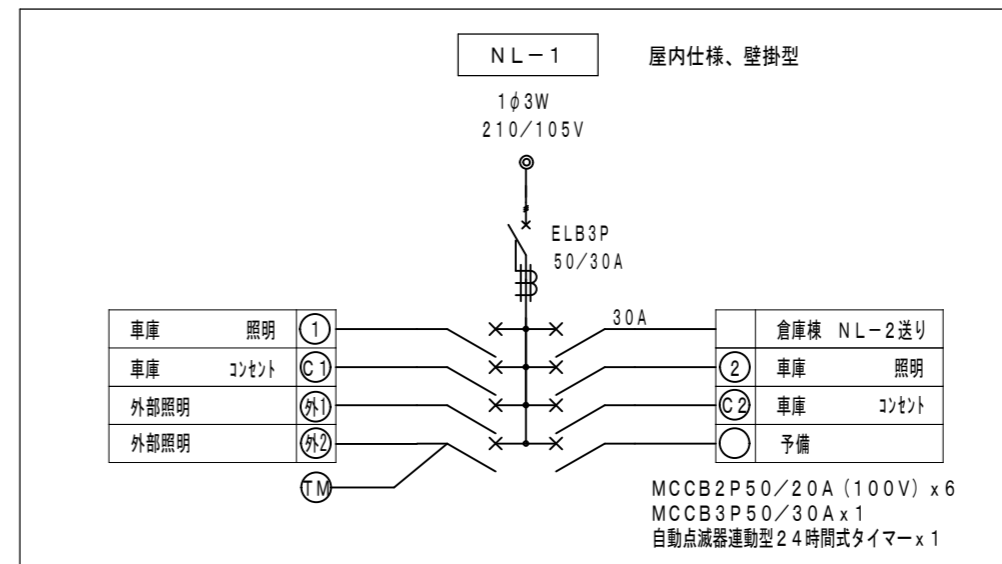
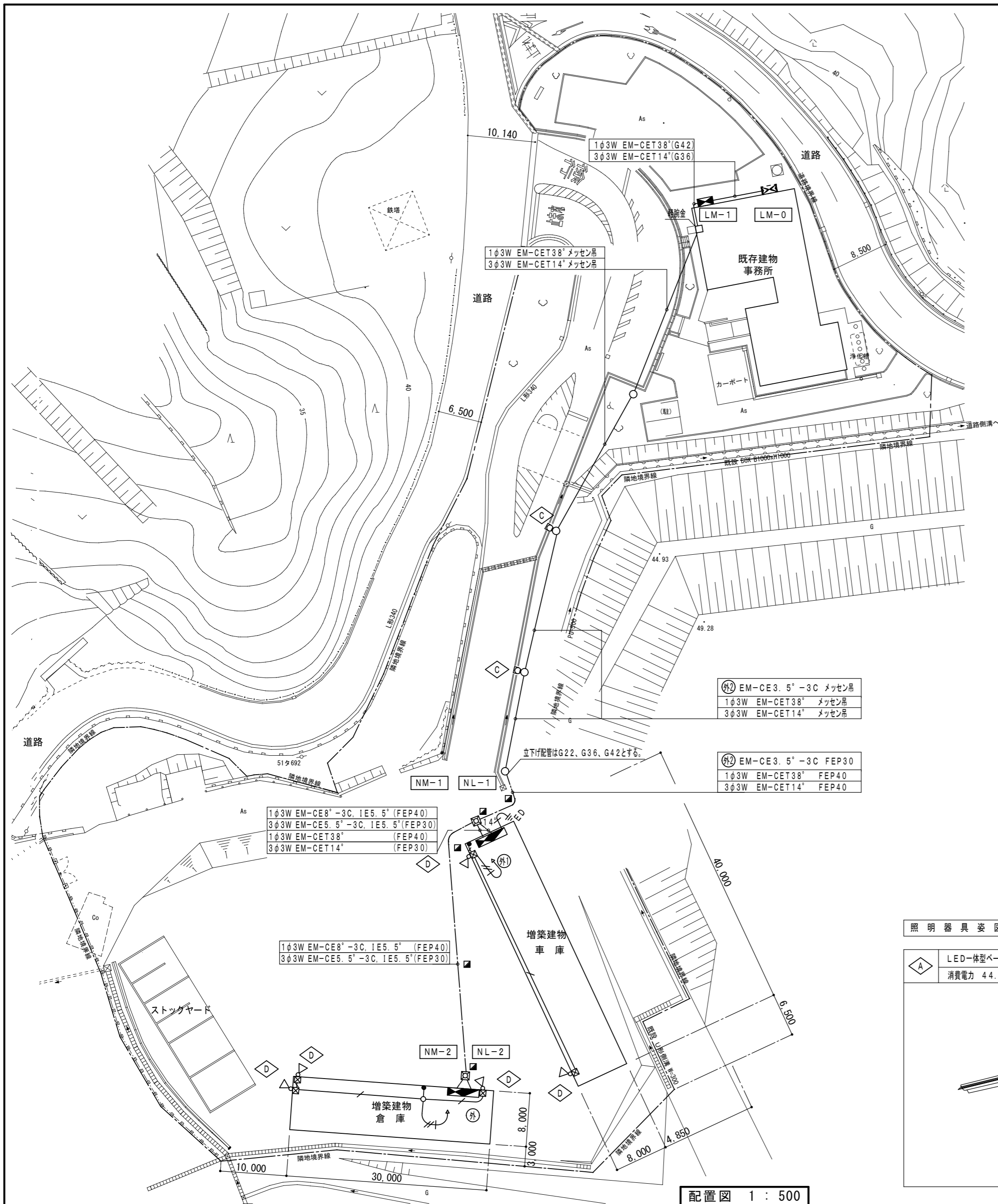
A-A 断面詳細図 1 : 30

<p>20. 配線器具の設置</p> <p>(1) 特殊コンセントはプラグ付とする。 (2) 電源の種類により色を区別する。 (3) 配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁材を使用する。 (4) プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。 (5) カバプレートは、原則として新金属製とする。 (6) 器具を交換しない位置ボックスには用途表示をすること。 (7) フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リソ付）とする。</p> <p>21. 照明器具の設置</p> <p>(1) コードペンダント以外の放電灯及び水気のある場所の器具は接地する。なお、金属配管の場合は、配管を利用してよい。（乾燥した場所のコンパクト形器具（27W以下）を除く。） (2) 接地線は電気配線と同一太さのケーブルの1芯（緑色）を使用する。ただし、監督員の指示により1.6mmの絶縁電線（緑線）を添えることもできる。 (3) 照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承認を得ること。 (4) 照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般型A級とする。 (5) 天井・天井より支持する場合は、ワイヤ等により坠落防止の措置を行う。 (6) ハイブリッドの照明器具は振れ止めを施工する。</p> <p>22. 照明改修の際の測定</p> <p>対象室の改修前後の照度及び回路電圧値の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所 () 測定回数 () 回</p> <p>23. 分電盤、制御盤、キュービクル等</p> <p>(1) 図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。 (2) 屋外キャビネットで露出配管ボックスに接続する場合は、カプリングを溶接等行い接続部から雨水等が浸入しない方法とする。ただし、既設ボックスに接続する場合はロックナットとボックスの間にゴムパッキン等を取付け、接続部からの雨水等が浸入しないようにする。</p> <p>24. 受変電設備、発電設備の設置場所</p> <p>(1) 保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2) 基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (3) 電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等は通過させない。</p> <p>25. 発電設備の燃料配管</p> <p>(1) フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に原燃物の消防等に十分に打合せを行う。 (2) 配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。</p> <p>26. 電圧関係の計算及び測定</p> <p>(1) 計算書の提出 電圧強度測定結果による計算書を提出 ・施工前 ・躯体上がり時 ・その他 () (2) 測定の実施 1) 項目 全受電チャンネルの電圧強度、受電面質、等価C/N、ビット誤り率の測定及び映像写真の撮影を行う。 2) 測定時期 ・施工前 ・躯体上がり時 ・施工後 ・その他 () 3) 報告書提出回数 ・全部 () 部</p> <p>27. 土工事</p> <p>(1) 埋戻しの材料及び工法 ・B種 (材料: 根切り土中の良質土 / 工法: 機器による締め固め) ・その他 () ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2) 特記なき地中埋設配管の深さは、GL-600mm以上とする。 (3) 根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布張り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。 (4) 機械掘削は根切りを乱さないようにする。</p> <p>28. ハンドホール、マンホール</p> <p>1) 地中線路及びハンドホール等次下が考慮される場合は、次下対策を施す。 2) 地耐力 ① 地耐力は、建築基準法施行令第93条の短期応力値とする。 ② 衝撃係数は、設置場所に応じた衝撃係数とする。 3) 高さ900mmを超えるものについては、タラップ付とする。 なお、タラップの取付は4.50m間隔以内とし、原則として接地を施すこと。</p> <p>29. 地中配線路の表示杭</p> <p>下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び送出口付近 ② マンホール、ハンドホール付近 ③ 地中線路の曲折箇所 ④ 道路横断箇所 ⑤ 直線部分では3.0m程度に1個</p>	<p>3. 機器仕様 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。 なお、詳細については、図面による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【電力設備】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) 電灯設備</td> <td>1) 形式 ① 一般照明器具 ② 一般照明器具 ③ 一般照明器具 ④ 一般照明器具 ⑤ 一般照明器具 ⑥ 一般照明器具 ⑦ 一般照明器具 ⑧ 一般照明器具 ⑨ 一般照明器具 ⑩ 一般照明器具 ⑪ 一般照明器具 ⑫ 一般照明器具 ⑬ 一般照明器具 ⑭ 一般照明器具 ⑮ 一般照明器具 ⑯ 一般照明器具 ⑰ 一般照明器具 ⑱ 一般照明器具 ⑲ 一般照明器具 ⑳ 一般照明器具 ㉑ 一般照明器具 ㉒ 一般照明器具 ㉓ 一般照明器具 ㉔ 一般照明器具 ㉕ 一般照明器具 ㉖ 一般照明器具 ㉗ 一般照明器具 ㉘ 一般照明器具 ㉙ 一般照明器具 ㉚ 一般照明器具 ㉛ 一般照明器具 ㉜ 一般照明器具 ㉝ 一般照明器具 ㉞ 一般照明器具 ㉟ 一般照明器具 ㊱ 一般照明器具 ㊲ 一般照明器具 ㊳ 一般照明器具 ㊴ 一般照明器具 ㊵ 一般照明器具 ㊶ 一般照明器具 ㊷ 一般照明器具 ㊸ 一般照明器具 ㊹ 一般照明器具 ㊺ 一般照明器具 ㊻ 一般照明器具 ㊼ 一般照明器具 ㊽ 一般照明器具 ㊾ 一般照明器具 ㊿ 一般照明器具</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td>●一般照明器具 ●照明制御装置 ●外灯(単独設置) ●コンセント等 ●分電盤、制御盤等 ●その他 ()</td> </tr> <tr> <td>(3) 一般照明器具</td> <td>1) 形式 ●公共型 ●一般型 ●LED灯 ●HID灯 ●その他 () 2) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ●防炎用 3) 用途 ●普通地域 ●指定地域 ●指定地域 4) 用途 ●普通地域 ●指定地域 ●指定地域 5) 用途 ●普通地域 ●指定地域 ●指定地域 6) 用途 ●普通地域 ●指定地域 ●指定地域 7) HIDランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。</td> </tr> <tr> <td>(4) 照明制御装置</td> <td>1) センサ類 ●明るさセンサ ●人感センサ ●タイマ ●調光スイッチ ●その他 () 2) 調光方式 ●連続調光 ●段階調光 ●ON/OFF制御 ●その他 ()</td> </tr> <tr> <td>(5) 外灯(単独設置)</td> <td>1) 照明用ポール ①材質 ●アルミニウム製 ●鋼製 ●溶接継ぎメッキ ●その他 () ②配線用遮断器はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 () 3) 灯具 ●水銀灯 ●ナトリウム灯 ●Hf蛍光灯 ●LED灯 ●その他 () 4) 安定器 ●一般形高効率形(BH) ●低効電流形 ●その他 () 5) 電源 ●商用電源(60Hz) ●200V・100V ●単独電源 ●太陽電池式 ●蓄電池式 ●その他 () 6) 点灯時間 () 時間、不日照保証日数 () 日 7) 制御 ●Eモスイッチ ●タイマ ●その他 () 8) 接地 ●単独接地 (・本工事 ●別途工事 ●既設利用) ●共用 ●その他 ()</td> </tr> <tr> <td>(6) コンセント等</td> <td>●一般型 ●防湿型 ●ハイテンションアウトレット(・固定型 上下動型(アププ式を含む))</td> </tr> <tr> <td>(7) 分電盤、制御盤等</td> <td>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事情)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。</td> </tr> <tr> <td>2. 動力設備</td> <td>(1) 既設との取り合い ・無し ・壁改造 ・配線接続 ・その他 ()</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td>●分電盤、制御盤等 ●その他 ()</td> </tr> <tr> <td>(3) 負荷設備</td> <td>●給水 ●排水 ●消火 ●空調 ●換気 ●録機 ●昇降機 ●その他 (シャッター)</td> </tr> <tr> <td>(4) 負荷設備への接続</td> <td>図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。</td> </tr> <tr> <td>(5) 電動機等の接地</td> <td>●専用接地 ●金属管接地(7.5kW以下)</td> </tr> <tr> <td>(6) 電動機等の力率の改善</td> <td>本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。</td> </tr> <tr> <td>(7) 保護継電器</td> <td>過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。</td> </tr> <tr> <td>(8) 分電盤、制御盤等</td> <td>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事情)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。</td> </tr> <tr> <td>3. 雷保護設備</td> <td>(1) 避雷針 1) 受雷部 ●突針 ●棒上導体 ●笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ●引下げ導線 ●建築構造物利用 ●測定用補助接地極 3) 接地極 ●接地埋設 ●建築構造物利用 ●測定用補助接地極 ① 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 ② 測定回数 ●3回 ●() 回 4) 接地極埋設 接地には接地極埋設を施工し、接地極の位置がわかるようにする。</td> </tr> <tr> <td>(2) 雷サージ保護</td> <td>1) 避雷トランス ●設置(・単相用 ●動力用) ●設置しない 2) SPD ●低圧用(・クラスI ●クラスII) ●通信用(・カテゴリC2 ●カテゴリD1) 3) 低圧用SPDクラスの性能 別図による 4) 通信用SPDカテゴリD1の性能 別図による</td> </tr> <tr> <td>(3) 電源回路の保護</td> <td>1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。</td> </tr> <tr> <td>(4) 通信回線の保護</td> <td>電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。</td> </tr> <tr> <td>4. 接地設備</td> <td>(1) 接地工事 1) 種類 ●A種 ●B種 ●C種 ●D種 2) 施工 ●各種単独 ●共有有り ()</td> </tr> <tr> <td>(2) 接地抵抗の測定</td> <td>1) 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 2) 測定回数 ●3回 ●() 回</td> </tr> <tr> <td>(3) 接地極埋設</td> <td>接地には接地極埋設を施工し、接地極の位置がわかるようにする。</td> </tr> <tr> <td>【受変電設備】</td> <td>高圧以外の受変電設備については、本項により別図による。</td> </tr> <tr> <td>(1) 既設との取り合い</td> <td>・無し ・改造(機器取替、追加等を含む) ・増設 ・配線接続 ・その他 ()</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td>・盤類 ●変流変断器 ●断路器 ●遮断器 ●負荷開閉器 ●変圧器 ●三相コンデンサ ●直列リアクトル ●配線用遮断器 ●接地接触器 ●その他 ()</td> </tr> <tr> <td>(3) 盤類</td> <td>1) 形式 ●キュービクル式配電盤(JIS C 4620) ① 高圧スイッチギア (JIS 1425) (・CX ●CW ●PW ●MW) ② 開放形配電盤 ●その他 () 2) 中通路 ●有 ●無し 3) 特記事項 ()</td> </tr> <tr> <td>(4) 変流変断器</td> <td>真空遮断器(VCB) ① 操作方式 ●手動ばね操作 ●電動ばね操作 ●電磁操作 ② 引外し方式 ●電流引外し ●コンデンサ引外し ●直流電圧引外し</td> </tr> </tbody> </table>	項目	特記事項	【電力設備】		(1) 電灯設備	1) 形式 ① 一般照明器具 ② 一般照明器具 ③ 一般照明器具 ④ 一般照明器具 ⑤ 一般照明器具 ⑥ 一般照明器具 ⑦ 一般照明器具 ⑧ 一般照明器具 ⑨ 一般照明器具 ⑩ 一般照明器具 ⑪ 一般照明器具 ⑫ 一般照明器具 ⑬ 一般照明器具 ⑭ 一般照明器具 ⑮ 一般照明器具 ⑯ 一般照明器具 ⑰ 一般照明器具 ⑱ 一般照明器具 ⑲ 一般照明器具 ⑳ 一般照明器具 ㉑ 一般照明器具 ㉒ 一般照明器具 ㉓ 一般照明器具 ㉔ 一般照明器具 ㉕ 一般照明器具 ㉖ 一般照明器具 ㉗ 一般照明器具 ㉘ 一般照明器具 ㉙ 一般照明器具 ㉚ 一般照明器具 ㉛ 一般照明器具 ㉜ 一般照明器具 ㉝ 一般照明器具 ㉞ 一般照明器具 ㉟ 一般照明器具 ㊱ 一般照明器具 ㊲ 一般照明器具 ㊳ 一般照明器具 ㊴ 一般照明器具 ㊵ 一般照明器具 ㊶ 一般照明器具 ㊷ 一般照明器具 ㊸ 一般照明器具 ㊹ 一般照明器具 ㊺ 一般照明器具 ㊻ 一般照明器具 ㊼ 一般照明器具 ㊽ 一般照明器具 ㊾ 一般照明器具 ㊿ 一般照明器具	(2) 機器類	●一般照明器具 ●照明制御装置 ●外灯(単独設置) ●コンセント等 ●分電盤、制御盤等 ●その他 ()	(3) 一般照明器具	1) 形式 ●公共型 ●一般型 ●LED灯 ●HID灯 ●その他 () 2) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ●防炎用 3) 用途 ●普通地域 ●指定地域 ●指定地域 4) 用途 ●普通地域 ●指定地域 ●指定地域 5) 用途 ●普通地域 ●指定地域 ●指定地域 6) 用途 ●普通地域 ●指定地域 ●指定地域 7) HIDランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。	(4) 照明制御装置	1) センサ類 ●明るさセンサ ●人感センサ ●タイマ ●調光スイッチ ●その他 () 2) 調光方式 ●連続調光 ●段階調光 ●ON/OFF制御 ●その他 ()	(5) 外灯(単独設置)	1) 照明用ポール ①材質 ●アルミニウム製 ●鋼製 ●溶接継ぎメッキ ●その他 () ②配線用遮断器はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 () 3) 灯具 ●水銀灯 ●ナトリウム灯 ●Hf蛍光灯 ●LED灯 ●その他 () 4) 安定器 ●一般形高効率形(BH) ●低効電流形 ●その他 () 5) 電源 ●商用電源(60Hz) ●200V・100V ●単独電源 ●太陽電池式 ●蓄電池式 ●その他 () 6) 点灯時間 () 時間、不日照保証日数 () 日 7) 制御 ●Eモスイッチ ●タイマ ●その他 () 8) 接地 ●単独接地 (・本工事 ●別途工事 ●既設利用) ●共用 ●その他 ()	(6) コンセント等	●一般型 ●防湿型 ●ハイテンションアウトレット(・固定型 上下動型(アププ式を含む))	(7) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事情)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。	2. 動力設備	(1) 既設との取り合い ・無し ・壁改造 ・配線接続 ・その他 ()	(2) 機器類	●分電盤、制御盤等 ●その他 ()	(3) 負荷設備	●給水 ●排水 ●消火 ●空調 ●換気 ●録機 ●昇降機 ●その他 (シャッター)	(4) 負荷設備への接続	図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。	(5) 電動機等の接地	●専用接地 ●金属管接地(7.5kW以下)	(6) 電動機等の力率の改善	本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。	(7) 保護継電器	過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。	(8) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事情)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。	3. 雷保護設備	(1) 避雷針 1) 受雷部 ●突針 ●棒上導体 ●笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ●引下げ導線 ●建築構造物利用 ●測定用補助接地極 3) 接地極 ●接地埋設 ●建築構造物利用 ●測定用補助接地極 ① 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 ② 測定回数 ●3回 ●() 回 4) 接地極埋設 接地には接地極埋設を施工し、接地極の位置がわかるようにする。	(2) 雷サージ保護	1) 避雷トランス ●設置(・単相用 ●動力用) ●設置しない 2) SPD ●低圧用(・クラスI ●クラスII) ●通信用(・カテゴリC2 ●カテゴリD1) 3) 低圧用SPDクラスの性能 別図による 4) 通信用SPDカテゴリD1の性能 別図による	(3) 電源回路の保護	1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。	(4) 通信回線の保護	電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。	4. 接地設備	(1) 接地工事 1) 種類 ●A種 ●B種 ●C種 ●D種 2) 施工 ●各種単独 ●共有有り ()	(2) 接地抵抗の測定	1) 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 2) 測定回数 ●3回 ●() 回	(3) 接地極埋設	接地には接地極埋設を施工し、接地極の位置がわかるようにする。	【受変電設備】	高圧以外の受変電設備については、本項により別図による。	(1) 既設との取り合い	・無し ・改造(機器取替、追加等を含む) ・増設 ・配線接続 ・その他 ()	(2) 機器類	・盤類 ●変流変断器 ●断路器 ●遮断器 ●負荷開閉器 ●変圧器 ●三相コンデンサ ●直列リアクトル ●配線用遮断器 ●接地接触器 ●その他 ()	(3) 盤類	1) 形式 ●キュービクル式配電盤(JIS C 4620) ① 高圧スイッチギア (JIS 1425) (・CX ●CW ●PW ●MW) ② 開放形配電盤 ●その他 () 2) 中通路 ●有 ●無し 3) 特記事項 ()	(4) 変流変断器	真空遮断器(VCB) ① 操作方式 ●手動ばね操作 ●電動ばね操作 ●電磁操作 ② 引外し方式 ●電流引外し ●コンデンサ引外し ●直流電圧引外し	<p>(5) 断路器</p> <p>1) 形式 ●3極単投 ●単極単投 (避雷器用に限る) 2) 操作方式 ●遠方手動操作 ●フック操作 (避雷器用に限る)</p> <p>(6) 負荷開閉器</p> <p>1) 形式 ●配電専用 ●引込用 ●中引込用 ●電動操作 2) 配電専用 ① 操作方式 ●フック操作 ●遠方手動操作 ●電動操作 ② 電流ヒューズ ●有(ストライク力付き) ●無し ③ 引外し装置 ●ストライク引外し ●電圧引外し ●無し 3) 引込用 ① 本体及び制御箱の材質 ●ステンレス製 ●鋼製 ② 保護装置 ●過電流過熱トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③ 遮断器 ●内蔵 ●無し 4) 中引込用 保護装置は、過電流過熱トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする</p> <p>(7) 変圧器</p> <p>1) 形式 ●油入 ●モールド 2) 設置方式 ●屋外型 ●屋内型 3) ダイヤル温度計 ●有(・最大値指針有・最大値指針無) ●無し 油入50kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする</p> <p>(8) 直列リアクトル</p> <p>1) 絶縁方式 ●油入 ●モールド 2) 容量 ●6% ●13% 3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点をつけること</p> <p>(9) 直列リアクトル(直相コンデンサ用)</p> <p>1) 絶縁方式 ●油入 ●モールド 2) 容量 ●6% ●13% 3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点をつけること</p> <p>(10) 設備不平衡</p> <p>高圧受電の三相3線式における不平衡の制限は、設備不平衡率が30%以下となるようにする。</p> <p>(11) キュービクル等</p> <p>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事情)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。</p> <p>(12) 基礎</p> <p>1) 施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 () 2) ビット蓋の加工が必要な場合は、本工事に行うこと。</p> <p>(13) 配線ビット及び蓋</p> <p>1) 施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 () 2) ビット蓋の加工が必要な場合は、本工事に行うこと。</p> <p>(14) 設置場所</p> <p>・屋内 ・屋外(・地上・屋上)</p> <p>【電力貯蔵設備】</p> <p>6. 直流電源設備</p> <p>(1) 用途 ・非常用照明器具電源 ●受変電設備制御電源 ●その他 () () kVA</p> <p>(2) 容量 () kVA</p> <p>(3) 給電方式 ・常時インバータ給電方式 ●ラインインクタクティブ方式 ●常時商用給電方式 ●その他 ()</p> <p>(4) 蓄電池 1) 種類 ●鉛蓄電池(・HS ●MSE ●長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池(・AH ●AMH) ・その他 () 2) 最低蓄電池温度 ●-5℃ ●-15℃ ●-25℃ ●--5℃ ●()℃</p> <p>7. 交流無停電電源設備</p> <p>(1) 用途 () kVA</p> <p>(2) 容量 ・常時インバータ給電方式 ●ラインインクタクティブ方式 ●常時商用給電方式 ●その他 ()</p> <p>(3) 給電方式 整流装置、インバータ装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。</p> <p>(4) 蓄電池 1) 種類 ●鉛蓄電池(・HS ●MSE ●長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池(・AH ●AMH) ・その他 () 2) 最低蓄電池温度 ●-5℃ ●-15℃ ●-25℃ ●--5℃ ●()℃</p> <p>8. 電力平準化用蓄電設備</p> <p>(1) 用途 () kVA</p> <p>(2) 機能 ・ピークシフト機能 ●ピークカット機能 ●商用停電時のバックアップ機能</p> <p>(3) 蓄電池 1) 種類 ●リチウム二次電池 ●鉛蓄電池 ●ニッケル水素蓄電池 2) 容量 () kWh 3) 期待寿命 () 年 4) 充電電圧 () V 5) 放電時間 () 時間 6) 補償機 ●製造者標準 ●その他 ()</p> <p>(4) 性能 1) 交流入出力電圧方式 ●三相3線式(・200V ●() V) ●単相3線式(200/100V) ●単相2線式(・200V ●100V ●() V) 2) 自立運転 ●する ●しない 3) 系統連系 ●する ●しない (5) 計測表示 遠方監視用接点 ●設けない ●設ける(詳細は別図による) (6) 状態・警報表示 移動用の遠方監視用接点の搭載を必須とする。</p> <p>9. 分散電源</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>【発電設備】</p> <p>10. 燃料式発電設備</p> <p>(1) 用途 1) 用途 ●防災電源専用(防災認定品) ●防災電源兼用(防災認定品) ●一般用 2) 区分 ●常用 ●非常用</p> <p>(2) 設置場所 ・屋内 ・屋外(・普通地域 ●指定地域)</p> <p>(3) 機器類 ・発電装置 ●燃料槽 ●給油ボックス ●燃料移送ポンプ ●その他 ()</p> <p>(4) 発電装置 1) 種類 ●ディーゼル発電装置 ●ガソリン発電装置 ●ガスタービン発電装置 2) 形式 ●筒形 ●オープン式 ●キュービクル式(・85dB(A)/1m ●75dB(A)/1m) 3) 始動時間(停電後) ●10秒以内 ●40秒以内 ●() 秒以内 4) 連続運転時間 ●2時間以上 ●10時間以上 ●24時間以上 ●72時間以上 ●その他 () 5) 発電機 ① 電気方式 ●三相3線式(・6.6kV ●200V ●() V) ●単相3線式(200/100V) ●単相2線式(・200V ●100V ●() V) ② 定格周波数 60Hz ③ 定格出力 () kVA ④ 定格電圧 () kV以上 ●() pA以上 ⑤ 冷却方式 ●ラジエーター方式 ●冷却水循環式 ●その他 ()</p> <p>(5) 燃料 1) 種類 ●軽油 ●灯油 ●A重油 ●その他 () 2) 引渡時期 ●満タン ●指定なし ●その他 ()</p> <p>(6) 燃料槽 1) 形式及び容量 ●パッケージ搭載タンク() リットル ●燃料小出槽() リットル ●主燃料槽() リットル 2) 燃料小出槽 ●屋内型(・ステンレス製 ●鋼製) ●屋内型(・ステンレス製 ●鋼製) 3) 主燃料槽 ① 設置場所 ●屋内 ●屋外(地上) ●地下埋設(・タンク室内埋設 ●直埋設) ② 形式 ●その他 () ③ 設置工事 ●本工事 ●別途工事 ●その他 () ④ タンク室工事 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()</p> <p>(7) 給油ボックス 1) 材質 ●ステンレス製 ●鋼製 ●その他 () 2) 油量指針計 ●有 ●無し</p> <p>(8) 燃料移送ポンプ 1) 電動ポンプ ●歯車ポンプ ●油中ポンプ 2) 手動ポンプ(オイルポンプ) ●有 ●無し 3) 電動ポンプ水没防止カバー ●有 ●無し</p> <p>(9) 基礎 ・本工事(・2.1N/m2 ●1.8N/m2) ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()</p>	<p>11. 太陽光発電設備</p> <p>(1) 機器 ・太陽電池アレイ ●パワーコンディショナ ●系統連系保護装置 ●接続箱 ●情報処理装置 ●その他 ()</p> <p>(2) 太陽電池アレイ 1) 発電能力 公称出力 () kW 2) 架台は、JIS C 6955「太陽電池アレイ用支持設計標準」による。</p> <p>(3) パワーコンディショナ及び系統連系保護装置 1) 出力電圧方式 ●三相3線式(・200V ●() V) ●単相3線式(200/100V) ●単相2線式(・200V ●100V ●() V) 2) 定格周波数 60Hz ●屋外 ●その他 () 3) 設置場所 ●屋内 ●屋外 ●その他 () 4) 設置方式 ●壁掛型 ●自立型 ●その他 () 5) 機能 ●系統連系(・高圧連系 ●みなし低圧連系 ●低圧連系) ●自立運転 ●その他 ()</p> <p>(4) 情報処理装置 6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。</p> <p>(5) 記録作成 ●日報 ●月報 ●年報 ●その他 ()</p> <p>(6) 仕様詳細 仕様詳細は「太陽光発電設備特記仕様書」による。</p> <p>12. 風力発電設備</p> <p>(1) 機器 ・風車発電装置 ●制御装置 ●系統連系保護装置 ●支持構造物 ●情報処理装置 ●その他 ()</p> <p>(2) 風車発電装置 発電能力 定格出力 () kW</p> <p>(3) 制御装置 1) 出力電圧方式 ●三相3線式(・200V ●() V) ●単相3線式(200/100V) ●単相2線式(・200V ●100V ●() V) 2) 定格周波数 60Hz ●屋外 ●その他 () 3) 設置場所 ●屋内 ●屋外 ●その他 () 4) 設置方式 ●壁掛型 ●自立型 ●その他 () 5) 機能 ●系統連系(・高圧連系 ●みなし低圧連系 ●低圧連系) ●自立運転 ●その他 ()</p> <p>(4) 支持構造物 6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。</p> <p>(5) 情報処理装置 1) 装置 ●データ処理装置 ●データ表示装置 ●風速計 ●風向計 ●気温計 ●その他 () 2) 記録作成 ●日報 ●月報 ●年報 ●その他 ()</p> <p>(6) 仕様詳細 仕様詳細は「風力発電設備特記仕様書」による。</p> <p>13. その他発電設備 () の仕様詳細は別図による。</p> <p>【通信・情報設備】</p> <p>14. 構内情報通信網設備</p> <p>(1) インターフェース 1) LAN ●1000BASE-T ●無線LAN () ●その他 () 2) WAN ()</p> <p>(2) 機器 ・スイッチ ●ルータ ●メディアコンバータ ●ファイアウォール ●時刻同期装置 ●ネットワーク管理装置 ●機器収納ラック ●アウトレット ●その他 () 各機器の仕様詳細は別図による。</p> <p>(3) ケーブル 1) 幹線系 ●UTP ●光ファイバ ●その他 () 2) 支線系 ●UTP ●光ファイバ ●その他 () 3) フロー系 ●UTP ●その他 ()</p> <p>(4) アウトレット ・ローテーションアウトレット(・固定型 上下動型(アププ式を含む)) ●壁コンセント ●その他 ()</p> <p>15. 構内交換設備</p> <p>(1) 機器 ・交換装置 ●電話機 ●端子盤類 ●アウトレット ●その他 ()</p> <p>(2) 交換装置 1) 種別 ●構内交換装置(・デジタルPBX ●IP-PBX ●VoIPサーバ ●その他 ()) ●ボタン電話装置 ●その他 ()</p> <p>2) 局線応答方式 ●局線中継台方式 ●分散中継台方式 ●ダイヤルイン方式 ●ダイレクトインダイヤル方式 ●ダイレクトインライン方式 ●その他 ()</p> <p>3) 保安用接地 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()</p> <p>4) 本配電室(MDF) ●自立フレーム(・片形 ●両面形) ●交換機一体型 ●壁掛型 ●電源装置 ① 形式 ●別型 ●一体形 ●その他 () ② 停電補償時間 ●30分以上 ●() 以上</p> <p>(3) 電話機 ・一般電話機 ●多機能電話機 ●IP電話機 ●デジタルコードレス電話機(PHS方式) ●IPコードレス電話機(無線LAN方式) ●その他 ()</p> <p>(4) 端子盤類 1) 端子盤 ●中継端子盤(10P) ●室内端子盤 2) 中継端子盤には実装数の20%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子スペースを確保する。</p> <p>(5) アウトレット ・ローテーションアウトレット(・固定型 上下動型(アププ式を含む)) ●壁コンセント ●その他 ()</p> <p>16. 情報表示設備</p> <p>(1) 設備 - マルチサイン装置 ●出退表示装置 ●時刻表示装置 ●警報等表示装置</p> <p>(2) マルチサイン装置 1) 機器 ●操作制御部 ●情報表示部 ●その他 () 2) 通信方式 ●TCP/IP ●その他 () 3) 操作制御部 ●イメージキャナ ●有 ●無し 4) 情報表示部 ●発光ダイオード式 ●液晶式 ●その他 ()</p> <p>(3) 出退表示装置 1) 機器 ●制御装置 ●出退表示部 ●その他 () 2) 出退表示部 ●発光ダイオード式 ●液晶式 ●その他 ()</p> <p>(4) 時刻表示装置 1) 機器 ●親時計 ●子時計 ●電源装置 ●単独時計 ●その他 () 2) 親時計 ① 形式 ●壁掛型 ●自立型 ●ラックマウント型(ラック架組込) ●FM放送受信 (・アナログ設置 ●既設利用) ② 時刻補正機能 ●有 ●無し ③ 回線数 () 回線 ④ 機能 ●電子チャイム () 音 ●時報 ●プログラムタイマ (引込時は時刻の誤明及びプログラムの入力を行うこと。)</p> <p>3) 子時計 ① 方式 ●アナログ式 ●デジタル式 ② 設置場所 ●屋内 ●屋外(地上) ●地下埋設(・タンク室内埋設 ●直埋設) ③ 運転可能時間 (・10時間 ●() 時間) ●アナログ式 ●デジタル式 ④ 時刻補正機能 ●有 ●無し</p> <p>(5) 警報等表示装置 1) 機器 ●表示盤 ●検出装置 ●その他 () 2) 表示盤 ① 表示方式 ●表示窓式 ●その他 () ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 () ② 検出装置 ① 検出方式 ●電極 ●無電圧接点 ●その他 () ② 施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 ()</p> <p>4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。</p>
項目	特記事項																																																												
【電力設備】																																																													
(1) 電灯設備	1) 形式 ① 一般照明器具 ② 一般照明器具 ③ 一般照明器具 ④ 一般照明器具 ⑤ 一般照明器具 ⑥ 一般照明器具 ⑦ 一般照明器具 ⑧ 一般照明器具 ⑨ 一般照明器具 ⑩ 一般照明器具 ⑪ 一般照明器具 ⑫ 一般照明器具 ⑬ 一般照明器具 ⑭ 一般照明器具 ⑮ 一般照明器具 ⑯ 一般照明器具 ⑰ 一般照明器具 ⑱ 一般照明器具 ⑲ 一般照明器具 ⑳ 一般照明器具 ㉑ 一般照明器具 ㉒ 一般照明器具 ㉓ 一般照明器具 ㉔ 一般照明器具 ㉕ 一般照明器具 ㉖ 一般照明器具 ㉗ 一般照明器具 ㉘ 一般照明器具 ㉙ 一般照明器具 ㉚ 一般照明器具 ㉛ 一般照明器具 ㉜ 一般照明器具 ㉝ 一般照明器具 ㉞ 一般照明器具 ㉟ 一般照明器具 ㊱ 一般照明器具 ㊲ 一般照明器具 ㊳ 一般照明器具 ㊴ 一般照明器具 ㊵ 一般照明器具 ㊶ 一般照明器具 ㊷ 一般照明器具 ㊸ 一般照明器具 ㊹ 一般照明器具 ㊺ 一般照明器具 ㊻ 一般照明器具 ㊼ 一般照明器具 ㊽ 一般照明器具 ㊾ 一般照明器具 ㊿ 一般照明器具																																																												
(2) 機器類	●一般照明器具 ●照明制御装置 ●外灯(単独設置) ●コンセント等 ●分電盤、制御盤等 ●その他 ()																																																												
(3) 一般照明器具	1) 形式 ●公共型 ●一般型 ●LED灯 ●HID灯 ●その他 () 2) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ●防炎用 3) 用途 ●普通地域 ●指定地域 ●指定地域 4) 用途 ●普通地域 ●指定地域 ●指定地域 5) 用途 ●普通地域 ●指定地域 ●指定地域 6) 用途 ●普通地域 ●指定地域 ●指定地域 7) HIDランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。																																																												
(4) 照明制御装置	1) センサ類 ●明るさセンサ ●人感センサ ●タイマ ●調光スイッチ ●その他 () 2) 調光方式 ●連続調光 ●段階調光 ●ON/OFF制御 ●その他 ()																																																												
(5) 外灯(単独設置)	1) 照明用ポール ①材質 ●アルミニウム製 ●鋼製 ●溶接継ぎメッキ ●その他 () ②配線用遮断器はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他 () 3) 灯具 ●水銀灯 ●ナトリウム灯 ●Hf蛍光灯 ●LED灯 ●その他 () 4) 安定器 ●一般形高効率形(BH) ●低効電流形 ●その他 () 5) 電源 ●商用電源(60Hz) ●200V・100V ●単独電源 ●太陽電池式 ●蓄電池式 ●その他 () 6) 点灯時間 () 時間、不日照保証日数 () 日 7) 制御 ●Eモスイッチ ●タイマ ●その他 () 8) 接地 ●単独接地 (・本工事 ●別途工事 ●既設利用) ●共用 ●その他 ()																																																												
(6) コンセント等	●一般型 ●防湿型 ●ハイテンションアウトレット(・固定型 上下動型(アププ式を含む))																																																												
(7) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事情)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。																																																												
2. 動力設備	(1) 既設との取り合い ・無し ・壁改造 ・配線接続 ・その他 ()																																																												
(2) 機器類	●分電盤、制御盤等 ●その他 ()																																																												
(3) 負荷設備	●給水 ●排水 ●消火 ●空調 ●換気 ●録機 ●昇降機 ●その他 (シャッター)																																																												
(4) 負荷設備への接続	図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。																																																												
(5) 電動機等の接地	●専用接地 ●金属管接地(7.5kW以下)																																																												
(6) 電動機等の力率の改善	本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。																																																												
(7) 保護継電器	過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。																																																												
(8) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事情)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。																																																												
3. 雷保護設備	(1) 避雷針 1) 受雷部 ●突針 ●棒上導体 ●笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ●引下げ導線 ●建築構造物利用 ●測定用補助接地極 3) 接地極 ●接地埋設 ●建築構造物利用 ●測定用補助接地極 ① 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 ② 測定回数 ●3回 ●() 回 4) 接地極埋設 接地には接地極埋設を施工し、接地極の位置がわかるようにする。																																																												
(2) 雷サージ保護	1) 避雷トランス ●設置(・単相用 ●動力用) ●設置しない 2) SPD ●低圧用(・クラスI ●クラスII) ●通信用(・カテゴリC2 ●カテゴリD1) 3) 低圧用SPDクラスの性能 別図による 4) 通信用SPDカテゴリD1の性能 別図による																																																												
(3) 電源回路の保護	1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。																																																												
(4) 通信回線の保護	電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。																																																												
4. 接地設備	(1) 接地工事 1) 種類 ●A種 ●B種 ●C種 ●D種 2) 施工 ●各種単独 ●共有有り ()																																																												
(2) 接地抵抗の測定	1) 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 2) 測定回数 ●3回 ●() 回																																																												
(3) 接地極埋設	接地には接地極埋設を施工し、接地極の位置がわかるようにする。																																																												
【受変電設備】	高圧以外の受変電設備については、本項により別図による。																																																												
(1) 既設との取り合い	・無し ・改造(機器取替、追加等を含む) ・増設 ・配線接続 ・その他 ()																																																												
(2) 機器類	・盤類 ●変流変断器 ●断路器 ●遮断器 ●負荷開閉器 ●変圧器 ●三相コンデンサ ●直列リアクトル ●配線用遮断器 ●接地接触器 ●その他 ()																																																												
(3) 盤類	1) 形式 ●キュービクル式配電盤(JIS C 4620) ① 高圧スイッチギア (JIS 1425) (・CX ●CW ●PW ●MW) ② 開放形配電盤 ●その他 () 2) 中通路 ●有 ●無し 3) 特記事項 ()																																																												
(4) 変流変断器	真空遮断器(VCB) ① 操作方式 ●手動ばね操作 ●電動ばね操作 ●電磁操作 ② 引外し方式 ●電流引外し ●コンデンサ引外し ●直流電圧引外し																																																												
<p>株式会社 田中孝建築設計事務所</p> <p>一級建築士事務所第1-2091号 三重県津市三重町津興433-47 TEL 059-226-7150 FAX 059-226-4960</p>	<p>一級建築士第123009号 田中孝</p>	<p>制作年月日</p> <p>備考</p> <p>工事名称 津市建設作業事務所車庫等新築その他工事</p>	<p>図面名称・縮尺 電気設備特記仕様書 2</p> <p>No. E-02 原図 A2</p>																																																										

17. 映像・音響設備	<p>(1)設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像機器 音響機器 操作装置 <p>(2)映像機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 表示機器 <ul style="list-style-type: none"> プロジェクタ(・前面投射式・背面投射式) スクリーン(・反射マトリクス形・反射ストライプ形・透過形) スクリーン巻上装置(・電動式・手動式) 液晶ディスプレイ 付属機器 <ul style="list-style-type: none"> 録画再生装置(・HDD・Blu-ray/DVD) テレビチューナー(・UHF・BS・CS) カメラ パソコン その他の機器 <p>(3)音響機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 増幅器 <ol style="list-style-type: none"> 出力 方式 出力インピーダンス 付属機器 <ul style="list-style-type: none"> グラフィックコライザー ラジオチューナー(・FM・AM) 有線マイクロホン 無線マイクロホン(・電波式(・アナログ・デジタル)・赤外線式) スピーカー <ul style="list-style-type: none"> 天井分散配置方式 集中配置方式 <p>(4)操作装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形状 設置
18. 拡声設備	<p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 増幅器 付属機器 操作装置 スピーカー <p>(2)増幅器</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常放送兼用(仕様は非常放送装置を参照) 専用出力インピーダンス Lo形 Hi形 <p>(3)付属機器</p> <ul style="list-style-type: none"> オーディオミキサー リコモソマイク 電源制御器 録音再生装置(・CD・メモリアーカイブ) アナウンスレコーダ(・チャイム・独自メッセージ・プログラムタイム) 有線マイクロホン 無線マイクロホン(・電波式(・アナログ・デジタル)・赤外線式) ラジオチューナー(・FM・AM) スピーカー切替装置 <p>(4)操作装置</p> <ul style="list-style-type: none"> 卓型 キャビネットラック型 壁掛型 <p>(5)スピーカー</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常放送兼用(仕様は非常放送装置を参照) 専用出力インピーダンス Lo形 Hi形 設置場所 屋内 屋外
19. 誘導支援設備	<p>(1)設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声誘導装置 インターホン トイレ等呼出装置 <p>(2)音声誘導装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 検出方式 設置場所 機能 機器 制御装置 送信機 受信機 <p>(3)インターホン</p> <ol style="list-style-type: none"> 用途 機能 連絡機 連絡方式 機器 形状 子機 <p>(4)トイレ等呼出装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 用途 機器 親機 呼出しスイッチ 警報装置
20. テレビ共同受信設備	<p>(1)受信放送</p> <ul style="list-style-type: none"> UHF BS CS FM CATV <p>(2)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 増幅器 混合器 分波器 分岐器 分配器 機器収容箱 アンテナ <p>(3)アンテナ</p> <ol style="list-style-type: none"> 放送 マスト 自立用基礎
21. テレビ電波障害防除設備	<p>(1)対象戸数</p> <p>(2)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 増幅器 混合器 分波器 分岐器 分配器 機器収容箱 アンテナ ヘッドエンド装置 <p>(3)アンテナ</p> <ol style="list-style-type: none"> 放送 マスト 自立用基礎
22. 監視カメラ設備	<p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラ モニタ装置 録画装置 ハウジング 旋回装置 <p>(2)伝送方式</p> <ul style="list-style-type: none"> アナログ伝送方式 ネットワーク伝送方式 <p>(3)カメラ</p> <ol style="list-style-type: none"> 色方式 駆動方式 撮影条件 設置場所 <p>(4)モニタ装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 色方式 モニタ 設置 <p>(5)録画装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 記憶媒体 記憶容量 時刻補正機能

23. 駐車場管制設備	<p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 管制盤 検知器 信号灯 警報灯 発券機 カーゲート カードリーダー <p>(2)管制盤</p> <ol style="list-style-type: none"> 機能 形式 <p>(3)検知器</p> <ol style="list-style-type: none"> 方式 検知器外箱 検出対象車種 検出対象速度 <p>(4)信号灯・警報灯</p> <ol style="list-style-type: none"> 方式 警報音 外箱 <p>(5)発券機</p> <ol style="list-style-type: none"> 発行券 発券方式 <p>(6)カーゲート</p> <ul style="list-style-type: none"> 方式 材質 <p>(7)防犯・入室管理設備</p> <p>(1)設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯装置 入室管理装置 <p>(2)防犯装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 センサ 制御装置 機能 <p>(3)入室管理装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 制御装置 <p>(4)中継器</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式 試験機能 設置場所 <p>(5)発信機</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式 種類 試験機能 設置場所 <p>(6)感知器</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式 種類 試験機能 設置場所 <p>(7)感知器</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式 種類 試験機能 設置場所 <p>(8)自動閉鎖装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 方式 施工 <p>(9)自動閉鎖装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 方式 施工 <p>(10)非常警報設備</p> <p>(1)設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常放送装置 非常ベル <p>(2)非常放送装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 消防火基準適合マーク品とする。 機器 増幅器 検知器 増幅器 出力 形式 形状 用途 <p>(3)スピーカー</p> <ol style="list-style-type: none"> 用途 インピーダンス 設置場所 用途 <p>(4)非常用リモコンマイク</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 設置 <p>(3)非常ベル(自動式サイレンを含む)</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 設置
24. 防犯・入室管理設備	<p>(1)設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯装置 入室管理装置 <p>(2)防犯装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 センサ 制御装置 機能 <p>(3)入室管理装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 制御装置 <p>(4)中継器</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式 試験機能 設置場所 <p>(5)発信機</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式 種類 試験機能 設置場所 <p>(6)感知器</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式 種類 試験機能 設置場所 <p>(7)感知器</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式 種類 試験機能 設置場所 <p>(8)自動閉鎖装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 方式 施工 <p>(9)自動閉鎖装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 方式 施工 <p>(10)非常警報設備</p> <p>(1)設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常放送装置 非常ベル <p>(2)非常放送装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 消防火基準適合マーク品とする。 機器 増幅器 検知器 増幅器 出力 形式 形状 用途 <p>(3)スピーカー</p> <ol style="list-style-type: none"> 用途 インピーダンス 設置場所 用途 <p>(4)非常用リモコンマイク</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 設置 <p>(3)非常ベル(自動式サイレンを含む)</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 設置
25. 自動火災報知設備	<p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 受信機 副受信機(表示装置) 中継器 発信機 感知器 <p>(2)受信機</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式 回線 試験機能 形状 <p>(3)副受信機(表示装置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 形状 回線 <p>(4)中継器</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式 試験機能 設置場所 <p>(5)発信機</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式 種類 試験機能 設置場所 <p>(6)感知器</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式 種類 試験機能 設置場所
26. 自動閉鎖設備	<p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動制御器 感知器 自動閉鎖装置 自動閉鎖装置 <p>(2)運動制御器</p> <ol style="list-style-type: none"> 制御対象 回線 設置 <p>(3)感知器</p> <ol style="list-style-type: none"> 型式 種類 試験機能 設置場所 <p>(4)自動閉鎖装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 方式 施工 <p>(5)自動閉鎖装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 方式 施工
27. 非常警報設備	<p>(1)設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常放送装置 非常ベル <p>(2)非常放送装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 消防火基準適合マーク品とする。 機器 増幅器 検知器 増幅器 出力 形式 形状 用途 <p>(3)スピーカー</p> <ol style="list-style-type: none"> 用途 インピーダンス 設置場所 用途 <p>(4)非常用リモコンマイク</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 設置 <p>(3)非常ベル(自動式サイレンを含む)</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 設置
28. ガス漏れ火災警報設備	<p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 受信機 副受信機 中継器 検知器 警報器 <p>(2)受信機</p> <ol style="list-style-type: none"> 回線 種類 設置 <p>(3)副受信機</p> <ol style="list-style-type: none"> 動作 定格電圧 ガス検知出力値 <p>(4)検知器</p> <ol style="list-style-type: none"> 動作 定格電圧 ガス検知出力値

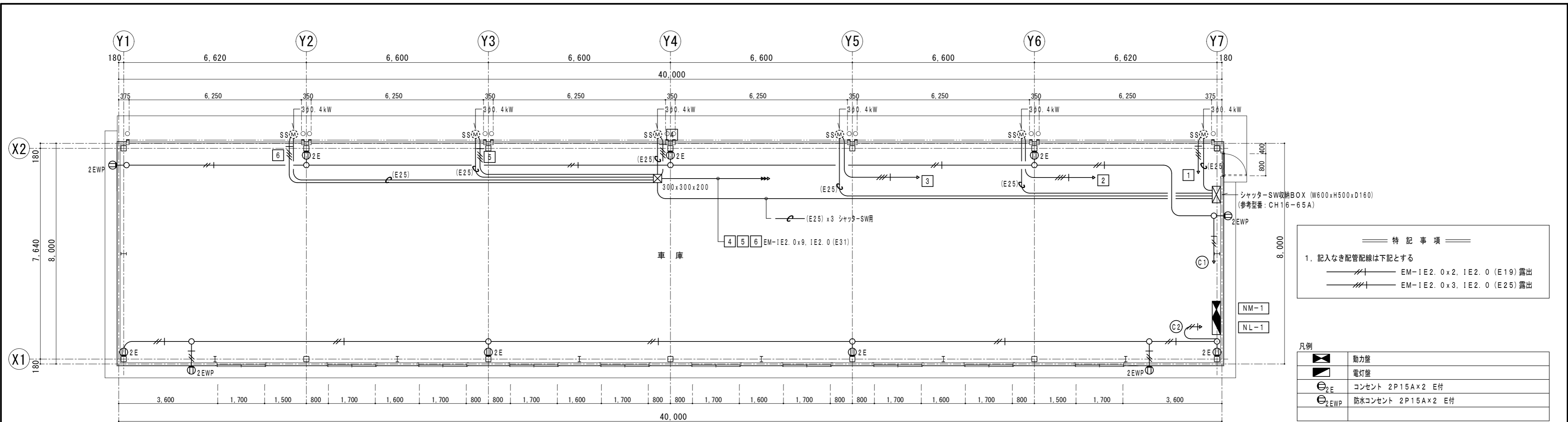
【中央監視制御設備】	<p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1)監視制御対象設備</p> <p>(2)既設との取り合い</p> <p>(3)機器</p> <p>(4)機能</p> <p>(5)監視操作装置</p> <p>(6)信号処理装置</p> <p>(7)記録装置</p> <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1)機器</p> <p>(2)仕様詳細</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1)形式</p> <p>(2)仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1)配線方式</p> <p>(2)建柱</p> <p>(3)装柱機器</p> <p>(4)装柱機器</p> <p>(5)ハンドホール・マンホール</p> <p>(6)錆防止</p> <p>(7)地中ケーブル保護材料</p> <p>【構内通信線路】</p> <p>33. 構内通信線路</p> <p>(1)用途</p> <p>(2)配線方式</p> <p>(3)建柱</p> <p>(4)ハンドホール・マンホール</p> <p>(5)錆防止</p> <p>(6)地中ケーブル保護材料</p> <p>【その他】</p> <p>34. 消火器</p>
【中央監視制御設備】	<p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1)監視制御対象設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力設備 受変電設備 発電設備 火災報知設備 その他 <p>(2)既設との取り合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 無し 壁改造 配線接続 その他 <p>(3)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 監視操作装置 信号処理装置 記録装置 伝送装置 端末装置 その他 <p>(4)機能</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>(5)監視操作装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 表示装置 操作装置 <p>(6)信号処理装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 <p>(7)記録装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 装置 <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 絶縁変圧器 絶縁監視装置 電流監視装置 医用接地センタポディー その他 <p>(2)仕様詳細</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1)形式</p> <p>(2)仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1)配線方式</p> <ul style="list-style-type: none"> 地中線式(・直埋・管路) 架空線式(・直接・ちよう架線添架) 建築物等添架式(・露出配管・隠蔽配管) その他 <p>(2)建柱</p> <ol style="list-style-type: none"> 施工 電柱 支持材料 装柱材料 底板 <p>(3)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(4)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(5)ハンドホール・マンホール</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 施工 ケーブル支持金物の取付 <p>(6)錆防止</p> <ol style="list-style-type: none"> 錆防止の剥印は「強電」「電力」又は「高圧」とする。 雨水の流れ込みを防ぐための防水パッキン付とする。 <p>(7)地中ケーブル保護材料</p> <ol style="list-style-type: none"> 種類 標示杭埋設 埋設保護シート 埋設保護シートの表記は電力用であることがわかるものとする。
【中央監視制御設備】	<p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1)監視制御対象設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力設備 受変電設備 発電設備 火災報知設備 その他 <p>(2)既設との取り合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 無し 壁改造 配線接続 その他 <p>(3)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 監視操作装置 信号処理装置 記録装置 伝送装置 端末装置 その他 <p>(4)機能</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>(5)監視操作装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 表示装置 操作装置 <p>(6)信号処理装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 <p>(7)記録装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 装置 <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 絶縁変圧器 絶縁監視装置 電流監視装置 医用接地センタポディー その他 <p>(2)仕様詳細</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1)形式</p> <p>(2)仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1)配線方式</p> <ul style="list-style-type: none"> 地中線式(・直埋・管路) 架空線式(・直接・ちよう架線添架) 建築物等添架式(・露出配管・隠蔽配管) その他 <p>(2)建柱</p> <ol style="list-style-type: none"> 施工 電柱 支持材料 装柱材料 底板 <p>(3)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(4)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(5)ハンドホール・マンホール</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 施工 ケーブル支持金物の取付 <p>(6)錆防止</p> <ol style="list-style-type: none"> 錆防止の剥印は「強電」「電力」又は「高圧」とする。 雨水の流れ込みを防ぐための防水パッキン付とする。 <p>(7)地中ケーブル保護材料</p> <ol style="list-style-type: none"> 種類 標示杭埋設 埋設保護シート 埋設保護シートの表記は電力用であることがわかるものとする。
【中央監視制御設備】	<p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1)監視制御対象設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力設備 受変電設備 発電設備 火災報知設備 その他 <p>(2)既設との取り合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 無し 壁改造 配線接続 その他 <p>(3)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 監視操作装置 信号処理装置 記録装置 伝送装置 端末装置 その他 <p>(4)機能</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>(5)監視操作装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 表示装置 操作装置 <p>(6)信号処理装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 <p>(7)記録装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 装置 <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 絶縁変圧器 絶縁監視装置 電流監視装置 医用接地センタポディー その他 <p>(2)仕様詳細</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1)形式</p> <p>(2)仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1)配線方式</p> <ul style="list-style-type: none"> 地中線式(・直埋・管路) 架空線式(・直接・ちよう架線添架) 建築物等添架式(・露出配管・隠蔽配管) その他 <p>(2)建柱</p> <ol style="list-style-type: none"> 施工 電柱 支持材料 装柱材料 底板 <p>(3)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(4)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(5)ハンドホール・マンホール</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 施工 ケーブル支持金物の取付 <p>(6)錆防止</p> <ol style="list-style-type: none"> 錆防止の剥印は「強電」「電力」又は「高圧」とする。 雨水の流れ込みを防ぐための防水パッキン付とする。 <p>(7)地中ケーブル保護材料</p> <ol style="list-style-type: none"> 種類 標示杭埋設 埋設保護シート 埋設保護シートの表記は電力用であることがわかるものとする。
【中央監視制御設備】	<p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1)監視制御対象設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力設備 受変電設備 発電設備 火災報知設備 その他 <p>(2)既設との取り合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 無し 壁改造 配線接続 その他 <p>(3)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 監視操作装置 信号処理装置 記録装置 伝送装置 端末装置 その他 <p>(4)機能</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>(5)監視操作装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 表示装置 操作装置 <p>(6)信号処理装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 <p>(7)記録装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 装置 <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 絶縁変圧器 絶縁監視装置 電流監視装置 医用接地センタポディー その他 <p>(2)仕様詳細</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1)形式</p> <p>(2)仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1)配線方式</p> <ul style="list-style-type: none"> 地中線式(・直埋・管路) 架空線式(・直接・ちよう架線添架) 建築物等添架式(・露出配管・隠蔽配管) その他 <p>(2)建柱</p> <ol style="list-style-type: none"> 施工 電柱 支持材料 装柱材料 底板 <p>(3)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(4)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(5)ハンドホール・マンホール</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 施工 ケーブル支持金物の取付 <p>(6)錆防止</p> <ol style="list-style-type: none"> 錆防止の剥印は「強電」「電力」又は「高圧」とする。 雨水の流れ込みを防ぐための防水パッキン付とする。 <p>(7)地中ケーブル保護材料</p> <ol style="list-style-type: none"> 種類 標示杭埋設 埋設保護シート 埋設保護シートの表記は電力用であることがわかるものとする。
【中央監視制御設備】	<p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1)監視制御対象設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力設備 受変電設備 発電設備 火災報知設備 その他 <p>(2)既設との取り合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 無し 壁改造 配線接続 その他 <p>(3)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 監視操作装置 信号処理装置 記録装置 伝送装置 端末装置 その他 <p>(4)機能</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>(5)監視操作装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 表示装置 操作装置 <p>(6)信号処理装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 <p>(7)記録装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 装置 <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 絶縁変圧器 絶縁監視装置 電流監視装置 医用接地センタポディー その他 <p>(2)仕様詳細</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1)形式</p> <p>(2)仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1)配線方式</p> <ul style="list-style-type: none"> 地中線式(・直埋・管路) 架空線式(・直接・ちよう架線添架) 建築物等添架式(・露出配管・隠蔽配管) その他 <p>(2)建柱</p> <ol style="list-style-type: none"> 施工 電柱 支持材料 装柱材料 底板 <p>(3)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(4)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(5)ハンドホール・マンホール</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 施工 ケーブル支持金物の取付 <p>(6)錆防止</p> <ol style="list-style-type: none"> 錆防止の剥印は「強電」「電力」又は「高圧」とする。 雨水の流れ込みを防ぐための防水パッキン付とする。 <p>(7)地中ケーブル保護材料</p> <ol style="list-style-type: none"> 種類 標示杭埋設 埋設保護シート 埋設保護シートの表記は電力用であることがわかるものとする。
【中央監視制御設備】	<p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1)監視制御対象設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力設備 受変電設備 発電設備 火災報知設備 その他 <p>(2)既設との取り合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 無し 壁改造 配線接続 その他 <p>(3)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 監視操作装置 信号処理装置 記録装置 伝送装置 端末装置 その他 <p>(4)機能</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>(5)監視操作装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 表示装置 操作装置 <p>(6)信号処理装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 <p>(7)記録装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 装置 <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 絶縁変圧器 絶縁監視装置 電流監視装置 医用接地センタポディー その他 <p>(2)仕様詳細</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1)形式</p> <p>(2)仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1)配線方式</p> <ul style="list-style-type: none"> 地中線式(・直埋・管路) 架空線式(・直接・ちよう架線添架) 建築物等添架式(・露出配管・隠蔽配管) その他 <p>(2)建柱</p> <ol style="list-style-type: none"> 施工 電柱 支持材料 装柱材料 底板 <p>(3)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(4)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(5)ハンドホール・マンホール</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 施工 ケーブル支持金物の取付 <p>(6)錆防止</p> <ol style="list-style-type: none"> 錆防止の剥印は「強電」「電力」又は「高圧」とする。 雨水の流れ込みを防ぐための防水パッキン付とする。 <p>(7)地中ケーブル保護材料</p> <ol style="list-style-type: none"> 種類 標示杭埋設 埋設保護シート 埋設保護シートの表記は電力用であることがわかるものとする。
【中央監視制御設備】	<p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1)監視制御対象設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力設備 受変電設備 発電設備 火災報知設備 その他 <p>(2)既設との取り合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 無し 壁改造 配線接続 その他 <p>(3)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 監視操作装置 信号処理装置 記録装置 伝送装置 端末装置 その他 <p>(4)機能</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>(5)監視操作装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 表示装置 操作装置 <p>(6)信号処理装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 <p>(7)記録装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 装置 <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 絶縁変圧器 絶縁監視装置 電流監視装置 医用接地センタポディー その他 <p>(2)仕様詳細</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1)形式</p> <p>(2)仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1)配線方式</p> <ul style="list-style-type: none"> 地中線式(・直埋・管路) 架空線式(・直接・ちよう架線添架) 建築物等添架式(・露出配管・隠蔽配管) その他 <p>(2)建柱</p> <ol style="list-style-type: none"> 施工 電柱 支持材料 装柱材料 底板 <p>(3)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(4)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(5)ハンドホール・マンホール</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 施工 ケーブル支持金物の取付 <p>(6)錆防止</p> <ol style="list-style-type: none"> 錆防止の剥印は「強電」「電力」又は「高圧」とする。 雨水の流れ込みを防ぐための防水パッキン付とする。 <p>(7)地中ケーブル保護材料</p> <ol style="list-style-type: none"> 種類 標示杭埋設 埋設保護シート 埋設保護シートの表記は電力用であることがわかるものとする。
【中央監視制御設備】	<p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1)監視制御対象設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力設備 受変電設備 発電設備 火災報知設備 その他 <p>(2)既設との取り合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 無し 壁改造 配線接続 その他 <p>(3)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 監視操作装置 信号処理装置 記録装置 伝送装置 端末装置 その他 <p>(4)機能</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>(5)監視操作装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 表示装置 操作装置 <p>(6)信号処理装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 <p>(7)記録装置</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 設置 装置 <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none"> 絶縁変圧器 絶縁監視装置 電流監視装置 医用接地センタポディー その他 <p>(2)仕様詳細</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1)形式</p> <p>(2)仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1)配線方式</p> <ul style="list-style-type: none"> 地中線式(・直埋・管路) 架空線式(・直接・ちよう架線添架) 建築物等添架式(・露出配管・隠蔽配管) その他 <p>(2)建柱</p> <ol style="list-style-type: none"> 施工 電柱 支持材料 装柱材料 底板 <p>(3)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(4)装柱機器</p> <ol style="list-style-type: none"> 機器 耐震性能 閉閉器 <p>(5)ハンドホール・マンホール</p> <ol style="list-style-type: none"> 形式 施工 ケーブル支持金物の取付 <p>(6)錆防止</p> <ol style="list-style-type: none"> 錆防止の剥印は「強電」「電力」又は「高圧」とする。 雨水の流れ込みを防ぐための防水パッキン



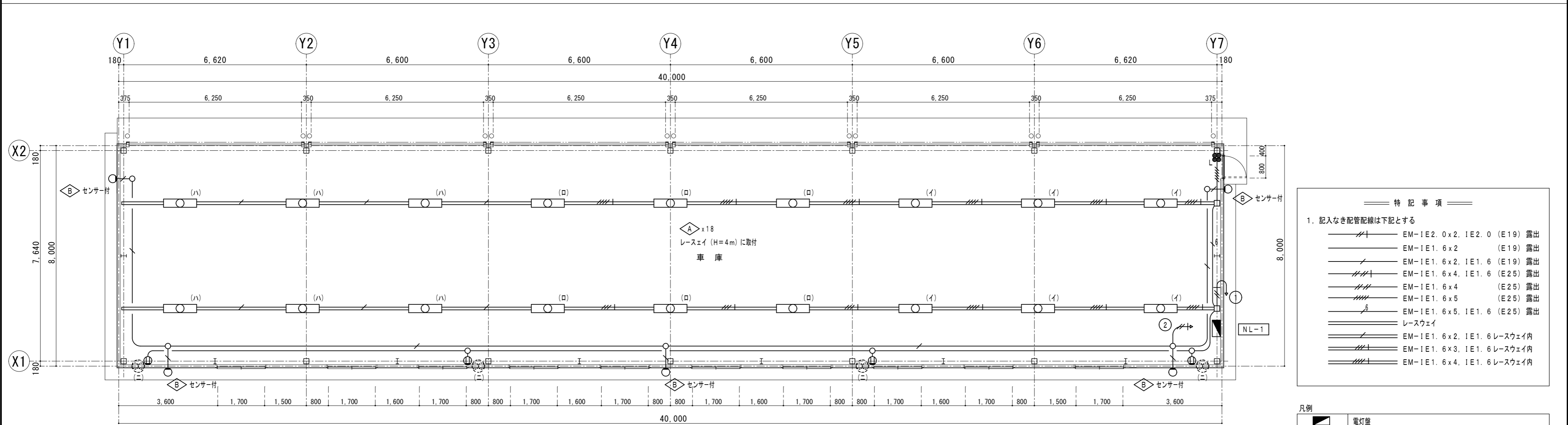
- 特記事項
- 配入なき配管配線は下記とする。
 - EM-IE2.0x2 IE2.0 (E19) 屋内 露出
 - EM-IE1.6x2 IE1.6 (E19) 屋内 露出
 - EM-IE1.6x2 (E19) 屋内 露出
 - EM-IE14' (HIVE16) 屋外 露出
 - 凡例
 - : コンクリート柱 CP12-19-350
 - ☒ : ハンドホール 600x600x900 600φ垂荷重垂
 - ☒ : ブルボックス 200x200x200
 - : タンブラスイッチ 1P15Ax1
 - : 地中埋設機 コンクリート製
 - ⚡ : 接地工事 D種 埋設機共

照明器具姿図

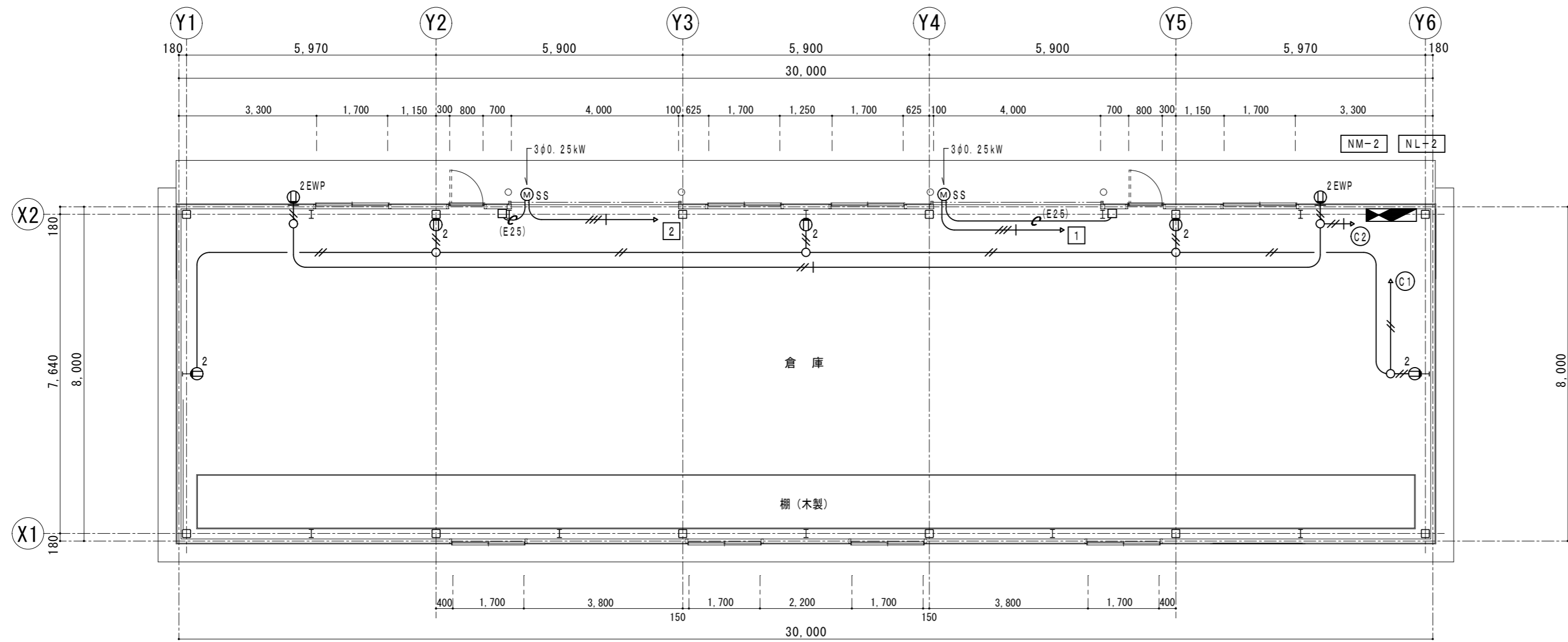
A	B	C	D
LED一体型ベースライト直付 反射笠付 消費電力 44.3W FHF32Wx2 高出力相当	LEDプラケット 防雨型 人感センサー・明るさセンサー付 消費電力 5.2W 1L60形 相当	LED防犯灯 防雨型 明るさセンサー付 消費電力 29.6W 水銀灯100形相当	LEDスポットライト750形 防雨型 広角タイプ 消費電力 63W
参考型番: XLX460KENK LE9	参考型番: LGWC80201 LE1	参考型番: NNY20467 LE1	参考型番: NNY24398 LE9



＜動力・コンセント設備＞
平面図 1 : 100



＜電灯設備＞
平面図 1 : 100



＜動力・コンセント設備＞
平面図 1 : 100

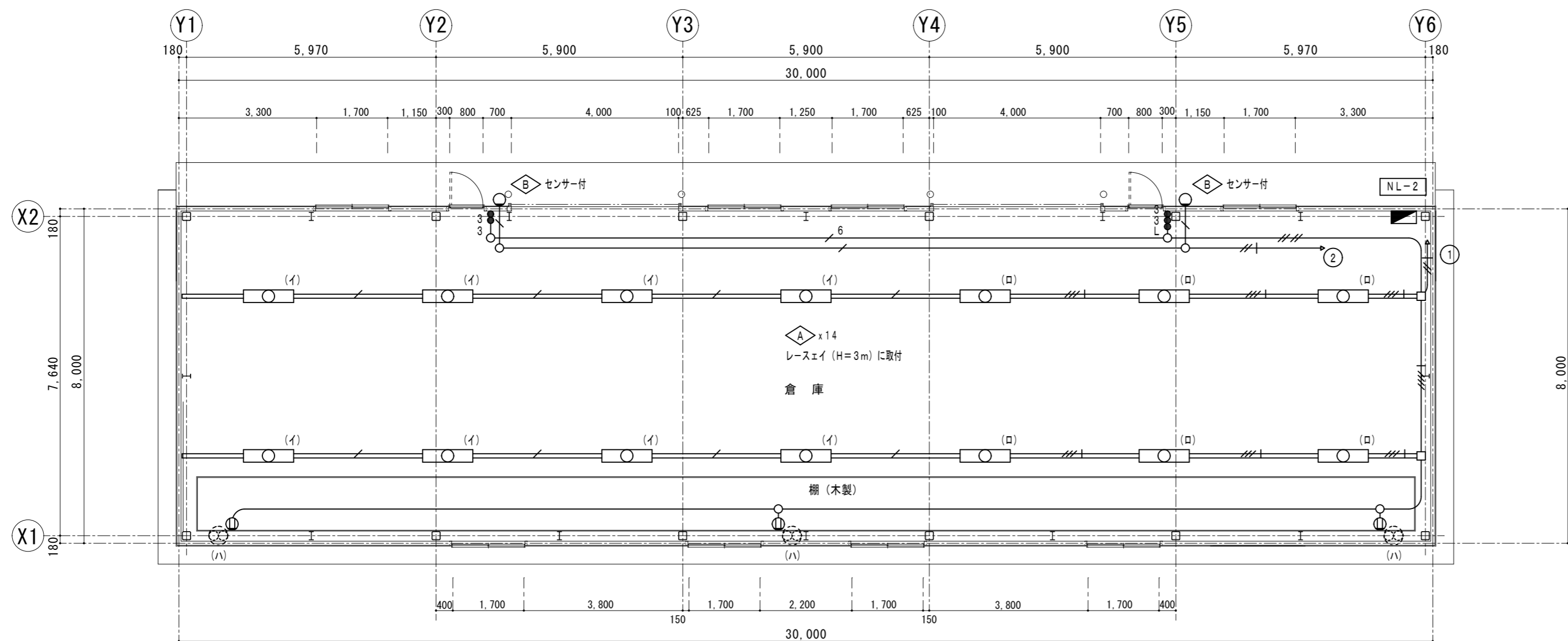
特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする

EM-1E2.0x2	(E19) 露出
EM-1E2.0x2.1E2.0	(E19) 露出
EM-1E2.0x3.1E2.0	(E25) 露出

凡例

■	動力盤
■	電灯盤
⊖	コンセント 2P15A×2
⊖ _{EWP}	防水コンセント 2P15A×2 E付



＜電灯設備＞
平面図 1 : 100

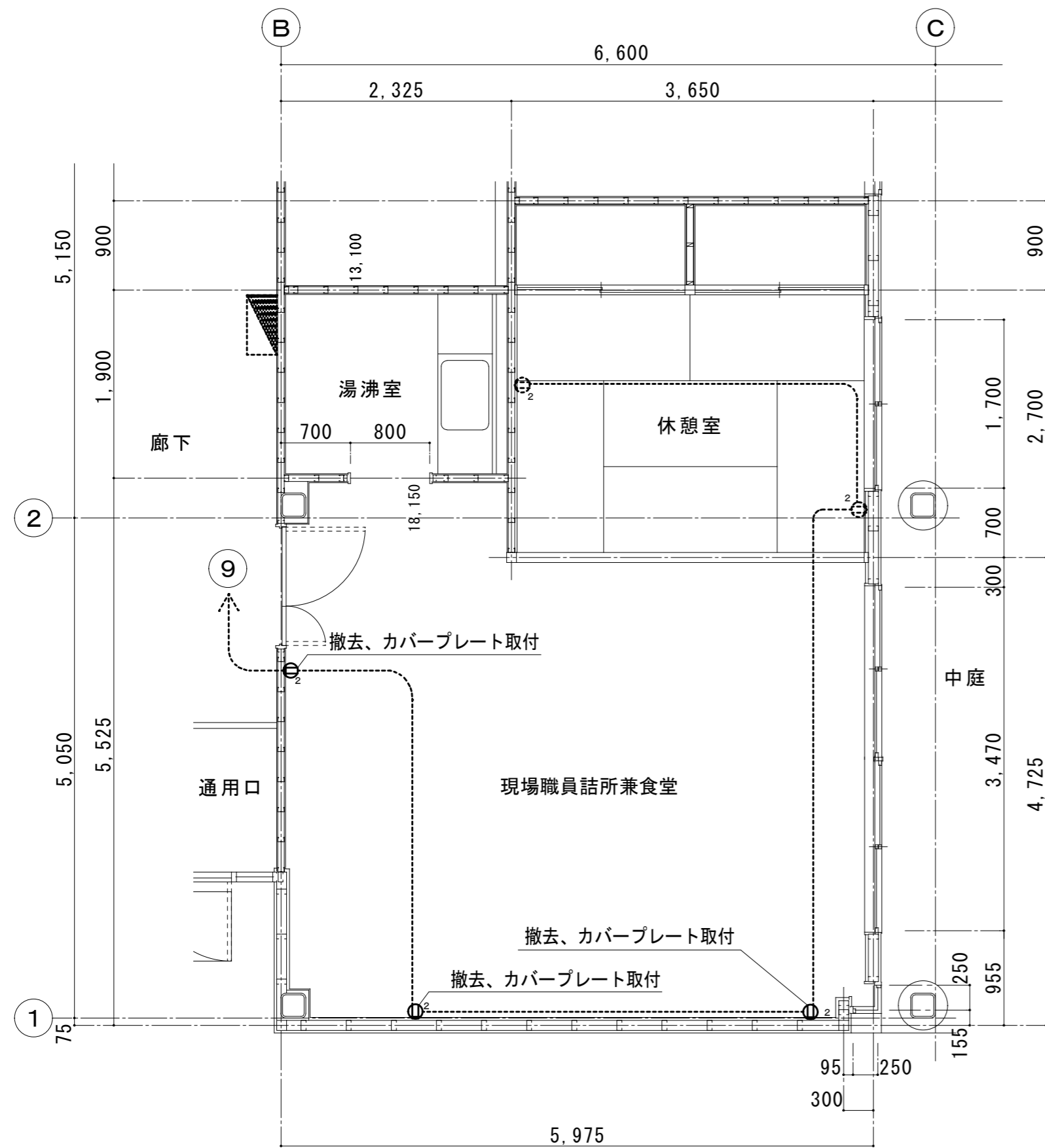
特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする

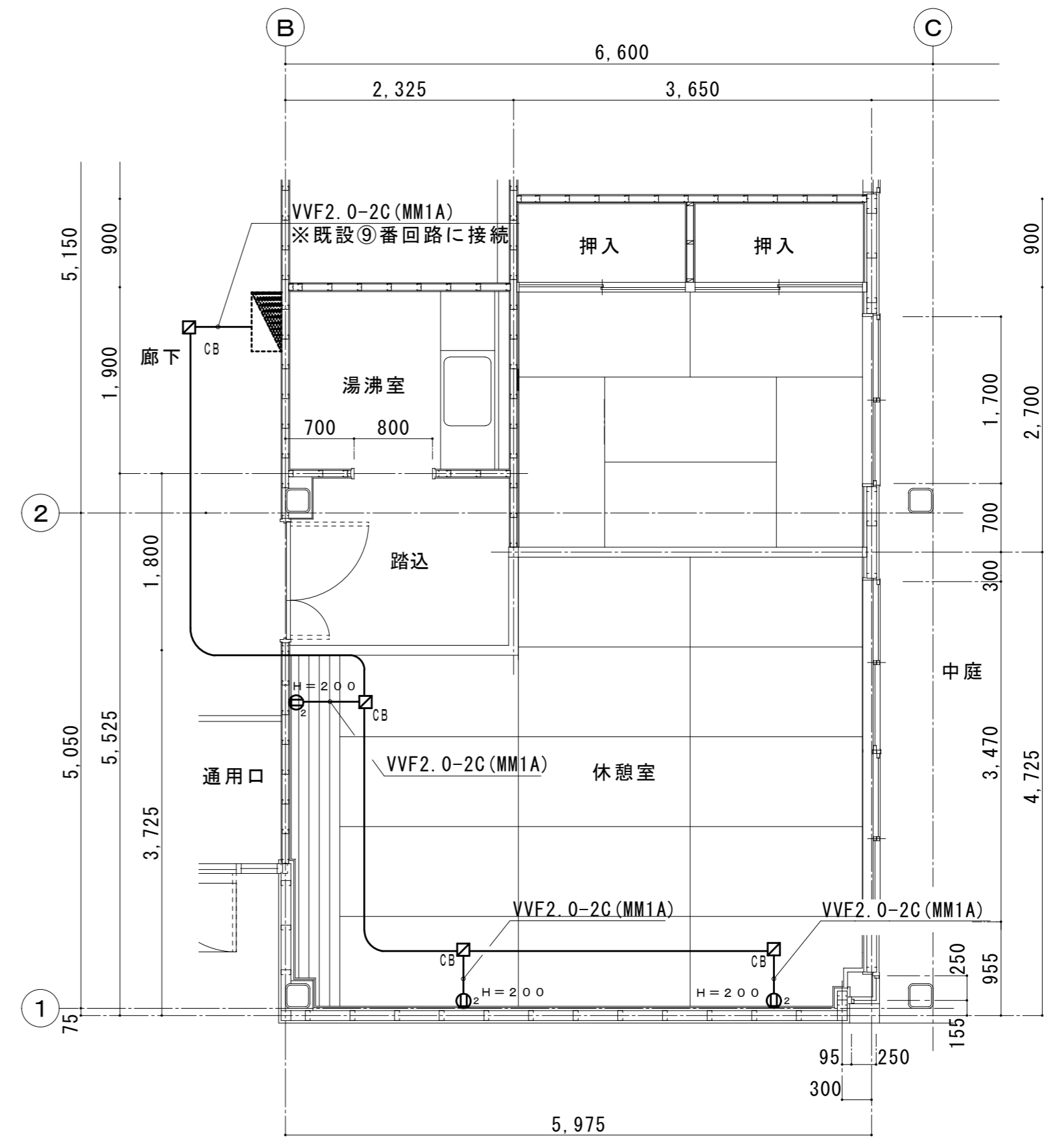
EM-1E1.6x2	(E19) 露出
EM-1E1.6x2.1E1.6	(E19) 露出
EM-1E1.6x4.1E1.6	(E25) 露出
EM-1E1.6x4	(E25) 露出
EM-1E1.6x6	(E25) 露出
レースウェイ	
EM-1E1.6x2.1E1.6	レースウェイ内
EM-1E1.6x3.1E1.6	レースウェイ内

凡例

■	電灯盤
⊖	コンセント 2P15A×1
●	タンブラスイッチ 1P15A×1



改修前 平面詳細図 1 : 50



改修後 平面詳細図 1 : 50

—— 特記事項 ——

1. 記入なき配管配線は下記とする

—— VVF2.0-2C 天井ころがし

破線は既設のままを示す。

凡例

	既設電灯盤
	コンセント 2P15A x 2
	コーナーボックス A型

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	- -	2m 以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 銅管	80A以下 100A以上	- -	1m 以下 2m以下
鉛管			1.5m以下
鋼鉄管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A~100A	125A~
鋼鉄管			
ビニル管 耐火二層管 銅管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 液管の外径を基準とする。
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付種Z18以上
 ステンレス鋼板 JIS 64305
工法 アングルフランジ工法
 共板フランジ工法
 スライドオンフランジ工法
形鋼補強 山形鋼 JIS G 3101 SUS鋼材 JIS G 4317
丸ダクト スパイラルダクト
 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。
- グラスウール保温材 保温筒 JIS A 9504 2号 40K
(屋内一般等) 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K
- 給水管 排水管 給湯管 温水管
 蒸気管 冷水・冷温水管 冷媒管
- (屋外等)
 給湯管 温水管 蒸気管 冷水・冷温水管
 冷媒管
- ロックウール保温材 保温板、保温帯、フランクネット
(防火区画貫通部等) 1号JIS A 9504
 給水管 排水管 給湯管 温水管
 蒸気管 冷水・冷温水管 冷媒管 消火管
- ポリスチレンフォーム保温材 保温筒 JIS A 9511 3号
(屋内一般等) 保温板 JIS A 9511 3号
 給水管 排水管 冷水・冷温水管 冷水管 (2~4℃)
 プライン管
- (屋外等)
 給水管 排水管 給湯管 冷水・冷温水管
 プライン管 消火管
- 調合ベイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ベイント) 1種
(露出)
 給水管 排水管 通気管 ドレン管
 ガス管 消火管 油管 冷却水管

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	-	200A~	-
膨張・温水・消火管	-	-	32~50A	65A~	-
蒸気管	~25A	-	~25A	32~200A	250A~
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	-	-

・ ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
プライン管	-	-	-	~25A	32~80A	100A~

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	
25mm	ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンパー、貯湯タンク類冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー排気筒隠蔽部(ロックウール)
75mm	煙導(ロックウール)

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7&M15ウレタン仕上
天井内・P S内	7&M15化繊保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7&M15ウレタン
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

- ※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ピット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法、架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の外部露出のは保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	# 15F9/214&	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	# 15F9/214&	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内	保温筒	鉄線	# 15F9/214&	アルミガラスクロス仕上	
(温水・蒸気管以外)					
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	# 15F9/214&	青色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	# 15F9/214&	SUS鋼板仕上	

- ※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
■ 保温化粧ケース仕上 ■ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク					
鋼板製タンク	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板(屋内)
冷水・冷温水ヘッダー					
温水・膨張・還水貯湯タンク	鉄	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板(屋内)	
温水・蒸気ヘッダー					
熱交換器					

- ※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

	1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	鉄	保温板	カラー鉄板
	機械室				アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽、D S内				アルミガラスクロス化粧保温板
	屋外露出、多湿箇所				アルミガラスクロス化粧保温板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー鉄板
	機械室				アルミガラスクロス化粧保温帯
	屋内隠蔽、多湿箇所				アルミガラスクロス粘着テープ
	屋外露出、多湿箇所				アルミガラスクロス化粧保温帯
サブライチャンパー					
消音チャンパー、エルボ					
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽				アルミガラスクロス化粧保温帯
排煙ダクト円形	屋内隠蔽				アルミガラスクロス化粧保温帯
煙導	フランクネット				鉄線 カラー鉄板

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道フランクネットは、JIS G 3554 (竜甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目16縦径0.55による防錆処理を施したプラス0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 銅竜甲金網は、JIS H 3260 網目10、縦径0.5

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	調合ベイント	1	1	1	下塗りはさび止めベイント
黒管	露出	調合ベイント	2	1	1	下塗りはさび止めベイント

- ※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めベイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. S A
 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
2. E A
 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
3. R A
 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
4. O A
 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
- チャンパー内貼施工
 内貼あり (mm) 内貼なし 図面による その他 ()

(4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む) より40mm程度大 (≠サイズUP) なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (梁管ダクト) とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

10 共通事項

- 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 機器の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 雨がかり取りに取付けるガラリのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
 - 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
 - 接続箇所は必要に応じてコンクリートで保護する。
 - 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
 - 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 屋外露出及び多湿箇所 (トレンピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊着の取り付けを行うこと。
- 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。

凡例

記号	名称	記号	名称	記号	名称
— — — — —	給水管		散水栓	♀	給水弁
— — — — —	雨水管			⊗	給水弁 (BOX収納)
— R — — —	冷媒管				
— D — — —	ドレン管				

衛生器具表

名称	仕様	参考品番(又は同等品以上)		合計	倉庫外部	車庫外部
		TOTO	LIXIL			
散水栓	BOX(B-3)共	T28UNH13	LF-13-13-CV	3	1	2
横水栓	ホース接続用 20Aタイプ	T200S20	LF-7R-19	1		1

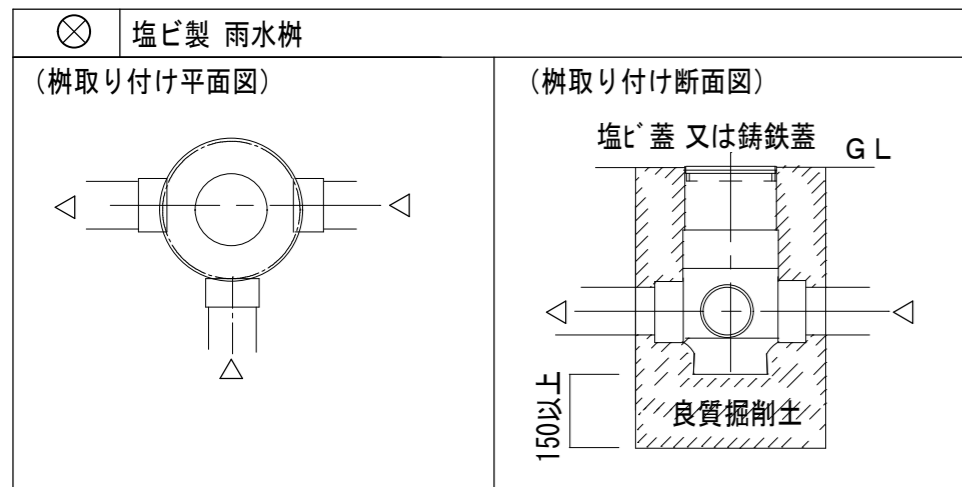
(更新)空調機器表 形式 空冷ヒートポンプ式エアコン

記号	形式	冷房能力 (kW)	消費電力 (kW) 冷房時	暖房能力 (kW)	消費電力 (kW) 暖房時	電源 (V)	付属品	台数	備考
AC-2	天井埋込カセット形エアコン	7.1 (2.4~8.0)	1.88	8.0 (2.0~10.8)	2.03	3φ200V 屋外機電源	ワイヤードリモコン	1	
AC-4	天井埋込カセット形エアコン ツイン同時	20.0 (6.4~22.4)	6.49	22.4 (5.8~27.0)	5.65	3φ200V 屋外機電源	ワイヤードリモコン	1	

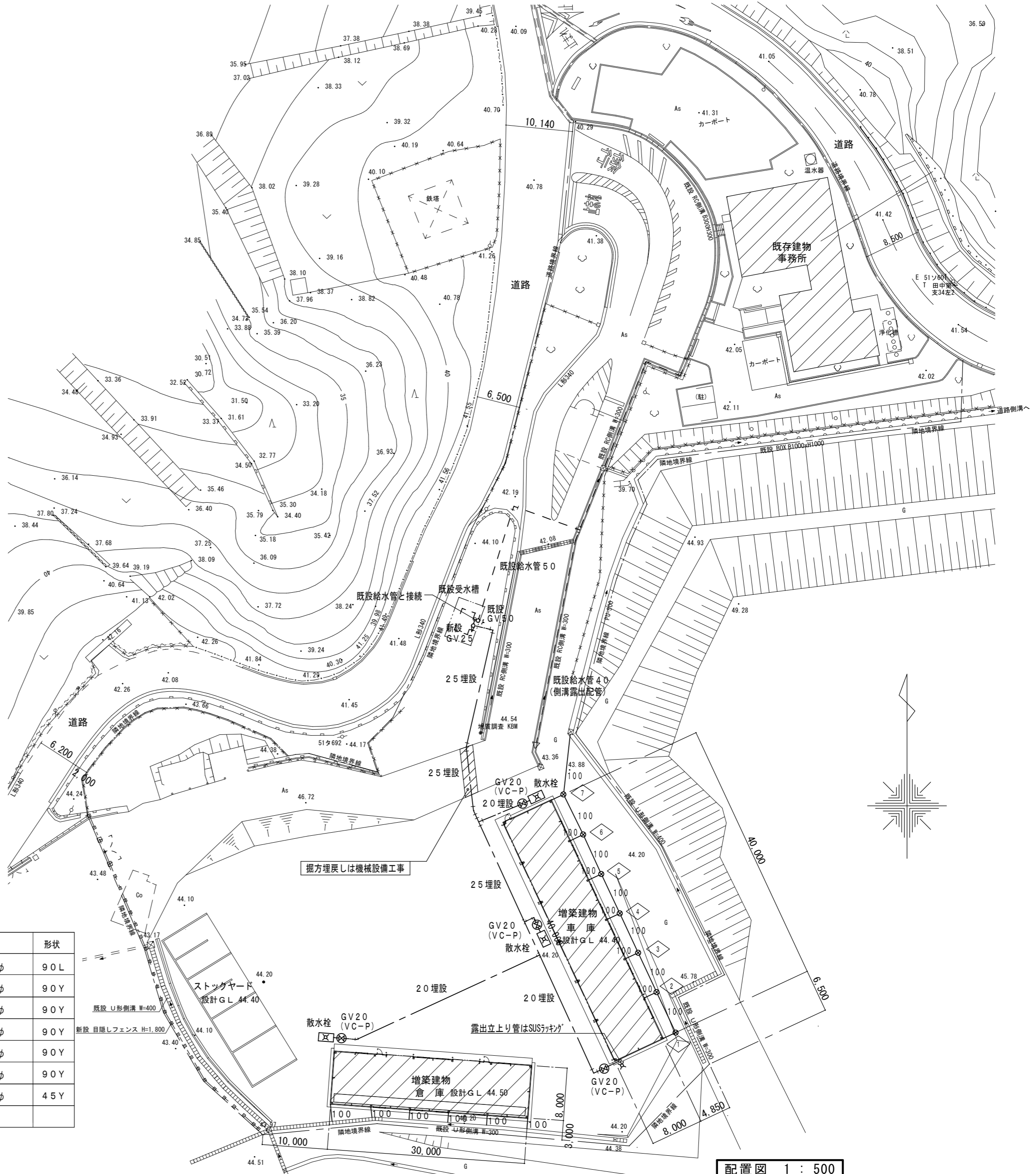
*空調機の能力はJIS条件時とする。 *特記なき室内機のフィルターはメーカー標準とする。 *冷媒ガスは新冷媒ガスとする。
*室外機は耐震振れ止め、転倒防止を施す事。 *動力は参考数値とする。 *室内機搬り配線は本工事とする。 *既設基礎を流用とする。

換気扇機器表

記号	名称	風量 (静圧時) m3/h	電気特性	ダクト径	付属品	台数	備考
F-1	壁掛 有圧換気扇	2880	100V 113W	—	SUS製フード (防鳥網付)	3	
F-2	壁掛 有圧換気扇	3600	100V 175W	—	SUS製フード (防鳥網付)	4	



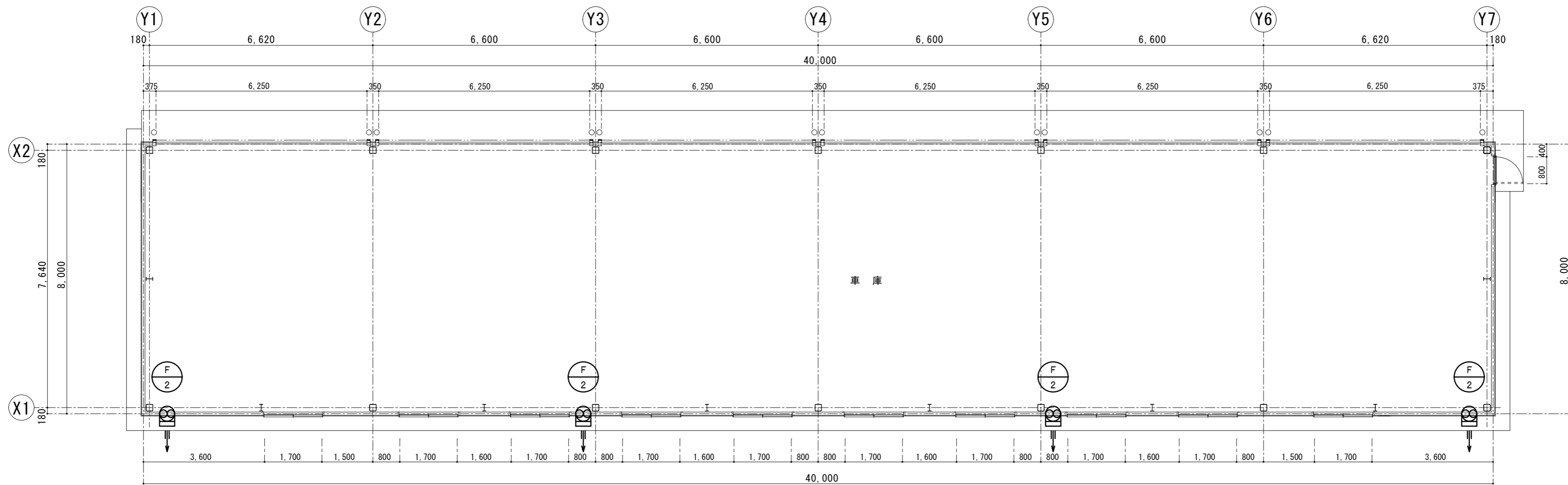
記号	本管径 - 樹口径	GLからの深さ	設計GLからの深さ	蓋	形状
①	100-200	190	490	塩ビ製200φ	90L
②	100-200	200	500	塩ビ製200φ	90Y
③	100-200	266	566	塩ビ製200φ	90Y
④	100-200	332	632	塩ビ製200φ	90Y
⑤	100-200	398	698	塩ビ製200φ	90Y
⑥	100-200	464	764	塩ビ製200φ	90Y
⑦	100-200	530	830	塩ビ製200φ	45Y



配置図 1:500

換気計算 建築基準法施行令第20条の2第2号による。

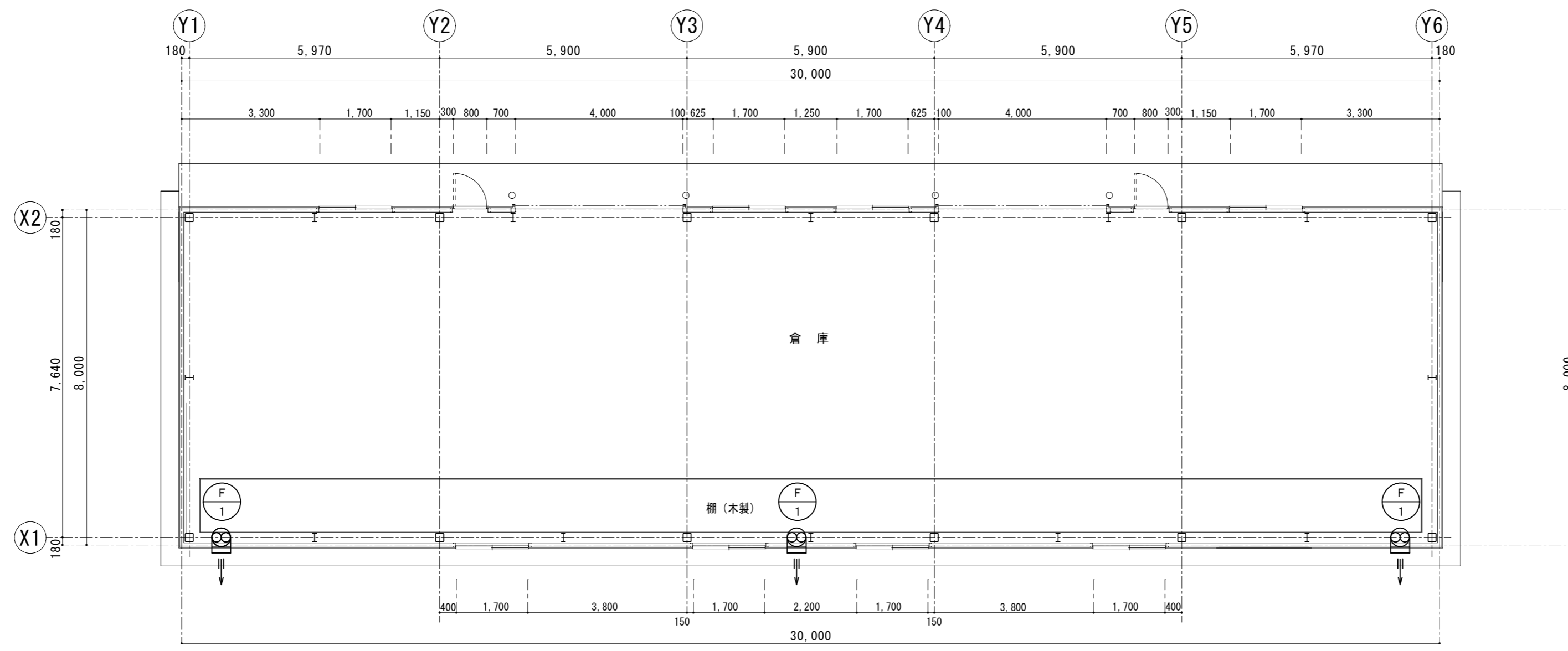
室名	換気方式	床面積 A[m ²]	平均天井高 H[m]	気積 [m ³]	居室		必要換気量 [m ³ /h]	換気期 記号	定格風量 (0Pa) [m ³ /h]
					系数	占有面積			
(居室)									
(非居室)									
車庫	第三種換気	320	4.475	1,432	—	—	14,320	F-2	14,400 (3,600×4台)



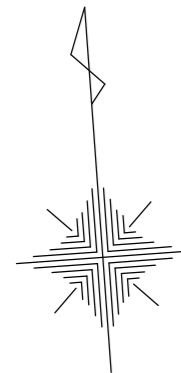
平面図 1 : 100

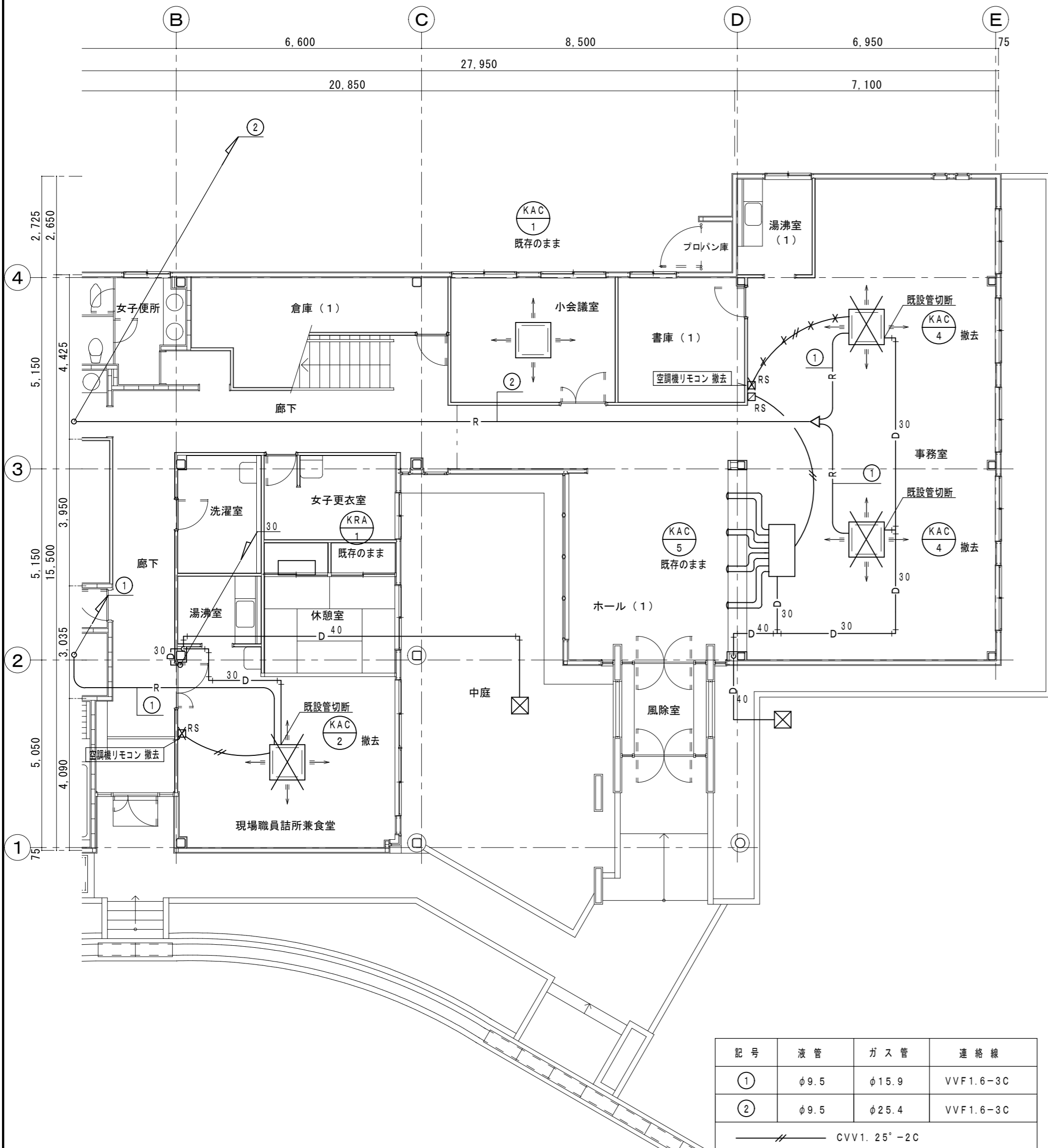
換気計算 建築基準法施行令第20条の2第2号による。

室名	換気方式	床面積 A[m ²]	平均天井高 H[m]	容積 [m ³]	居室		必要換気量 [m ³ /h]	換気扇 記号	定格風量(OPa) [m ³ /h]
					系数	占有面積			
(居室)									
(非居室)									
倉庫	第三種換気	240	3.475	834	—	—	10	8,340	F-1 8,640 (2,880×3台)

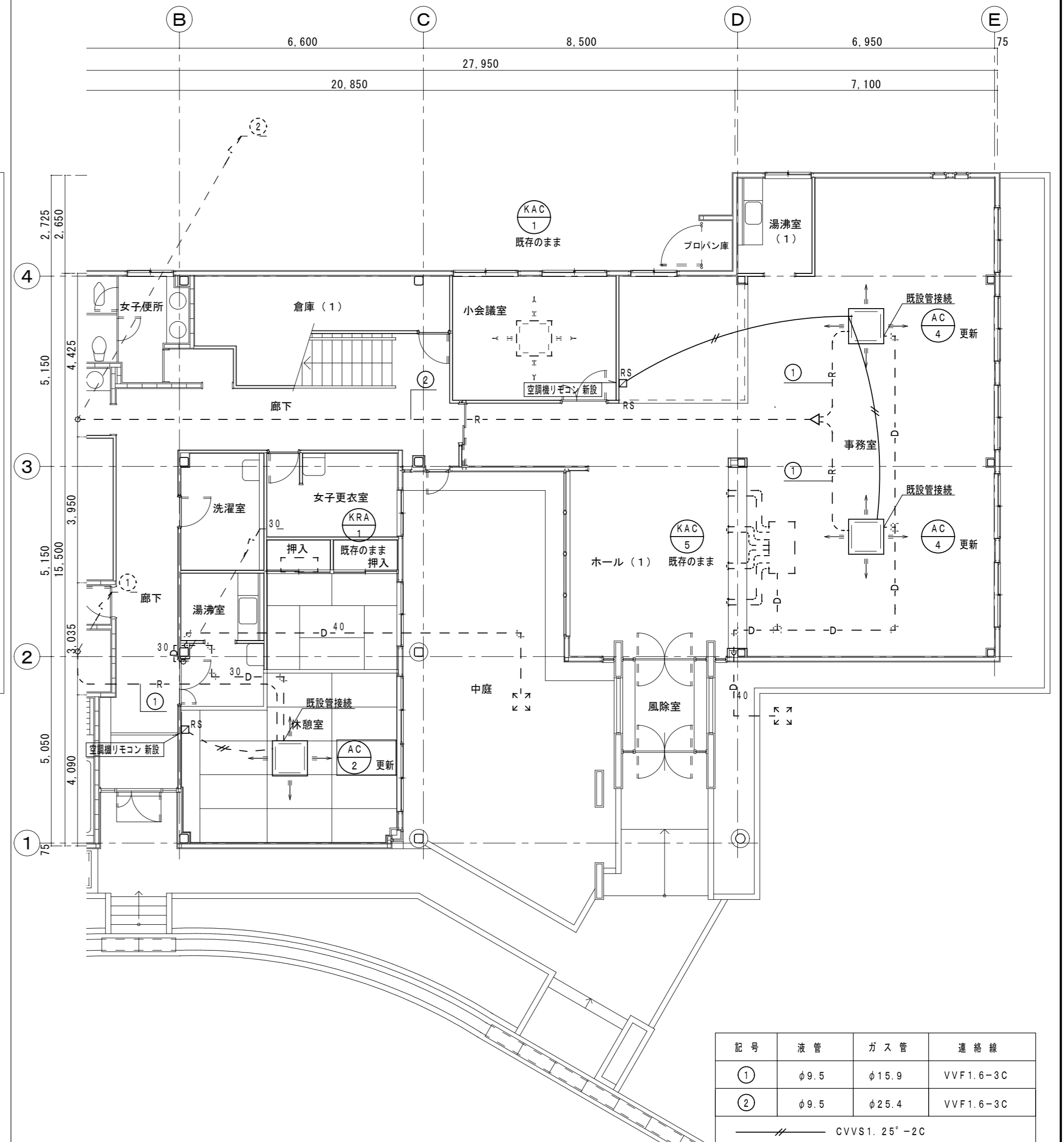


平面図 1 : 100

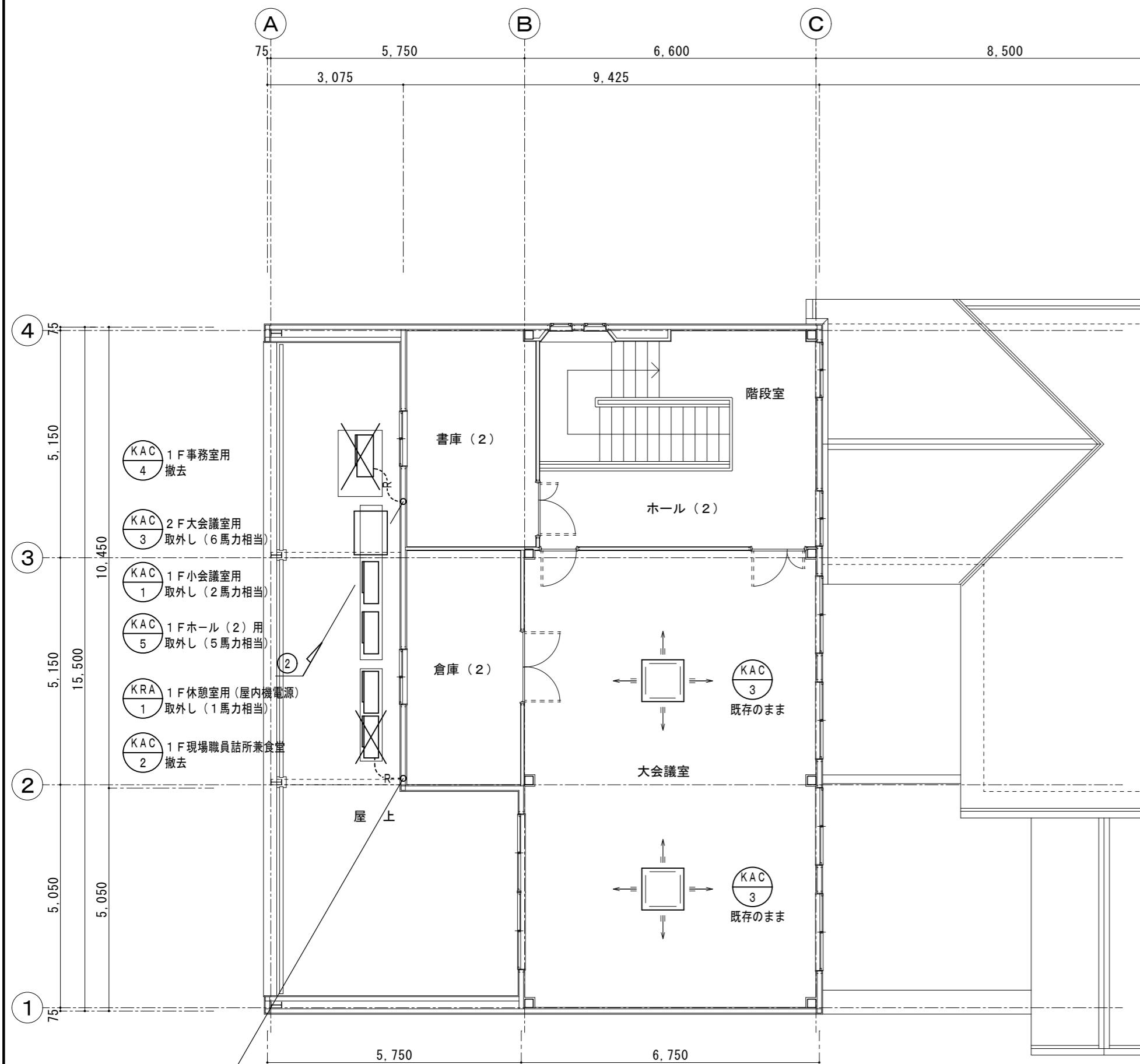




1階平面図 1:100



1階平面図 1:100



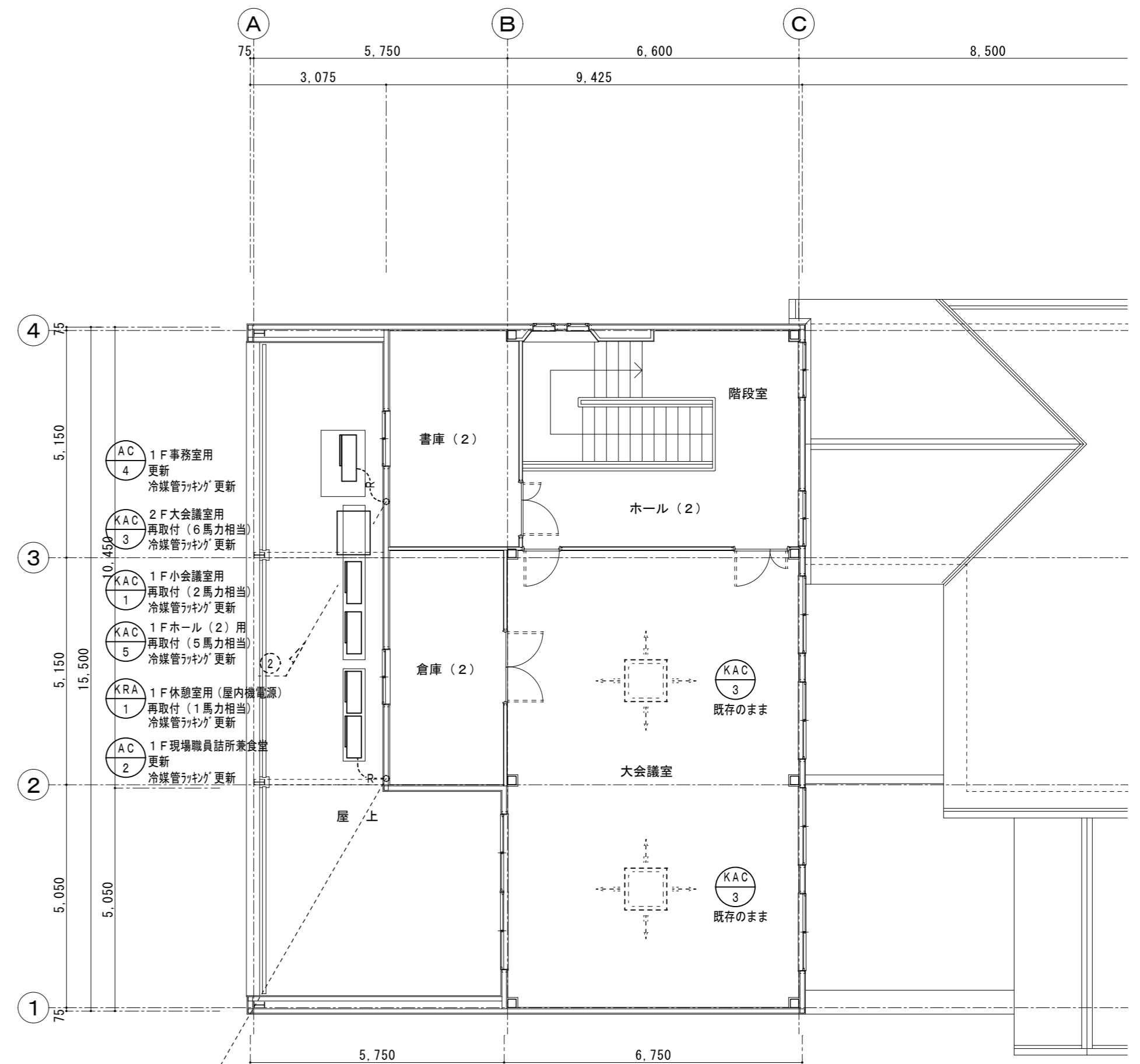
2階平面図 1:100

(撤去) 空調機器表

記号	形式	能力	電源	撤去台数	既設機器型番
KAC-2	天井埋込カセット形エアコン	3馬力相当	3φ200V 屋外機電源	1	日立 RAS-AP224EH
KAC-4	天井埋込カセット形エアコン ツイン同時	8馬力相当	3φ200V 屋外機電源	1	東芝製

記号	液管	ガス管	連絡線
①	φ9.5	φ15.9	VVF1.6-3C
②	φ9.5	φ25.4	VVF1.6-3C

実線は既設流用を示す
X印は撤去を示す



2階平面図 1:100

記号	液管	ガス管	連絡線
①	φ9.5	φ15.9	VVF1.6-3C
②	φ9.5	φ25.4	VVF1.6-3C

実線は新設又は更新を示す
点線は既設流用を示す
更新する空調機については、(更新)空調機器表を参照